NIVR

調査研究報告書
No.118

障害のある労働者の職業サイクルに関する調査研究（第3期）

－第3回職業生活前期調査（平成24年度）・第3回職業生活後期調査（平成25年度）－

2014年4月

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
障害者職業総合センター

NATIONAL INSTITUTE OF VOCATIONAL REHABILITATION

調査研究報告書
No.118

障害のある労働者の職業サイクルに関する調査研究
（第 3 期）
－第 3 回職業生活前期調査（平成 24 年度）・
第 3 回職業生活後期調査（平成 25 年度）－

2014 年 4 月
独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
障害者職業総合センター
NATIONAL INSTITUTE OF VOCATIONAL REHABILITATION

まえがき

障害者職業総合センターでは、「障害者の雇用の促進等に関する法律」に基づき、わが国における職業リハビリテーションの中核的機関として、職業リハビリテーションに関する調査・研究をはじめとして、さまざまな業務に取り組んでいます。

この調査研究報告書は、当センター研究部門における「障害のある労働者の職業サイクルに関する調査研究（第３期）（平成 24～25 年度）」の成果としてまとめたものです。

本調査研究では、障害のある労働者の就職、就業の継続、職業生活の維持、向上等の職業サイクルの全体像を明らかにするため長期継続調査―パネル調査（同一の対象者を継続して調査する方法）―を平成 20 年度から実施してきたところであり、第３期の報告書ではこれまで実施した３回分の調査結果に基づいて検討しています。

調査の実施に当たっては、継続的にご回答いただいている皆様を始め、ご協力いただいた方々に厚く御礼を申し上げますとともに、引き続き本研究にご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

本調査研究報告書が多くの関係者の方にご参考となれば幸いです。

なお、本調査研究の平成 23 年度までの研究成果は資料シリーズ No.50、No.54、調査研究報告書 No.106 にまとめていますのでご活用ください。

２０１４年　４月

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
障害者職業総合センター
研究主幹　落合淳一

執筆担当

永瀬　聡子	（統括研究員）	序章、第Ⅰ部、終章
田村　みつよ	（研究員）	概要、第Ⅱ部、終章

研究担当者

本研究は、障害者職業総合センター社会的支援部門が担当した。

研究担当者（職名）［担当した年度］は次のとおりであり。

亀田　敦志	（統括研究員）	［平成 24 年度］
永瀬　聡子	（統括研究員）	［平成 25 年度］
春名　由一郎	（主任研究員）	［平成 24、25 年度］
田村　みつよ	（研究員）	［平成 24、25 年度］
綿貫　登美子	（研究協力員）	［平成 24、25 年度］

目　次

概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

序章　本調査研究の目的、実施方法及び実施経過　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
　第１節　目的と「職業サイクル」の概念　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
　第２節　実施方法　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
　第３節　研究委員会　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
　第４節　第３回前期調査の実施経過　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
　第５節　第３回後期調査の実施経過　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18
　第６節　集計・分析の枠組み　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
　第７節　第１調査から第３回調査までの間に起きた障害者の雇用環境に及ぼす社会的要因・・・ 22

第Ⅰ部　第３回職業生活前期調査（1968～92 年度生まれ）の調査結果　・・・・・・・・・・・・・・ 29

第１章　第２回調査と第３回調査の間の２年間の経過－状況の継続と変化－　・・・・・・・・・・ 30
　第１節　障害状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
　第２節　家族状況及び住居環境　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
　第３節　就業状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
　第４節　仕事内容等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
　第５節　ライフイベント　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
　第６節　仕事上の出来事　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 40
　第７節　まとめ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 48

第２章　職業サイクルの展開の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 49
　第１節　就業形態の第１回から第３回調査までの経過　・・・・・・・・・・・・・・・・ 49
　第２節　就業形態の各局面における生活、仕事の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・ 52
　第３節　まとめ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 71

第Ⅱ部　第３回職業生活後期調査（1952～67 年度生まれ）の調査結果　・・・・・・・・・・・・・ 75

第１章　第２回調査と第３回調査の間の２年間の経過－状況の継続と変化－　・・・・・・・・・・ 76
　第１節　障害状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 76
　第２節　家族状況及び住居環境　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 78
　第３節　就業状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 80
　第４節　仕事内容等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 82
　第５節　ライフイベント　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 87
　第６節　仕事上の出来事　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 88

第７節　まとめ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 97

第２章　職業サイクルの展開の状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 99
第１節　就業形態の第１回から第３回調査までの経過　・・・・・・・・・・・・・・・・ 99
第２節　就業形態の各局面における生活、仕事の状況　・・・・・・・・・・・・・・・ 102
第３節　まとめ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 121

終章　総括的な検討と今後の課題　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 125
第１節　年代別の分析　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 125
第２節　今後の課題　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 128

資料編　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 131

概要

序章　　本調査研究の目的、実施方法及び実施経過

１　調査研究の目的と「職業サイクル」の概念

「障害のある労働者の職業サイクルに関する調査」は平成 20 年度より開始されて（研究計画の着手は平成 19 年度より）平成 35 年度までに至る縦断調査で、本調査研究はその第３期として、平成 24 年度及び平成 25 年度の２年間に実施したものである。

障害者の安定した円滑な就業を進めていくためには、障害者の職業サイクル（就職、雇用、離職（退職）等）の各局面における状況と課題を把握し、これに応じたきめ細かい雇用対策を進めていくことが不可欠である。このため、障害のある労働者の就職、就業の継続、職業生活の維持・向上等の職業サイクルの全体像を明らかにするための長期継続調査により、職業サイクルの現状と課題を把握し、企業における雇用管理の改善や障害者の円滑な就業の実現に関する今後の施策展開のための基礎資料を得るため、本調査研究を行う。

本調査研究において「職業サイクル」とは「職業キャリア」と同様の趣旨で、「就職、職業の継続、職業生活の維持・向上、から退職、引退に至る、働く人、一人一人の生涯にわたる職業生活上の一連の過程、経過」であり、職業上の「状況」の継続や変化が、生活や仕事の「出来事」や、労働者本人の「意識」等の諸要因と相互に影響し合いながら展開するダイナミック（動的）なプロセスとしてとらえている。

２　調査研究委員会

本調査研究を円滑に実施するため、専門家の意見を伺うとともに、企画・実施に当たって関係者による委員会を設置して検討を進めた。

３　実施方法

実施方法には同一の対象者を継続して調査するパネル調査の手法に依っている。身体障害、知的障害又は精神障害を有する労働者個々人に対して、若年期を中心とする就職及びこれに続く職業生活への適応の過程等を明らかにする職業生活前期調査（調査開始時点での年齢が 15 歳以上 39 歳以下、以下「前期調査」という）と、一定の職業経験経過後の職業生活の維持・ 向上等の過程を明らかにする職業生活後期調査（調査開始時点での年齢が 40 歳以上概ね 55 歳まで、以下「後期調査」という）を郵送法にて実施した。

調査事項は概ね初回に設定した以下の通りで、これらが職業生活を通じて（職業サイクルの各過程で）どのように推移していくのかを調査する。

（１）就職、職場内での異動・昇進、離職・退職、再就職、引退、福祉施設への入所等の雇用上の地位の変遷
（２）労働条件（賃金、労働時間、休日等）
（３）障害年金･所得の状況
（４）資格取得等のキャリア形成
（５）離職・退職の時期と理由、再就職の時期と方法
（６）職業生活からの引退の時期、引退後の生活等
（７）福祉施設、就労支援機関、就労支援者等とのかかわり

これまでの調査実施期間中に、本人の健康上の理由、回答代筆者の都合、あて先不明などの理由により調査対象の脱落があり、調査を継続していく上でコーホート（調査対象者集団）の先細りが懸念されたため、第３期において追加募集を行った。追加募集対象者からの回答結果については、今期に限りそれを含まない継続者のみの回答と、それを含む全体回答をそれぞれ別途集計し資料編に掲載したが、本文内での主な分析については継続者のみの回答結果を用いており、次の第４期調査からは追加募集を含む全体回答結果を分析に用いることとしている。

４　社会的要因

調査結果分析に当たっては、社会的要因についての影響を考慮するため、本調査実施期間の雇用情勢や障害者施策の動向を概観した。雇用情勢については、本調査開始直前の平成 20 年秋のリーマンショックの影響により、完全失業率（季節調整値）が 21 年７～９月期に 5.4%まで上昇し、有効求人倍率（季節調整値）も同時期に 0.43 倍と過去最低の水準まで低下した。その後回復に転じ、23 年３月の東日本大震災の影響から改善に足踏みが見られたが、本調査が行われた 24 年７月には完全失業率が 4.3%、有効求人倍率が 0.77 倍、25 年７月には完全失業率が 3.8%、有効求人倍率が 0.90 倍と、第３回調査が実施された平成 24 年から 25 年にかけては、概ね雇用情勢の改善が続いた時期であった。

第３期の期間中での障害者施策の動向としては、平成 24 年 10 月「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」施行（平成 23 年６月成立）、平成 25 年４月（一部、26 年４月）「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」施行(平成 24 年６月成立)があった。

５　集計・分析の枠組

（１）第２回調査と第３回調査の間の２年間の経過－状況の継続と変化－（第Ⅰ、Ⅱ部第１章）

第１回、第２回調査での結果を受け継ぐ集計として、職業及び生活の状況や出来事等について、第２回調査と第３回調査の間の２年間の経過をみるとともに、第２期の際に分析を行った第１回調査と第２回調査の間の経過との比較を行い、異なる傾向や特徴的な動きがないかを検討した。

（２）職業サイクルの展開の状況（第Ⅰ、Ⅱ部第２章）

職業サイクルを構成する最も基本的なプロフィールは、①就労しているか就労していないか、②また就労している場合はどのような働き方なのか、すなわち正社員として働いているのか、パート・アルバイト等か、または雇用契約によらない福祉的な就労なのか、であると考えられる。

このため、これまで第１回から第３回の調査結果を通じて、職業サイクルの基本的な様相である就労形態の継続や変化の状況を概観するとともに、それぞれの局面における生活や仕事の状況、仕事に対する意識、就職活動の状況などについて検証した。

（３）総括的な検討と今後の課題（終章）

職業生涯全体を通じた年代別の集計や総括的な検討を行うとともに、今後に向けた課題について整理した。

（４）障害種類別の状況

障害者の職業サイクルについて分析するに当たり、障害種類別の分析は重要な視点である。このため、第

Ⅰ部及び第Ⅱ部の第１章において障害別の総括表を掲載するとともに、その基礎となった障害別の集計、及び第３回調査の各調査項目について障害別の集計を行い資料編としてまとめた。

第Ⅰ部　第３回職業生活前期調査（1968～92 年度生まれ）の調査結果

１　第２回調査と第３回調査の間の２年間の経過―状況の継続と変化―

障害の程度については、第２回と第３回の間において３種類の手帳のいずれにおいても等級が変化した事例は見られなかったが、第１回と第２回では変化の事例があり、調査協力辞退者の中に重度化のケースが含まれている可能性にも留意する必要がある。

家族の状況については、変化なしが８割を超え、どの障害種類においても父母との同居が最も多かった。

仕事の状況については、「就業形態」、「仕事の内容」、「勤務時間」、「休日」、「給与額（区分）」ともに変化なしが８割前後となっており、第１回と第２回の調査における変化なしと同程度の割合となっている。また、障害別にみると、「就業形態」では精神障害において、「仕事の内容」、「勤務時間」及び「休日」では知的障害と精神障害において、「給与額（区分）」では内部障害と精神障害において、変化があった割合が比較的高く、障害による違いが見られた。

ライフイベントについては、第２回調査同様、第３回調査においても該当なし（６割）を除くと約４割の人が何らかのライフイベントを経験していた。その内容をみると、「引越しをした」が最多となっており、「本人の入院」、「子どもが生まれた」が続いている。一方、「結婚」、「親元からの独立」、「年金の受給開始」については第２回調査より減少しており、これらの事項は一生のうちに起こる回数が限定的であることも関連していると考えられる。また、障害別にみると、聴覚障害において結婚、子ども、引越しの割合が他の障害に比べ高かった。

仕事上の出来事については、該当なしと無回答を除くと約７割の人が仕事上の出来事を経験していた。その内容をみると、「給料が上がった」、「配置転換があった」等の割合が高くなっている。配置転換については、同じ時期の他の出来事をみると、キャリア形成としての配置転換が窺われる一方で「休職した」事例もみられ、明暗両方の側面があることに留意する必要がある。

２　職業サイクルの展開の状況

（１）職業サイクルの経過の状況

３回の調査を通じ、「雇用契約ありとなし」の間の変化は、第１回調査と第２回調査の間おいて 23 人、第２回調査と第３回調査の間において 29 人であり、３回全ての調査に回答した 266 人のうち約１割程度において雇用契約の有無に関わる変化が見られた。

また、「雇用契約あり」のうち、正社員とパート・アルバイトの間の変化は、第１回調査と第２回調査の間で 18 人、第 2 回調査と第 3 回調査の間で 14 人と 266 人の５～７％程度であった。一方、３回とも正社員継続者は 104 人、パート･アルバイト継続者は 82 人であった。

（２）職業サイクルの各局面における状況の分析

「雇用契約のありとなし」の間の変化の局面では、「給料が上がった」にもかかわらず「雇用契約ありからなし」に変化した事例が全体よりも高い割合で見られた。離職理由をみると、３人に２人は自己都合でありその７割は体調不良を挙げており安定した職業サイクルへの健康面の影響について注視していく必要がある。

一方、「雇用契約なしからあり」への再就職の局面では、ハローワーク等の支援機関の利用が多く見られた。

同一就業形態の継続の局面では、正社員とパート・アルバイトの３回継続者の状況を比較すると、正社員継続者においては、ライフイベントでは「結婚」、「子どもが生まれた」等の項目が、また、仕事上の出来事では、「配置転換」、「昇進」、「給料が上がった」の項目の回答割合が高くなっている。

パート・アルバイト継続者においては、これらの項目については全体の傾向と大きな差は見られないが、その一方で、仕事の満足度、仕事の継続意思は、正社員継続者よりも高くなっている。

仕事上の出来事のうち、「配置転換」、「昇進」、「昇給」等、労働者にとってプラスと考えられる事項がより高い割合で見られる正社員継続者の満足度がパート･アルバイト継続者より低くなっており、仕事に対する要求水準に違いがあるのか、その背景について引き続き留意する必要がある。

第Ⅱ部　第３回職業生活後期調査（1952～67 年度生まれ）の調査結果

1　第２回調査と第３回調査の間の２年間の経過－状況の継続と変化－

２年間での障害状況は主に肢体不自由で障害等級が重度化した人が 3.9％で、他の変化は少なかった。家族状況としては後期調査対象者は前期調査と比較して既婚率が高く、40 歳代から 50 歳代の年代にあって、家族形成の過程と、成人した子どもの自立や、親との死別など家族分離の過程が同時に進んでいる。

就業状況が変わった人の割合は第１回調査と第２回調査間が 10.2％であったのに対し、２回と３回の間では 14.7％であった。その主な変化は正社員から無業となった人が肢体不自由で多く、またパート・アルバイトから就労継続事業所への変化が知的障害で多かった。また第２回調査で無業の状態にあった 11 人のうち第３回調査でも同様に無業であった人は７人であった。就業条件においては、仕事内容の「変化あり」が 18.3％で、その内「事務の仕事」に移る人が多く、勤務時間の「変化あり」は 17.4％でその内より短時間になる割合が（知的障害と精神障害で）長時間になる割合よりも高く、休日は変化ありが約３割でその増減の傾向は拮抗していた。給与額の区分は約２割に変化があり、上向への変化の割合が下向変化の割合を上回った。

この間の生活上の出来事としては内部障害、肢体不自由、精神障害で「自分の入院」が１割強起きており、前回の回答割合よりも増加した。仕事上の出来事では「上司の異動」、「昇給」、「配置転換」が２割前後の回答割合を示している。「配置転換」があった人の回答傾向は、就業形態では正社員で、障害別では聴覚障害、精神障害、内部障害、肢体不自由で回答頻度が高い。配置転換のあった同じ調査回とその前の調査回での仕事満足度を比べると、総体的には約５割で変化なしだが、満足度の下位項目別には「仕事内容」と「職場環境」については満足度が向上し、「給与待遇」と「人間関係」については満足度が低下する傾向が見られた。一方、仕事上の出来事で「給料が上がった」と答えた人は障害別には知的障害、精神障害、肢体不自由で多く、就業形態は正社員で 27.0％と高いが、パート・アルバイトも 23.1％とあまり差がない。また「給料が上がった」と回答のあった人が従事している仕事内容としては「人を相手にするサービス業」と「清掃やクリーニングのサービス業」で割合が高い。あるいは「給料が上がった」人の仕事満足度は総体的に向上する傾向にあり、下位項目の中では特に「人間関係」についての満足度の向上率が高い。

職業生活後期調査に特有のテーマである“引退の過程”について大きく影響を及ぼす社会的背景として、第３回調査時に改正高年齢者雇用安定法が施行（平成 25 年４月）され、希望する人の定年が延長されることとなったが、それに伴い「決まりのある働ける年齢」は「65 歳」が増加した一方、「定年以降も働きたい」という人は前回の調査時よりも減り、「定年前に辞めたい」とする人は増える傾向が見られた。この定年への認識の変化は、実質的に定年の年齢が引き延ばされたという社会制度上の要因によって捉えられるのか、あるいは調査回の進展の過程には

同時に加齢の要素もあり、加齢によって定年への距離が近づくと健康上の問題などが顕在化し定年までの勤務継続への懸念がより強くなると想定される個人内要因を考慮する余地はないのかという仮説を検証するため、便宜的に55歳前後で年齢区分を分割することにより加齢の個人内要因を統制して再集計を行った。調査回が進むに沿って定年前に辞めたいとする人が増加するのは年齢区分に共通であるが、55歳未満つまり通常の定年の時期よりはまだ若い年齢区分の方がよりその割合が高いという結果から、今回の制度改正の影響は、定年に近い人よりは定年を迎えるまでに猶予のある人への意識に及んでいるという結果であった。延長となった定年まで働き続けられるかといった不安感が増えていることについて、今後社内外での何らかの方策が求められる所である。

２　職業サイクルの展開の状況

第Ⅱ部第２章では職業生活後期調査で第１回から第３回までの全ての回に回答のあった人を対象とし、就業形態の経過についてパターンに分けて分析を行った。まず仕事が「雇用契約ありからなし」に変化した人の生活状況を見ると、「一人暮らし」と、「グループホーム」が多く、「雇用契約なしからあり」に変化した人は、「配偶者との同居」または「親との同居」が多い。今回の報告においては、第１回から第３回調査までの６年間で「雇用契約ありからなし」または「なしからあり」の変化の局面にあった人は少数なので、結論付けるのは時期尚早ではあるが、仕事の継続と家族形態については、職業生活のサポートという機能において関連性が強いことが想定される。

「雇用契約なしからあり」の局面で仕事上の出来事として全体傾向よりも高い割合を示したのは、「休職」と「給料が下がった」であった。40 歳代で該当者の多い再就職の局面では、給与が下がる事が起きやすく、仕事についての満足度としてはほぼ全ての項目で「満足」の回答率が低く、「不満足」の回答率が高い傾向が示された。「雇用契約ありからなし」となった人の前職場に対する仕事満足度は、「労働条件」と「職場環境」についての項目で「満足」の回答が比較的高く、「人間関係」の項目では不満足の傾向にあった。

「雇用契約ありからなし」になった人の離職理由は「自己都合」４割、「事業主都合」３割で、「自己都合」の内、「体力や体調によるもの」が第３回では増えている。求職活動の相談先は大半がハローワークの利用を考えており、求職中の人の３割は「すぐに仕事につきたい」としているが、４割は「時間をかけて自分にあった仕事を探したい」としている。これから就きたい仕事の働き方についての設問で「正社員」と回答した８人中５人は正社員のみに限定されており、就労継続支援事業所利用を希望する５人のうちその働き方だけに限定する人は１人であった。

第１回調査から第３回調査で就業形態に変化がなく正社員を継続している人では、給与区分の変化の割合が比較的高く、増加よりも減少への変化率が高い。その一方パート・アルバイトを継続している人では給与区分の変化率は低い。現在の仕事の継続意思は、正社員継続者、パート・アルバイト継続者とも全体と比較して「今の仕事を続けたい」としている人の割合が高い。また同時にパート・アルバイトを継続している人は「別の仕事をしたい」の回答割合も高い傾向にある。仕事満足度についての回答傾向として正社員を継続している人は「どちらとも言えない」の中立回答が多い。パート・アルバイトを継続している人は中立回答が少なく、満足と不満足に分かれている。全般的にパート・アルバイトを継続している人の満足度が、正社員を継続している人の満足度よりも高い。ところが、正社員からパート・アルバイトになるなど就業形態に変化のあった人では、満足度は正社員の時の方が高いという結果が出ている。これら就業形態別での満足度の違いを規定する要因については、今後の更なるデータ蓄積を待って統計解析により明らかにしていく。

終章　総括的な検討と今後の課題

1　年代別の分析

職業サイクルが職業生涯を通じてどのような経過を辿るのか、そのアウトラインを描くことは本研究における重要な課題の一つである。 第３回までの調査では４年間を網羅しているにすぎず職業生涯を見通した縦断的な分析はまだできないが、ひとつの試みとして、ライフイベントと仕事上の出来事について、それぞれの項目がどの年代でどの程度の割合で起こっているのかについて、第２回と第３回のデータ（ライフイベントについては延べ 1284 人分、仕事上の出来事については延べ 1155 人分）を使い年代別の生起率を集計した。

（１）ライフイベントの年代ごとの状況

本人に関することについてみると、「結婚」、「出産」、「引越し」など家族形成に関わる出来事は 30 歳代がピークとなっている。また「親元からの独立」や「就学」は 20 代が最も高く次第に低下している。「年金の受給開始」は 20 歳代で最も多く、「自分の入院」は加齢に応じ増加の傾向が見られる。家族に関することでは、年齢が高くなるに応じて家族の「入院」、「死亡」が増加しており、「家族の離職」は 20 歳代から 30 歳代にかけて増加するがその後減少している。

（２）仕事上の出来事の年代ごとの状況

各項目について年代ごとの生起率をみると、「昇給」は 30～50%の水準で、また「配置転換」は 20%程度の水準で、ほぼ全ての年代を通じて他の出来事よりも高い割合で起こっており、他の項目はいずれも 10%以下の割合となっている。「昇進」は 40 歳代が、「支援者がいなくなる」のは 30 歳代がそれぞれピークとなっており、支援を受ける立場から独り立ちして昇進していく状況が窺われる。また、「正社員への転換」は 20 歳代から 30 歳代にかけて２%程度の水準で起こっており他の年代より高い割合となっている。また、「転職」と「休職」は、ほぼ全ての年代を通じて、３%から５%程度の水準で起こっている。

2　今後の課題

（１）生活や仕事の経過の長期的な把握

本調査研究では、第２回調査から第３回調査の２年間の経過について分析し、第１回と第２回の経過と比較を行うとともに、第１回から第３回までを通じた就業状況の経過とその各局面における状況を把握した。

２年ごとの経過の比較においては、第２回調査から第３回調査の２年間においても、仕事内容、給与額、勤務時間等の仕事の状況は第１回と第２回の間の経過と同様７～８割程度の人が「変化なし」で、第２回調査時点と同様の状況が継続していることがわかった。また、第１回調査から第３回調査を通じた就業状況の経過においては、約１割の人で就業と非就業の間に変化が見られた。

引き続き、これらの継続と変化の双方に注目していくことが必要である。

具体的には、まず、２年間ごとの変化の状況を継続して把握し、それまでと異なった状況があればその背景等について分析を深めることで課題発見の契機となることが考えられる。

また、就業（「雇用契約あり」の就業）と非就業や就業形態の経過に着目し、①就業や同一の就業形態を継続させる要因は何か、また、②非就業の状況は、各調査対象者においてどれくらいの頻度で起こっているか、特定の人に連続して起こってないか、起こるとすればどのような背景が考えられるのかについて長期的に注目していくことが、支援対象の具体化など支援策の検討につながると考えられる。

さらに、就業と非就業の間の変化、異なる就業形態（正社員とパート・アルバイト、雇用と福祉的就労）

の間の変化の局面についても、その前後の仕事の状況や満足度などの意識にどの様に影響しているか等について把握する必要がある。またその際、内容によっては変化の直後だけではなくより長期的な経過を見ることも必要と考えられる。

（2）支援ニーズの把握

就業から非就業への変化、非就業から就業への変化の局面に着目し、離職に至る状況や背景、再就職に向けた就職活動や支援機関の活用状況などのデータを蓄積し、職場定着や再就職のための支援ニーズを明らかにしていくことが必要である。

（3）キャリア形成の視点からの調査結果の分析

過去２年間の仕事上の出来事について、該当項目がなかった人は第２回、第３回の調査において３割程度であり７割の人は何らかの出来事があったといえる。これらの中で、「配置転換」、「転職」などの出来事については、その直後と一定期間が経過し適応が進んだ段階では満足度などの意識が異なっていることも想定されるところであり、その後の経過を一定期間継続して追跡し、キャリア形成の過程でどのような意味をもったのかを把握することも考えられる。また、その際、正社員とパート・アルバイトの就業形態の違いについても留意する必要がある。

（4）就労に関する意識と就労実態の関連の把握

仕事の満足度に影響する要因は何か、また仕事継続に関する意思はその後のキャリアにどのように影響していくのか等、意識と就労状況の相互の関連は、職業サイクルの展開を把握する上で重要な視点であり、必要に応じて統計分析の手法も活用しつつ検証していく必要がある。

（5）加齢、障害の重度化の影響

後期調査については対象者の年齢が 60 歳代に入りつつあり、加齢に伴う職業生活への影響等について、障害の重度化等の過程にも留意しつつ丁寧に把握していくこととする。

（6）障害別の分析

仕事に関係した調査項目の２年間の経過は、全体としては各項目とも７割から８割において２年前と同様の状況が継続したが、障害別に見ると変化の状況に一定の違いが見られた。また、就業形態も障害種類により違いが見られるところである。

今後、データの蓄積が進む中で可能な分析の範囲も広がると考えられることから、焦点を絞るなどして障害別の分析を進める必要がある。

（7）年代に応じた分析

職業サイクルが職業生涯を通じてどのような経過を辿るのか、そのアウトラインを描くことは本研究における重要な課題の一つである。

調査開始時点では 40 歳未満であった前期調査の対象者も 40 歳代に入ってきており、前期と後期の比較の視点に加え、前期調査と後期調査を通じた視点での分析も有益と考えられる。

（8）縦断調査（パネル調査）の集計分析の方法等

今後、調査の回数を重ねる中でデータの蓄積が進み、より長期間の経過を把握できるようになるとともに、障害別や年代別などの側面からの分析も可能となってくることが期待される。

また、今回の追加募集で得られたデータについては今回の集計では横断的な集計のみとしたが、第４回調査以降においては継続と変化についての分析対象とする予定である。

今後とも、調査対象者のご協力を得ながらデータの効率的な蓄積を図るとともに、分析に当たっては、視点に応じて柔軟にデータの切り出しを行うなど、限られたデータを最大限に活用していくこととする。

序章

本調査研究の目的、実施方法及び実施経過

序章　　本調査研究の目的、実施方法及び実施経過

第１節　目的と「職業サイクル」の概念

障害者の安定した円滑な就業を進めていくためには、障害者の職業サイクル（就職、雇用、離職（退職）等）の各局面における状況と課題を把握し、これに応じたきめ細かい雇用対策を進めていくことが不可欠である。このため、障害のある労働者の就職、就業の継続、職業生活の維持・向上等の職業サイクルの全体像を明らかにするための長期継続調査により、職業サイクルの現状と課題を把握し、企業における雇用管理の改善や障害者の円滑な就業の実現に関する今後の施策展開のための基礎資料を得るため、本調査研究を行う。

本調査研究において「職業サイクル」とは「職業キャリア」と同様の趣旨で、「就職、職業の継続、職業生活の維持・向上、から退職、引退に至る、働く人、一人一人の生涯にわたる職業生活上の一連の過程、経過」であり、職業上の「状況」の継続や変化が、生活や仕事の「出来事」や、労働者本人の「意識」等の諸要因と相互に影響し合いながら展開するダイナミック（動的）なプロセスとしてとらえている。

障害のある労働者の職業サイクルに関する調査研究は平成 19 年度から開始しており（以下、平成 19 年度から 21 年度までを「第１期」、22 年度から 23 年度を「第２期」という。）、本調査研究はその第３期として平成 24 年度及び平成 25 年度の２年間に実施した。

第２節　実施方法

１　基本的な考え方

（１）身体障害、知的障害又は精神障害を有する労働者個々人に対して、若年期を中心とする就職及びこれにつづく職業生活への適応の過程等を明らかにする調査－職業生活前期調査（以下「前期調査」という）－と、一定の就業経験経過後の職業生活の維持･向上等の過程を明らかにする調査－職業生活後期調査(以下「後期調査」という）－を、隔年ごとに交互に、パネル調査（同一の対象者を継続して調査する方法）として実施している。

第３期の調査研究においては、第３回前期調査を平成 24 年７月に、第３回後期調査を平成 25 年８月に実施した。

（２）本調査研究を円滑に実施するため、専門家の意見を伺うとともに、企画・実施に当たって関係者による委員会を設置して検討を進めた。

２　調査事項

基本的に、障害者本人を対象とし、以下の内容を調査することとし、これらが職業生活を通じて（職業サイクルの各過程で）どのように推移していくのかを調査した。

（１）就職、職場内での異動・昇進、離職・退職、再就職、引退、福祉施設への入所等の雇用上の地位の変遷
（２）労働条件（賃金、労働時間、休日等）
（３）障害年金･所得の状況
（４）資格取得等のキャリア形成
（５）離職・退職の時期と理由、再就職の時期と方法
（６）職業生活からの引退の時期、引退後の生活等
（７）福祉施設、就労支援機関、就労支援者等とのかかわり

具体的な調査項目は、性別、年齢、障害状況等の基本的事項と、職業サイクルの概念を踏まえ生活及び仕事のそれぞれについて、調査時点での「状況」、過去２年間の「出来事」、及び満足度や要望などの「意識」等についての設問であり、一部を除き第１回調査から同一の内容である。

表序 - １　調査項目の構成

	状況	出来事	意識	自由記述等
基礎情報	1)性別 2)生年月日 3)障害種類、程度、手帳の有無 6)資格、免許 7)通学中の学校			30)調査についての意見、要望 31)東日本大震災の影響 32)回答時の補助の状況 33)記入月日
生活	4)家族構成 5)住まい(形態・一人暮らし・同居) 22)年金受給状況 23)生活のための収入源 24)経済的に困った時に最近相談したことがある人、機関	8)ライフイベント〔最近2年間〕 （結婚、離婚、出産、引っ越し、独立、入院、通学・卒業、年金、親が{離婚、退職}、家族が{入院、死亡}、該当なし）	29)生活の満足度 （家族との人間関係、友人・知人との人間関係、自分の体力や健康、収入や経済生活）	27)普段の生活で一番楽しみにしていること 28)近い将来(5年後くらいまで)に実現したいこと
仕事 【全員】	9)仕事(正社員、ﾊﾟｰﾄ･ｱﾙﾊﾞｲﾄ、派遣、自営、内職、A型、B型等、非就労) 21)仕事で困ったときに最近相談したことがある人、機関		25)仕事をする上で重視すること （賃金、能力・経験、仕事内容、職場環境、勤務時間・休日、職場仲間との人間関係） 26)働き続けるために、会社や会　社の人に配慮してほしいこと ・仕事をする上で必要なこと ・会社や会社の人にお願いしたいこと	
【就労中】	10)仕事内容 11)労働状況 労働時間 休日 給与 賞与 12)通勤 手段 所要時間 13)企業規模 14)現在の会社への就職時期 15)障害説明範囲	18)仕事での出来事〔最近2年間〕 （配置転換、上司異動、援助者不在と　なる、昇進、昇給、減給、正社員になる、転職、倒産、該当なし）	16)現在の仕事の満足度(仕事内容、労働条件、人間関係、職場環境） 17)仕事の継続意志 何歳まで働きたいか 現在の仕事を続けたいか	
【非就労中】	20)就職活動 緊要度 希望する働き方(→9) 相談する人、支援機関	19)過去2年間の仕事の経緯 仕事経験の有無 離職理由		

（注）１)、２)、３)・・・は、調査票の設問の番号

３　調査方法及び調査対象者

（１）障害者に対する郵送調査を基本とする。

（２）調査対象者の選定

障害者団体等に協力を依頼し、障害（視覚･聴覚･肢体不自由･内部の別の身体障害、知的障害及び精神障害の６障害)、年齢等を考慮しつつ、各障害について統計処理が可能な程度の数の障害者である労働者を選定することを基本とした。その対象者の年齢区分は以下のとおりである。

前期調査　15 歳以上 39 歳以下（昭和 43（1968）年４月２日から平成４（1992）年４月１日までに生まれた方)

後期調査　40 歳以上概ね 55 歳まで（昭和 27（1952）年４月２日から昭和 43（1968）年４月１日までに生まれた方)

（注）年齢は平成 20 年４月１日時点のもの

また、調査対象者は、選定時点で、企業等で働いている方を対象として、福祉工場や作業所等の福祉的就労

は含まないものとした。労働時間が週 20 時間以上（精神障害については 15 時間以上）の方で、自営業も含めている。

（3）調査対象者の把握

障害のある労働者の把握については、当事者団体等に対して、視覚、聴覚、肢体不自由、内部、知的障害または精神障害がある労働者の紹介を依頼し、障害者手帳を所持していない場合も対象とした。調査結果には手帳を所持していない場合も含め、長期継続調査を行い経年変化を調査していく。

（4）パネル調査のための障害者の特定

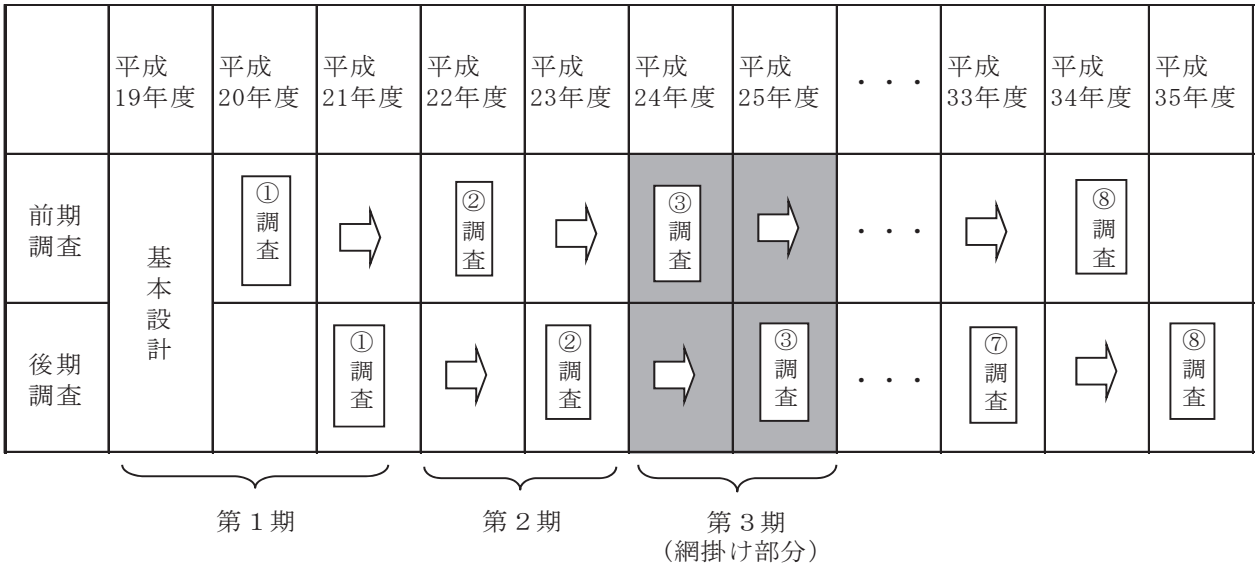
本調査の方法は、同一の対象者を継続して調査し、実態や意識の変化を把握していくパネル調査であるため、調査対象者を特定して行う。このため、障害者職業総合センター（以下「総合センター」という）において、調査対象者の同意を得て氏名、住所等を把握して、同一人に対して調査票を送付し回答を得ていくものである。なお、この際、個人名は使用せず、各個人ごとにＩＤ番号を用いている。

また、長期に調査を行うことから調査対象者数の減少が懸念されるため、調査結果についての情報提供等調査対象者の協力が得られる関係の維持を図っている。

4　実施期間

平成 24 年度から平成 25 年度までの第３期の研究期間（２年計画）において、第３回前期調査及び第３回後期調査を実施した。

なお、調査全体の計画としては、平成 19 年度から平成 35 年度までの 17 年間を予定し、平成 19 年度から平成 21 年度までの第１期の研究期間に調査の設計、第１回前期調査及び後期調査を実施した。



図序-１　調査実施計画

第３節　研究委員会

１　研究委員会の設置

次により研究委員会を設置した。設置期間は平成 24 年４月から平成 26 年３月までである。事務局は総合センター社会的支援部門とした。

（１）　委員

委員の構成は、障害者の就業支援に係る学識経験者、当事者団体関係者、事業主団体関係者、行政関係者、地域障害者職業センター職員とし、委員は以下のとおりである（五十音順）。座長は委員の互選により佐藤宏元職業能力開発総合大学校福祉工学科教授が選任された。また、期間中交替があり、（　）内に委員委嘱期間を記載している。

有澤　千枝　　神奈川障害者職業センター　所長（～平成 25 年３月）
石塚　謙二　　文部科学省特別支援教育課　特別支援教育調査官（～平成 25 年３月）
今田　幸子　　元　独立行政法人労働政策研究･研修機構　特任研究員
岩屋　芳夫　　横浜市視覚障害者福祉協会　会長
遠藤　雅仁　　厚生労働省障害者雇用対策課　障害者雇用促進研究官（平成 25 年 10 月～）
荻原　喜茂　　ＮＰＯ法人全国精神保健福祉会連合会　施策委員（～平成 25 年３月）
金子　鮎子　　ＮＰＯ法人全国精神障害者就労支援事業所連合会　専務理事
黒田　正彦　　厚生労働省障害者雇用対策課　障害者雇用促進研究官（～平成 25 年９月）
（座長）佐藤　　宏　　元　職業能力開発総合大学校福祉工学科教授
嶋崎　尚子　　早稲田大学文学学術院　教授
鈴木　紀善　　ＮＰＯ法人全国精神保健福祉会連合会　事務局長（平成 25 年４月～）
丹野　哲也　　文部科学省特別支援教育課　特別支援教育調査官　　（平成 25 年４月～）
中橋　道紀　　財団法人全日本ろうあ連盟　理事（～平成 24 年９月）
畠山　千蔭　　東京経営者協会　障害者雇用アドバイザー
松崎　伸一　　社会福祉法人全日本手をつなぐ育成会　事業所協議会副委員長
松本　正志　　財団法人全日本ろうあ連盟　理事　（平成 24 年９月～）
望月　春樹　　神奈川障害者職業センター　所長（(平成 25 年８月～）
森　　祐司　　社会福祉法人日本身体障害者団体連合会　常務理事
山科　正寿　　厚生労働省障害福祉課　就労支援専門官

（２）　検討事項

ア　調査研究の企画に関すること
イ　調査実施に関すること
ウ　調査結果の分析、報告資料に関すること
エ　その他、本調査研究の企画運営に関すること

２　研究委員会の開催

研究委員会は下記のとおり開催して検討を行った。また、委員からは研究委員会開催時以外にもご意見、ご協力をいただいた。

（１）　第１回

ア　開催日　平成 24 年５月 28 日

イ　検討事項

(ｱ)　調査研究委員会（第３期）設置要綱等について

(ｲ)　第３回職業生活前期調査について

(ｳ)　第３回調査対象者及び追加募集について

(ｴ)　その他

（２）　第２回

ア　開催日 平成 24 年 11 月５日

イ　検討事項

(ｱ)　第３回職業生活前期調査の実施状況について

(ｲ)　第３回職業生活前期調査（９月末現在）途中集計について

(ｳ)　今後の集計分析について

(ｴ)　その他

（３）　第３回

ア　開催日　平成 25 年３月 18 日

イ　検討事項

(ｱ)　第３回職業生活前期調査の実施状況について

(ｲ)　第３回職業生活前期調査の集計分析結果について

(ｳ)　その他

（４）　第４回

ア　開催日　平成 25 年６月４日

イ　検討事項

(ｱ)　調査結果の分析について

(ｲ)　第３回職業生活後期調査の調査票について

(ｳ)　その他

（５）　第５回

ア　開催日　平成 25 年 11 月 14 日

イ　検討事項

(ｱ)　報告書構成案及び報告書草稿案（一部）について

(ｲ)　第３回職業生活後期調査の集計結果についてその他

(ｳ)　その他

（６）　第６回

ア　開催日　平成 26 年１月 31 日

イ　検討事項

(ｱ)　報告書(案)について

(ｲ)　その他

第４節　第３回前期調査の実施経過

１　調査票の作成

第３回前期調査の調査票は資料編（ｐ223）のとおりである。

第３回前期調査票は基本的に第２回前期調査票と同じである。このため、全調査期間における調査票の考え方、調査票全体の構成、各設問項目とその趣旨、第１回から第８回までの設問項目は資料シリーズNo.50「障害のある労働者の職業サイクルに関する調査研究－第１回職業生活前期調査（平成20年度）」に記載しているので、これらを参照されたい。

以下には、第３回調査における新たな設問、修正した設問について述べる。

（１）　第３回調査において修正した設問

ア　現在通学中の学校（問７）

現在通っている学校についての回答に対する選択肢において、職業能力開発校（職業訓練校）としていたが、一般の職業能力開発校と障害者職業能力開発校に振り分けた。

イ　就業形態（問９）

就業形態についての設問の選択肢において、福祉工場や作業所で働いている人、仕事をしていない人を「就業状況にない人」として一括した選択肢としていたが、自立支援法施行の経過措置期間終了に伴い、就労継続支援事業所Ａ型と、就労継続支援事業所Ｂ型または就労移行支援事業所、地域活動支援センター（福祉作業所）を別の選択肢とし、就業継続支援事業所Ａ型を雇用契約を有する就業として整理した。

ウ　２年間で起きた仕事上の出来事（問18）

第２回後期調査で新たに「上司が異動した」という選択肢を追加したが、第３回前期調査でもそれと同様に「上司が異動した」の選択肢を加えた。

（２）　第３回調査における新たな設問

ア　非就業者の就職活動の希望（問20）

「仕事についていない」人への分岐の設問で就職活動の希望として、「これから就きたいと考えている仕事の働き方」について設問を設けて複数選択による回答を求め、上記イ（問９）の選択肢との対応を図った。

イ　東日本大震災についての自由記述（問31）

平成23年３月11日に発生した東日本大震災について第３期調査で自由記述欄を新たに設けた。

２　調査の実施

（１）調査対象

調査開始時点（第１回調査）での回答者数は423人であったが、第２回調査での調査回答者は340人と、本人の健康上の理由、回答代筆者の都合、あて先不明など理由により調査対象が減少したため、第３期において追加募集を行った。追加募集は、調査開始時点での出生年と同じ年齢層を対象とし、当初協力依頼した団体等からの紹介により本人の同意を得た。追加募集対象者の要件は、出生年以外では男女比や障害別の構

成割合については特段に考慮せず、対象者の協力理解に重点を置き、同意が得られた人を全員を対象とした。

追加募集対象者からの回答結果については、今期に限りそれを含まない継続者のみの回答と、それを含む全体回答をそれぞれ分けて集計（資料編ｐ133 参照）し、本文内での主な分析については継続者のみの回答結果を用いているが、次の第４期調査からは追加募集を含む全体回答結果を分析に用いることとしている。

第３回前期調査の対象者は、全体では 598 人、継続者のみでは 470 人であった。障害別の内訳は表序-2 のとおりである。

表序-２　第３回職業生活前期調査の回収状況

障害区分	調査票発送数		回答数			
		内継続者	合計	回収率	内継続者	回収率
視覚障害	56	54	35	62.5%	33	61.1%
聴覚障害	133	101	79	59.4%	53	52.5%
肢体不自由	104	100	70	67.3%	66	66.0%
内部障害	38	36	23	60.5%	21	58.3%
知的障害	197	129	162	82.2%	104	80.6%
精神障害	70	50	52	74.3%	33	66.0%
計	598	470	421	70.4%	310	66.0%

（２）　調査の時期

ア　調査回答時点　　平成 24 年７月１日

イ　調査票郵送　　平成 24 年７月初旬～中旬

ウ　調査票回収期限　　平成 24 年８月 20 日（期限後に返送のあった回答も集計に含めている）

（３）　調査の方法

第１回調査と同じである。具体的には以下のとおり。

ア　本調査協力に同意のあった人に対し、ＩＤ番号（第１回調査と同じ）を各対象者個人に設定し、アンケート調査票を郵送し、郵送により回答を依頼した。

イ　調査票は紙に印刷したものを基本とし、障害に対応した配慮として、視覚障害への対応として点字によるものと音声読み取り対応の電子ファイルによるもの、知的障害への対応として簡易表現とふりがなを付したもの、上肢障害等により書字による直筆の記載が困難な場合への対応として電子ファイルによるものを作成した。

ウ　セキュリティーについては、個々の調査データは、インターネット接続のない専用パソコンにより本調査の担当者のみが使用すること等により厳重に管理するとともに、回答が記入された調査票、その他調査実施に当たって得られた個人情報の記載された書類については、専用ロッカーに施錠し保管している。

（４）　調査票の回収結果

全体の回答者は 421 人、回収率は 70.4%、継続者のみの回答者は 310 人回収率 66.0%である。障害別の回答者数及び回収率は表序-２のとおり。

なお、回答者 310 人のうち第１回第２回、第３回全ての調査回に回答があったのは 266 人である。

第５節　第３回後期調査の実施経過

1　調査票の作成

第３回後期調査の調査票は資料編（ｐ234）のとおりである。

第３回後期調査票は基本的に第１回後期調査票と同じである。このため、全調査期間における調査票の考え方、調査票全体の構成、各設問項目とその趣旨、第１回から第８回までの設問項目は資料シリーズ No. 54「障害のある労働者の職業サイクルに関する調査研究－第１回職業生活後期調査（平成 21 年度）」に記載しているので、これらを参照されたい。

以下には、第３回調査における新たな設問、修正した設問について述べる。ただし第３回前期調査（前掲ｐ16）ですでに記載し、第３回後期調査でも同様の内容は省略する。

（１）　第３回後期調査における新たな設問

ア　現職の経歴（調査票の問 14）

問 18 の仕事出来事の選択肢に「転職した」を置いていたが、『転職』の概念が人によって多少ばらつきが見られ、問 14 の「現在の会社で仕事を始めた年齢」との整合性が取れるようにし、且つ同事業所内での転籍や出向などの詳細が把握できるように別設問とした。

（２）　第３回後期調査において修正した設問

ア　障害内容の開示（問 15）

設問の主旨をわかりやすくするため、“今の職場の中で”と、“どのような範囲の人に”と設問の文言を付け加えた。

2　調査の実施

（１）調査対象

第３回後期調査でも、前期調査同様の手続きにより追加募集を行った。第３回後期調査の対象者は、全体では 602 人、継続者のみでは 485 人であった。障害別の内訳は表序-3 のとおりである。

（２）調査の時期

ア　調査回答時点　　平成 25 年７月１日

イ　調査票郵送　　平成 25 年７月初旬～中旬

ウ　調査票回収期限　　平成 25 年８月 23 日（期限後に返送のあった回答も集計に含めている）

（３）調査の方法

第３回前期調査と同じ。ｐ17 を参照されたい。

（４）調査票の回収結果

全体の回答者は 414 人、回収率は 68.8％、継続者のみの回答者は 320 人回収率 66.0％である。障害別の回答者数及び回収率は表序-３のとおり。

なお、回答者 310 人のうち第１回第２回、第３回全ての調査回に回答があったのは 246 人である。

表序-３　第３回職業生活後期調査の回収状況

障害区分	調査票発送数		回答数			
		内継続者	合計	回収率	内継続者	回収率
視覚障害	68	66	43	63.2%	42	63.6%
聴覚障害	128	102	80	62.5%	64	62.7%
肢体不自由	151	144	99	65.6%	93	64.6%
内部障害	93	46	77	82.8%	34	73.9%
知的障害	112	92	73	65.2%	58	63.0%
精神障害	50	35	42	84.0%	29	82.9%
計	602	485	414	68.8%	320	66.0%

第６節　集計・分析の枠組

今回の第３回調査までに、職業生活前期調査及び職業生活後期調査それぞれにおいて、一人一人の調査対象者について２年ごとに３回分のパネルデータを蓄積することができた。

これらのデータを活用し、職業生活前期調査及び職業生活後期調査について、次のような枠組で集計・分析を行った。

１　第２回調査と第３回調査の間の２年間の経過－状況の継続と変化－（第Ⅰ、Ⅱ部第１章）

第１回調査、第２回調査での集計を踏まえ、職業及び生活の状況や出来事等について、第２回調査と第３回調査の間の２年間の経過をみるとともに、第２期の調査研究で分析を行った第１回調査と第２回調査の間の経過の状況と比較を行い、異なる傾向や特徴的な動きがないかを検討した。

２　職業サイクルの展開の状況（第Ⅰ、Ⅱ部第２章）

職業サイクルを構成する最も基本的なプロフィールは、①就労しているか就労していないか、②また就労している場合はどのような働き方なのか、すなわち正社員として働いているのか、パート・アルバイト等か、または雇用契約によらない福祉的な就労なのか、であると考えられる。

このため、第１回から第３回までの調査結果を通じて、職業サイクルの基本的な様相である就労形態の継続や変化の状況を概観するとともに、それぞれの局面における生活や仕事の状況、仕事に対する意識、就職活動の状況などについて検証した。

３　総括的な検討と今後の課題（終章）

ライフイベント及び仕事上の出来事について、前期調査と後期調査の第１回から第３回調査のデータにより職業生涯全体を通じた年代別の検討を行うとともに、今後に向けた課題について整理した。

４．障害別の状況

障害者の職業サイクルについて分析するに当たり、障害別の分析は重要な視点である。このため、第Ⅰ部及び第Ⅱ部の第１章において障害別の継続と変化の総括表を掲載するとともに、その基礎となった障害別の集計、及び第３回調査の各調査項目についての障害別の集計を資料編としてまとめた。

５．分析の対象としたデータの構成

分析に当たっては、３回分の調査データを使用し、各回の分析、第１回と第２回の経過、第２回と第３回の経過、第１回から第３回を通じた経過等について検討を行っており、それぞれの目的に応じ、次のような対象者数について集計を行った。

表序-４　前期調査の蓄積データ
（上段：全回答者、下段：うち就労者）

（人）

	第1回	第2回	第3回
各回ごとの回答者数	423＊ 400(94.6%)	340 310(91.2%)	310 278(89.7%)
第1,2回共通の回答者数	327 287(87.8%)		－ －
第2,3回共通の回答者数	－ －	275 233(84.7%)	
第1,2,3回共通の回答者数	266 219(82.3%)		

（注）第1回前期調査資料シリーズNo.50作成時後に21件データが追加されたので、以降調査回継続の回答者数では追加された分も含めて集計している。

表序-５　後期調査の蓄積データ
（上段：全回答者、下段：うち就労者）

（人）

	第1回	第2回	第3回
各回ごとの回答者数	416 397(95.4%)	314 284(90.4%)	320 283(88.4%)
第1,2回共通の回答者数	293 264(90.1%)＊		－ －
第2,3回共通の回答者数	－ －	259 219(84.6%)	
第1,2,3回共通の回答者数	246 207(84.1%)		

（注）第2期報告書P151のL3 「第1回調査及び第２回調査の両方にこれらのいずれかの就業形態を回答した人は272人いた」とあるように、第1回の調査での「非就業」のうち、A型の可能性を加味して就業者を幅広く集計した。選択肢通りでの集計では264となる。

第７節　第１回調査から第３回調査までの間に起きた

障害者の雇用環境に及ぼす社会的要因

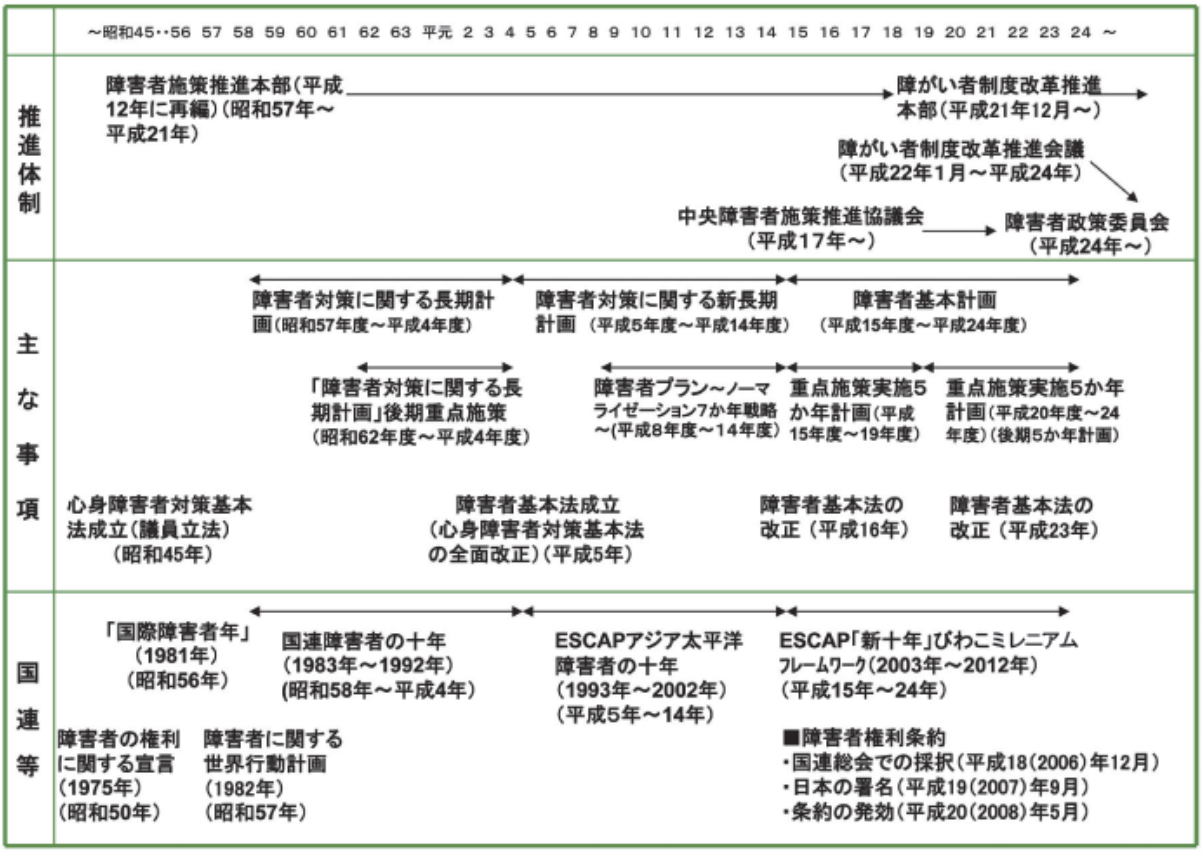
調査の時期の間にあたる平成 20 年度から平成 24 年度(一部 25 年度を含む)における、障害者施策の動向、雇用情勢、雇用状況を以下に述べる

１　障害者施策の動向

平成 20 年度から 24 年度(一部 25 年度を含む)においては、その数年前から障害者の自立、就労支援を図るために数々の法改正や法制定による支援の充実が図られ、働く障害者や雇用する企業に多くの支援が実施されている。以下に主な法改正の状況を記載する。

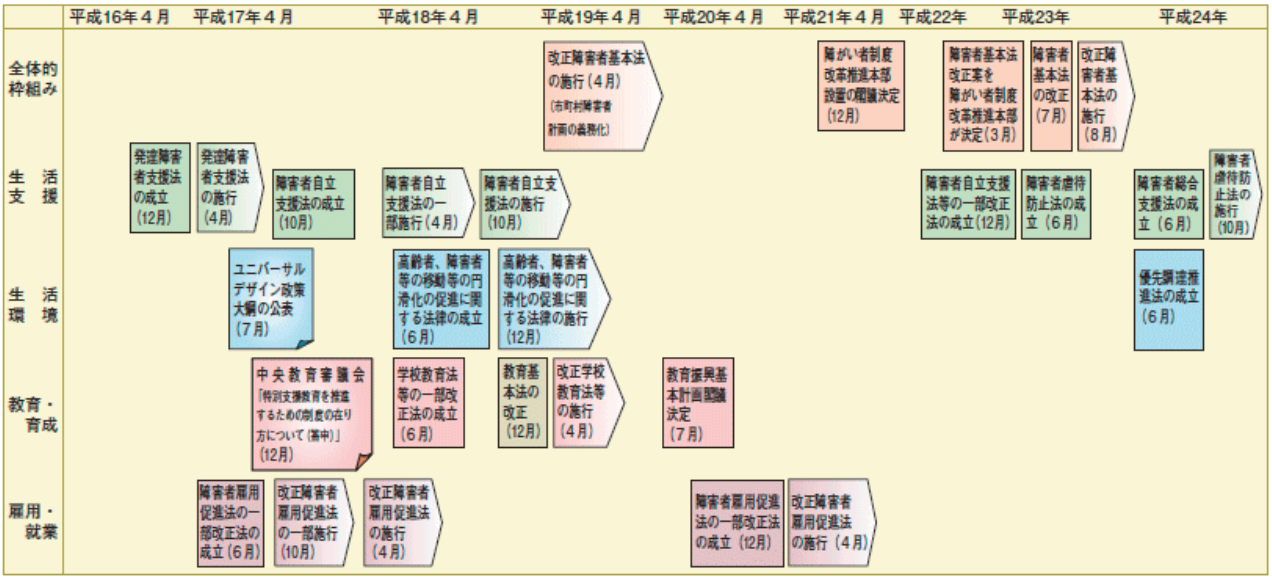
・平成 17 年４月施行　「発達障害者支援法」（平成 16 年 12 月成立）
・平成 18 年４月「障害者の雇用の促進等に関する法律の一部を改正する法律」全面施行（平成 17 年６月成立）（精神障害者の雇用率カウント等）
・平成 18 年 10 月　「障害者自立支援法」全面施行（平成 17 年 10 月成立、平成 18 年４月一部施行）
・平成 18 年 12 月　「教育基本法改正」施行（同月成立）
・平成 18 年 12 月　「障害者権利条約（仮称）」国連総会本会議で採択、我が国は平成 19 年９月に署名
・平成 19 年 12 月　「障害者基本計画」の後期５年間（平成 20 年度～24 年度）の障害者施策の着実な推進を図るための新たな「重点施策実施５か年計画」決定
・平成 18 年 12 月「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」（バリアフリー新法）施行（平成 18 年６月成立）
・平成 19 年６月「学校教育法等の一部を改正する法律」施行（平成 18 年６月成立）
・平成 19 年 12 月「『福祉から雇用へ』推進５か年計画」策定（平成 19 年２月「成長力底上げ戦略」による）
・平成 22 年７月「障害者の雇用の促進等に関する法律の一部を改正する法律」施行（平成 20 年 12 月成立）（障害者雇用納付金制度の適用対象の範囲を 201 人以上に拡大、雇用義務の対象に短時間労働者を追加する等）
・平成 23 年８月「障害者基本法の一部を改正する法律」公布施行(平成 23 年７月成立)（社会的障壁及び障害者の定義の明示、地域社会における共生等、差別の禁止、施策の基本方針、基本的な施策、障害者政策委員会の設置等の規定が整備）
・平成 23 年８月「障害者基本法の一部を改正する法律」施行（平成 23 年７月成立）
・平成 24 年 10 月「障害者虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」施行（平成 23 年６月成立）
・平成 25 年４月（一部、26 年４月）「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」施行(平成 24 年６月成立)

表序-６　　障害者施策の動向



（資料出所）内閣府「平成 25 年版障害者白書」

表序-７　　障害者施策に係る主な関連法令の動向



（資料出所）内閣府「平成 25 年版障害者白書」

2　障害者をとりまく雇用情勢

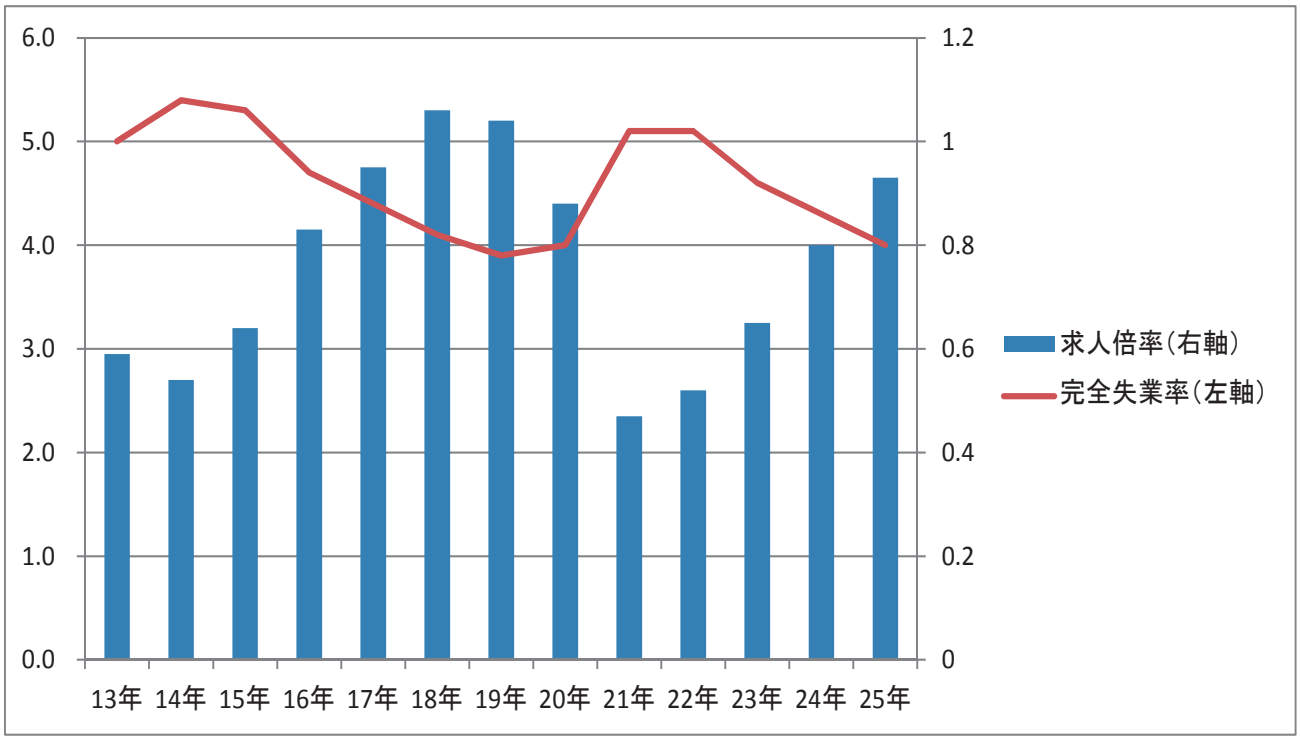
（1）　平成 20 年度から 25 年度までの雇用情勢

平成 21 年の１月に第１回前期調査を実施し、その後同年７月の第１回後期調査以降は、毎年７月に前期調査と後期調査を交互に実施し、平成 25 年７月に第３回後期調査まで終了したところである。

この間の雇用情勢を見ると、本調査開始直前の平成 20 年秋のリーマンショックの影響により、雇用情勢も、完全失業率（季節調整値）が平成 21 年７～９月期に 5.4%まで上昇し、有効求人倍率（季節調整値）も同時期に 0.43 倍と過去最低の水準まで低下した。

その後回復に転じ、平成 23 年３月の東日本大震災の影響から改善に足踏みが見られたが、第３回前期調査を実施した平成 24 年７月には完全失業率が 4.3%、有効求人倍率が 0.77 倍、同後期調査を実施した平成 25 年７月には完全失業率が 3.8%、有効求人倍率が 0.90 倍と、第３期の調査期間である平成 24 年から 25 年にかけては、概ね雇用情勢の改善が続いた時期であった。

(%、倍)



図序-２　完全失業率及び有効求人倍率の推移（年平均）

（2）　障害者雇用への影響

雇用情勢が平成 20 年から平成 21 年に入って急速に悪化する中で、障害者の雇用にも影響が生じた。厚生労働省の調査によると、平成 20 年度におけるハローワークにおける障害者の就職件数は、おおむね前年同期を下回って推移したほか、障害者の解雇数も、平成 20 年度上半期 787 人に対し下半期 1,987 人、21 年度上半期 1,391 人と高い水準で推移した。また、全国社会就労センター協議会が授産施設などの施設を対象に平成21年の１月下旬から２月下旬に行った調査によると、景気後退に伴う影響について「目立った影響がある」と回答した施設・事業所が 65.8%に上り、そのうちの 34.6%が自動車関連の施設・事業所であった（平成 21 年版厚生労働白書より事務局において要約）。

しかしながら、その後、障害者の解雇者数は減少し、平成 19 年度以前とほぼ同水準となった。

表序−８　障害者の解雇数の推移

年度	解雇数		
	年度計	上半期	下半期
平成15年度	1,944	1,003	941
平成16年度	1,603	793	810
平成17年度	1,582	678	904
平成18年度	1,411	666	745
平成19年度	1,523	741	782
平成20年度	2,774	787	1,987
平成21年度	2,354	1,391	963
平成22年度	1,333	586	747
平成23年度	1,253	607	646
平成24年度	1,539	647	892

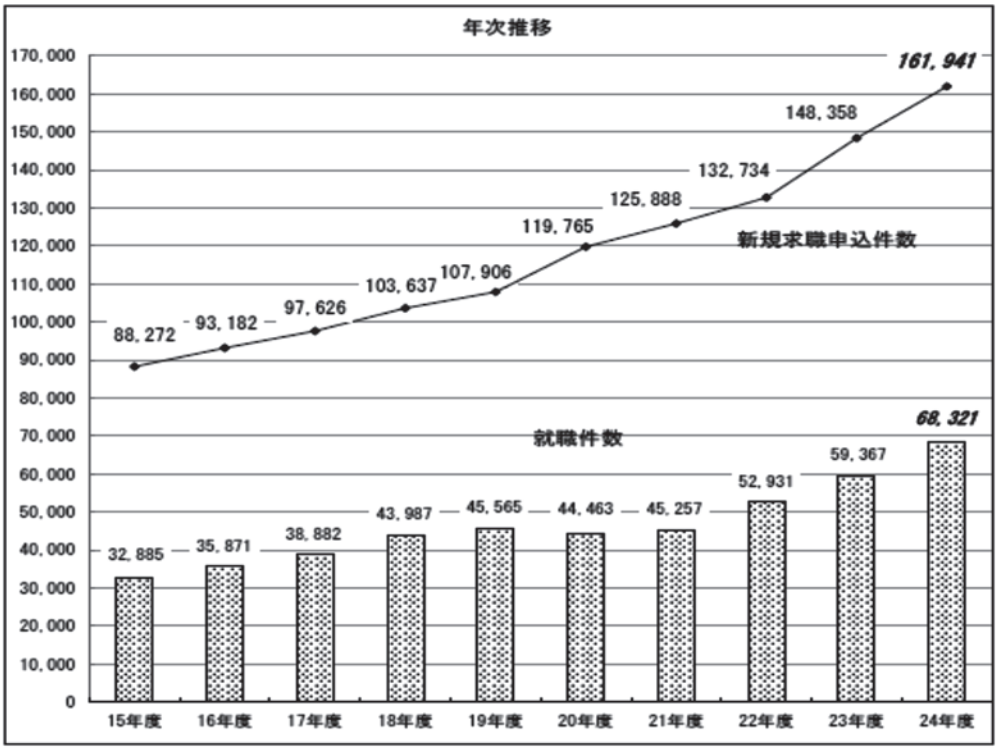
(注)　平成 23 年5月 13 日厚生労働省報道発表資料より

３　障害者の雇用状況

（１）障害者の職業紹介状況

ハローワークを通じた障害者の就職件数は平成 14 年度から平成 19 年度まで前年度を上回り増加していたが、厳しい雇用情勢を反映し、平成 20 年度には 44,463 件と前年度を下回った。しかし、平成 21 年度には 45,257 件と増加し、平成 22 年度については大きく伸び過去最高の 52,931 件（対前年度比 17.0%増）となり、以降、平成 24 年の 68,321 件（同 15.1%増）まで３年連続で過去最高を更新した。また、就職率も平成 24 年度は 42.2%（同 2.2 ポイント増）と、３年連続で上昇した。

一方、新規求職申込件数は、平成 24 年３月末では 161,941 人と依然として多数となっている。



図序-３　ハローワークにおける障害者の就職件数及び新規申込件数

（平成 25 年5月 15 日厚生労働省報道発表資料より）

また、平成 24 年度の新規就職申込件数及び就職件数は、いずれも全ての障害種別で増加しており、特に精神障害者の件数が大きく伸びている。

	新規求職申込件数	対前年度(前年度比)	就職件数	対前年度(前年度比)
身体障害者	68,798 件	1,419 件増(2.1%増)	26,573 件	1,709 件増(6.9%増)
知的障害者	30,224 件	2,476 件増(8.9%増)	16,030 件	1,703 件増(11.9%増)
精神障害者	57,353 件	8,576 件増(17.6%増)	23,861 件	5,016 件増(26.6%増)
その他の障害者	5,566 件	1,112 件増(25.0%増)	1,857 件	526 件増(33.4%増)
合　計	161,941 件	13,583 件増(9.2%増)	68,321 件	8,954 件増(15.1%増)

（平成 25 年５月 15 日厚生労働省報道発表資料より）

(2) 障害者の雇用状況

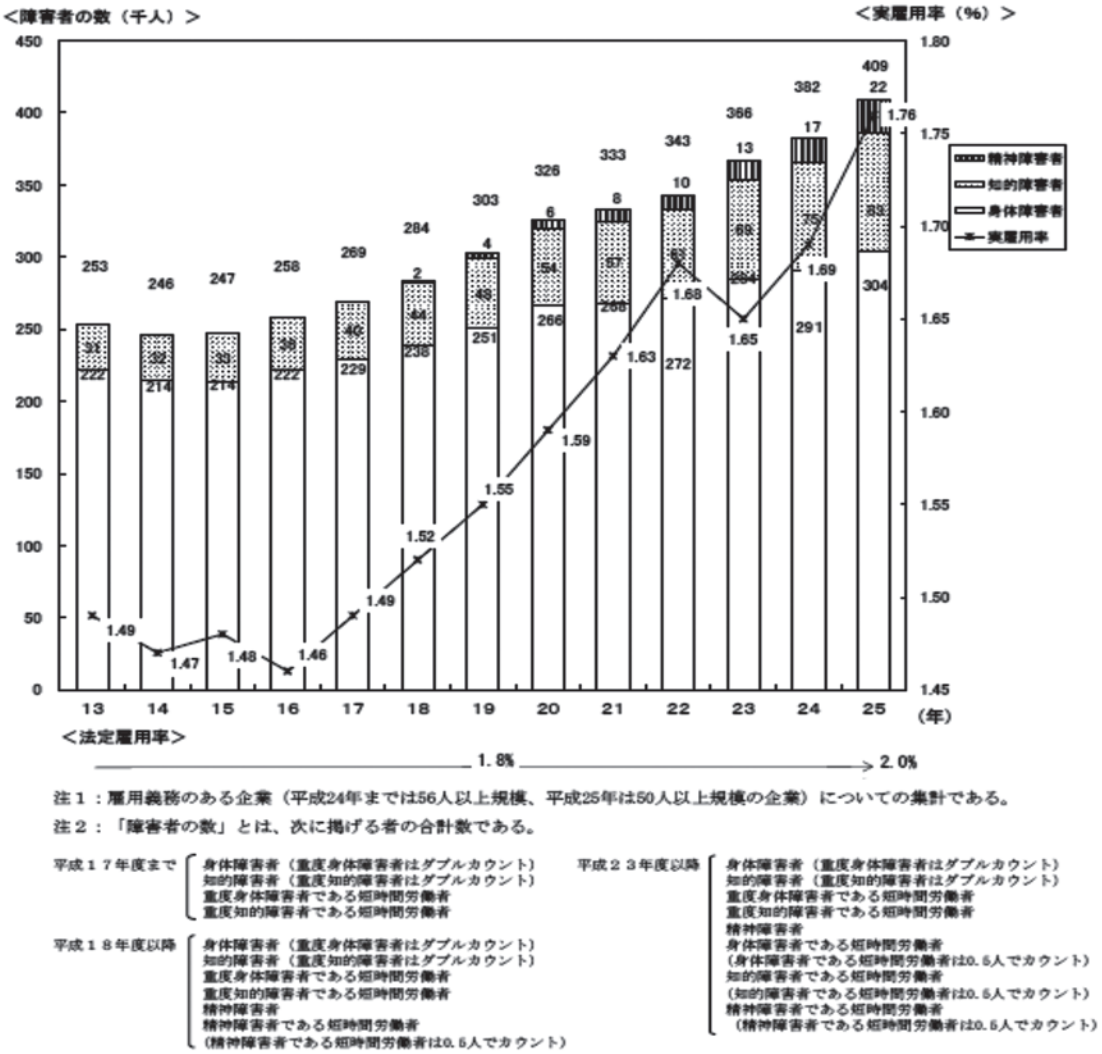
平成 20 年６月１日現在の民間企業の障害者の実雇用率は 1.59%、法定雇用率達成企業の割合は 44.9%であり、その後平成 21 年、平成 22 年と上昇した。

平成 23 年の雇用状況については、実雇用率は、1.65%、法定雇用率達成企業の割合は 45.3%であった。なお、平成 22 年７月に制度改正（短時間労働者の算入、除外率の引き下げ等）があったため、前年の数値と単純に比較することは適当ではないため仮の計算が公表されている。改正前の制度に基づいて計算したとすると 1.75%程度となるものと推計される。

その後、雇用障害者数、実雇用率ともに上昇し、平成 25 年６月１月の実雇用率は 1.76%（対前年比 0.07 ポイント上昇）、法定雇用率達成企業の割合は 42.7%（前年比 4.1 ポイント低下）となった。

なお、法定雇用率は平成 25 年４月１日に改定されている（民間企業の場合は 1.8%→2.0%）。

民間企業（50 人以上規模の企業）に雇用されている障害者の数は 408，947.5 人で、10 年連続で過去最高となった。



図序-4　民間企業における障害者の雇用状況

（平成 25 年 11 月 19 日厚生労働省報道発表資料より）

第Ⅰ部

第3回職業生活前期調査（1968～92年度生まれ）の調査結果

第Ⅰ部　第３回職業生活前期調査（1968-92 年度生まれ）の調査結果

調査の集計結果を以下の構成によりとりまとめた。

第１章　第２回調査と第３回調査の間の２年間の経過－状況の継続と変化－

第３回職業生活前期調査で回答のあった 310 人のうち第２回調査にも回答のあったのは 275 人である。これら 275 人の第２回調査と第３回調査の同一設問についての回答を比較し、継続と変化を見た。そして＜第１回調査と第２回調査での同様の結果＞を参照しながら解説している。

第２章　職業サイクルの展開の状況

第１回から第３回までを通して全ての回に回答のあった 266 人を対象とし、就業形態の経過についてパターンに分けて分析を行った。

＜回答者の属性＞

集計の対象とした 310 人の属性は次のとおりである。

人（%）

	男性	女性	計
全体	199 (64.2)	111 (35.8)	310 (100.0)
視覚障害	18 (54.5)	15 (45.5)	33 (100.0)
聴覚障害	28 (52.8)	25 (47.2)	53 (100.0)
肢体不自由	46 (69.7)	20 (30.3)	66 (100.0)
内部障害	15 (71.4)	6 (28.6)	21 (100.0)
知的障害	69 (66.3)	35 (33.7)	104 (100.0)
精神障害	23 (69.7)	10 (30.3)	33 (100.0)

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	計
全体		108 (34.8)	137 (44.2)	65 (21.0)	310 (100.0)
視覚障害		5 (15.2)	19 (57.6)	9 (27.3)	33 (100.0)
聴覚障害		14 (26.4)	26 (49.1)	13 (24.5)	53 (100.0)
肢体不自由		21 (31.8)	26 (39.4)	19 (28.8)	66 (100.0)
内部障害		2 (9.5)	10 (47.6)	9 (42.9)	21 (100.0)
知的障害		65 (62.5)	32 (30.8)	7 (6.7)	104 (100.0)
精神障害		1 (3.0)	24 (72.7)	8 (24.2)	33 (100.0)

第１章　第２回調査と第３回調査の間の２年間の経過

―状況の継続と変化―

第２回調査と第３回調査の間の２年間の経過について、第１回調査と第２回調査の間の経過と比較しつつみていくこととする。

なお、第２回調査、第３回調査ともに回答したのは 275 人、第１回調査、第２回調査ともに回答したのは 327 人であり、これらの回答者について分析を行った。（障害別の詳細等は、資料編参照）

第１節　障害状況

１．障害者手帳の所持状況

障害者手帳の所持状況について、第２回調査と第３回調査の間の経過をみると、変化ありと回答したのは集計対象者 275 人中３人（1.1%）であり、その内容を見ると、「手帳なし」から「療育手帳」、「身体障害者手帳」から「身体障害者手帳と療育手帳」、「療育手帳と精神障害者保健福祉手帳」から「身体障害者手帳と療育手帳と精神障害者保健福祉手帳」となっている。残りの 272 人（98.9%）においては変化がなく、その主なものは、「身体障害者手帳」143 人、「療育手帳」82 人、「精神障害者保健福祉手帳」27 人となっており、第１回調査と第２回調査の間の経過と比較して、大きな違いはみられない。

＜第１回調査と第２回調査の間の経過は、２回とも回答のあった 327 人のうち、変化ありと回答したのは５人（1.5%）、322 人（98.5%）については変化がなかった。＞

なお、いずれかの回の調査において「無回答」の人は変化をみる際に除いているため、集計対象者数と変化なしの差が変化ありの人数とは限らない（以下同じ）。

表Ⅰ-1-1　障害者手帳の所持状況

（人）

		第３回									計
		身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者保健福祉手帳	身体障害者手帳と療育手帳	身体障害者手帳と精神障害者保健福祉手帳	療育手帳と精神障害者保健福祉手帳	身体障害者手帳と療育手帳と精神障害者保健福祉手帳	手帳なし	無回答	
第２回	身体障害者手帳	143			1						144
	療育手帳		82								82
	精神障害者保健福祉手帳			27							27
	身体障害者手帳と療育手帳				14						14
	身体障害者手帳と精神障害者保健福祉手帳					2					2
	療育手帳と精神障害者保健福祉手帳						2	1			3
	手帳なし		1						2		3
	無回答										
		136	82	28	14	2	1	1	2		275

（注1）第2回調査の回答と第３回調査の回答をクロス集計したものである。

２．障害者手帳の等級の状況

手帳の等級について、第２回調査と第３回調査の間の経過をみると、手帳等級が変化した人は、３種類の手帳とも該当者がなかった。

＜第１回調査と第２回調査の間の経過は、２回とも回答のあった 327 人のうち、身体障害者手帳を持っている 198 人のうち変化なしが 181 人（91.4%）、療育手帳を持っている 107 人のうち変化なしが 97 人（90.7%）、精神障害者福祉手帳を持っている 32 人のうち変化なしが 29 人（90.6%）であった。＞

第１回調査と第２回調査の間の経過においては、手帳等級の変化なしの割合が各手帳とも 90%程度であり等級が変化したケースがあったことと比べると、第２回と第３回では変化ありの回答がなく異なる経過となっている。その要因の一つとして、第１回、第２回の回答者が 327 人であったのに対し、第２回、第３回の回答者が 275 人と 84%に減少しており、調査への協力辞退の理由をみると、「健康上の理由により回答の負担が大きくなった」等の理由がみられ、辞退者の中に障害重度化等のケースが含まれている可能性もある点に留意する必要がある。

また、障害が重複となった人は、２人だった。

表Ⅰ-1-2　第2回調査と第3回調査の間で障害が重度になった人、重複になった人の状況

（人）

第2回調査から第3回調査の重複化の状況		人数
重複になった人	肢体　→肢体と知的	1
	知的と精神　→知的と精神と肢体	1

（注）調査間で障害が重複したか否かについては、障害名の記載に併せて、手帳新規取得の状況から判断して計上している。

第２節　家族状況及び住居環境

１　家族構成の状況（配偶者、子ども）

第２回調査と第３回調査に回答のあった275人のうち、第２回と第３回の回答で、変化なしが253人(92.0%)、変化ありが22人（8.0%）となっている。

＜第１回調査と第２回調査の間の経過は、２回とも回答のあった327人のうち、変化なしが313人（95.7%)、変化ありが14人（4.3%）であった。＞

変化ありの主なものは、「配偶者あり・子どもなし」から「配偶者あり・子どもあり」への移行が８人、「配偶者なし・子どもなし」から「配偶者あり・子どもなし」への移行が８人となっており家族形成の方向での変化の事例が多くなっている。

障害別には聴覚障害者で、「子どもなし」から「子どもあり」となった者が６人と聴覚障害者43人のうち14.0%を占めており、他の障害に比べ高い割合となっている。

表Ⅰ-1-3　家族構成の状況:配偶者、子どもの有無

（人）

			第３回				計
			配偶者あり		配偶者なし		
			子どもあり	子どもなし	子どもあり	子どもなし	
第２回	配偶者あり	子どもあり	11			2	13
		子どもなし	8	15		2	25
	配偶者なし	子どもあり					
		子どもなし	2	8		227	237
計			21	23		231	275

（注）「配偶者あり」は選択肢の配偶者に○があったもの、「配偶者なし」は○がなかったもの。子どもについても同じ。

表Ⅰ-1-4　同居家族の変化の状況（障害別）

（人）

	計		変化なし				変化あり					
					配偶者なし、子どもなし				配偶者なしからありへの変化		子どもなしからありへの変化	
全体	275	100.0%	253	92.0%	227	82.5%	20	7.3%	10	3.6%	10	3.6%
視覚障害	26	100.0%	24	92.3%	19	73.1%	2	7.7%			2	7.7%
聴覚障害	43	100.0%	33	76.7%	26	60.5%	10	23.3%	4	9.3%	6	14.0%
肢体不自由	60	100.0%	59	98.3%	53	88.3%	1	1.7%	1	1.7%		
内部障害	20	100.0%	19	95.0%	14	70.0%	1	5.0%	1	5.0%		
知的障害	94	100.0%	94	100.0%	92	97.9%						
精神障害	32	100.0%	24	75.0%	23	71.9%	6	18.8%	4	12.5%	2	6.3%

(注)障害別集計は資料編参照以下本章において同じ

２．同居の家族の状況

同居の家族の状況について、第２回調査と第３回調査の間の経過を見ると、変化なしが 232 人（84.4%）、変化ありが 27 人（9.8%）となっている。変化なしの主なものは「父母との同居（配偶者とは同居していない）」162 人であり、変化なしの約７割を占めている。

また、「一人暮らし」の状況をみると、「変化なし」が 21 人、「一人暮らしとなった」人が７人、「一人暮らしから配偶者や父母との同居となった」人が７人となっており、第１回から第２回の経過に比べ、「一人暮らし」から「配偶者を含む家族との同居」や「父母との同居」となったケースが多く見られた。

＜第１回調査と第２回調査の間の一人暮らしの状況は、２回とも一人暮らしで変化のなかった人が 28 人、一人暮らしとなった人が８人、一人暮らしでなくなった人が１人であった。＞

障害別にみると、どの障害においても変化なしの主な形態は父母との同居となっている。また、変化ありの状況をみると、精神障害において変化ありが 11 人（34.4%）と他の障害に比べ高く、「配偶者を含む家族との同居」から「父母との同居」への移行のケースが多かった。

表Ⅰ-1-5　同居の家族

（人）

		第3回						計
		一人暮らし	配偶者を含む家族との同居	父母との同居（配偶者とは同居していない）	その他の家族との同居	グループホーム等	その他・無回答	
第２回	一人暮らし	21	4	3			2	30
	配偶者を含む家族との同居	1	31	5			1	38
	父母との同居（配偶者とは同居していない）	5	4	162			1	172
	その他の家族との同居			3	1			4
	グループホーム等	1		1		17		19
	その他・無回答	1	1	6			4	12
計		29	40	180	1	17	8	275

（注）　配偶者うち父母（1人）、配偶者の父母（1人）とも同居している人は配偶者の中に区分している。その他の家族等は、友人や同棲中、兄弟、祖父母、配偶者の父母などを含む。

表Ⅰ-1-6　同居の家族の変化の状況（障害別）

（人）

	計		変化なし				変化あり		その他・無回答	
					父母との同居					
全体	275	100.0%	232	84.4%	162	58.9%	27	9.8%	16	5.8%
視覚障害	26	100.0%	23	88.5%	9	34.6%	1	3.8%	2	7.7%
聴覚障害	43	100.0%	34	79.1%	19	44.2%	7	16.3%	2	4.7%
肢体不自由	60	100.0%	55	91.7%	44	73.3%	2	3.3%	3	5.0%
内部障害	20	100.0%	18	90.0%	9	45.0%	1	5.0%	1	5.0%
知的障害	94	100.0%	87	92.6%	69	73.4%	5	5.3%	2	2.1%
精神障害	32	100.0%	15	46.9%	12	37.5%	11	34.4%	6	18.8%

第３節　就業状況

１　就業形態の状況

就業形態について、第２回調査と第３回調査の間の経過を見ると、回答者 275 人のうち変化なしが 214 人（77.8%）、変化あり 60 人（同 21.8%）となっている。

＜第１回調査と第２回調査の間の経過は、回答者 327 人のうち、変化なしが 270 人(82.0%)、変化ありが 54 人（16.5%）であった。＞

就業形態別に見ると、第２回から第３回までの２年間では、「パート・アルバイト、嘱託、契約社員など」（以下、本報告書では「パート・アルバイト」と表記する。）が 124 人から 106 人に減少する一方、「正社員」が 124 人から 126 人に、「福祉工場や作業所」（第３回では就労継続支援Ｂ型等）が８人から９人に増加した。

障害別にみると、変化ありが全体では 21.8%に対し、精神障害では 53.1%と就業形態が変化した人の割合が高かった。また、変化なしの主な就業形態は、身体障害では正社員、知的障害及び精神障害ではパート・アルバイトであった。

表Ⅰ-1-7 就業形態の状況

（人）

		第3回								計
		正社員	パート・アルバイト	派遣	自営	就労継続支援A型	就労継続支援B型等	仕事をしていない	無回答	
第2回	正社員	111	6			2		5		124
	パート･アルバイト	11	93	1	1	6	3	9		124
	派遣		1					1		2
	自営				1					1
	福祉工場や作業所		1			4	3			8
	仕事をしていない	4	5			1	3	2	1	16
計		126	106	1	2	13	9	17	1	275

（注）第２回調査の選択肢「福祉工場や作業所」は、第３回調査で「就労継続支援Ａ型」、「就労継続支援Ｂ型」に変更した。

表Ⅰ-1-8　就業形態の変化の状況（障害別）

（人）

	計		変化なし		変化あり		その他・無回答		備考					
									主な変化なし			主な変化		
全体	275	100.0%	214	77.8%	60	21.8%	1	0.4%	正社員	111	40.4%	パ→仕事しない	11	4%
視覚障害	26	100.0%	20	76.9%	6	23.1%			正社員	16	61.5%	－		
聴覚障害	43	100.0%	38	88.4%	5	11.6%			正社員	26	60.5%	－		
肢体不自由	60	100.0%	50	83.3%	10	16.7%			正社員	31	51.7%	－		
内部障害	20	100.0%	18	90.0%	2	10.0%			正社員	15	75.0%	－		
知的障害	94	100.0%	73	77.7%	20	21.3%	1	1.1%	パート･アルバイト	52	55.3%	パ→正	6	6%
精神障害	32	100.0%	15	46.9%	17	53.1%			パート･アルバイト	8	25.0%	パ→仕事しない	6	19%

第４節　仕事内容等

１　仕事内容の状況

第２回調査と第３回調査で就業中と回答した 233 人について、第２回と第３回の回答を比較すると、変化なしが 183 人（78.5%）、変化ありが 38 人（16.3%）となっている。

＜第１回調査と第２回調査の間の経過は、回答者 286 人のうち、変化なしが 233 人(81.5%)、変化あり 41 人（14.3%）であった。＞

仕事内容別に見ると、「ものを作る仕事」が 58 人から 62 人に増加し、「事務の仕事」が 83 人から 79 人に減少した。

障害別にみると、視覚障害では全員が仕事内容に変化がなく、一方、知的障害及び精神障害においては仕事内容が変化した人の割合が他の障害に比べ高かった。また、変化なしの場合の主な仕事内容は、視覚障害が「医療や福祉に関わる仕事」、その他の身体障害が「事務の仕事」、知的障害と精神障害では「ものを作る仕事」が多かった。

表Ⅰ-1-9　仕事内容の状況

（人）

		第３回									
		ものを作る仕事	ものを売る仕事	事務の仕事	ものを　教える仕事	医療や福祉に関わる仕事	人を相手にするサービス業	清掃やクリーニングなどのサービス業	その他	無回答	計
第２回	ものを作る仕事	51	1	3				1	2		58
	ものを売る仕事	1	5				3	1		1	11
	事務の仕事	3	1	74			2		1	2	83
	ものを教える仕事				5						5
	医療や福祉に関わる仕事		1			17					18
	人を相手にするサービス業		4				3				7
	清掃やクリーニングなどのサービス業	3	3			1		26	1		34
	その他	2	2	1		1			2	1	9
	無回答	2		1				2	3		8
計		62	17	79	5	19	8	30	9	4	233

（注）就業形態が、第２回調査において「正社員」、「パート・アルバイト」、「派遣」、「自営」のいずれか回答があり、かつ、第３回調査においてこれらの形態と「就労継続Ａ型」のいずれに回答があった233人について集計した。
以下、表19まで同じ。

表Ⅰ-1-10 仕事内容の変化の状況（障害別）

（人）

	計		変化なし		変化あり		その他・無回答		備考			
									主な変化なし			主な変化
全体	233	100.0%	183	78.5%	38	16.3%	12	5.2%	事務	111	47.6%	－
視覚障害	22	100.0%	22	100.0%					医療や福祉	16	72.7%	－
聴覚障害	37	100.0%	32	86.5%	4	10.8%	1	2.7%	事務	26	70.3%	－
肢体不自由	52	100.0%	47	90.4%	3	5.8%	2	3.8%	事務	31	59.6%	－
内部障害	18	100.0%	17	94.4%	1	5.6%			事務	15	83.3%	－
知的障害	84	100.0%	56	66.7%	20	23.8%	8	9.5%	ものを作る	52	61.9%	－
精神障害	20	100.0%	9	45.0%	10	50.0%	1	5.0%	ものを作る	8	40.0%	－

２　勤務時間の状況

第２回調査と第３回調査で就業中の回答者 233 人について、第２回と第３回の回答を比較すると、変化なしが 177 人（76.0%）、変化ありが 43 人（18.5%）となっている。

＜第１回調査と第２回調査の間の変化は、回答者 286 人のうち、変化なしが 221 人(77.3%)、変化ありが 53 人（18.5%）であった＞。

勤務時間の区分別に見ると、「30 時間以上」が 163 人から 158 人に減少し、「20 時間以上 30 時間未満」、「20 時間未満」がそれぞれ 50 人から 56 人、12 人から 13 人に増加した。

障害別にみると、いずれの障害においても変化なしの主な区分は 30 時間以上であった。また、変化ありは知的障害と精神障害において他の障害に比べ高く、変化の方向では、聴覚障害と知的障害では減少の方向に、精神障害では増加の方向への変化が比較的多かった。精神障害の勤務時間の増加については、職場への適応状況をみつつ勤務時間を延ばしていく雇用管理上の配慮などが背景として考えられる。

表Ⅰ-1-11　勤務時間の状況

（人）

		第３回				計
		20時間未満	20時間以上30時間未満	30時間以上（フルタイム）	無回答	
第２回	20時間未満	4	4	4		12
	20時間以上30時間未満	5	34	10	1	50
	30時間以上（フルタイム）	4	16	139	4	163
	無回答		2	5	1	8
計		13	56	158	6	233

表Ⅰ-1-12　勤務時間の変化の状況（障害別）

（人）

	計		変化なし		変化あり				その他・無回答		備考			
					増加		減少				主な変化なし			主な変化
全体	233	100.0%	177	76.0%	18	7.7%	25	10.7%	12	5.2%	30時間以上	139	59.7%	30以上→20～30
視覚障害	22	100.0%	20	90.9%	1	4.5%			1	4.5%	30時間以上	18	81.8%	－
聴覚障害	37	100.0%	27	73.0%	1	2.7%	7	18.9%	2	5.4%	30時間以上	25	67.6%	30以上→20～30、20未満
肢体不自由	52	100.0%	47	90.4%	2	3.8%	2	3.8%	1	1.9%	30時間以上	39	75.0%	－
内部障害	18	100.0%	16	88.9%	1	5.6%	1	5.6%			30時間以上	15	83.3%	－
知的障害	84	100.0%	55	65.5%	10	11.9%	13	15.5%	6	7.1%	30時間以上	32	38.1%	30以上→20～30
精神障害	20	100.0%	12	60.0%	3	15.0%	2	10.0%	3	15.0%	30時間以上	10	50.0%	20～30→30以上

3　休日の状況

第２回調査と第３回調査で就業中の回答者 233 人について、第２回と第３回の回答を比較すると、変化なしが 164 人（70.4%）、変化ありが 58 人（24.9%）となっている。

＜第１回調査と第２回調査の間の変化は、回答者 286 人のうち、変化なしが 198 人(69.2%)、変化ありが 77 人（26.9%）であった。＞

休日数ごとに見ると、２日が 173 人から 178 人に増加し、それ以外の数は減少している。

障害別に見ると、いずれの障害においても週休２日の割合が７割から９割と高くなっている。また、変化ありは知的障害及び精神障害において比較的割合が高く、変化の方向は知的障害においては増減がほぼ同水準であるのに対し、精神障害においては減少の割合が高かった。

表Ⅰ-1-13　１週間当たり休日数の状況

（人）

		第３回						計
		1日	2日	3日	4日以上	不定期	無回答	
第２回	1日	7	5		2			14
	2日	3	145	3	15	4	3	173
	3日		9	7			1	17
	4日以上		13	1	4			18
	不定期		3			1		4
	無回答	1	3		1		2	7
計		11	178	11	22	5	6	233

表Ⅰ-1-14 休日数の変化の状況(障害別)

（人）

	計		変化なし		変化あり						不明		備考			
					増加		減少		その他*				主な変化なし		主な変化	
計	233	100.0%	164	70.4%	25	10.7%	26	11.2%	7	3.0%	11	4.7%	2日	145	2日→4日以上	15
視覚障害	22	100.0%	16	72.7%	4	18.2%			1	4.5%	1	4.5%	2日	15	－	
聴覚障害	37	100.0%	29	78.4%	3	8.1%	1	2.7%	2	5.4%	2	5.4%	2日	27	－	
肢体不自由	52	100.0%	39	75.0%	3	5.8%	7	13.5%	1	1.9%	2	3.8%	2日	34	4日以上→2日	5
内部障害	18	100.0%	15	83.3%	1	5.6%	2	11.1%					2日	14	－	
知的障害	84	100.0%	55	65.5%	12	14.3%	11	13.1%	1	1.2%	5	6.0%	2日	45	2日→4日以上	9
精神障害	20	100.0%	10	50.0%	2	10.0%	5	25.0%	2	10.0%	1	5.0%	2日	10	－	

(注)その他は選択肢のうち「不定期」から、または「不定期」への変化のもの。

４　給与額の状況

第２回と第３回の調査で就業中の回答者 233 人について、第２回と第３回の回答を比較すると、変化なしが 176 人（75.5%）、変化ありが 49 人（21.0%）となっている。

＜第１回調査と第２回調査の間の変化は、回答者 286 人のうち、変化なしが 224 人(78.3%)、変化ありが 58 人（20.3%）であった＞。

給与額の区分ごとに見ると、「13 万円以上 25 万円未満」が増加し、「７万円未満」と「７万円以上 13 万円未満」が減少している。

障害別にみると、変化なしの主な給与区分は、身体障害においては「13 万円以上 25 万円未満」、知的障害及び精神障害においては「７万円以上 13 万円未満」となっている。変化ありは内部障害及び精神障害において比較的割合が高く、変化の方向は内部障害では増加が減少を上回り、精神障害が増減同数であった。また、肢体不自由と知的障害においては増加が減少を大きく上回っている。

表Ⅰ-1-15　1ヶ月当たりの給与額の状況

（人）

		第３回						計
		7万円未満	7万円以上13万円未満	13万円以上25万円未満	25万円以上40万円未満	40万円以上	無回答	
第2回	7万円未満	19	9				1	29
	7万円以上13万円未満	5	76	18			2	101
	13万円以上25万円未満		8	74	4	1	3	90
	25万円以上40万円未満			4	6			10
	40万円以上					1		1
	無回答			1			1	2
計		24	93	97	10	2	7	233

表Ⅰ-1-16　給与額の変化の状況（障害別）

（人）

	計		変化なし		変化あり				無回答		備考	
					増加		減少				主な変化なし	主な変化
全体	233	100.0%	176	75.5%	32	13.7%	17	7.3%	8	3.4%	13万円～25万円	7万円～13万円→13万円～25万円
視覚障害	22	100.0%	20	90.9%	2	9.1%					13万円～25万円 25万円～40万円	－
聴覚障害	37	100.0%	25	67.6%	4	10.8%	5	13.5%	3	8.1%	13万円～25万円	－
肢体不自由	52	100.0%	40	76.9%	8	15.4%	1	1.9%	3	5.8%	13万円～25万円	7万円～13万円→13万円～25万円
内部障害	18	100.0%	13	72.2%	3	16.7%	2	11.1%			13万円～25万円	－
知的障害	84	100.0%	67	79.8%	11	13.1%	5	6.0%	1	1.2%	７万円～13万円	－
精神障害	20	100.0%	11	55.0%	4	20.0%	4	20.0%	1	0.05	７万円～13万円	－

第５節　　ライフイベント

ライフイベントについて、第２回調査と第３回調査の回答について比較した。

本人に関する出来事としては、「引越しをした」がいずれの回も最も多く、次いで「本人の入院」、「子どもが産まれた」が続いている。一方、「結婚」、「親元からの独立」、「障害に関する年金の受給開始」については、第３回調査においては第２回調査より減少している。これは他の項目に比べ、一生のうちに起こる回数が限定的であることも関連していると考えられる。

また、「親の離職」、「家族の入院や死亡」など、本人以外の家族に関する出来事についても、両調査回において一定程度の回答がみられる。

障害別にみると、聴覚障害において「結婚」、「子どもが生まれた」、「引越し」の割合が相対的に高く、家族形成が進んでいることが窺われる。また、内部障害では「親の離職」や「家族の入院」など家族に関する出来事があった事例が多かった。

表Ⅰ-1-17　ライフイベント

（人）

	自分が結婚をした	自分が離婚をした	自分が子どもを生んだ（子どもが生まれた）	自分が引越をした	自分が親元から離れて暮し始めた	自分が病気や事故で一カ月以上の入院をした	自分が学校に通ったまたは卒業した	自分の障害に関する年金を受給しはじめた	自分の障害に関する年金の受給がなくなった	自分の親が離婚をした	自分の親が仕事を辞めた	家族が病気や事故で一カ月以上の入院をした	家族が亡くなった	該当する項目なし	無回答	対象者
視覚障害			3 9.1%	7 21.2%	1 3.0%		2 6.1%			1 3.0%	2 6.1%	1 3.0%		20 60.6%		33 100.0%
聴覚障害	4 7.5%	1 1.9%	6 11.3%	10 18.9%	2 3.8%	4 7.5%	2 3.8%	1 1.9%	1 1.9%			2 3.8%	1 1.9%	28 52.8%	4 7.5%	53 100.0%
肢体不自由	1 1.5%	1 1.5%		6 9.1%	2	4 6.1%			1		3 4.5%	3 4.5%	5 7.6%	40 60.6%	6 9.1%	66 100.0%
内部障害	1 4.8%		1 4.8%	3			1 4.8%				3 14.3%	2 9.5%	2 9.5%	10 47.6%	2 9.5%	21 100.0%
知的障害				1 1.0%	1 1.0%	2 1.9%		4 3.8%		1 1.0%	6 5.8%	5 4.8%	4 3.8%	73 70.2%	13 12.5%	104 100.0%
精神障害				4 12.1%		1 3.0%	1 3.0%				2 6.1%	2 6.1%	1 3.0%	22 66.7%	2 6.1%	33 100.0%
計	6 1.9%	2 0.6%	10 3.2%	31 10.0%	6 1.9%	11 3.5%	6 1.9%	5 1.6%	2 0.6%	2 0.6%	16 5.2%	15 4.8%	13 4.2%	193 62.3%	27 8.7%	310 100.0%

第2回計	18 5.3%	3 0.9%	9 2.6%	42 12.4%	14 4.1%	13 3.8%	8 2.4%	23 6.8%	1 0.3%		15 4.4%	18 5.3%	15 4.4%	201 59.1%		340 100.0%

（注）ライフイベントについては、第２回調査において新たに質問が設定された。第３回で回答のあった全ての人 310 人の回答について集計し、第２回調査の 340 人の結果と比較。

第６節　仕事上の出来事

１　全体の状況

仕事上の出来事について、第２回調査と第３回調査の回答を比較した。

「該当する項目なし」と「無回答」を除くと、第２回調査では約５割、第３回調査では約７割の人において何等かの仕事上の出来事があった。

個別の項目をみると、両調査回とも「給料が上がった」、「配置転換があった」、「上司が移動した」（第３回のみ）の割合が比較的高くなっているが、一方、「給料が下がった」、「まわりで援助してくれる人がいなくなった」等の回答も一定数見られる。また、「転職をした」、「休職をした」についても、両調査回において５％前後の水準となっている。

障害別にみると、各障害とも、「給料が上がった」との回答が出来事の項目の中で最も多く、３割から４割弱を占めている。また、「上司が異動した」についても、各障害において２割から３割程度の割合で見られる。一方、「配置転換があった」は内部障害、聴覚障害、肢体不自由において、「給料が下がった」は視覚障害において相対的に割合が高かった。なお、これらの障害別の状況については第２回調査においても同様の傾向が見られた。

表Ⅰ-1-18　仕事上の出来事　（人）

	配置転換があった	上司が異動した	まわりで直接仕事などを援助してくれる人がいなくなった	昇進した	給料が上がった	給料が下がった	正社員になった	休職をした	転職をした	勤めていた会社が倒産した	該当する項目なし	無回答	対象者（注）
視覚障害	3 10.3%	8 27.6%	1 3.4%	2 6.9%	9 31.0%	6 20.7%	1 3.4%				10 34.5%		29 100.0%
聴覚障害	13 26.5%	9 18.4%		1 2.0%	19 38.8%	5 10.2%	2 4.1%	3 6.1%	3 6.1%		7 14.3%	3 6.1%	49 100.0%
肢体不自由	12 19.7%	16 26.2%	3 4.9%		23 37.7%	4 6.6%	1 1.6%	4 6.6%	3 4.9%		14 23.0%	5 8.2%	61 100.0%
内部障害	7 35.0%	4 20.0%	1 5.0%	2 10.0%	7 35.0%	1 5.0%		2 10.0%	1 5.0%		4 20.0%	1 5.0%	20 100.0%
知的障害	10 10.5%	26 27.4%	11 11.6%		26 27.4%	7 7.4%		2 2.1%	3 3.2%	1 1.1%	7 7.4%	24 25.3%	95 100.0%
精神障害	2 8.3%	7 29.2%	2 8.3%	1 4.2%	9 37.5%	2 8.3%	1 4.2%	1 4.2%	2 8.3%		6 25.0%		24 100.0%
第3回計	47 16.9%	70 25.2%	18 6.5%	6 2.2%	93 33.5%	25 9.0%	5 1.8%	12 4.3%	12 4.3%	1 0.4%	48 17.3%	33 11.9%	278 100.0%
第2回計	60 19.4%		18 5.8%	15 4.8%	105 33.9%	24 7.7%	6 1.9%	14 4.5%	13 4.2%	1 0.3%	105 33.9%	48 15.5%	310 100.0%

（注）仕事の出来事については、第２回調査において新たに質問が設定された。第３回で回答のあった就労中（雇用契約あり）の人 275 人の回答について集計し、第２回調査の就労中（同）の 308 人の結果と比較。

2　個別の出来事についての検討

個々の仕事上の出来事は、他の出来事や生活、就労に関する状況、労働者の仕事に関する満足度や継続意思等の意識と相互に関係しながら、職業サイクルの展開に影響を与えていると想定される。

具体的には、配置転換や昇進、給料の増減など、事業主による雇用管理上の出来事は、就労の状況を直接変化させるとともに、労働者の満足度や就労継続意思などの意識面に影響し、また、それらの就労に関する意識が、転職などの本人の行動を契機とした出来事に影響するといったことが想定される。

そこで、仕事上の出来事のうち、回答数の多い「配置転換」及び「給料が上がった」について、その前後で就労の状況や意識面にどのような変化が見られるかについて見ていくこととする。

なお、仕事上の出来事とその前後の状況については、次の考え方により集計を行った。

＜仕事上の出来事とその前後の状況の捉え方＞

アンケート調査票において、

① 生活や仕事の状況、及び意識については、調査回答時点（第１回は１月１日、第２回，第３回は７月１日時点）の状況を回答

② ライフイベントや仕事上の出来事、離職等については、調査回答時点から過去２年間の間の状況を回答

するよう、求めている。

以上から、例えば第２回調査で回答のあった出来事については、第１回と第２回の調査における回答をその前後の状況や意識として捉えて比較を行った。

（１）配置転換

第２回調査で配置転換があった人 60 人、第３回調査配置転換のあった人 47 人の合計 107 人について、その属性、前後の状況の比較、他の出来事との関係等について分析した。

イ．　配置転換があった人の属性

配置転換のあった人の属性についてみると、障害別では、内部障害（45.7%）において、男女別では、男性（20.0%）、また、年代別では 30 歳代（20.1%）において配置転換のあった人の割合が高かった。

表Ⅰ-1-19　配置転換があった人の属性

（人）

	視覚障害	聴覚障害	肢体不自由	内部障害	知的障害	精神障害	計
人数	6	24	28	21	22	6	107
比率(注1)	9.4%	24.2%	21.2%	45.7%	11.4%	11.1%	18.2%
全体(注2)	64	99	132	46	193	54	588

(注1)「比率」は回答者数の全数に対する割合である。
(注2)「全数」は第2回調査及び第3回調査それぞれで「仕事についている」の分岐の回答者。

表Ⅰ-1-20 配置転換があった人の属性(性別)

(人)

	男性	女性	計
視覚障害	4	2	6
聴覚障害	12	12	24
肢体不自由	14	14	28
内部障害	14	7	21
知的障害	13	9	22
精神障害	5	1	6
計	62	45	107
比率	20.0%	16.2%	18.2%
全体	310	278	588

表Ⅰ-1-21 配置転換があった人の属性(年代)

(人)

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40歳～	計
視覚障害			5	1	6
聴覚障害		5	16	3	24
肢体不自由		21	6	1	28
内部障害		2	16	3	21
知的障害		13	6	3	22
精神障害		2	2	2	6
計		43	51	13	107
比率		18.0%	20.1%	13.8%	18.2%
全体	1	239	254	94	588

ロ. 配置転換があった人の就業形態

配置転換のあった人の当該調査回（配置転換後）の就業形態をみると、正社員が 72 人（23.2%）、パート・アルバイトが 34 人（13.4%）と正社員の割合が高い。また、配置転換の前後で就業形態が変化したのは７人であった。

表Ⅰ-1-22 配置転換があった人の就業形態

(人)

	正社員	パート・アルバイト	派遣	自営	就労移行A型	計
視覚障害	4	2				6
聴覚障害	17	7				24
肢体不自由	23	5				28
内部障害	18	3				21
知的障害	5	17				22
精神障害	5				1	6
計	72	34			1	107
比率	23.2%	13.4%			7.7%	18.2%
全体	310	254	3	8	13	588

表Ⅰ-1-23 配置転換があった人の就業形態の変化

（人）

		配置転換後			計
		正社員	パート・アルバイト	就労継続A型	
配置転換前	正社員	60	3		63
	パート・アルバイト	2	30	1	33
	自営	1			1
	無回答	9	1		10
計		72	34	1	107

ハ．配置転換があった人の仕事の内容

配置転換の前後で仕事の内容をみると、変化のあった人が17.8%となっており、第４節でみた全体の仕事内容の変化の状況と比べると、変化ありの割合が若干高くなっている。

表Ⅰ-1-24 配置転換と仕事内容

（人）

		配置転換後									計
		ものを作る仕事	ものを売る仕事	事務の仕事	ものを教える仕事	医療や福祉に関わる仕事	人を相手にするサービス業	清掃やクリーニングなどのサービス業	その他	無回答	
配置転換前	ものを作る仕事	19	2	1							22
	ものを売る仕事	2	3					2			7
	事務の仕事	2		39			2		1		44
	ものを教える仕事				1						1
	医療や福祉に関わる仕事			1		6					7
	人を相手にするサービス業		1							1	2
	清掃やクリーニングなどのサービス業	1						2			3
	その他	2		1				1	2	1	7
	無回答	1		10	2		1				14
計		27	6	52	1	8	2	6	3	2	107

変化なし	72	67.3%
変化あり	19	17.8%

ニ．配置転換があった人の仕事満足度

配置転換の前後で仕事満足度に変化がなかったのは、各項目で４割以下であった。変化の方向では、向上と低下がほぼ同水準であるが、労働条件については満足度が低下したケースが多くなっている。配置転換から間もない時期については、新たな環境に適応する過程での様々な課題に直面していることも想定され、その後の状況についても注視する必要があると考えられる。

表Ⅰ-1-25　配置転換前後での仕事満足度の変化

（人）

	変化なし	向上	低下	不明
仕事内容	42	25	26	14
労働条件	27	27	39	14
人間関係	40	26	27	14
職場環境	43	27	23	14
仕事内容	39.3%	23.4%	24.3%	13%
労働条件	25.2%	25.2%	36.4%	13%
人間関係	37.4%	24.3%	25.2%	13%
職場環境	40.2%	25.2%	21.5%	13%

ホ．他の仕事上の出来事との関係

配置転換のあった人について、配置転換以外に同じ時期にどのような出来事があったかを、全体と比較すると、「援助者がいなくなった」、「昇進した」、「正社員になった」などにおいて、全体に比べ割合が高く、キャリア形成の一環としての配置転換が窺われる。

一方で、「休職をした」との割合も全体に比べ高くなっている。もとより同じ時期に起こっただけであり因果関係を裏付けるものではないが、体調の悪化など何らかの問題に対処するための配置転換の可能性にも留意する必要がある。

表Ⅰ-1-26 配置転換と他の仕事上の出来事

（人）

	上司が異動した	まわりで直接仕事などを援助してくれる人がいなくなった	昇進した	給料が上がった	給料が下がった	正社員になった	休職をした	転職をした	勤めていた会社が倒産した	対象者
視覚障害	2	1	1	1						6
聴覚障害	3	2		7	1	2	2	1		24
肢体不自由	2	2	1	14	3		3			28
内部障害	3	2	5	6	1		3			21
知的障害		5		4	3					22
精神障害		1		2	2	1	2	1		6
計	10	13	7	34	10	3	10	2		107
比率	9.3%	12.1%	6.5%	31.8%	9.3%	2.8%	9.3%	1.9%		100.0%

全体	70	36	21	198	49	11	26	25	2	588
	11.9%	6.1%	3.6%	33.7%	8.3%	1.9%	4.4%	4.3%	0.3%	100.0%

（２）「給料が上がった」

第２回調査で「給料が上がった」人 105 人と、第３回調査で「給料が上がった」人 93 人の合計 198 人について、その属性、前後の状況の比較、他の出来事との関係等を分析した。

イ．「給料が上がった」人の属性

「給料が上がった」人の属性についてみると、障害別では聴覚障害（40.4%）、肢体不自由（39.4%）、精神障害（46.3%）において、男女別では男性（42.3%）、年代別では 30 歳代(36.2%)と 40 歳代（36.2%）において「給料が上がった」人の割合が高かった。

表Ⅰ-1-27 「給料が上がった」人の属性(障害)

（人）

	視覚障害	聴覚障害	肢体不自由	内部障害	知的障害	精神障害	計
人数	21	40	52	15	45	25	198
比率	32.8%	40.4%	39.4%	32.6%	23.3%	46.3%	33.7%
全体	64	99	132	46	193	54	588

表Ⅰ-1-28「給料が上がった」人の属性(性別)

(人)

	男性	女性	計
視覚障害	13	8	21
聴覚障害	27	13	40
肢体不自由	33	19	52
内部障害	10	5	15
知的障害	29	16	45
精神障害	19	6	25
計	131	67	198
比率	42.3%	24.1%	33.7%
全体	310	278	588

表Ⅰ-1-29「給料が上がった」人の属性(年代)

(人)

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40歳～	計
視覚障害		5	15	1	21
聴覚障害		9	22	9	40
肢体不自由		35	11	6	52
内部障害		1	11	3	15
知的障害		19	20	6	45
精神障害		3	13	9	25
計		72	92	34	198
比率		30.1%	36.2%	36.2%	33.7%
全体	1	239	254	94	588

ロ.「給料が上がった」人の就業形態

「給料が上がった」人の就業形態をみると、正社員では41.0%、パート・アルバイトでは26.4%、派遣では66.7%、就労継続支援A型では15.4%の人が「給料が上がった」と回答している。

表Ⅰ-1-30「給料が上がった」人の就業形態

(人)

	正社員	パート・アルバイト	派遣	自営	就労継続支援A型	計
視覚障害	19	2				21
聴覚障害	30	10				40
肢体不自由	40	12				52
内部障害	14	1				15
知的障害	16	27	1		1	45
精神障害	8	15	1		1	25
計	127	67	2		2	198
比率	41.0%	26.4%	66.7%		15.4%	33.7%
全体	310	254	3	8	13	588

ハ. 「給料が上がった」人の仕事の内容

給料が上がった人について仕事の内容を見ると、「事務の仕事」(42.4%)、「物を売る仕事」(34.3%)において、全体の構成比に比べ割合が高くなっている。

表Ⅰ-1-31 「給料が上がった」人の仕事内容

（人）

	ものを作る仕事	ものを売る仕事	事務の仕事	ものを教える仕事	医療や福祉に関わる仕事	人を相手にするサービス業	清掃やクリーニングなどのサービス	その他	無回答	計
視覚障害			5	2	14					21
聴覚障害	14	2	22	1				1		40
肢体不自由	10	1	37		1	1	1	1		52
内部障害	3	1	10		1					15
知的障害	15	5	3			2	17	2	1	45
精神障害	6	3	7		1	4		4		25
計	48	12	84	3	17	7	18	8	1	198
比率	32.7%	34.3%	42.4%	21.4%	30.9%	30.4%	23.7%	30.8%	7.1%	33.7%
全体	147	35	198	14	55	23	76	26	14	588

ニ. 「給料が上がった」人の仕事満足度

「給料が上がった」人について、その前後の満足度の変化をみると、職場環境の項目においては、変化なしが半数を超えている。また、変化ありについてその方向を見ると、労働条件を含むいずれの項目においても、わずかではあるが低下が向上を上回っている。給料の上昇は、出来事の中でも広く見られる事項であり、必ずしも満足度の上昇に直結するわけではないことが窺われる。

表Ⅰ-1-32 「給料が上がった」人の仕事満足度

（人）

	変化なし	向上	低下	不明
仕事内容	94	35	49	20
労働条件	93	40	42	23
人間関係	95	34	47	22
職場環境	103	35	37	23
仕事内容	47.5%	17.7%	24.7%	10.1%
労働条件	47.0%	20.2%	21.2%	11.6%
人間関係	48.0%	17.2%	23.7%	11.1%
職場環境	52.0%	17.7%	18.7%	11.6%

ホ. 「給料が上がった」人の他の仕事上の出来事

「給料が上がった」人では、同期間に「昇進」(6.6%)、「正社員になった」(4.0%) の割合が全体に比べると高めとなっているが、その水準自体はそれほど高いものではない。「給料が上がった」こと自体は、他の出来事との関連性はあまり窺われない。

表Ⅰ-1-33 「給料が上がった」人の他の仕事上の出来事

（人）

	配置転換があった	上司が異動した	まわりで直接仕事などを援助してくれる人がいなくなった	昇進した	正社員になった	休職をした	転職をした	対象者
視覚障害	1	5	1	1	2			21
聴覚障害	7	3			2		1	40
肢体不自由	14	7		3	1	2	2	52
内部障害	6	2	1	6		2		15
知的障害	4	9	2	1	1	1		45
精神障害	2	3	6	2	2	1		25
計	34	29	10	13	8	6	3	198
比率	17.2%	14.6%	5.1%	6.6%	4.0%	3.0%	1.5%	100.0%
全体	107	70	36	21	11	26	25	588
比率	18.2%	11.9%	6.1%	3.6%	1.9%	4.4%	4.3%	100.0%

第７節　まとめ

本章においては、障害の程度や生活、仕事に関する事項について、第２回調査と第３回調査の間の継続と変化の経過について分析するとともに、第１回調査と第２回調査の間の経過と比較を行った。

障害の程度については、第２回と第３回の間において３種類の手帳のいずれにおいても等級が変化した事例は見られなかったが、第１回と第２回では変化の事例があり、調査協力辞退者の中に重度化のケースが含まれている可能性にも留意する必要がある。

家族の状況については、変化なしが８割を超え、どの障害種類においても父母との同居が最も多かった。

仕事の状況については、「就業形態」、「仕事の内容」、「勤務時間」、「休日」、「給与額（区分）」ともに変化なしが８割前後となっており、第１回と第２回の調査における変化なしと同程度の割合となっている。

また、障害別にみると、「就業形態」では精神障害において、「仕事の内容」、「勤務時間」及び「休日」では知的障害と精神障害において、「給与額（区分）」では内部障害と精神障害において、変化があった割合が比較的高く、障害による違いが見られた。

ライフイベントについては、第２回調査同様、第３回調査においても該当なし（６割）を除くと約４割の人が何らかのライフイベントを経験していた。

その内容をみると、「引越しをした」が最多となっており、「本人の入院」、「子どもが生まれた」が続いている。一方、「結婚」、「親元からの独立」、「年金の受給開始」については第２回調査より減少しており、これらの事項は一生のうちに起こる回数が限定的であることも関連していると考えられる。

また、障害別にみると、聴覚障害において「結婚」、「子どもが生まれた」、「引越し」の割合が他の障害に比べ高かった。

仕事上の出来事については、該当なしと無回答を除くと約７割の人が仕事上の出来事を経験していた。

その内容をみると、「給料が上がった」、「配置転換があった」等の割合が高くなっている。配置転換については、同じ時期の他の出来事をみると、キャリア形成としての配置転換が窺われる一方で「休職した」事例もみられ、明暗両方の側面があることに留意する必要がある。

第２章　　職業サイクルの展開の状況

職業サイクルを構成する最も基本的なプロフィールは、①就労しているか就労していないか、②また就労している場合はどのような働き方なのか、すなわち正社員として働いているのか、パート・アルバイト等か、または雇用契約によらない福祉的な就労なのか、であると考えられる。

第２章では、これまで３回の調査結果を通じて、職業サイクルの基本的な様相である就労形態の継続や変化の状況を概観するとともに、それぞれの局面における生活や仕事上の出来事、仕事に対する意識、就職活動の状況などについて検証する。

第１節　就業形態の第１回から第３回調査までの経過

１．就労形態に関する設問の経過等

就業形態については、３回の調査において、それぞれ問９で表Ⅰ－2－１の選択肢により回答を求めている。

第１回調査では、調査対象者として当初設定していたのが、正社員、パート・アルバイト、派遣、自営等で働いている人であり、契約によらない福祉的就労や非就労は想定していなかったことから、福祉的就労と非就労を一括してひとつの選択肢としていた。

第２回調査からは福祉的就労と非就労を個別の選択肢とし、さらに第３回調査では、障害者自立支援法の施行（平成 18 年 10 月１日）に伴い、就労継続支援事業所Ａ型の設置が進み経過措置期間が終了したことを受けて、就労継続支援事業所Ａ型での就労について新たに選択肢を設けるとともに、従来からの福祉的就労の選択肢に就労継続支援事業所Ｂ型での就労を例示として明記した。

また、３回の調査を通じ、問９の回答ぶりにより、仕事に関するそれ以降の設問を分岐させ、雇用契約による就労と回答した場合は、その労働の状況、満足度や仕事継続の意識、過去２年間の仕事上の出来事について回答を求め、福祉的就労や非就労と回答した場合は、離職理由や就職活動の状況について回答を求めている。

表Ⅰ-2-1　就業形態に係る設問の選択肢

	第1回調査 （平成21年1月）	第2回調査 （平成22年7月）	第3回調査 （平成24年7月）	
雇用契約による就労等	1　正社員 2　パート･アルバイト 3　派遣 4　自営、家族従 5　内職	同左	1～5　同左 6　A型事業所	⇨ 労働状況、満足度、仕事上の出来事等について設問へ
雇用契約によらない就労	6　上記以外 （福祉工場、作業所、非就労）	6a 福祉工場、作業所	7　B型、移行支援、福祉作業所等	⇨ 離職理由、就職活動等について設問へ
非就労		6b 仕事をしていない	8　仕事をしていない	
その他	7　その他	b	7　その他	

（注）雇用契約による就労等の中に、自営、家族従業者、内職を含む

２．就業形態の変化の分析

以上のような枠組みを踏まえ、第１回から第３回調査まで全ての調査回において回答した 266 人を対象として、①「雇用契約あり」（雇用契約による就労）と「雇用契約なし」（雇用契約によらない就労及び非就労、以下第２章において同じ）の間の変化の状況及び、②「雇用契約あり」の正社員とパート・アルバイト等の間の変化の状況を概観する。

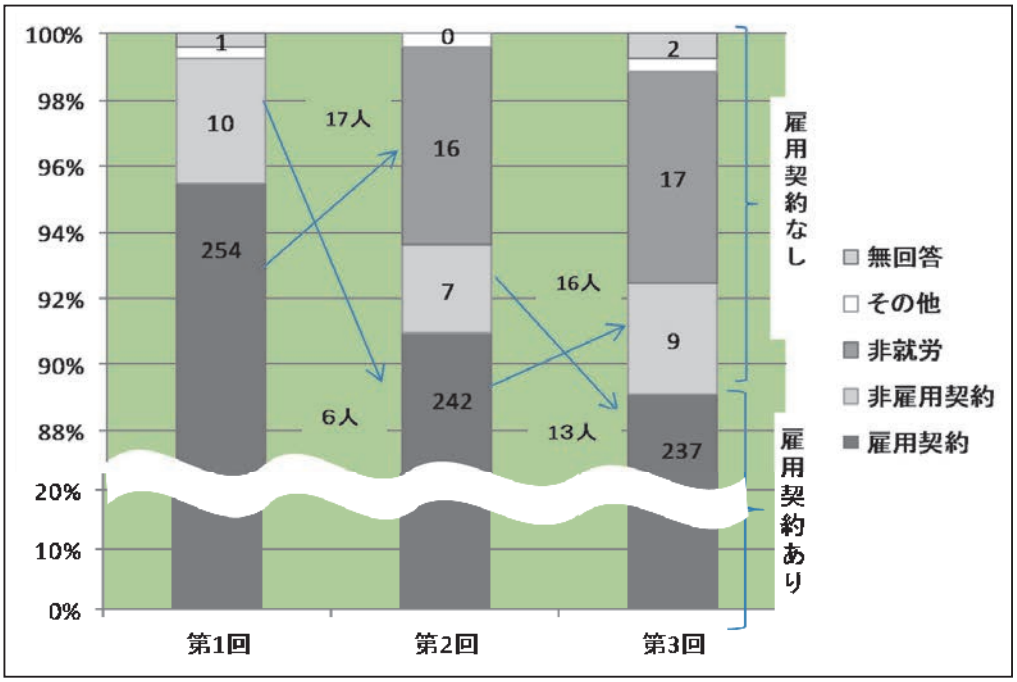
（１）「雇用契約あり」と「雇用契約なし」の間の変化

第１回調査から第２調査においては、「雇用契約ありから雇用契約なし」への変化が 17 人（雇用契約によらない就労への変化が４人、非就労への変化が 13 人）、「雇用契約なしから雇用契約あり」への変化が６人となっている。第２回調査から第３回調査においては、「雇用契約ありから雇用契約なし」への変化が 16 人（雇用契約によらない就労への変化が３人、非就労への変化が 13 人）、「雇用契約なしから雇用契約あり」への変化が 13 人（雇用契約によらない就労からの変化が３人、非就労（その他１含む）からの変化が 10 人）となっている。

また、第１回調査から第３回調査までを通して見ると、第１回調査から第２回調査において「雇用契約ありから雇用契約なし」に変化した 17 人のうち、10 人は第２回調査から第３回調査において再び「雇用契約あり」に変化しており、一方、３回の調査を通じての「非就労」は２人となっている。

以上のように、「雇用契約あり」と「雇用契約なし」の間の変化は、第１回調査から第２回調査において 23 人（266 人に対し 8.6%）、第２回調査から第３回調査において 29 人（同 10.9%）と、３回の調査全て回答した 266 人のうち１割前後となっている。

また、いったん「雇用契約なし」の状況となってもまた「雇用契約あり」に戻る事例も少なくなく、第３回調査までにおいて、「雇用契約なし」の状況は固定的ではないことが窺われる。



図Ⅰ-２-１　就業形態の経過

表Ⅰ-2-2　第1回調査から第2回調査の就業形態の経過（全体）

（人）

		第2回					計
		雇用契約	非契約	非就労	その他	無回答	
第1回	雇用契約	236	4	13	1		254
	非契約・非就労	4	3	3			10
	その他	1					1
	無回答	1					1
計		242	7	16	1		266

表Ⅰ-2-3　第2回調査から第3回調査の就業形態の経過（全体）

（人）

		第3回					計
		雇用契約	非契約	非就労	その他	無回答	
第2回	雇用契約	224	3	13		2	242
	非契約	3	3	1			7
	非就労	9	3	3	1		16
	その他	1					1
	無回答						
計		237	9	17	1	2	266

（2）正社員とパート・アルバイト等の間の変化

「雇用契約あり」の就労について、①正社員と②パート・アルバイト等（派遣、自営、家族従業者、内職、就労継続支援事業所A型での就労を含む。以下第２章において同じ。）の間の移動の状況をみると、第１回調査から第２回調査における正社員からパート・アルバイト等への変化は 11 人、パート・アルバイト等から正社員への変化は７人となっている。

第２回調査から第３回調査においては、正社員からパート・アルバイト等への変化は５人、パート・アルバイト等から正社員への変化は９人となっている。

以上のように、正社員とパート・アルバイト等の間の変化は、第１回調査から第２回調査において 18 人（第１回、第２回調査とも雇用契約あり 236 人に対し 7.6%）、第２回調査から第３回調査において 14 人（第２回、第３調査とも雇用契約あり 224 人に対し 6.3%）となっている。

表Ⅰ-2-4　第1回調査から第2回調査の就業形態の経過（雇用契約あり内）

（人）

		第2回		計
		正社員	ﾊﾟｰﾄ・ｱﾙﾊﾞｲﾄ等	
第1回	正社員	111	11	122
	ﾊﾟｰﾄ・ｱﾙﾊﾞｲﾄ等	7	107	114
計		118	118	236

表Ⅰ-2-5　第2回調査から第3回調査の就業形態の経過（雇用契約あり内）

（人）

		第3回		計
		正社員	ﾊﾟｰﾄ・ｱﾙﾊﾞｲﾄ等	
第2回	正社員	109	5	114
	ﾊﾟｰﾄ・ｱﾙﾊﾞｲﾄ等	9	101	110
計		118	106	224

第２節　就業形態の各局面における生活、仕事の状況

第１節でみた「雇用契約あり」と「雇用契約なし」の間の変化、正社員及びパート・アルバイト等の継続の状況及び変化の状況について、それぞれの局面における生活や仕事上の出来事、仕事に対する意識、労働や就職活動の状況などについて検証する。

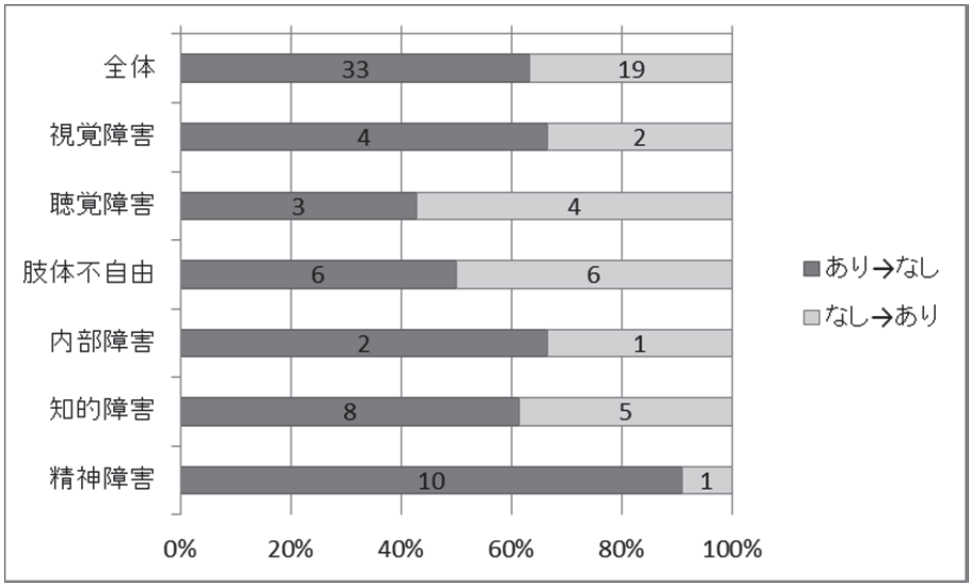
１　「雇用契約あり」と「雇用契約なし」の間の変化と生活及び仕事の状況

第１回調査から第２回調査、第２回調査から第３回調査における変化を合計し、「雇用契約ありから雇用契約なし」（雇用契約によらない就労及び非就労）に変化した 33 人、「雇用契約なしから雇用契約あり」へ変化した 19 人について、その属性（障害種類、性別、年齢）、生活や仕事上の出来事、仕事に対する意識、仕事の状況や就職活動の状況等をみる。

（１）雇用契約について変化した人の属性

ア．障害別割合

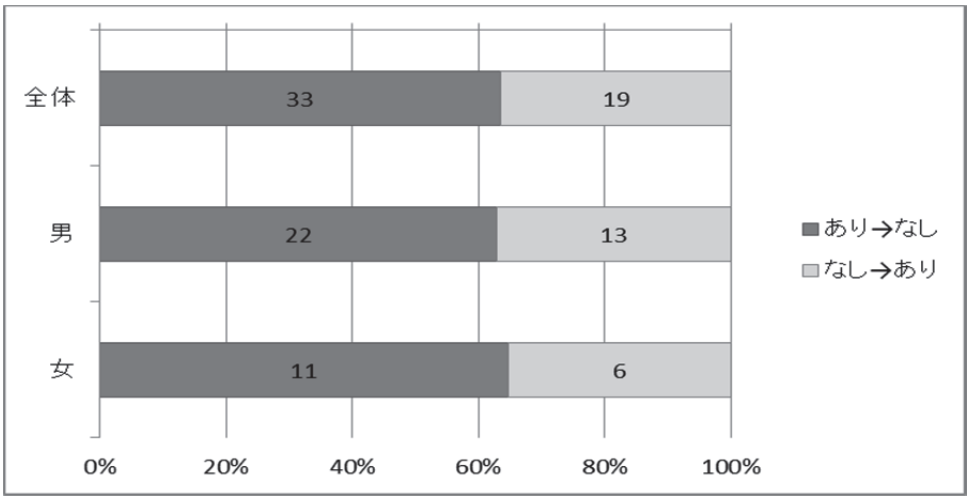
全体と比較すると、聴覚障害と肢体不自由においては「雇用契約なしからあり」の変化がより多く、精神障害においては「雇用契約ありからなし」の変化がより多く起きている。



図Ⅰ-2-2　雇用契約について変化した人の障害別構成

イ． 男女別割合

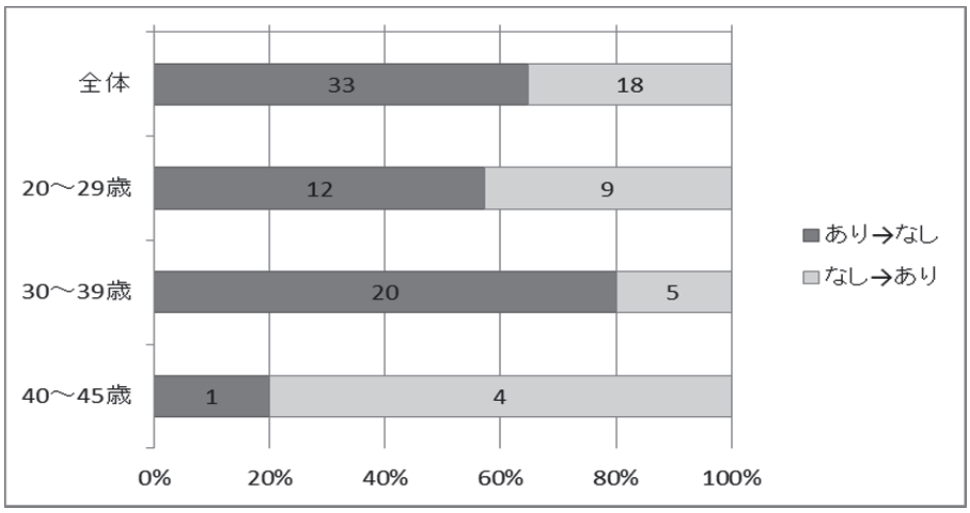
男女とも、「雇用契約ありからなし」と「雇用契約なしからあり」の変化がほぼ同じ割合で起きている。



図Ⅰ-2-3　雇用契約について変化した人の男女別構成

ウ． 年代別割合

全体と比較すると、20 歳代と 40 歳代では「雇用契約なしからあり」への変化がより多く、30 歳代では「雇用契約ありからなし」への変化がより多く起きている。



(注)各調査回時点の年代により集計

図Ⅰ-2-4　　雇用契約について変化した人の年代別構成

（2）生活に関すること

ア．ライフイベント

全体と比較すると、「雇用契約ありからなし」では「障害に関する年金を受給し始めた」の割合が高く、「雇用契約なしからあり」では、「引越しをした」、「学校に通った又は卒業した」とする回答が比較的多くなっている。

表Ⅰ-2-6　雇用契約について変化した人のライフイベント

（人）

	自分が結婚をした	自分が離婚をした	自分が子どもを生んだ（子どもが生まれた）	自分が引越をした	自分が親元から離れて暮し始めた	自分が病気や事故で一カ月以上の入院をした	自分が学校に通ったまたは卒業した	自分の障害に関する年金を受給しはじめた	自分の障害に関する年金の受給がなくなった	自分の親が離婚をした	自分の親が仕事を辞めた	家族が病気や事故で一カ月以上の入院をした	家族が亡くなった	該当する項目なし	対象者
あり→なし	1			4		1	2	4			1		2	18	33
なし→あり				4	1	1	2	1		1	1			9	19
全体	15	2	12	60	14	17	12	23	3	1	22	31	21	326	532
あり→なし	3.0%			12.1%		3.0%	6.1%	12.1%			3.0%		6.1%	54.5%	100.0%
なし→あり				21.1%	5.3%	5.3%	10.5%	5.3%		5.3%	5.3%			47.4%	100.0%
全体	2.8%	0.4%	2.3%	11.3%	2.6%	3.2%	2.3%	4.3%	0.6%	0.2%	4.1%	5.8%	3.9%	61.3%	100.0%

(注) 第１回調査から第２回調査の変化については第２回調査の回答、第２回調査から第３回調査の変化については第３回調査の回答を対象として合計し、３回とも回答した 266 人の２回と３回の回答の合計と比較（注：ライフイベントの設問は第２回調査から)。

イ．同居の家族

全体と比較すると、「雇用契約ありからなし」では、「一人暮らし」の人の割合が低かった。また、「雇用契約なしからあり」では、「父母との同居」の割合が高かった。

表Ⅰ-2-7　雇用契約について変化した人の同居家族

（人）

	一人暮らし	配偶者を含む家族との同居	父母との同居（配偶者とは同居していない）	祖父母	グループホーム等	その他・無回答	計
あり→なし	2	5	22		2	2	33
なし→あり	2	1	15			1	19
全体	28	42	171	1	16	8	266
あり→なし	6.1%	15.2%	66.7%		6.1%	6.1%	100.0%
なし→あり	10.5%	5.3%	78.9%			5.3%	100.0%
全体	10.5%	15.8%	64.3%	0.4%	6.0%	3.0%	100.0%

（注）第１回調査から第２回調査の変化については第２回調査の回答、第２回調査から第３回調査の変化については第３回調査の回答を対象として集計し、第３回調査の全体の回答結果と比較。

（2）仕事に関すること

ア．仕事上の出来事

「雇用契約ありからなし」となった人では、変化前の就労時に「給料が上がった」、「休職した」とする割合が相対的に高くなっており、労働条件の改善にもかかわらず離職に至っているのはなぜか等、その後の離職理由も併せて留意する必要がある。

表Ⅰ-2-8 雇用契約について変化した人の仕事上の出来事

（人）

	配置転換があった	まわりで直接仕事などを援助してくれる人がいなくなった	昇進した	給料が上がった	給料が下がった	正社員になった	休職をした	転職をした	勤めていた会社が倒産した	該当なし	対象者
あり→なし	2	2		7	1	1	3	1		4	16
なし→あり	2	1		5			2	4	1	7	19
全体	87	30	14	167	42	8	20	22	2	116	479
あり→なし	12.5%	12.5%		43.8%	6.3%	6.3%	18.8%	6.3%		25.0%	100.0%
なし→あり	10.5%	5.3%		26.3%			10.5%	21.1%	5.3%	36.8%	100.0%
全体	18.2%	6.3%	2.9%	34.9%	8.8%	1.7%	4.2%	4.6%	0.4%	24.2%	100.0%

（注） 雇用契約ありからなしへの変化については、移行前の前回調査の回答を集計（ただし、仕事上の出来事に係る設問は第２回調査からのため第２回調査から第３回調査の変化に係る 16 人についてのみ集計）。雇用契約なしからありへの変化については変化後の当該調査回の回答を集計。全体については、第２回調査及び第３回調査において雇用契約あり（問９で正社員、パート・アルバイト、派遣、自営、内職、就労継続支援Ａ型）と回答した 479 人（第２回調査 242 人、第３回調査 237 人）について集計。

イ．仕事上の満足度

各区分とも、「仕事内容」、「労働条件」、「人間関係」、「職場環境」のいずれにおいても満足とする割合が、どちらでもない、不満足より高くなっている。

「雇用契約ありからなし」では、「なし」への変化前の前調査回において、「労働条件」、「職場環境」で満足の割合が相対的に高いが、不満足の割合も「仕事内容」、「労働条件」、「人間関係」で他の区分に比べ高くなっている。「雇用契約なしからあり」では、「あり」への変化後の当該調査回において、「仕事内容」「人間関係」で満足の割合が高い。

表Ⅰ-2-9 雇用契約について変化した人の仕事の満足度

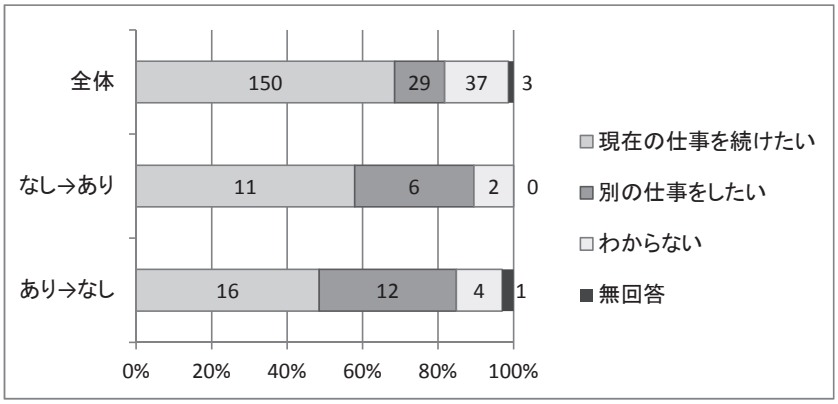
（人）

	仕事内容				労働条件				人間関係				職場環境				対象者
	満足	中立	不満	無回答	満足	中立	不満	無回答	満足	中立	不満	無回答	満足	中立	不満	無回答	
あり→なし	21	6	6		16	4	13		15	11	7		20	6	7		33
なし→あり	16	2	1		8	4	7		12	3	3	1	8	4	6	1	19
3回仕事	176	39	19	3	131	45	57	4	156	46	30	5	155	44	33	5	237
あり→なし	63.6%	18.2%	18.2%		48.5%	12.1%	39.4%		45.5%	33.3%	21.2%		60.6%	18.2%	21.2%		100.0%
なし→あり	84.2%	10.5%	5.3%		42.1%	21.1%	36.8%		63.2%	15.8%	15.8%	5.3%	42.1%	21.1%	31.6%	5.3%	100.0%
3回仕事	74.3%	16.5%	8.0%	1.3%	55.3%	19.0%	24.1%	1.7%	65.8%	19.4%	12.7%	2.1%	65.4%	18.6%	13.9%	2.1%	100.0%

（注） 雇用契約ありからなしへの変化については、変化前の前回調査の回答を集計。雇用契約なしからありへの変化については変化後の当該調査回の回答を集計。全体は３回とも回答のあった 266 人の内、第３回調査において雇用契約ありと回答した 237 人。

ウ． 仕事の継続意思

全体では、「現在の仕事を続けたい」人が約７割であるが、雇用契約のありとなしの変化の局面ではその割合は低くなっている。「雇用契約ありからなし」となった人についてみると、前の職場では約半数が「現在の仕事を続けたい」、３人に１人は「別の仕事をしたい」と考えていた。「雇用契約なしからあり」となった人では、約６割が「現在の仕事を続けたい」としているが、「別の仕事をしたい」人の割合３割と全体と比較すると高くなっている。



図Ⅰ-2-5 雇用契約について変化した人の仕事の継続意思

表Ⅰ-2-10 雇用契約について変化した人の仕事の継続意思

（人）

	現在の仕事を続けたい	別の仕事をしたい	わからない	無回答	計
あり→なし	16	12	4	1	33
なし→あり	11	6	2		19
全体	150	29	37	3	219
あり→なし	48.5%	36.4%	12.1%	3.0%	100.0%
なし→あり	57.9%	31.6%	10.5%		100.0%
全体	68.5%	13.2%	16.9%	1.4%	100.0%

（注） 雇用契約ありからなしへの変化については、変化前の前回調査の回答を集計。
雇用契約なしからありへの変化については変化後の当該調査回の回答を集計。
３回とも雇用契約ありの 219 人の第３回調査における回答数の全数と比較。

（３）離職理由と就職活動の状況

ここでは「雇用契約ありからなし」となった人 33 人について、離職理由、就職活動の状況等を分析する。

ア．離職理由

自己都合による離職が全体の３分の２、また事業主都合が約１割となっている。

自己都合の理由をみると、体調不良が全体の３分の２と最も高く、人間関係、仕事内容も次いで高い割合となっている。

前項（2）アの仕事上の出来事でみたように、「雇用契約ありからなし」への変化局面において「給料が上がった」との回答割合が比較的高く、労働条件面での改善にもかかわらず離職につながった背景として、体調面の問題もあることが窺われる。

また、体調不良の背景としては、人間関係や仕事内容での困難が体調に影響していることも考えられる。

表Ⅰ-2-11　離職理由

（人）

	事業主	契約満了	休職満了	定年退職	自己都合	その他	不明・無回答	計
1→2回	3	2			10	1	1	17
2→3回		2			12		2	16
計	3	4			22	1	3	33
比率	9.1%	12.1%			66.7%	3.0%	9.1%	100.0%

(注)雇用契約ありからなしへ変化した 33 人について集計。以下（３）において同じ。

表Ⅰ-2-12　自己都合の理由(複数回答)

（人）

	仕事内容	賃金・条件	人間関係	体調不良	結婚	出産	介護等	その他	対象者数
1→2回	3	2	6	6				3	10
2→3回	5	1	3	9				2	12
計	8	3	9	15				5	22
比率	36.4%	13.6%	40.9%	68.2%				22.7%	100.0%

(注)その他は、周囲に迷惑をかける、精神面もたず（人間関係、仕事内容）、大学入学のため、引っ越し、勤務地が遠い

イ．就職活動の状況

仕事についての考えをみると、「すぐに仕事につきたい」が３割となっている。また、「時間をかけて自分にあった仕事を探したい」等、前向きな回答となっており、「仕事にはつきたくない」との回答はみられない。

「仕事を探す時の相談先」についてみると、仕事を探す際に、ハローワークを始めとした支援機関の活用が 38 件と、家族や知人・友人などのプライベートな相談先の 31 件を上回っている。また、「相談しない」との回答はなかった。

第３回調査の回答者全員にきいた「過去２年間で仕事で困った時の相談先」においては、プライベートな相談先が 386 件と、支援機関への相談 142 件を大きく上回っており、就職活動の局面においては、公的な支援機関の役割がより大きいことが窺える。

表Ⅰ-2-13　仕事についての考え

（人）

	すぐに仕事につきたい	すぐにというわけではないが仕事につきたい	時間をかけて自分にあった仕事を探したい	福祉工場や作業所で働きたい	仕事にはつきたくない	その他	無回答	計
1→2回	3	4	6	1		2	1	17
2→3回	7	4	5					16
計	10	8	11	1		2	1	33
比率	30.3%	24.2%	33.3%	3.0%		6.1%	3.0%	100.0%

（注１）「福祉工場や作業所で働きたい」は、第２回調査のみの選択肢
（注２）その他：通院中、決めかねている

表Ⅰ-2-14 これから就きたい仕事の働き方（複数回答）

（人）

正社員	パート・アルバイト・嘱託・契約社員	派遣	自営・家業	内職	就労継続支援Ａ型	就労継続支援Ｂ型	その他	対象者
8	8		1	1	1		1	16
50.0%	50.0%		6.3%	6.3%	6.3%		6.3%	100.0%

（注）この設問は第３回調査から新設したもので、第３回の回答のみの集計

表Ⅰ-2-15　仕事を探す時の相談先

（人）

	配偶者	子ども	父母	兄弟姉妹	会社の上司や同僚	知り合い・友人	障害者相談員	ハローワーク	障害者職業センター	障害者就業・生活支援センター	相談支援事業者	かかりつけの病院・診療所	保健所（福祉事務所）	学校	その他	相談しない	対象者
非就労期	4		15	2	1	9	3	13	4	5	2	4		5	2		33
在職中	33	1	119	26	125	82	22	14	15	27	13	27	3	7	14	42	310
非就労期	12.1%		45.5%	6.1%	3.0%	27.3%	9.1%	39.4%	12.1%	15.2%	6.1%	12.1%		15.2%	6.1%		100.0%
在職中	10.6%	0.3%	38.4%	8.4%	40.3%	26.5%	7.1%	4.5%	4.8%	8.7%	4.2%	8.7%	1.0%	2.3%	4.5%	13.5%	100.0%
非就労期	31(15.7%)						38(13.6%)										
在職中	386(20.8%)						142(5.2%)										

（注１）雇用契約ありからなし 33 人については、仕事を探す時の相談先（問 20）の回答を集計。全体は、第３回の全回答者 310 人について、仕事で何か困ったことが起きた時の相談先（問 21）の回答を集計。
（注２）その他(雇用契約ありからなし)は、障害者就業支援センター、グループホームの人

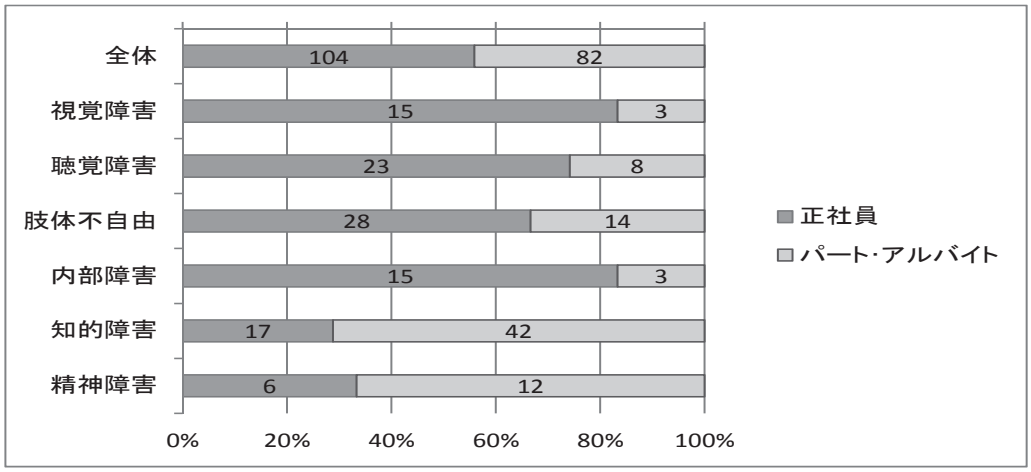
２． 正社員及びパート・アルバイトの継続者の状況

第１回から第３回までの全ての調査回において、就労形態が正社員の人 104 人、パート・アルバイトの人 82 人について、その属性（障害種類、性別、年齢）、生活や仕事上の出来事、仕事に対する意識、労働の状況等をみる。

（１）対象者の属性

ア．障害別構成

全体の構成比と比べると、視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、内部障害においては正社員継続の割合が高く、知的障害、精神障害においてはパート・アルバイトの割合が高い。

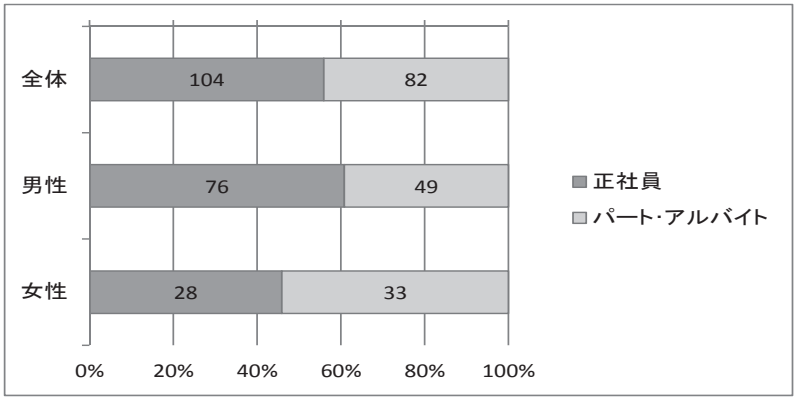


（注）全体は、３回とも回答のあった 266 人について集計。

図Ⅰ-2-6　　雇用継続者の障害別構成

イ．男女別構成

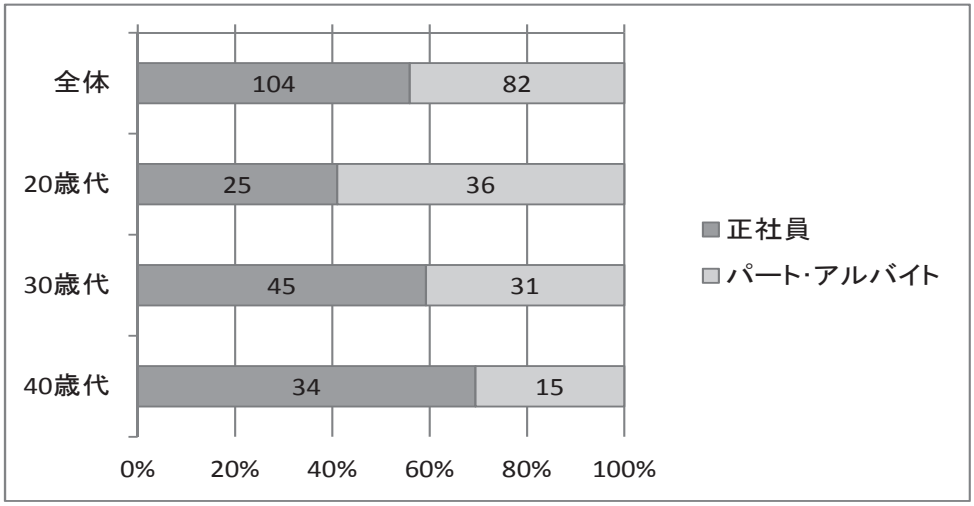
全体の構成比と比べると、男性では正社員継続の割合が、女性ではパート・アルバイト継続の割合が相対的に高くなっている。



図Ⅰ-2-7　　雇用継続者の男女別構成

ウ．年代別構成

全体の構成比と比べると、20 歳代ではパート・アルバイト継続の割合が、40 歳代では正社員継続の割合が高くなっている。



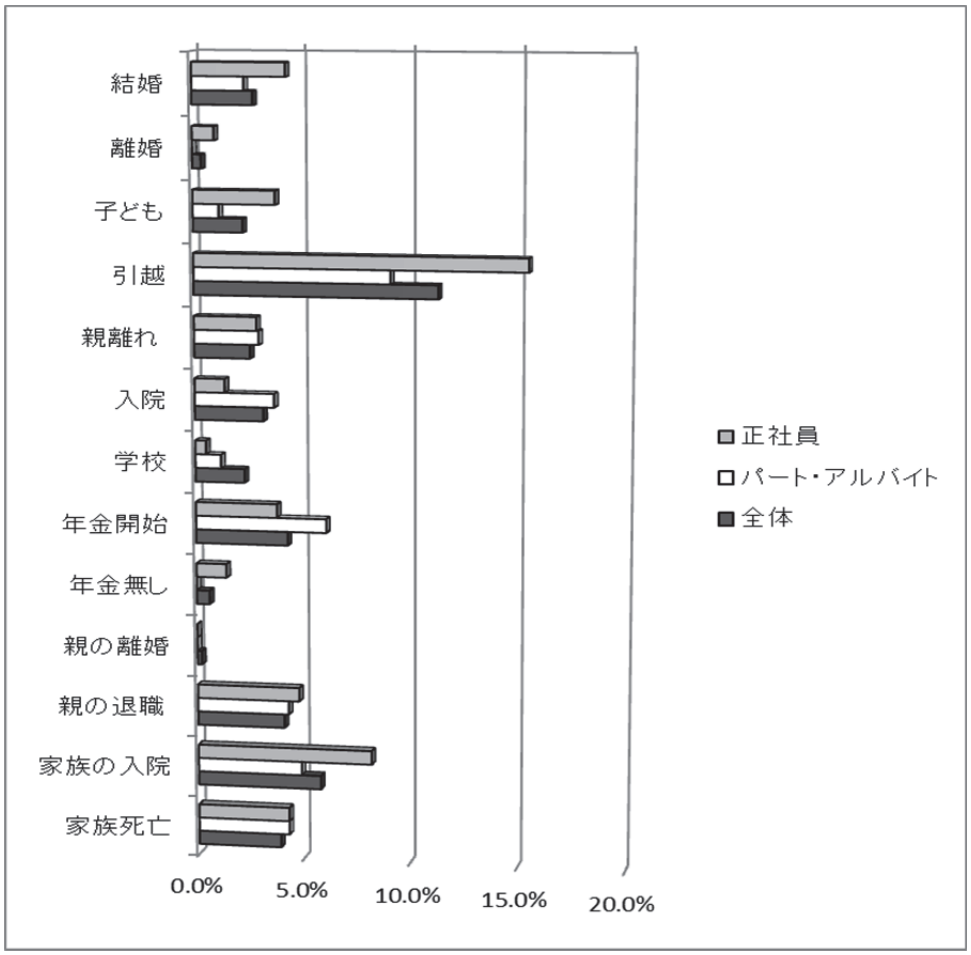
(注)各調査回時点における年代を集計

図Ⅰ-2-8　雇用継続者の年代別構成

（2）生活に関すること

ア．ライフイベント

全体として、該当なし（６割から７割）を除く３割から４割の人が、何らかのライフイベントを経験している。その内容をみると、正社員継続では、「結婚をした」、「子供が生まれた」、「引越しをした」、「家族が１ヶ月以上入院した」人の割合が相対的に高かった。「障害に関する年金を受給し始めた」人の割合が他より高い。



図Ⅰ-2-9　雇用継続者のライフイベント（該当なし以外）

表Ⅰ-2-16　雇用継続者のライフイベント(複数回答)

（人）

	自分が結婚をした	自分が離婚をした	自分が子どもを生んだ（子どもが生まれた）	自分が引越をした	自分が親元から離れて暮し始めた	自分が病気や事故で一カ月以上の入院をした	自分が学校に通ったまたは卒業した	自分の障害に関する年金を受給しはじめた	自分の障害に関する年金の受給がなくなった	自分の親が離婚をした	自分の親が仕事を辞めた	家族が病気や事故で一カ月以上の入院をした	家族が亡くなった	該当する項目なし	対象者
正社員	9	2	8	32	6	3	1	8	3		10	17	9	121	208
ﾊﾟｰﾄ･ｱﾙﾊﾞｲﾄ	4		2	15	5	6	2	10			7	8	7	110	164
全体	15	2	12	60	14	17	12	23	3	1	22	31	21	326	532
正社員	4.3%	1.0%	3.8%	15.4%	2.9%	1.4%	0.5%	3.8%	1.4%		4.8%	8.2%	4.3%	58.2%	100.0%
ﾊﾟｰﾄ･ｱﾙﾊﾞｲﾄ	2.4%		1.2%	9.1%	3.0%	3.7%	1.2%	6.1%			4.3%	4.9%	4.3%	67.1%	100.0%
全体	2.8%	0.4%	2.3%	11.3%	2.6%	3.2%	2.3%	4.3%	0.6%	0.2%	4.1%	5.8%	3.9%	61.3%	100.0%

イ．同居の家族

同居の家族の状況をみると、正社員継続においては、「一人暮らし」、「配偶者を含む家族との同居」の割合が高く、パート・アルバイト継続においては、「配偶者を含まない父母との同居」の割合が高くなっている。

表Ⅰ-2-17　雇用継続者の同居の家族

（人）

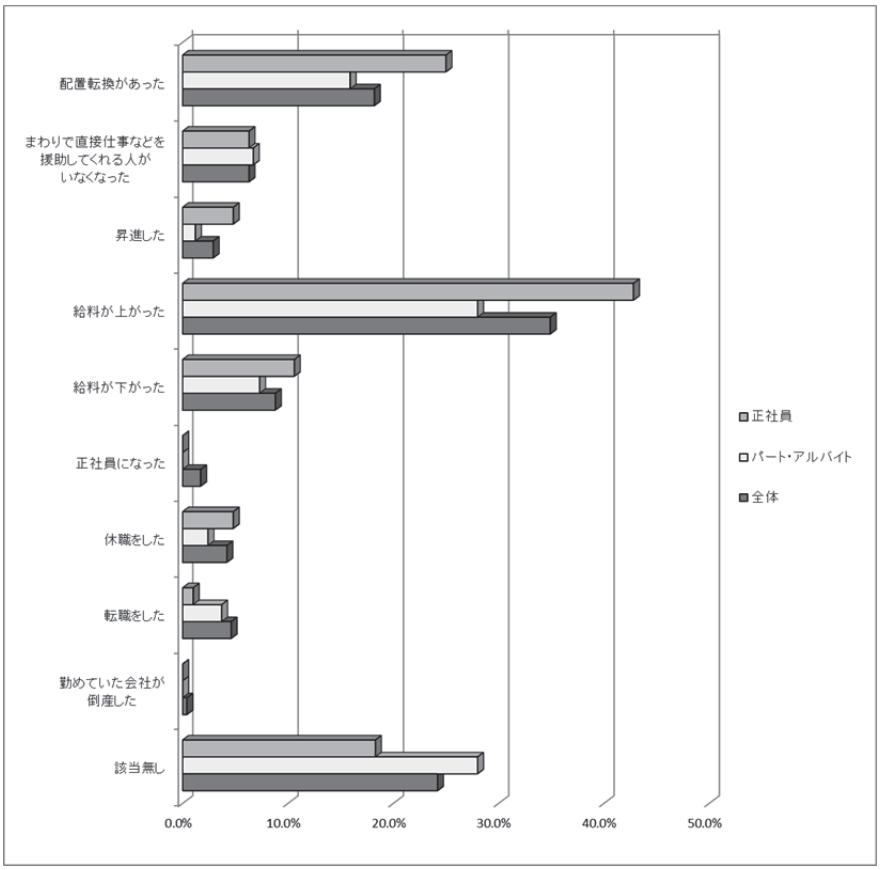
	一人暮らし	配偶者を含む家族との同居	父母との同居（配偶者とは同居していない）	祖父母	グループホーム等	その他・無回答	計
正社員	13	27	57		4	3	104
パート・アルバイト	8	8	58	1	5	2	82
全体	28	42	171	1	16	8	266
正社員	12.5%	26.0%	54.8%		3.8%	2.9%	100.0%
パート・アルバイト	9.8%	9.8%	70.7%	1.2%	6.1%	2.4%	100.0%
全体	10.5%	15.8%	64.3%	0.4%	6.0%	3.0%	100.0%

（注）第1回調査から第2回調査の変化については第2回調査の回答、第2回調査から第3回調査の変化については第3回調査の回答とし、全体については、便宜的に第3回調査の回答結果としている。変化のあった後の調査回で家族形態の変化が見られることもある。

（3）仕事に関すること

ア．仕事上の出来事

「配置転換」、「昇進した」、「給料が上がった」、「給料が下がった」、「休職した」においては、正社員継続で割合が高く、一方、これらの項目について、パート・アルバイト継続では全体の傾向と比較しても割合が低くなっている。



図Ⅰ-2-10　雇用継続者の仕事上の出来事

表Ⅰ-2-18　雇用継続者の仕事上の出来事

（人）

	配置転換があった	まわりで直接仕事などを援助してくれる人がいなくなった	昇進した	給料が上がった	給料が下がった	正社員になった	休職をした	転職をした	つとめていた会社が倒産した	該当なし	計
正社員	52	13	10	89	22		10	2		38	208
ﾊﾟｰﾄ･ｱﾙﾊﾞｲﾄ	26	11	2	46	12		4	6		46	164
全体	87	30	14	167	42	8	20	22	2	116	479
正社員	25.0%	6.3%	4.8%	42.8%	10.6%		4.8%	1.0%		18.3%	100.0%
ﾊﾟｰﾄ･ｱﾙﾊﾞｲﾄ	15.9%	6.7%	1.2%	28.0%	7.3%		2.4%	3.7%		28.0%	100.0%
全体	18.2%	6.3%	2.9%	34.9%	8.8%	1.7%	4.2%	4.6%	0.4%	24.2%	100.0%

(注)　3回の調査を通じて正社員の 104 人、パート・アルバイトの 82 人について第２回調査及び第３回調査の回答を集計。全体については、第２回調査及び第３回調査において雇用契約あり（問９で正社員、パート・アルバイト、派遣、自営、内職、就労継続支援Ａ型）と回答した 479 人（第２回調査 242 人、第３回調査 237 人）について集計。

イ．仕事の状況

（ア）仕事の内容

第１回調査から第３回調査における仕事の変化の状況を見ると、正社員継続者において、変化なしの割合が 81.7%と高く、パート・アルバイト継続者は全体の傾向とほぼ同様となっている。

変化なしで最も多い仕事内容は、いずれの区分においても「事務の仕事」となっているが、特に正社員継続者においてその割合が 39.4%と高く、一方、パート・アルバイト継続者においては 19 人と、次に多い「ものを作る仕事」の 15 人との差が大きくない。

変化ありでは、全体と正社員継続者においては、「事務の仕事」から「ものを作る仕事」へ、パート・アルバイト継続者においては「その他」から「ものを売る仕事」への変化が多くなっている。

表Ⅰ-2-19　雇用継続者の仕事内容の変化

（人）

	計	変化なし		備考					
				主な変化なし			主な変化なし		
全体	219	159	72.6%	事務	63	28.8%	事務→もの作り	5	2.3%
正社員	104	85	81.7%	事務	41	39.4%	事務→もの作り	4	3.8%
パート･アルバイト	82	60	73.2%	事務	19	23.2%	その他→ものを売る	4	4.9%

(注)%は全て計に対する割合

表Ⅰ-2-20　正社員継続者の仕事内容の状況

（人）

		第３回									
		ものを作る仕事	ものを売る仕事	事務の仕事	ものを教える仕事	医療や福祉に関わる仕事	人を相手にするサービス業	清掃やクリーニングなどのサービス業	その他	無回答	計
第１回	ものを作る仕事	22		2							24
	ものを売る仕事						1				1
	事務の仕事	4		41			1		1	1	48
	ものを教える仕事				4						4
	医療や福祉に関わる仕事					9					9
	人を相手にするサービス業						1			1	2
	清掃やクリーニングなどのサービス業	1					1	6	1		9
	その他			2		1			2		5
	無回答	2									2
計		29		45	4	10	4	6	4	2	104

表Ⅰ-2-21　パート・アルバイト継続者の仕事内容の状況

（人）

		第３回									
		ものを作る仕事	ものを売る仕事	事務の仕事	ものを教える仕事	医療や福祉に関わる仕事	人を相手にするサービス業	清掃やクリーニングなどのサービス業	その他	無回答	計
第１回	ものを作る仕事	15	1			1					17
	ものを売る仕事	1	6				1				8
	事務の仕事	1	2	19					1	1	24
	ものを教える仕事				1						1
	医療や福祉に関わる仕事					2		1			3
	人を相手にするサービス業					1	2				3
	清掃やクリーニングなどのサービス業	1				1		12			14
	その他	3	4						3		10
	無回答			1				1			2
計		21	13	20	1	5	3	14	4	1	82

（イ）１ヶ月当たりの給与額

第１回調査から第３回調査における給与額の変化の状況を見ると、各区分とも変化なしが７割台前半となっている。

変化の方向をみると、全体では増加が減少を上回っている。正社員継続者とパート・アルバイト継続者においても、増加が減少を上回っており、特に正社員継続者においてはその差が大きくなっている。

給与額の水準は、正社員継続者が「13万円以上 25万円未満」、全体及びパート・アルバイト継続者が「７万円以上13万円未満」の区分が多くなっている。

表Ⅰ-2-22　雇用継続者の１ヶ月当たりの給与額の変化

（人）

	計	変化なし		変化あり				備考					
				増加		減少		最多不変			最多変化		
全体	219	160	73.1%	32	14.6%	20	9.1%	7～13万円	71	32.4%	13～25→7～13万円	14	6.4%
正社員	104	78	75.0%	14	13.5%	9	8.7%	13～25万円	52	50.0%	7～13→13～25万円	6	5.8%
パート･アルバイト	82	60	73.2%	10	12.2%	9	11.0%	7～13万円	41	50.0%	7～13→13～25万円	6	7.3%

（注）％は全て計に対する割合

表Ⅰ-2-23　正社員継続者の１ヶ月当たりの給与額の状況

（人）

		第３回						計
		7万円未満	7万円以上13万円未満	13万円以上25万円未満	25万円以上40万円未満	40万円以上	無回答	
第１回	7万円未満		1	1				2
	7万円以上13万円未満		21	6				27
	13万円以上25万円未満		3	52	4	1		60
	25万円以上40万円未満	1		5	5	1	1	13
	40万円以上						1	1
	無回答						1	1
計		1	25	64	9	2	3	104

表Ⅰ-2-24　パート・アルバイト継続者の１ヶ月当たりの給与額の状況

（人）

		第３回						計
		7万円未満	7万円以上13万円未満	13万円以上25万円未満	25万円以上40万円未満	40万円以上	無回答	
第１回	7万円未満	7	3	1			1	12
	7万円以上13万円未満	5	41	6				52
	13万円以上25万円未満		4	12			1	17
	25万円以上40万円未満							
	40万円以上							
	無回答		1					1
計		12	49	19			2	82

イ．仕事の満足度

正社員継続者、パート・アルバイト継続者、全体ともに、満足度の各項目について、５割から７割が満足と回答している。

就業形態別にみると、満足度の各項目において、「満足」とする割合が、パート・アルバイト継続者が正社員継続者を上回っており、正社員継続者は「どちらでもない」とする回答の割合が高くなっている。特に、仕事内容、労働条件、人間関係の各項目においては、「満足」とする割合が、正社員継続者が全体をも下回っている。

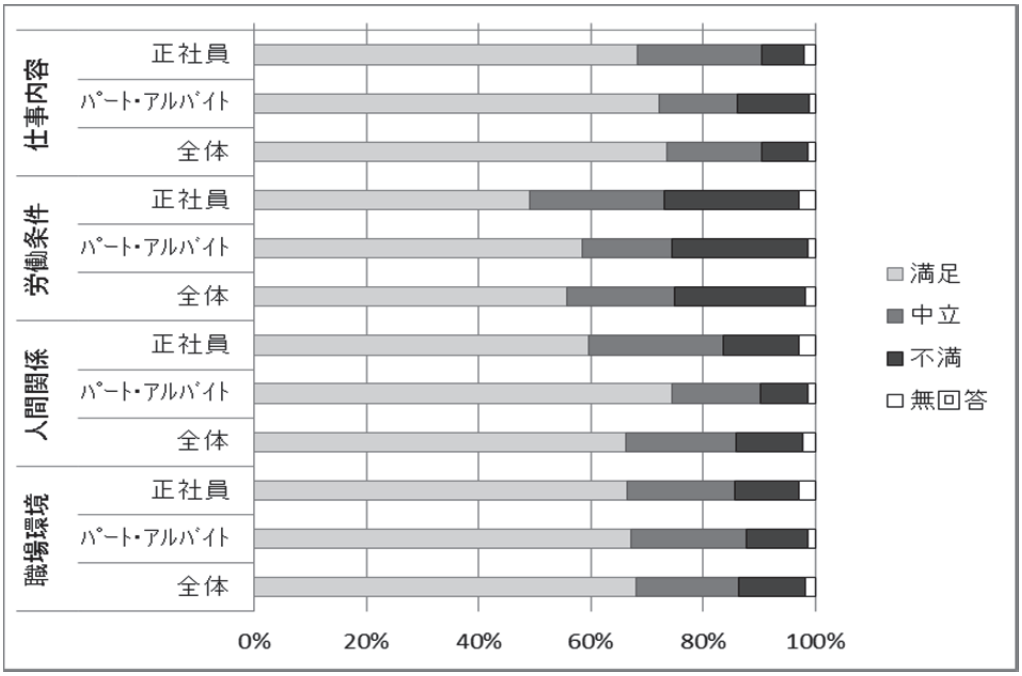
また、満足度の項目別にみると、職場環境については、各区分の間で、回答の傾向にあまり違いがみられない。

表Ⅰ-2-25　雇用継続者の仕事の満足度

（人）

	仕事内容				労働条件				人間関係				職場環境				計
	満足	中立	不満	無回答	満足	中立	不満	無回答	満足	中立	不満	無回答	満足	中立	不満	無回答	
正社員	71	23	8	2	51	25	25	3	62	25	14	3	69	20	12	3	104
ﾊﾟｰﾄ･ｱﾙﾊﾞｲﾄ	62	12	11	1	48	13	20	1	61	13	7	1	55	17	9	1	82
全体	161	37	18	3	122	42	51	4	145	43	26	5	150	40	26	4	219
正社員	68.3%	22.1%	7.7%	1.9%	49.0%	24.0%	24.0%	2.9%	59.6%	24.0%	13.5%	2.9%	66.3%	19.2%	11.5%	2.9%	100.0%
ﾊﾟｰﾄ･ｱﾙﾊﾞｲﾄ	75.6%	14.6%	13.4%	1.2%	58.5%	15.9%	24.4%	1.2%	74.4%	15.9%	8.5%	1.2%	67.1%	20.7%	11.0%	1.2%	100.0%
全体	73.5%	16.9%	8.2%	1.4%	55.7%	19.2%	23.3%	1.8%	66.2%	19.6%	11.9%	2.3%	68.5%	18.3%	11.9%	1.8%	100.0%

（注）全体は、第３回調査において雇用契約による就労と回答した 219 人について集計



図Ⅰ-2-11　雇用継続者の仕事の満足度

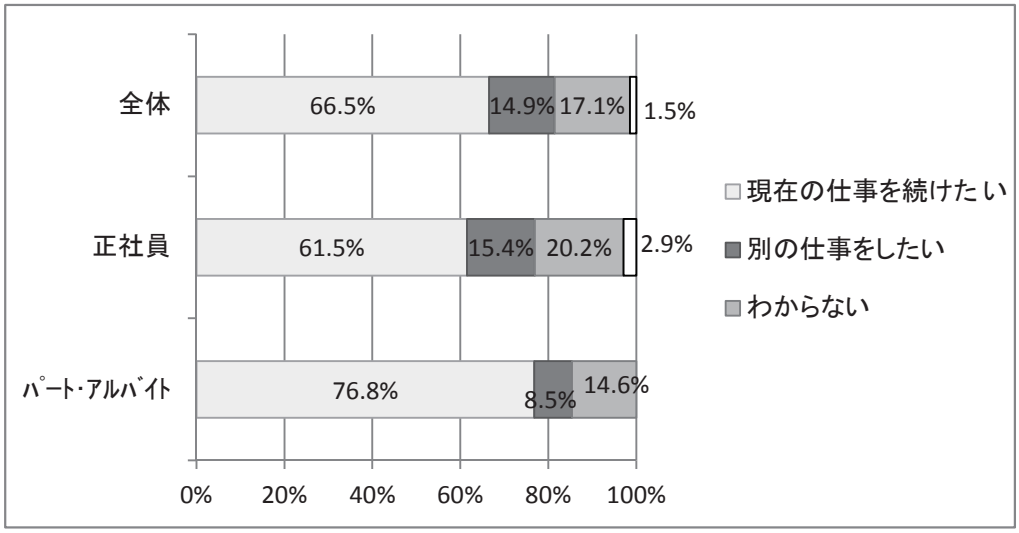
ウ．仕事の継続意思

正社員継続者、パート・アルバイト継続者、第３回調査の全回答者ともに、６割以上が「現在の仕事を続けたい」と回答している。

就業形態別にみると、「続けたい」とする割合は、パート・アルバイト継続者が 76.8%と最も高く、次いで全回答者が 66.5%、正社員継続者は 61.5%となっている。一方、正社員継続者は「わからない」とする回答が 20.2%と他の区分より多くなっている。

仕事の満足度と仕事の継続意思においては、いずれも正社員継続者の「満足」、「現在の仕事を続けたい」とする回答の割合が他の区分より低く、「どちらでもない」、「わからない」とする中立的な回答が他の区分を上回っており、同様の傾向がみられる。

正社員継続者においては、仕事に対する要求水準がより高い可能性が考えられる。



図Ⅰ-2-12　雇用継続者の仕事の継続意思

表Ⅰ-2-26　雇用継続者の仕事の継続意思

（人）

	現在の仕事を続けたい	別の仕事をしたい	わからない	無回答	計
正社員	64	16	21	3	104
ﾊﾟｰﾄ･ｱﾙﾊﾞｲﾄ	63	7	12		82
全体	183	41	47	4	275
正社員	61.5%	15.4%	20.2%	2.9%	100.0%
ﾊﾟｰﾄ･ｱﾙﾊﾞｲﾄ	76.8%	8.5%	14.6%		100.0%
全体	66.5%	14.9%	17.1%	1.5%	100.0%

３．正社員とパート・アルバイト間の変化の状況

（１）対象者の属性

正社員とパート・アルバイトの間の変化では、男女別には大きな違いはみられない。一方、障害別では知的障害において事例が多くなっている。

表Ⅰ-2-27 正社員からパート･アルバイト

（人）

障害	肢体不自由	知的障害	精神障害	計
	2	13	1	16

性別	男性	女性	計
	8	8	16

表Ⅰ-2-28　パート・アルバイトから正社員

（人）

障害	視覚障害	聴覚障害	肢体不自由	知的障害	精神障害	計
	1	4	2	8	1	16

性別	男性	女性	計
	9	7	16

（２）仕事内容の変化

正社員とパート・アルバイトの間の変化においては、全体と比べると仕事内容の変化があった割合が高くなっている。

表Ⅰ-2-29　就業形態変化者の仕事内容

（人）

	計	変化なし		変化あり		無回答	
正社員→パート･アルバイト	16	11	68.8%	5	31.3%		
パート･アルバイト→正社員	16	12	75.0%	4	25.0%		
全体	233	183	78.5%	38	16.3%	12	5.2%

	備考					
	主な変化なし			主な変化あり		
正社員→パート･アルバイト	ものを作る仕事	5	31.3%			
パート･アルバイト→正社員	ものを作る仕事、事務の仕事	4	25.0%			
全体	事務の仕事	68	29.2%	対人サービス→ものを売る	8	3.4%

（3）１ヶ月当たりの給与額の変化

正社員とパート・アルバイトの間の変化については、双方向で、給与区分の変化なしの割合が高くなっている。特に、「正社員からパート・アルバイト」への変化においては、９割弱が給与区分の変化がなしとなっている。また、変化ありについては、「正社員からパート・アルバイト」では減少の事例が、「パート・アルバイトから正社員」では、増加と減少の事例が同数あった。

表Ⅰ-2-30　就業形態変化者の給与額

（人）

	計	変化なし		変化あり				無回答	
				増加		減少			
正社員→パート･アルバイト	16	14	87.5%			2	12.5%		
パート･アルバイト→正社員	16	12	75.0%	2	12.5%	2	12.5%		
全体	233	176	75.5%	49	21.0%	34	14.6%	9	3.9%

	備考					
	主な変化なし			主な変化あり		
正社員→パート･アルバイト	7～13万円	7	43.8%			
パート･アルバイト→正社員	7～13万円、13～25万円	4	25.0%			
全体	7～13万円	72	30.9%	7～13→13～25万円	16	7.0%

（4）労働時間及び休日の変化

「正社員からパート・アルバイト」への変化では、労働時間、休日とも変化なしが６割前後となっており、労働時間の減少や休日の増加で対応していることが窺われる。

「パート･アルバイトから正社員」への変化では、労働時間については変化なしの割合が高く(75.0%)、労働時間の増加(18.8%)化より休日の減少(37.5%)により対応する割合が高くなっている。

表Ⅰ-2-31　就業形態変化者の勤務時間

（人）

	計	変化なし		変化あり				その他		備考		
				増加		減少				主な変化なし		
正社員→パート･アルバイト	16	9	56.3%	1	6.3%	6	37.5%	0		30時間以上	7	43.8%
パート･アルバイト→正社員	16	12	75.0%	3	18.8%	1	6.3%	0		30時間以上	12	75.0%

表Ⅰ-2-32　就業形態変化者の休日日数

（人）

	計	変化なし		変化あり				その他		備考		
				増加		減少				主な変化なし		
正社員→パート･アルバイト	16	10	62.5%	5	31.3%	0	0.0%	1	6.3%	2日	8	50.0%
パート･アルバイト→正社員	16	6	37.5%	2	12.5%	6	37.5%	2	12.5%	2日	5	31.3%

（5）仕事の満足度

正社員とパート･アルバイトの間の変化については、双方向において、いずれの項目においても、満足度の変化なしが半数以上となっている。

変化ありの場合について、①「正社員からパート･アルバイト」と、②「パート･アルバイトから正社員」で変化の方向を比較すると、労働条件及び人間関係においては、①では低下、②では向上の事例がより多かった。

表Ⅰ-2-33　就業形態変化者の仕事の満足度

（人）

		正社員→パート･アルバイト		パート･アルバイト→正社員	
仕事内容	変化なし	10	62.5%	10	62.5%
	向上	2	12.5%	3	18.8%
	低下	3	18.8%	3	18.8%
	不明	1	6.3%		
労働条件	変化なし	8	50.0%	10	62.5%
	向上	2	12.5%	4	25.0%
	低下	5	31.3%	2	12.5%
	不明	1	6.3%		
人間関係	変化なし	8	50.0%	9	56.3%
	向上	3	18.8%	5	31.3%
	低下	4	25.0%	2	12.5%
	不明	1	6.3%		
職場環境	変化なし	9	56.3%	11	68.8%
	向上	2	12.5%	2	12.5%
	低下	2	12.5%	3	18.8%
	不明	3	18.8%		

4．雇用契約による就労と福祉的就労の間の変化の状況

雇用契約による就労から福祉的就労への変化は７人、変化前の就業形態は正社員が１人、パート・アルバイトが６人であった。

離職の理由は事業主都合が２人、契約期間満了が２人、自己都合が２人（無回答１人）であり、就職活動の状況としては、「すぐに仕事につきたい」人は２人、その他は「すぐにというわけではないが仕事につきたい」等であった。

福祉的就労から雇用契約による就労への変化は３人、変化後の就業形態はパート･アルバイトが１人、就労継続支援事業所A型が２人となっている。

また、１、２回で雇用契約による就労から福祉的就労に変化し、２、３回で再び雇用契約による就業に戻った人が２人いた。

表Ⅰ-2-34　雇用と福祉の間の変化　（人）

	1回→2回	2回→3回	性別	障害	就業形態
雇用契約→福祉的就労	4(2)	3	男5女2	肢体1 知的2(1) 精神2	(変化前) 正社員　1 ﾊﾟｰﾄ･ｱﾙﾊﾞｲﾄ6(1)
福祉的就労→雇用契約	―	3(2)	男2女1	聴覚1 肢体1 知的1	(変化後) A型　2(1) ﾊﾟｰﾄ･ｱﾙﾊﾞｲﾄ　1

(注)変化に係る(2)は、同一の人。下線はその属性等

第３節　まとめ

１．職業サイクルの経過の状況

職業サイクルの基本的様相である①就労か非就労か、就労している場合は正社員、パート・アルバイト等どのような就業形態かについて、３回の調査を通じて継続と変化の状況を整理した。

３回の調査を通じ、「雇用契約ありとなし」の間の変化は、第１回調査と第２回調査の間において 23 人、第２回調査と第３回調査の間において 29 人であり、３回全ての調査に回答した 266 人のうち約１割程度において雇用契約の有無に関わる変化が見られた。

また、「雇用契約あり」のうち、正社員とパート・アルバイト等の間の変化は、第１回と第２回において 18 人、第２回と第３回において 14 人と 266 人の５～７％程度であった。一方、３回とも正社員継続者は 104 人、パート・アルバイト継続者は 82 人であった。

２．職業サイクルの各局面における状況の分析

第１回調査から第３回調査を通じた職業サイクルの局面として、「雇用契約ありとなし」の間の変化の局面、「３回の調査を通じた継続」の局面、「正社員とパート・アルバイト等」の間の変化の局面、「雇用契約による就労と福祉的就労」の間の変化の局面等に着目し、ライフイベントや仕事上の出来事、仕事の満足度や継続意思等の意識、離職理由や就職活動の状況等を分析した。

「雇用契約のありとなし」の間の変化の局面では、「給料が上がった」にもかかわらず「雇用契約ありからなし」に変化した事例が全体よりも高い割合で見られた。離職理由をみると、３人に２人は「自己都合」でありその７割は「体調不良」を挙げており安定した職業サイクルへの健康面の影響について注視していく必要がある。

一方、「雇用契約なしからあり」への再就職の局面では、ハローワーク等の支援機関の利用が多く見られた。

「同一就業形態の継続」の局面では、正社員とパート・アルバイトの３回継続者の状況を比較すると、正社員継続者においては、ライフイベントでは「結婚」、「子どもが生まれた」等の項目が、また、仕事上の出来事では、「配置転換」、「昇進」、「昇給」の項目の回答割合が高くなっている。

パート・アルバイト継続者においては、これらの項目について全体の傾向と大きな差は見られないが、その一方で、「仕事の満足度」、「仕事の継続意思」は、正社員継続者よりも高くなっている。

仕事上の出来事のうち、「配置転換」、「昇進」、「昇給」等、労働者にとってプラスと考えられる事項がより高い割合で見られる正社員継続者の満足度がパート･アルバイト継続者より低くなっており、仕事に対する要求水準に違いがあるのかなど、その背景について引き続き留意する必要がある。

【参考】仕事をしている人全体の状況

調査対象となった障害のある人の仕事の状況について、仕事をしている人全体の状況と比べて検討する。

次の表は、３回の調査実施時点における労働関係の統計調査から類似の指標を整理したものである。職業サイクル第３回の前期調査の結果とこれらの労働関係の指標の状況との比較を行った。

なお、以下の労働関係の各調査と職業サイクル調査では、調査方法、対象者の基準、サンプル数の規模、指標の定義などが異なるのであくまでも参考にとどめるものである。

１．就業状況

仕事をしている人全体の状況を、総務省「労働力調査」により、前期調査の第２回と第３回の調査時点間での状況をみると、就業者数、雇用者数はそれぞれ 0.5%、0.6%減少した。前期調査では表Ⅰ－１-7（ｐ34）によりみると、それぞれ 0.8%（２人）、1.6%（４人）減少した。

同じく全体では正規雇用者数は 0.9%減少し、非正規雇用者数は 0.8%増加した。前期調査では正社員は 1.6%（２人）増加し、パート・アルバイトは 14.5%（18 人）減少した。

正規雇用者の割合は、全体では 70.1%から 69.7%と 0.4 ポイント減少し、前期調査では 45.1%（124 人）から 45.8%（126 人）と 0.7 ポイント増加した。

２．賃金、労働時間

厚生労働省「毎月勤労統計調査」により、全体の賃金の状況をみると、きまって支給する賃金額は 0.7%減少した。前期調査では表Ⅰ-1-16（ｐ38）により給与幅の区分では上がった人 32 人、下がった人 17 人であり、表Ⅰ-1-18（ｐ40）では仕事上の出来事として「給料が上がった人」が 33.5%（93 人）、「下がった」人が 9.0%（25 人）だった。

「労働力調査」により、全体の労働時間をみると「週１～29 時間」が 6.5%増加し、「週 30 時間以上」が 0.2%減少した。前期調査では表Ⅰ-1-11（ｐ36）により「週 20 時間未満」と「週 20 時間以上 30 時間未満」を合計したものと「週 30 時間以上」をみるとそれぞれ 11.3%（７人）増加、3.1%（５人）減少した。

３．転職状況

「労働力調査」により、第３回調査年の全体の転職者数をみると 197 万人、転職者比率（就業者数に対する比率）は 6.2%であった。第３回前期調査では表Ⅰ-2-18（ｐ63）によりみると「転職した」人は 12 人であり、仕事をしている人の 4.3%であった。

表Ⅰ-2-35　仕事をしている人全体の状況　　（△増　▲減）

	平成21年1月 （第1回調査）	平成22年7月 （第2回調査）	平成24年7月 （第3回調査）
1 就業者 （15～44歳以上）	3,241万人(21.1)	3,201万人(22.7) ▲1.2％	3,186万人(24.7) ▲0.5％
2 雇用者数 （同上）	3,046万人(21.1)	3,020万人(22.7) ▲0.9％	3,003万人(24.7) ▲0.6％
3 正規雇用 （同上）	2,081万人(21年平均)	2,054万人(22年平均) ▲1.3％	2,036万人(24年平均) ▲0.9％
4 非正規雇用 （同上）	873万人(21年平均)	877万人(22年平均) △0.5 ％	884(24年平均) △0.8％
5 正規雇用と非正規雇用の比率 (3，4より計算)	正規雇用:非正規雇用 70.4％ : 29.6％	正規雇用:非正規雇用 70.1％：29.9％ ▲0.3 ： △0.3P	正規雇用:非正規雇用 69.7％：30.3％ ▲0.4P：△0.4P
6 完全失業者数 （15～44歳以上）	178万人(21.1)	196万人(22.7) △10.1％	179万人(24.7) ▲8.7％
7 完全失業率 （同上）	5.2%(21.1)	5.8%(22.7) △0.6P	5.3%(24.7) ▲0.5P
8 賃金(年齢計、事業所規模5人以上)	268,989円(20.12) (決まって支給する給与)	263,993円(22.6) (決まって支給する給与) ▲1.9%	262,263 円(24.6) (決まって支給する給与) ▲0.7％
9 週労働時間別 非農林業雇用者数 （年齢計）	週1～29時間 980万人 週30時間以上4,343万人	週1～29時間 941万人 ▲4.0％ 週30時間以上4,324万人 ▲0.4％	週1～29時間 1002万人 △6.5％ 週30時間以上4,317万人 ▲0.2％
10 転職者数(注1) （15～44歳以上）	228万人(21年平均)	197万人(22年平均) ▲13.6％	197万人(24年平均) ―
11 転職者比率 (15～44歳就業者数に対する比率)	7.1% (3,228万人に対する比率、21年平均)	6.2% (3,192万人に対する比率、21年平均) ▲0.9P	6.2% (3,174万人に対する比率、21年平均) ―
12 転職者の転職後の雇用形態 (年齢計)	正規→正規76万人 正規→非正規34万人 非正規→正規46万人 非正規→非正規126万人 (21年平均)	正規→正規62万人 正規→非正規30万人 非正規→正規41万人非正規→非正規117万人 (22年平均)	正規→正規71万人 正規→非正規32万人 非正規→正規40万人 非正規→非正規116万人 (24年平均)
13 転職希望者 (年齢計)	612万人 転職希望率(注2)9.7％	618万人 転職希望率(注2)9.9％ △1.0％、△0.2P	623万人 転職希望率(注2)9.9％ △0.8％、―
14 転職前後の収入増減 (15～44歳以上)	収入増69万人(30.3％) ほぼ同じ66万人(28.9％) 収入減91万人(39.9％)	収入増66万人(33.5％) △3.2P ほぼ同じ58万人(29.4％) △0.5P 収入減71万人(36.0％) ▲3.9P	収入増72万人(36.5％) △3P ほぼ同じ57万人(28.9％) ▲0.5P 収入減67万人(34.0％) ▲2.0P

(資料出所)総務省「労働力調査」(7，8以外)、厚生労働省「毎月勤労統計調査」(7，8)
(注1)転職者とは就業者のうち前職のある者で、過去1年間に離職を経験した者
(注2)転職希望者率とは就業者数に対する比率。

第Ⅱ部

第 3 回職業生活後期調査（1952～67 年度生まれ）の調査結果

第Ⅱ部　第３回職業生活後期調査（1952～67 年度生まれ）の調査結果

調査の集計結果を以下の構成によりとりまとめた。

第１章　第２回調査と第３回調査の間の２年間の経過－状況の継続と変化－

第３回職業生活後期調査で回答のあった 320 人のうち第２回調査にも回答のあったのは 259 人である。これら 259 人の第２回調査と第３回調査の同一設問についての回答を比較し、継続と変化を見た。そして＜第１回調査と第２回調査での同様の結果＞を参照しながら解説している。

第２章　職業サイクルの展開の状況

第１回から第３回までを通して全ての回に回答のあった 246 人を対象とし、就業形態の経過についてパターンに分けて分析を行った。

＜回答者の属性＞

集計の対象とした 320 人の属性は次のとおりである。

人（%）

	男性	女性	計
全体	224 (70.0)	96 (30.0)	320 (100.0)
視覚障害	26 (61.9)	16 (38.1)	42 (100.0)
聴覚障害	40 (62.5)	24 (37.5)	64 (100.0)
肢体不自由	70 (75.3)	23 (24.7)	93 (100.0)
内部障害	26 (76.5)	8 (23.5)	34 (100.0)
知的障害	39 (67.2)	19 (32.8)	58 (100.0)
精神障害	23 (79.3)	6 (20.7)	29 (100.0)

	40歳代	50歳代	60歳代	計
全体	128 (40.0)	185 (57.8)	7 (2.2)	320 (100.0)
視覚障害	16 (38.1)	26 (61.9)		42 (100.0)
聴覚障害	25 (39.1)	39 (60.9)		64 (100.0)
肢体不自由	34 (36.6)	52 (55.9)	7 (7.5)	93 (100.0)
内部障害	6 (17.6)	28 (82.4)		34 (100.0)
知的障害	32 (55.2)	26 (44.8)		58 (100.0)
精神障害	15 (51.7)	14 (48.3)		29 (100.0)

第１章　第２回調査と第３回調査の間の２年間の経過

－状況の継続と変化－

第２回調査と第３回調査の間の２年間の経過について、第１回調査と第２回調査の間の経過と比較しながら見て行くこととする。

なお、第２回調査と第３回ともに回答したのは 259 人、第１回調査、第２回調査ともに回答したのは 293 人となっている。（障害別の詳細は資料編参照）

第１節　障害状況

１．障害者手帳の所持状況

障害者手帳の所持状況について、第２回調査と第３回調査の間の経過をみると、第２回での無回答が第３回では身体障害者手帳となった以外は変化がなかった（99.6%）。

＜第１回調査と第２回調査の間の経過は、２回とも回答のあった 293 人のうち変化なしが 291 人（99.3%）変化ありが２人（0.7%）＞

表Ⅱ-1-1　障害者手帳の所持状況

（人）

		第３回								計
		身体障害者手帳	療育手帳	精神障害者保健福祉手帳	身体障害者手帳と療育手帳	身体障害者手帳と精神障害者保健福祉手帳	療育手帳と精神障害者保健福祉手帳	手帳なし	無回答	
第２回	身体障害者手帳	186								186
	療育手帳		44							44
	精神障害者保健福祉手帳			13						13
	身体障害者手帳と療育手帳				2					2
	身体障害者手帳と精神障害者保健福祉手帳					2				2
	療育手帳と精神障害者保健福祉手帳						1			1
	手帳なし							5		5
	無回答	1							5	6
計		187	44	13	2	2	1	5	5	259

（注1）第２回調査の回答と第３回調査の回答をクロス集計したものである。

２．障害者手帳の等級の状況

手帳等級が重度化した人は、肢体不自由３人（３級から２級、５級から３級、６級から５級)、精神障害１人（３級から２級）であった。また新たに障害が重複となったのは、肢体不自由と聴覚障害であった人が視覚障害が加わった（進行性の疾患による）１人であった。

表Ⅱ-1-2-1　身体障害者手帳の等級の変化

（人）

		第3回					
		1級	2級	3級	4級	5級	6級
第2回	1級						
	2級						
	3級		1				
	4級						
	5級			1			
	6級					1	

表Ⅱ-1-2-2 精神障害者保健福祉手帳の等級の変化

（人）

		第3回		
		1級	2級	3級
第2回	1級			
	2級			
	3級		1	

表Ⅱ-1-2-3　第2回調査と第3回調査の間で障害が重複になった人の状況

（人）

重複になった人	肢体と聴覚　→肢体と聴覚と視覚	1

(注)調査間で障害の重複したか否かについては、障害名の記載に併せて、手帳新規取得の状況から判断して計上している。

第２節　家族状況及び住居環境

１．家族構成の状況（配偶者、子ども）

第２回と第３回に回答のあった 259 人のうち、変化なし 236 人 (91.1%) 変化あり 23 人 (8.9%) となっている。＜１回と２回の間の経過は１回、２回とも回答のあった 293 人のうち変化なし 272 人 (92.8%)、変化あり 21 人 (7.2%) ＞

変化ありの主なものは、「配偶者あり・子どもあり」から「配偶者あり・子どもなし」が６人で、その背景要因は成人した子どもの自立、つまり後期調査対象者世代の家族分離の過程の一端として考えられる。

障害別には、「配偶者なしからありへの変化」は聴覚障害で３人と多く、次いで視覚障害で２人内部障害で１人、「子どもなしからありへの変化」は聴覚障害と肢体不自由で２人、内部障害で１人となっており、家族形成の過程も同時に続いている。

表Ⅱ-1-3　家族構成の状況：配偶者、子どもの有無

（人）

			第3回				計
			配偶者あり		配偶者なし		
			子どもあり	子どもなし	子どもあり	子どもなし	
第2回	配偶者あり	子どもあり	68	6	2	1	77
		子どもなし	3	26			29
	配偶者なし	子どもあり		1	13	3	17
		子どもなし	1	5	1	129	136
計			72	38	16	133	259

(注)「配偶者あり」と「子どもあり」は家族構成についてたずねた複数回答の中で、配偶者と子どもにそれぞれ回答のあったもので、「配偶者なし」と「子どもなし」はその回答のなかったもので無回答も含まれている。

表Ⅱ-1-4 家族構成の変化(配偶者・子ども)

（人）

	計		変化なし				変化あり					
					配偶者なし、子どもなし				配偶者なしからありへの変化		子どもなしからありへの変化	
全体	259	100.0%	235	90.7%	129	49.8%	24	9.3%	7	2.7%	6	2.3%
視覚障害	31	100.0%	26	83.9%	15	48.4%	5	16.1%	2	6.5%		
聴覚障害	51	100.0%	42	82.4%	10	19.6%	9	17.6%	3	5.9%	2	3.9%
肢体不自由	76	100.0%	72	94.7%	29	38.2%	4	5.3%				
内部障害	30	100.0%	28	93.3%	14	46.7%	2	6.7%	1	3.3%	2	6.7%
知的障害	51	100.0%	49	96.1%	48	94.1%	2	3.9%			2	3.9%
精神障害	20	100.0%	18	90.0%	13	65.0%	2	10.0%	1	5.0%		

２．同居の家族の状況

同居の家族の状況について、第２回調査と第３回調査の間の経過を見ると、変化なしが 225 人(86.9%)、変化ありが 20 人(7.7%)となっている。変化なしの主なものは「配偶者との同居を含む家族との同居」93 人(35.9%)であり、次いで「父母との同居」82 人（31.7%）であった。「父母と同居」は 2.7 ポイント減少しており、その変化の詳細は、父母との同居から一人暮らし（視覚障害、肢体不自由、精神障害で各々１人)、配偶者との同居（聴覚障害２人)、グループホームへの入居（知的障害２人）等であった。また一人暮らしの状況を見ると、変化なしが 29 人、一人暮らしになった人が７人、一人暮らしから他の家族との同居やグループホームに入居した人は６人となっている。

＜第１回調査と第２回調査間の経過は、一人暮らしで変化なしが 31 人で一人暮らしになった人が８人、一人暮らしでなくなった人が４人＞

表Ⅱ-1-5　同居の家族

（人）

		第3回						計
		一人暮らし	配偶者を含む家族との同居	父母との同居(配偶者とは同居していない)	子ども、兄弟	グループホーム等	その他・無回答	
第2回	一人暮らし	29	3	3			2	37
	配偶者を含む家族との同居		93	1	1		7	102
	父母との同居(配偶者とは同居していない)	3	2	82	1	2	3	93
	子ども、兄弟	3			10			13
	グループホーム等	1				11	1	13
	その他・無回答		1					1
計		36	99	86	12	13	13	259

（注）　配偶者うち父母（1人）、配偶者の父母（1人）とも同居している人は配偶者の中に区分している。その他の家族等は、友人や同棲中、兄弟、祖父母、配偶者の父母などを含む。

表Ⅱ-1-6　同居の家族の変化の状況（障害別）

（人）

	計		変化なし		変化あり		その他・無回答		備考 主な変化なし		
全体	259	100.0%	225	84.4%	20	9.8%	14	5.8%	配偶者との同居	93	35.9%
視覚障害	31	100.0%	25	88.5%	2	3.8%	4	7.7%	配偶者との同居	11	35.5%
聴覚障害	51	100.0%	42	79.1%	6	16.3%	3	4.7%	配偶者との同居	28	54.9%
肢体不自由	76	100.0%	70	91.7%	2	3.3%	4	5.0%	配偶者との同居	35	46.1%
内部障害	30	100.0%	27	90.0%	3	5.0%			配偶者との同居	14	46.7%
知的障害	51	100.0%	43	92.6%	5	5.3%	3	2.1%	父母との同居	28	54.9%
精神障害	20	100.0%	18	46.9%	2	34.4%			父母との同居	12	60.0%

第３節　就業状況

1　就業形態の状況

第２回調査回答者の第３回調査での状況を見ると、回答者 259 人の内、変化なし 215 人[全体の 83.0%]、変化あり 38 人[同14.7%]　＜第１回調査と第２回調査との間の変化は､回答者293 人の内､変化なし259 人(88.4%)、変化あり 30 人（10.2%）＞

第２回から第３回までの２年間では、「正社員」が 148 人（57.1%）から 140 人（54.0%）に 3.1 ポイント減少する一方、「就労継続支援Ｂ型」及び「仕事をしていない」が増加している。

就業形態別に見ると「正社員」は第２回の 148 人のうち、第３回では「正社員」（変化なし）が 135 人（第２回の 91.2%)、「パート・アルバイト」が４人（同 2.7%)、「就労継続支援Ａ型」及び「就労継続支援Ｂ型等」（以下、合わせて「就労継続」という。）が１人（同 0.7%)、「仕事をしていない」が６人（同 4.1%)。「パート・アルバイト」は、第２回の 73 人の内、「パート･アルバイト」（変化なし）が 60 人（第２回の 82.2%)、「就労継続」が７人（同 9.6%)、「仕事をしていない」３人（同 4.1%）

就労継続支援事業所利用者９人の内３人が一般雇用となり、５人が就労継続事業所を利用しており、

「仕事をしていない」11 人の内４人が一般雇用となり、７人が「仕事をしていない」状態のままであった。

障害種別にみると、肢体不自由で正社員から「仕事をしていない」になった人が４人と多く、また知的障害でパート・アルバイトから就労継続事業所（Ａ型、Ｂ型）に変わった人が６人と多かった。

表Ⅱ-1-7　就業形態の状況

（人）

		第3回調査										計
		正社員	パート・アルバイト	派遣	自営	内職	就労継続支援Ａ型	就労継続支援Ｂ型	仕事をしていない	その他	無回答	
第2回調査	正社員	135	4				1		6		2	148
	パート･アルバイト	2	60				1	6	3		1	73
	派遣											
	自営	1	3		11							15
	内職											
	就労継続支援Ａ型						1	2			1	4
	就労継続支援Ｂ型	1	2				1	1				5
	仕事をしていない	1	3						7			11
	その他							1				1
	無回答		1				1					2
計		140	73		11		5	10	16		4	259

表Ⅱ-1-8　就業形態の変化の状況（障害別）

（人）

	計		変化なし		変化あり		その他・無回答		備考					
									主な変化なし			主な変化		
全体	259	100.0%	215	83.0%	40	15.4%	4	1.5%	正社員	135	52.1%			
視覚障害	31	100.0%	29	93.5%	2	6.5%			正社員	16	51.6%			
聴覚障害	51	100.0%	43	84.3%	6	11.8%	2	3.9%	正社員	29	56.9%			
肢体不自由	76	100.0%	64	84.2%	12	15.8%			正社員	50	65.8%	正→仕事しない	4	5.3%
内部障害	30	100.0%	28	93.3%	2	6.7%			正社員	21	70.0%			
知的障害	51	100.0%	35	68.6%	15	29.4%	1	2.0%	パート・アルバイト	20	39.2%	パ→B型	5	9.8%
精神障害	20	100.0%	16	80.0%	3	15.0%	1	5.0%	パート・アルバイト	10	50.0%			

第４節　仕事内容等

1　仕事内容の状況

第２回と第３回調査で就業中と回答した 219 人のうち、第２回と第３回の仕事内容の回答を比較すると、変化なしが 174 人[回答全体の 79.5%]、変化ありが 40 人[回答全体の 18.3%]となっている。

＜第１回調査と第２回調査との間の変化は、回答者数 272 人のうち変化なしが 210 人（77.2%）、変化ありが 49 人（18.0%）＞

「ものを作る仕事」から「事務の仕事」に変わった人が多く４人で、障害別には肢体不自由で「ものを作る仕事」から「事務の仕事」に変わった人が多く、内部障害で「人を相手にするサービス業」から「事務の仕事」に変わった人が多かった。

表Ⅱ-1-9　仕事内容の状況

（人）

		第３回									
		ものを作る仕事	ものを売る仕事	事務の仕事	ものを教える仕事	医療や福祉に関わる仕事	人を相手にするサービス業	清掃やクリーニングなどのサービス業	その他	無回答	計
第２回	ものを作る仕事	44		4					3		51
	ものを売る仕事	3	5								8
	事務の仕事	1		57					2	1	61
	ものを教える仕事				8	1					9
	医療や福祉に関わる仕事			2		26					28
	人を相手にするサービス業			3	1	1	2		1	1	9
	清掃やクリーニングなどのサービス業							21			21
	その他	8	1	3	1		1	4	11		29
	無回答	1				1				1	3
計		57	6	69	10	29	3	25	17	3	219

（注）就業形態が、第２回調査において「正社員」、「パート・アルバイト」、「派遣」、「自営」のいずれか回答があり、かつ、第３回調査においてこれらの形態と「就労継続Ａ型」のいずれに回答があった233人について集計した。

表Ⅱ-1-10　仕事内容の変化の状況（障害別）

（人）

	計		変化なし		変化あり		無回答		備考			
									主な変化なし			主な変化
全体	219	100.0%	174	79.5%	40	18.3%	5	2.3%	事務	57	26.0%	－
視覚障害	29	100.0%	24	82.8%	4	13.8%	1	3.4%	医療や福祉	17	58.6%	－
聴覚障害	45	100.0%	36	80.0%	8	17.8%	1	2.2%	ものを作る	16	35.6%	－
肢体不自由	61	100.0%	49	80.3%	11	18.0%	1	1.6%	事務	27	44.3%	－
内部障害	29	100.0%	23	79.3%	6	20.7%			事務	11	37.9%	－
知的障害	40	100.0%	33	82.5%	5	12.5%	2	5.0%	清掃やクリーニング	14	35.0%	－
精神障害	15	100.0%	9	60.0%	6	40.0%			事務	3	20.0%	－

2　勤務時間の状況

第２回と第３回調査で就業中と回答した 219 人のうち、第２回と第３回の回答を比較すると、変化なしが 165 人[回答全体の 75.3%]、変化ありが 38 人[回答全体の 17.4%]となっている。

＜第１回調査と第２回調査との間の変化は、回答者数 272 人のうち変化なしが 204 人（75.0%）、変化ありが 46 人（16.9%）＞

変化なしの主なものは「30 時間以上（フルタイム)」144 人。変化あり 38 人のうち、主なものは、「30 時間以上（フルタイム)」から「20 時間以上 30 時間未満」が 16 人、「20 時間以上 30 時間未満」から　「30 時間以上（フルタイム)」が 11 人。また 20 時間未満の区分が４人から 14 人に増加している。

障害別には第２回調査時点と比べ第３回調査で勤務時間が短くなったのは、精神障害で 15 人の内５人(33.3%)知的障害で 40 人の内９人（22.5%)、逆に長くなったのは内部障害 29 人の内３人(10.3%)であった。

表Ⅱ-1-11　勤務時間の状況

（人）

		第３回				計
		20時間未満	20時間以上30時間未満	30時間以上（フルタイム）	無回答	
第２回	20時間未満	3	1			4
	20時間以上30時間未満	6	18	11	2	37
	30時間以上（フルタイム）	4	16	144	5	169
	無回答	1	2	5	1	9
計		14	37	160	8	219

表Ⅱ－１-12　勤務時間の変化の状況（障害別）

（人）

	計		変化なし		変化あり				無回答		備考			
					増加		減少				主な変化なし			主な変化
全体	219	100.0%	165	75.3%	12	5.5%	26	11.9%	16	7.3%	30時間以上	144	65.8%	30以上→20～30
視覚障害	29	100.0%	25	86.2%	2	6.9%	2				30時間以上	24	82.8%	－
聴覚障害	45	100.0%	35	77.8%	2	4.4%	5	11.1%	3	6.7%	30時間以上	31	68.9%	
肢体不自由	61	100.0%	55	90.2%	1	1.6%	2	3.3%	3	3.3%	30時間以上	49	80.3%	－
内部障害	29	100.0%	21	72.4%	3	10.3%	3	10.3%	2	24.1%	30時間以上	19	65.5%	－
知的障害	40	100.0%	21	52.5%	3	7.5%	9	22.5%	7	2.5%	30時間以上	15	37.5%	30以上→20～30
精神障害	15	100.0%	8	53.3%	1	6.7%	5	33.3%	1	6.7%	30時間以上	6	40.0%	

３　休日の状況

第２回と第３回調査で就業中と回答した 219 人のうち、第２回と第３回の回答を比較すると、変化なしが 138 人[回答全体の 63.0%]、変化ありが 68 人[回答全体の 31.1%]となっている。

＜第１回調査と第２回調査との間の変化は、回答者数 272 人のうち変化なしが 175 人（64.3%）、変化ありが 78 人（28.7%）＞

変化なしの主なものは「２日」114 人。変化あり 68 人のうち、主なものは、「２日」から「４日以上」が 18 人、「４日以上」から「２日」が 18 人。他休日日数が増えたのは 31 人[同 14.2%]、他休日日数が減ったのは 31 人[同 14.2 %]。

障害別の状況としては、休日数が増えたのは聴覚障害で 45 人の内９人(20.0%)精神障害で 15 人の内３人(20.0%)と多く、減ったのは知的障害で 40 人の内 10 人（25.0%）であった。

表Ⅱ-1-13　１週間当たり休日数の状況

（人）

		第３回						計
		１日	２日	３日	４日以上	不定期	無回答	
第２回	１日	10	3	1	3		1	18
	２日	8	114	5	18	3	5	153
	３日		1	5	1			7
	４日以上	2	18	2	6		1	29
	不定期	1	2			3		6
	無回答		5				1	6
計		21	143	13	28	6	8	219

表Ⅱ-1-14　休日数の変化の状況（障害別）

（人）

	計		変化なし		変化あり						不明	
					増加		減少		その他			
計	219	100.0%	138	63.0%	31	14.2%	31	14.2%	6	2.7%	13	5.9%
視覚障害	29	100.0%	20	69.0%	4	13.8%	4	13.8%			1	3.4%
聴覚障害	45	100.0%	25	55.6%	9	20.0%	7	15.6%	2	4.4%	2	4.4%
肢体不自由	61	100.0%	44	72.1%	5	8.2%	7	11.5%	1	1.6%	4	6.6%
内部障害	29	100.0%	21	72.4%	4	13.8%	2	6.9%	1	3.4%	1	3.4%
知的障害	40	100.0%	18	45.0%	6	15.0%	10	25.0%	1	2.5%	5	12.5%
精神障害	15	100.0%	10	66.7%	3	20.0%	1	6.7%	1	6.7%		

	備考		
	主な変化なし		主な変化
計	2日	144	2日→4日以上、4日以上→2日
視覚障害	2日	12	－
聴覚障害	2日	22	2日→1日、2日→4日以上
肢体不自由	2日	39	4日以上→2日
内部障害	2日	18	－
知的障害	2日	16	4日以上→2日
精神障害	2日	7	－

4　給与額の状況

第２回と第３回調査で就業中と回答した 219 人のうち、第２回と第３回の回答を比較すると、変化なしが 157 人[回答全体の 71.7%]、変化ありが 48 人[回答全体の 21.9%]となっている。

＜第１回調査と第２回調査との間の変化は、回答者数 272 人のうち変化なしが 187 人（68.8%）、変化ありが 65 人（23.9%）＞

変化なしの主なものは「13 万円以上 25 万円未満」69 人(第２回調査での同区分の 75.0%)。変化あり 48 人のうち、給料の区分が下がった人は全体で 19 人[同 8.7%]、 給料の区分が上がったのは 29 人[回答全体の 13.2%]で、障害別には聴覚障害が 45 人中 10 人（22.2%）と多い。

表Ⅱ-1-15　１ヶ月当たりの給与額の状況

（人）

		第３回						計
		7万円未満	7万円以上13万円未満	13万円以上25万円未満	25万円以上40万円未満	40万円以上	無回答	
第２回	7万円未満	8	6	1			1	16
	7万円以上13万円未満	6	40	10			1	57
	13万円以上25万円未満	2	6	69	9	1	5	92
	25万円以上40万円未満			3	38	2	2	45
	40万円以上				2	2		4
	無回答	1	1	2	1			5
計		17	53	85	50	5	9	219

表Ⅱ-1-16　給与額の変化の状況(障害別)

（人）

	計		変化無し		変化あり				無回答		備考
					増加		減少				主な変化無し
全体	219	100.0%	156	71.2%	29	13.2%	19	8.7%	15	6.8%	13万円～25万円
視覚障害	29	100.0%	22	75.9%	1	3.4%	3	10.3%	3	10.3%	13万円～25万円 25万円～40万円
聴覚障害	45	100.0%	28	62.2%	10	22.2%	6	13.3%	1	2.2%	13万円～25万円
肢体不自由	61	100.0%	45	73.8%	8	13.1%	4	6.6%	4	6.6%	13万円～25万円
内部障害	29	100.0%	22	75.9%	3	10.3%	2	6.9%	2	6.9%	13万円～25万円
知的障害	40	100.0%	27	67.5%	5	12.5%	3	7.5%	5	12.5%	７万円～13万円
精神障害	15	100.0%	12	80.0%	2	13.3%	1	6.7%			７万円～13万円

第５節　ライフイベント

第２回と第３回に回答のあった人 259 人について、第３回調査でのライフイベントの生起率と第２回調査の生起率とを比較した。第２回調査と比較して、第３回調査では「自分が病気や事故で１ヶ月以上の入院をした」と「家族が病気や事故で１ヶ月以上の入院をした」の回答割合が増加した。障害別には「自分が病気や事故で１ヶ月以上の入院をした」は内部障害、肢体不自由、精神障害のみの回答で、特に内部障害と肢体不自由で１割以上の回答があった。「家族が病気や事故で１ヶ月以上の入院をした」は回答割合に若干の開きはあるものの、全ての障害で回答があった。また同様に「家族が亡くなった」も全ての障害での回答があり、障害別の差はあまりなかった。

表Ⅱ-1-17　ライフイベント

（人）

	自分が結婚をした	自分が離婚をした	自分が子どもを生んだ（子どもが生まれた）	自分が引越をした	自分が親元から離れて暮し始めた	自分が病気や事故で一カ月以上の入院をした	自分が学校に通ったまたは卒業した	自分の障害に関する年金を受給しはじめた	自分の障害に関する年金の受給がなくなった	自分の親が離婚をした	自分の親が仕事を辞めた	家族が病気や事故で一カ月以上の入院をした	家族が亡くなった	該当する項目なし	無回答	対象者
視覚障害	2 4.8%	1 2.4%							1 2.4%			4 9.5%	4 9.5%	28 66.7%	4 9.5%	42 100.0%
聴覚障害	3 4.7%	3 4.7%		3 4.7%				1 1.6%				8 12.5%	4 6.3%	38 59.4%	7 10.9%	64 100.0%
肢体不自由		1 1.1%		4 4.3%		10 10.8%	1 1.1%	1 1.1%			2 2.2%	14 15.1%	7 7.5%	52 55.9%	8 8.6%	93 100.0%
内部障害			1 2.9%			5 14.7%			2 5.9%		1 2.9%	2 5.9%	4 11.8%	17 50.0%	4 11.8%	34 100.0%
知的障害				2 3.4%				2 3.4%			1 1.7%	2 3.4%	4 6.9%	32 55.2%	15 25.9%	58 100.0%
精神障害	1 3.4%			4 13.8%		1 3.4%						3 10.3%	4 13.8%	13 44.8%	4 13.8%	29 100.0%
計	6 1.9%	5 1.6%	1 0.3%	13 4.1%		16 5.0%	1 0.3%	4 1.3%	3 0.9%		4 1.3%	33 10.3%	27 8.4%	180 56.3%	42 13.1%	320 100.0%
第2回	6 1.9%		2 0.6%	14 4.5%	3 1.0%	15 4.8%	1 0.3%	5 1.6%	2 0.6%		5 1.6%	25 8.0%	36 11.5%		182 58.0%	314 100.0%

（注）第３回で回答のあった全ての人 320 人の回答について集計し、第２回調査の 314 人の回答と比較。

第６節　仕事上の出来事

1　全体の状況

仕事上の出来事の調査結果からキャリア形成についてみる。第１回調査時点からの４年間の仕事に関係した出来事で最も多いのは「上司が異動した」が前半２年間（第２回調査）で 75 人（26.4%）、後半２年間（第３回調査）で 90 人（31.8%）である。次いで、「給料が上がった」が前半２年間で 78 人（27.5%）、後半２年間で 52 人（18.4%）「配置転換があった」がそれぞれ 62 人（21.8%）、48 人（17.0%）であった。これらの出来事について以下詳しく分析をしていく。

表Ⅱ-1-18　仕事上の出来事

（人）

	配置転換があった	上司の異動	まわりで直接仕事などを援助してくれる人がいなくなった	昇進した	給料が上がった	給料が下がった	正社員になった	休職をした	転職をした	勤めていた会社が倒産した	該当する項目なし	無回答	対象者（注）
視覚障害	5	10	2	1	4	7		1	3		16	2	41
	12.2%	24.4%	4.9%	2.4%	9.8%	17.1%		2.4%	7.3%		39.0%	4.9%	100.0%
聴覚障害	13	15	4	1	9	3	1	2	5	1	22	7	58
	22.4%	25.9%	6.9%	1.7%	15.5%	5.2%	1.7%	3.4%	8.6%	1.7%	37.9%	12.1%	100.0%
肢体不自由	12	31	3	8	14	19		4	3		19	4	77
	15.6%	40.3%	3.9%	10.4%	18.2%	24.7%		5.2%	3.9%		24.7%	5.2%	100.0%
内部障害	5	12	3	2	6	7		1			9	2	33
	15.2%	36.4%	9.1%	6.1%	18.2%	21.2%		3.0%			27.3%	6.1%	100.0%
知的障害	9	12	2		16	4			3		1	14	49
	18.4%	24.5%	4.1%		32.7%	8.2%			6.1%		2.0%	28.6%	100.0%
精神障害	4	10	2	1	3	1		3	5		9		25
	16.0%	40.0%	8.0%	4.0%	12.0%	4.0%		12.0%	20.0%		36.0%		100.0%
計	48	90	16	13	52	41	1	11	19	1	76	29	283
	17.0%	31.8%	5.7%	4.6%	18.4%	14.5%	0.4%	3.9%	6.7%	0.4%	26.9%	10.2%	100.0%
第2回計	62	75	9	13	78	39	1	12	5	2	23	77	284
	21.8%	26.4%	3.2%	4.6%	27.5%	13.7%	0.4%	4.2%	1.8%	0.7%	8.1%	27.1%	100.0%

2　個別の出来事についての検討

個々の仕事上の出来事は、他の出来事や生活、就労に関する状況、労働者の仕事に関する満足度や継続意思等の意識と相互に作用しながら、職業サイクルの展開に影響を与えていると想定される。

具体的には、配置転換や昇進、給料の増減など、事業主による雇用管理上の出来事は、就労の状況を直接変化させるとともに、労働者の満足度や就労継続意思などの意識面に影響し、また、それらの就労に関する意識が、転職などの本人の行動を契機とした出来事に影響するといったことが想定される。

そこで、仕事の出来事のうち、回答数の多い「配置転換」及び「給料が上がった」について、その前後で就労の状況や意識面にどのような変化が見られるかについて見ていくこととする。

なお、仕事上の出来事とその前後の状況については、次の考え方により集計を行った。

＜仕事上の出来事とその前後の状況の捉え方＞

アンケート調査票において、

① 生活や仕事の状況、及び意識については、調査回答時点（７月１日時点）の状況を回答

② ライフイベントや仕事上の出来事、離職等については、調査回答時点から過去２年間の間の状況を回答

するよう、求めている。

以上から、例えば第２回調査で回答のあった出来事については、第１回と第２回の調査における回答をその前後の状況や意識として捉えて比較を行った。

（1）配置転換

第２回調査で、配置転換があった人は 62 人、第３回調査で配置転換があった人は 48 人で計 110 人について分析を行った。（第２回調査と第３回の「仕事についている」人計 567 人の内の 19.4%）

イ．　配置転換のあった人の属性

障害別には聴覚障害（22.3%）、精神障害（21.7%）、肢体不自由（20.8%）で配置転換のあった人の割合が高い。性別は男性の割合がやや高い。年代では 40 歳代の割合が高い。

表Ⅱ-1-19　配置転換があった人の障害

（人）

	視覚障害	聴覚障害	肢体不自由	内部障害	知的障害	精神障害	合計
人数	9	25	33	14	19	10	110
比率（注１）	11.7%	22.3%	20.8%	20.9%	17.9%	21.7%	19.4%
全体（注２）	77	112	159	67	106	46	567

(注1)「比率」は回答者数の全数に対する割合である。
(注2)「全数」は第2回調査及び第3回調査それぞれで「仕事についている」の分岐の回答者。

表Ⅱ-1-20 配置転換があった人の性別

（人）

	男性	女性	計
視覚障害	6	3	9
聴覚障害	16	9	25
肢体不自由	26	7	33
内部障害	11	3	14
知的障害	15	4	19
精神障害	5	5	10
計	79	31	110
比率	27.8%	11.0%	19.4%
全体	284	283	567

表Ⅱ-1-21　配置転換があった年代

（人）

	45～49歳	50～59歳	60歳～	計
視覚障害	3	6		9
聴覚障害	17	8		25
肢体不自由	14	19		33
内部障害	3	11		14
知的障害	16	3		19
精神障害	8	2		10
計	61	49		110
比率	22.6%	16.8%		19.4%
全数	270	291	6	567

ロ.　配置転換があった人の就業形態

就業形態は正社員で多い。配置転換前から就業形態が変わった人が２人確認された。

表Ⅱ-1-22　配置転換があった人の就業形態

（人）

	正社員	パート・アルバイト	派遣	自営	就労継続支援A型	計
視覚障害	9					9
聴覚障害	21	4				25
肢体不自由	30	2			1	33
内部障害	12	2				14
知的障害	7	11			1	19
精神障害	6	4				10
計	85	23			2	110
比率	24.3%	13.1%			20.0%	19.4%
全体	350	176	4	30	10	567

表Ⅱ-1-23　配置転換があった人の就業形態の変化

（人）

		配置転換後			計
		正社員	パート・アルバイト	就労継続支援A型	
配置転換前	正社員	76		1	77
	パート・アルバイト		16		16
	自営		1		1
	無回答	9	6	1	16
計		85	23	2	110

ハ.　配置転換があった人の仕事の内容

前掲仕事内容の状況（ｐ82）と比較して、配置転換では仕事の内容が変化した人の割合がやや高い。

表Ⅱ-1-24　配置転換と仕事内容

（人）

		配置転換後									計
		ものを作る仕事	ものを売る仕事	事務の仕事	ものを教える仕事	医療や福祉に関わる仕事	人を相手にするサービス業	清掃やクリーニングなどのサービス業	その他	無回答	
配置転換前	ものを作る仕事	21	2	1					2	1	27
	ものを売る仕事										
	事務の仕事	2		30		1	2		2		37
	ものを教える仕事				3	1					4
	医療や福祉に関わる仕事					6					6
	人を相手にするサービス業	1		1			1	1			4
	清掃やクリーニングなどのサービス業							8			8
	その他	2					1	3	4		10
	無回答	1		8	2			3			14
計		27	2	40	5	8	4	15	8	1	110

変化無し	73	66.4%
変化あり	22	20.0%

ニ.　配置転換があった人の仕事満足度の変化

配置転換があった人の仕事満足度は約４割前後で変化なしだが、仕事満足度の「仕事内容」の項目と「職場環境」の項目については満足度が向上し、給与待遇と人間関係については満足度が低下する傾向にあった。

表Ⅱ-1-25　配置転換前後の仕事満足度の変化

（人）

	変化なし	向上	低下	不明
仕事内容	42	26	24	18
給与待遇	51	20	21	18
人間関係	41	24	25	20
職場環境	43	28	21	18
仕事内容	38.2%	23.6%	21.8%	16.4%
給与待遇	46.4%	18.2%	19.1%	16.4%
人間関係	37.3%	21.8%	22.7%	18.2%
職場環境	39.1%	25.5%	19.1%	16.4%

ホ．他の仕事上の出来事との関係

配置転換と同じ時に起きた出来事として全体割合よりも高いのは、「上司が異動した」と「まわりで直接仕事などを援助してくれる人がいなくなった」、「給料が下がった」で、その出来事と配置転換との時系列関係は定かにできないが、全体の頻度よりも配置転換に併せてより多く起きている。

表Ⅱ-1-26　配置転換と他の仕事上の出来事

（人）

	上司が異動した	まわりで直接仕事などを援助してくれる人がいなくなった	昇進した	給料が上がった	給料が下がった	正社員になった	休職をした	転職をした	勤めていた会社が倒産した	対象者
視覚障害	5	2		1	3					9
聴覚障害	9	1	2	8	4	1		1		25
肢体不自由	12	1	4	7	9		2			33
内部障害	6	3		3	4					14
知的障害	5	1		5	4		1	2		19
精神障害	5	1	1	4	2		3			10
計	42	9	7	28	26	1	6	3		110
比率	38.2%	8.2%	6.4%	25.5%	23.6%	0.9%	5.5%	2.7%		100.0%
全体	165	25	26	130	80	2	23	24	3	567
	29.1%	4.4%	4.6%	22.9%	14.1%	0.4%	4.1%	4.2%	0.5%	100.0%

（2）　「給料が上がった」

第２回調査で「給料が上がった」人は 78 人、第３回調査で「給料が上がった」人は 52 人で計 130 人について分析を行った。（「仕事についている」人 567 人の内の 22.9%）

イ．「給料が上がった」人の属性

障害別には知的障害（31.1%）、肢体不自由（23.9%）で「給料が上がった」人の割合が高い。性別は男性の割合がやや高く、年代別には 40 歳代の区分の割合が高い。

表Ⅱ-1-27　「給料が上がった」人の障害

（人）

	視覚障害	聴覚障害	肢体不自由	内部障害	知的障害	精神障害	合計
人数	14	20	38	15	33	10	130
比率（注１）	18.2%	17.9%	23.9%	22.4%	31.1%	21.7%	22.9%
全体（注２）	77	112	159	67	106	46	567

(注1)「比率」は回答者数の全数に対する割合である。
(注2)「全数」は第2回調査及び第3回調査それぞれで「仕事についている」の分岐の回答者。

表Ⅱ-1-28　「給料が上がった」人の性別

（人）

	男性	女性	計
視覚障害	5	9	14
聴覚障害	10	10	20
肢体不自由	29	9	38
内部障害	9	6	15
知的障害	21	12	33
精神障害	5	5	10
計	79	51	130
比率	27.8%	18.0%	22.9%
全体	284	283	567

表Ⅱ-1-29　「給料が上がった」人の年代

（人）

	45～49歳	50～59歳	60歳～	計
視覚障害	5	9		14
聴覚障害	8	12		20
肢体不自由	24	14		38
内部障害	5	10		15
知的障害	23	10		33
精神障害	7	3		10
計	72	58		130
比率	26.7%	19.9%		22.9%
全体	270	291	6	567

ロ.「給料が上がった」人の就業形態

就業形態は正社員で26.0%と高いが、パート・アルバイトも20.5%とあまり大きな差はない。

表Ⅱ-1-30「給料が上がった」人の就業形態

（人）

	正社員	パート・アルバイト	派遣	自営	就労継続支援A型	計
視覚障害	12	2				14
聴覚障害	13	7				20
肢体不自由	35	2			1	38
内部障害	10	4		1		15
知的障害	17	15			1	33
精神障害	4	6				10
計	91	36		1	2	130
比率	26.0%	20.5%		3.3%	20.0%	22.9%
全体	350	176	4	30	10	567

ハ.「給料が上がった」人の仕事内容

仕事内容としては「対人サービス業」と「清掃やクリーニング業」と「事務の仕事」で全体よりも割合が高い。

表Ⅱ-1-31　「給料が上がった」人の仕事内容

（人）

	ものを作る仕事	ものを売る仕事	事務の仕事	ものを教える仕事	医療や福祉に関わる仕事	人を相手にするサービス業	清掃やクリーニングなどのサービス業	その他	無回答	計
視覚障害			2		8	3			1	14
聴覚障害	5		11	1	3					20
肢体不自由	12		20			3		3		38
内部障害	2		7			1	3	2		15
知的障害	9	1					15	6	2	33
精神障害	2		2			1	4	1		10
計	30	1	42	1	11	8	22	12	3	130
比率	21.7%	5.6%	25.5%	4.2%	15.5%	50.0%	33.3%	20.0%	33.3%	22.9%
全体	138	18	165	24	71	16	66	60	9	567

ニ.「給料が上がった」人の仕事満足度の変化

仕事に関する出来事のうち「給料が上がった」出来事があったと答えた人について、その回答の前と後での仕事満足度の変化を見ていくと、仕事満足度の下位項目の内、「仕事内容」については変化なしが最も多く、「仕事内容」、「人間関係」については満足度が上がった人が下がった人を上回っていた。

表Ⅱ-1-32　「給料が上がった」人の仕事満足度

（人）

	変化なし	向上	低下	不明
仕事内容	68	26	24	12
給与待遇	61	27	26	16
人間関係	62	30	22	16
職場環境	59	27	27	17
仕事内容	52.3%	20.0%	18.5%	9.2%
給与待遇	46.9%	20.8%	20.0%	12.3%
人間関係	47.7%	23.1%	16.9%	12.3%
職場環境	45.4%	20.8%	20.8%	13.1%

ホ.「給料が上がった」人の他の仕事上の出来事

「給料が上がった」出来事ありと答えた人が、同じ設問の選択肢の中で同時にありと答えた他の仕事出来事では、「上司が異動した」が 33.8%と特に高い。全体と比較して回答割合は低いが、「給料が上がった」出来事と背反する「給料が下がった」や「休職をした」の回答があり、その解釈としては、仕事上の出来事についてたずねた２年間において「給料が上がった」と「給料が下がった」や「休職をした」が相前後して起きることもあり得るといえるが、出来事間での時系列関係は不明である。

表Ⅱ-1-33　「給料が上がった」人の他の仕事上の出来事

（人）

	配置転換があった	上司が異動した	まわりで直接仕事などを援助してくれる人がいなくなった	昇進した	給料が下がった	正社員になった	休職をした	転職をした	勤めていた会社が倒産した	対象者
視覚障害	1	3	1							14
聴覚障害	8	7	1	3		1	1			20
肢体不自由	7	11	2	9	1		2			38
内部障害	3	7	2	2						15
知的障害	5	9		1				1		33
精神障害	4	7	1	1	1		1			10
計	28	44	7	16	2	1	4	1		130
比率	21.5%	33.8%	5.4%	12.3%	1.5%	0.8%	3.1%	0.8%		100.0%
全体	165	25	26	130	80	2	23	24	3	567
	29.1%	4.4%	4.6%	22.9%	14.1%	0.4%	4.1%	4.2%	0.5%	100.0%

3　定年制度

2013 年４月に改正高年齢者雇用安定法が施行されたが、「仕事に対する今後の考え」について、第１回から第３回まですべてに回答があり、就業中である 207 人のデータにより、法制度の変更のあった第３回調査と１，２回調査との回答状況を比較した。

表Ⅱ-1-34　定年制度の有無

（人）

		第3回			
		決まっている	決まっていない	無回答	計
第２回	決まっている	121	17	5	143
	決まっていない	18	33	1	52
	無回答	10	2		12
	計	149	52	6	207

第２回調査で「働ける年齢が決まっている」のは 143 人(69.0%)であったが、第３回調査でその内 17 人(11.9%)が「決まっていない」になった。また第２回調査で「決まっていない」は 52 人（25.1%）であったが、第３回調査でその内 18 人（34.6%）が「決まっている」になった。

表Ⅱ-1-35　会社で決まっている働ける年齢

（人）

	60歳未満	60歳	61～64歳	65歳	66歳以上	無回答	計
第1回調査	2	76	15	42	5	2	142
	1.4%	53.5%	10.6%	29.6%	3.5%	1.4%	100.0%
第2回調査	2	66	12	52	8	3	143
	1.4%	46.2%	8.4%	36.4%	5.6%	2.1%	100.0%
第3回調査	2	50	10	73	4	10	149
	1.3%	33.6%	6.7%	49.0%	2.7%	6.7%	100.0%

調査回が増す毎に「60 歳」が減り、「65 歳」が増えている。その増減幅は第１回調査から第３回の間で約 20 ポイントとなっている。ただし「66 歳以上」は第３回で減少している。

表Ⅱ-1-36　会社で決まりはないが自分の働き続けたい年齢

（人）

	60歳未満	60歳	61～64歳	65歳	66歳以上	無制限	無回答	計
第1回調査	10	14	1	24	9	3	2	63
	15.9%	22.2%	1.6%	38.1%	14.3%	4.8%	3.2%	100.0%
第2回調査	5	13	1	16	10	2	5	52
	9.6%	25.0%	1.9%	30.8%	19.2%	3.8%	9.6%	100.0%
第3回調査	6	13	5	15	11	1	1	52
	11.5%	25.0%	9.6%	28.8%	21.2%	1.9%	1.9%	100.0%

自営などの就業者で、働ける年齢の決まりはないが、自分で働き続けたいと考える年齢は65歳が最も多く、66歳以上も比較的多い。

表Ⅱ-1-37　働ける年齢が決まっている人の仕事を続けたい時期

（人）

	定年より前	定年まで	定年以降も	その他	無回答	計
第1回調査	36	56	28	6	16	142
	25.4%	39.4%	19.7%	4.2%	11.3%	100.0%
第2回調査	39	56	26	6	16	143
	27.3%	39.2%	18.2%	4.2%	11.2%	100.0%
第3回調査	43	54	17	5	30	149
	28.9%	36.2%	11.4%	3.4%	20.1%	100.0%

最も多いのは定年までで約４割弱であるが、調査回を増す毎に定年以降も働きたいとする人が減少し、定年よりも前に辞めたいとする人が増えている。

表Ⅱ-1-38　年代別働ける年齢が決まっている人の仕事を続けたい時期

（人）

		定年より前	定年まで	定年以降も	その他	無回答	計
55歳未満	第1回調査	36	55	27	6	15	139
		25.9%	39.6%	19.4%	4.3%	10.8%	100.0%
	第2回調査	35	49	22	6	14	126
		27.8%	38.9%	17.5%	4.8%	11.1%	100.0%
	第3回調査	33	38	13	4	23	111
		29.7%	34.2%	11.7%	3.6%	20.7%	100.0%
55歳以上	第1回調査		1	1		1	3
			33.3%	33.3%		33.3%	100.0%
	第2回調査	4	7	4		2	17
		23.5%	41.2%	23.5%		11.8%	100.0%
	第3回調査	10	16	4	1	7	38
		26.3%	42.1%	10.5%	2.6%	18.4%	100.0%

表Ⅱ－Ⅰ-37の調査回の進展と同時に「定年より前」が増え、「定年以降」が減るという結果は、経年変化により定年に近づくにつれて就労継続のための体力的な問題等が深刻となり定年よりも前に辞めたいと思うようになるものか、制度変更により定年年齢が延長されたことの影響を受けているものかについて検証するため、定年に近い年代（55歳以上）とそれ以前の年代（55歳未満）に分けて再集計した。

その結果、調査時年齢が55歳未満でも55歳以上でも、調査回が進む程に「定年より前」とする人の割合が増加し、「定年以降も」が減少している。「定年より前」の回答割合は54歳以下の方が、55歳以上よりも高い。また「定年まで」とする割合は55歳未満では減少し、55歳以上ではわずかに増加している。これは回答者の年齢が定年に近づいたことで定年への認識が変化したというよりも、定年制度の変更により定年自体が先延ばしになった事の要因と考えられる。

第７節　まとめ

第Ⅱ部第１章では、職業生活後期調査の第２回と第３回調査の間の２年間の経過について比較し、その間の継続と変化をみた。２年間での障害状況は主に肢体不自由で障害等級が重度化した人が 3.9％で、他の変化は少なかった。家族状況としては後期調査対象者は前期調査と比較して既婚率が高く、40 歳代から 50 歳代の年代にあって、家族形成の過程と、成人した子どもの自立や、親との死別など家族分離の過程が同時に進んでいる。

就業状況が変わった人の割合は第１回調査と第２回調査間が 10.2％であったのに対し、２回と３回の間では 14.7％であった。その主な変化は正社員から無業となった人が肢体不自由で多く、またパート・アルバイトから就労継続支援事業所への変化が知的障害で多かった。また第２回調査で無業の状態にあった 11 人のうち第３回調査でも同様に無業であった人は７人であった。就業条件においては、仕事内容の「変化あり」が 18.3％で、その内「事務の仕事」に移る人が多く、勤務時間の「変化あり」は 17.4％でその内より短時間になる割合が（知的障害と精神障害で）長時間になる割合よりも高く、休日は変化ありが約３割でその増減の傾向は拮抗していた。給与区分は約２割に変化があり、上向への変化の割合が下向変化の割合を上回った。

この間の生活上の出来事としては内部障害、肢体不自由、精神障害で「自分の入院」が１割強起きており、前回の回答割合よりも増加した。仕事上の出来事では「上司の異動」、「昇給」、「配置転換」が２割前後の回答割合を示している。「配置転換」があった人の回答傾向は、就業形態では正社員で、障害別では聴覚障害、精神障害、内部障害、肢体不自由で回答頻度が高い。配置転換のあった同じ調査回とその前の調査回での仕事満足度を比べると、総体的には約５割で変化なしだが、満足度の下位項目別には「仕事内容」と「職場環境」については満足度が向上し、「給与待遇」と「人間関係」については満足度が低下する傾向が見られた。一方、仕事上の出来事で「給料が上がった」と答えた人は障害別には知的障害、精神障害、肢体不自由で多く、就業形態は正社員で 27.0％と高いが、パート・アルバイトも 23.1％とあまり差がない。また「給料が上がった」と回答のあった人が従事している仕事内容としては「人を相手にするサービス業」と「清掃やクリーニングのサービス業」で割合が高い。あるいは「給料が上がった」人の仕事満足度は総体的に上昇する傾向にあり、下位項目の中では特に「人間関係」についての満足度の上昇率が高い。

職業生活後期調査に特有のテーマである“引退の過程”について大きく影響を及ぼす社会的背景として、第３回調査時に改正高年齢者雇用安定法が施行（平成 25 年４月）され、希望する人の定年が延長されることとなったが、それに伴い「決まりのある働ける年齢」は「65 歳」が増加した一方、「定年以降も働きたい」という人は前回の調査時よりも減り、「定年前に辞めたい」とする人は増える傾向が見られた。この定年への認識の変化は、実質的に定年の年齢が引き延ばされたという社会制度上の要因によって捉えられるのか、あるいは調査回の進展の過程には同時に加齢の要素もあり、加齢によって定年への距離が近づくと健康上の問題などが顕在化し定年までの勤務継続への懸念がより強くなると想定される個人内要因を考慮する余地はないのかという仮説を検証するため、便宜的に 55 歳前後で年齢区分を分割することにより加齢の個人内要因を統制して再集計を行った。調査回が進むに沿って定年前に辞めたいとする人が増加するのは年齢区分に共通であるが、55 歳未満つまり通常の定年の時期よりはまだ若い年齢区分の方がよりその割合が高いという結果から、今回の制度改正の影響は、定年に近い人よりは定年を迎えるまでに猶予のある人への意識に及んでいるという結果であった。延長となった定年まで働き続けられるかといった不安感が増えていることについて、今後社内外での何らかの方策が求められる所である。

第２章　職業サイクルの展開の状況

本章では、第Ⅰ部の第２章と同様に、就労しているかしていないか、しているとした場合にはどの様な働き方なのかについて着目し、これまで３回の調査結果を通じて、職業サイクルの基本的な様相である就業形態の継続や変化の状況を概観するとともに、それぞれの局面における生活や仕事上の出来事、仕事に対する意識、就職活動の状況などについて検証する。また職業生活後期特有の課題として、平成 25 年４月の高年齢者雇用安定法の改正に伴い、障害のある労働者の場合の就労継続とリタイアのプロセスはどの様になっているのか、調査対象者の年齢層の一部が 60 歳にさしかかり始めた今期より就業形態の変化の過程を詳しく見て行く。

第１節　就業形態の第１回から第３回調査までの経過

１．就業形態に関する設問の経過等

就業形態については、３回の調査において、それぞれ問９で表Ⅱ-2-1 の選択肢により回答を求めている。

第１回調査では、調査対象者として当初設定していたのが、正社員、パート・アルバイト、派遣、自営等により働いている人であり、契約によらない福祉的就労や非就労は想定していなかったことから、福祉的就労と非就労を一括してひとつの選択肢としていた。

第２回調査からは障害者自立支援法の施行（平成 18 年 10 月１日）に伴い、就労継続支援事業所Ａ型の設置が進み経過措置期間が終了したことを受けて、就労継続支援事業所Ａ型での就労について新たに選択肢を設けるとともに、従来からの福祉的就労の選択肢に就労継続支援事業所Ｂ型での就労を例示として明記した。

また、３回の調査を通じ、問９の回答ぶりにより、仕事に関するそれ以降の設問を分岐させ、雇用契約による就労と回答した場合は、その労働の状況、満足度や仕事継続の意識、過去２年間の仕事上の出来事について回答を求め、福祉的就労や非就労と回答した場合は、離職理由や就職活動の状況について回答を求めている。

表Ⅱ-2-1　就業形態に係る設問の選択肢

	第1回調査（平成21年7月）	第2回調査（平成23年7月）	第3回調査（平成25年7月）	
雇用契約による就労等	1　正社員 2　パート･アルバイト 3　派遣 4　自営、家族従 5　内職	1～5　同左 6　A型事業所	1～5　同左 6　A型事業所	⇨ 労働状況、仕事上の出来事、満足度等の設問へ
雇用契約によらない就労	6　上記以外 （福祉工場、作業所、非就労）	7　B型、移行支援、福祉作業所等	7　B型、移行支援、福祉作業所等	⇨ 離職理由、就職活動等の設問へ
非就労		8　仕事をしていない	8　仕事をしていない	
その他	7　その他	7　その他	7　その他	

（注）雇用契約による就労等の中に、自営、家族従業者、内職を含む

２．就業形態の変化の分析

以上のような枠組みを踏まえ、第１回から第３回調査まで全ての調査回において回答した 246 人を対象として、①「雇用契約あり」（雇用契約による就労）と「雇用契約なし」（雇用契約によらない就労及び非就労、以下第２章において同じ）の間の変化の状況及び、②「雇用契約あり」の正社員とパート・アルバイト等の間の変化の状況を概観する。

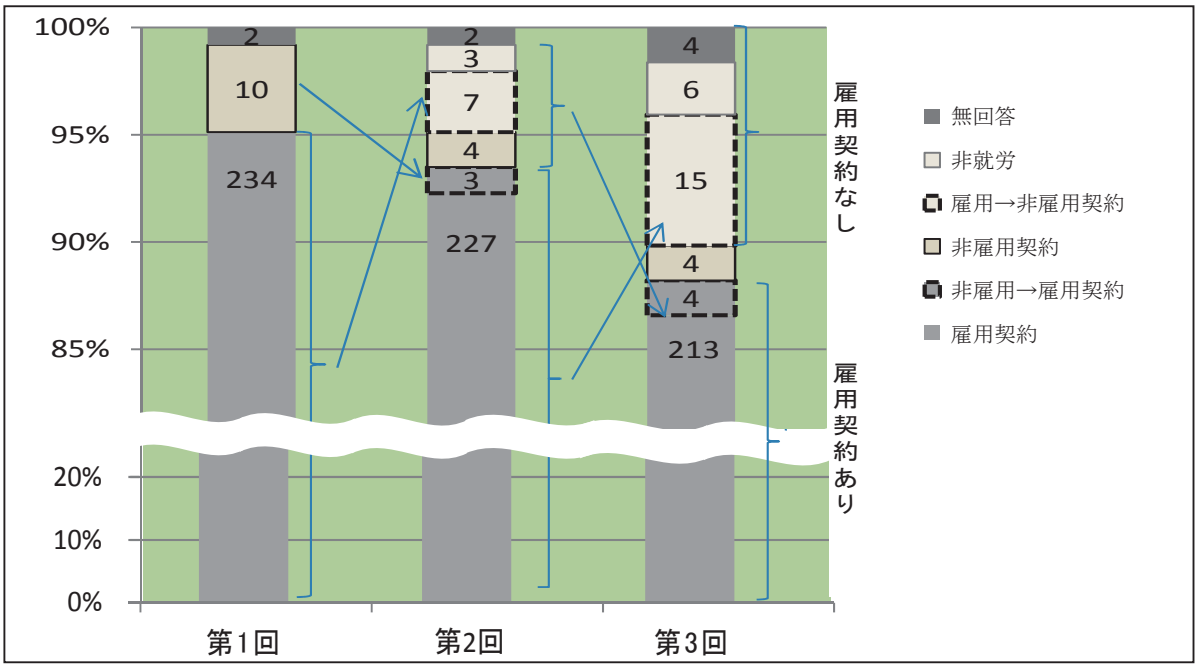
（１）「雇用契約あり」と「雇用契約なし」の間の変化

第１回調査から第２調査においては、雇用契約ありから雇用契約なしへの変化が７人（雇用契約によらない就労への移行が１人、非就労への移行が６人）、雇用契約なしから雇用契約ありへの変化が２人となっている。

第２回調査から第３回調査においては、雇用契約ありから雇用契約なしへの変化が 15 人（雇用契約によらない就労への移行が６人、非就労への移行が９人）、雇用契約なしから雇用契約ありへの変化が４人（雇用契約によらない就労からの移行が１人、非就労からの移行が３人）となっている。

また、第１回調査から第３回調査までを通して見ると、第１回調査から第２回調査において雇用契約ありから雇用契約なしに変化した７人のうち、３人は第２回調査から第３回調査において再び雇用契約ありに変化している。他方、３回の調査を通じての非就労は３人となっている。

以上のように、雇用契約ありと雇用契約なしの間の変化は、第１回調査から第２回調査において９人（246 人に対し 3.7%）、第２回調査から第３回調査において 19 人（同 7.7%）と、３回の調査全て回答した 246 人のうち１割弱となっている。



図Ⅱ-2-1　就業形態の経過

（注）雇用契約の有無の確認に当たっては、第１回調査時点で就労継続Ａ型から就労継続Ｂ型の区別がなかったため、第１回から第２回にかけての変化については、問 14 の現職就労年齢で確認を行い、就労年数と合致する人のみを変更ありとみなして集計した。

表Ⅱ-2-2　第１回調査から第２回調査の就業形態の経過（全体）　（人）

	雇用契約	非契約	非就労	無回答	計
雇用契約	225	1	6	2	234
非契約・非就労	2	5	3		10
無回答	2				2
計	229	6	9	2	246

表Ⅱ-2-3　第２回調査から第３回調査の就業形態の経過（全体）　（人）

	雇用契約	非契約	非就労	無回答	計
雇用契約	211	6	9	4	230
非契約	1	4			5
非就労	3		6		9
無回答	2				2
計	217	10	15	4	246

（2）正社員とパート・アルバイト等の間の変化

雇用契約ありの就労について、正社員とパート・アルバイト等の間の変化の状況をみると、第１回調査から第２回調査における正社員からパート・アルバイト等への変化は８人、パート・アルバイト等から正社員への変化はなし。

第２回調査から第３回調査においては、正社員からパート・アルバイト等への変化は５人、パート・アルバイト等から正社員への変化は１人となっている。

以上のように、正社員とパート・アルバイト等の間の変化は、第１回調査から第２回調査において８人（第１回、第２回調査とも雇用契約あり 224 人に対し 3.6%）、第２回調査から第３回調査において６人（第２回、第３調査とも雇用契約あり 209 人に対し 2.9%）となっている。

表Ⅱ-2-4　第1回調査から第2回調査の就業形態の経過（雇用契約あり内）　（人）

		第2回		
		正社員	パート・アルバイト等	計
第1回	正社員	140	8	148
	パート・アルバイト等		76	76
	計	140	84	224

表Ⅱ-2-5　第2回調査から第3回調査の就業形態の経過（雇用契約あり内）　（人）

		第3回		
		正社員	パート・アルバイト等	計
第2回	正社員	129	5	134
	パート・アルバイト等	1	74	75
	計	130	79	209

第２節　就業形態の各局面における生活、仕事の状況

第１節でみた雇用契約ありと雇用契約なしの間の変化、正社員及びパート・アルバイト等の継続について、それぞれの局面における生活や仕事上の出来事、仕事に対する意識、労働や就職活動の状況などについて検証する。

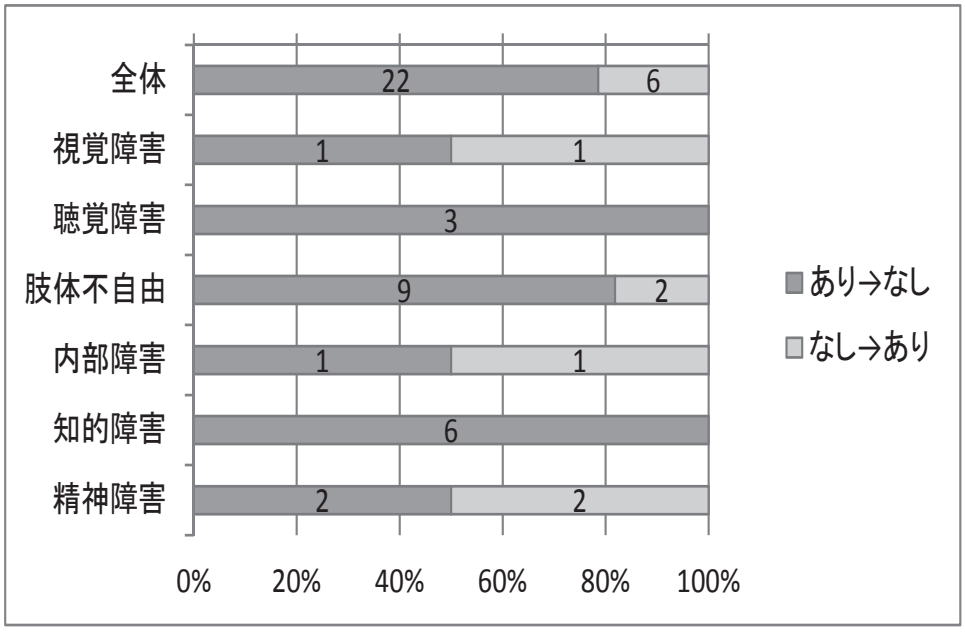
１　雇用契約ありと雇用契約なしの間の変化と生活及び仕事の状況

第１回調査から第２回調査、第２回調査から第３回調査における変化を合計し、雇用契約ありから雇用契約なし（雇用契約によらない就労及び非就労）に変化した 22 人、雇用契約なしから雇用契約ありへ変化した６人について、その属性（障害種類、性別、年齢）、生活や仕事上の出来事、仕事に対する意識、仕事の状況や就職活動の状況等をみる。

（１）対象者の属性

ア.　障害別割合

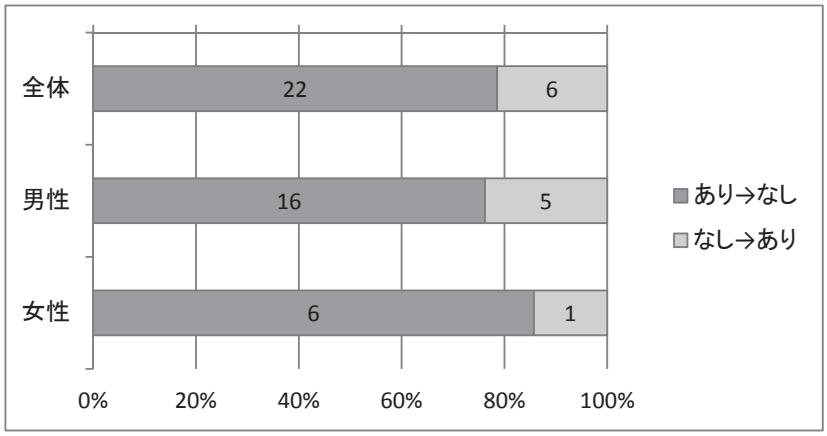
全体と比較すると、聴覚障害と知的障害で、「雇用契約ありからなし」への変化が「なしからあり」への変化より多く起きている。元来対象者人数が少ないが、「雇用契約なしからあり」の変化割合が高いのは、視覚障害と内部障害と精神障害であった。



図Ⅱ-2-2　雇用契約について変化した人の障害別構成

イ． 男女別割合

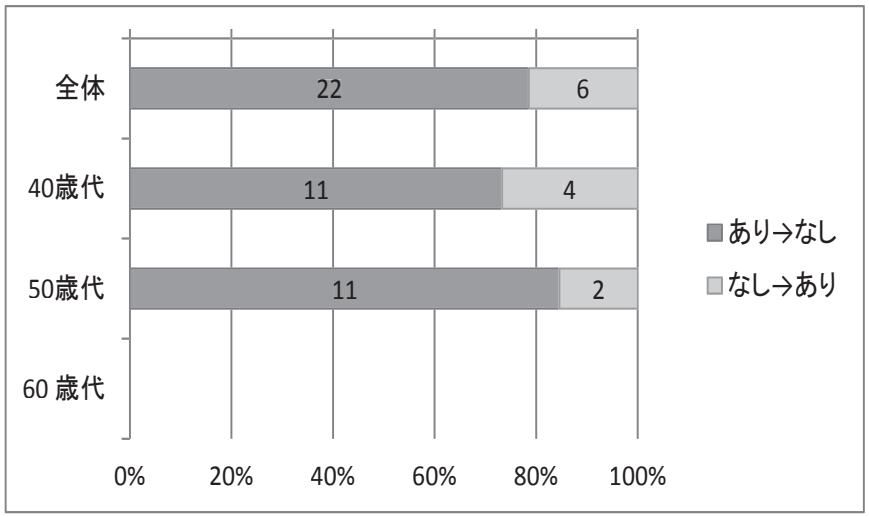
雇用契約が「ありからなし」の変化は女性の方がやや高い割合を示した。



図Ⅱ-2-3　雇用契約について変化した人の男女別構成

ウ． 年代別構成

全体の構成比と比べて、年代による「雇用契約ありからなし」への変化と「雇用契約なしからあり」への変化の割合の差はあまりない。



(注)各調査回時点の年代により集計

図Ⅱ-2-4　　雇用契約について変化した人の年代別構成

（2）生活に関すること

ア．ライフイベント

「雇用契約ありからなし」では「引越をした」や「自分が病気や事故で１ヶ月以上入院をした」「障害に関する年金を受給し始めた」等の回答があった。「雇用契約なしからあり」では「結婚をした」や「家族が病気や事故で１ヶ月以上入院をした」の回答があった。

表Ⅱ-2-6　雇用契約について変化した人のライフイベント

（人）

	自分が結婚をした	自分が離婚をした	自分が子どもを生んだ（子どもが生まれた）	自分が引越をした	自分が親元から離れて暮し始めた	自分が病気や事故で一カ月以上の入院をした	自分が学校に通ったまたは卒業した	自分の障害に関する年金を受給しはじめた	自分の障害に関する年金の受給がなくなった	自分の親が離婚をした	自分の親が仕事を辞めた	家族が病気や事故で一カ月以上の入院をした	家族が亡くなった	該当する項目なし	対象者
あり→なし		1		2		2		2				1		14	22
なし→あり	1											1		4	6
全体	10	3	2	21	3	23	1	9	4		9	46	51	281	492
あり→なし		4.5%		9.1%		9.1%		9.1%				4.5%		63.6%	100.0%
なし→あり	16.7%											16.7%		66.7%	100.0%
全体	2.0%	0.6%	0.4%	4.3%	0.6%	4.7%	0.2%	1.8%	0.8%		1.8%	9.3%	10.4%	57.1%	100.0%

（注）第１回調査から第２回調査の変化については第２回調査の回答、第２回調査から第３回調査の移動については第３回調査の回答を対象として合計し、３回とも回答した 266 人の２回と３回の回答の合計と比較（注：ライフイベントの設問は第２回調査から）。

イ．同居の家族

「雇用契約がありからなし」になった人の家族構成は、全体と比較して「一人暮らし」「子ども、兄弟」「グループホーム等」で割合が高かった。また、「雇用契約なしからあり」になった人は、回答数が少ないが、「配偶者を含む家族との同居」か「父母との同居」の人であった。

表Ⅱ-2-7　雇用契約について変化した人の同居家族

（人）

	一人暮らし	配偶者を含む家族との同居	父母との同居（配偶者とは同居していない）	子ども、兄弟	グループホーム等	その他・無回答	計
あり→なし	4	6	6	2	3	1	22
なし→あり		3	3				6
全体	34	94	85	12	9	12	246
あり→なし	18.2%	27.3%	27.3%	9.1%	13.6%	4.5%	100.0%
なし→あり		50.0%	50.0%				100.0%
全体	13.8%	38.2%	34.6%	4.9%	3.7%	4.9%	100.0%

（3）仕事に関すること

ア．仕事上の出来事

「雇用契約ありからなし」への変化（変化前の出来事）と、「なしからあり」への変化（変化後の出来事）の両局面で、「休職をした」「まわりで直接仕事などを援助してくれる人がいなくなった」の回答割合が全体よりも高く、「なしからあり」への変化（変化後の出来事）の局面で「給料が下がった」の回答割合が高い。

表Ⅱ-2-8　雇用契約について変化した人の仕事上の出来事

（人）

	配置転換があった	上司の異動	まわりで直接仕事などを援助してくれる人がいなくなった	昇進した	給料が上がった	給料が下がった	正社員になった	休職をした	転職をした	勤めていた会社が倒産した	該当する項目なし	対象者（注）
あり→なし	2		1		3	2		2	1			15
なし→あり	1		1			2		1		1	1	6
全体	90	142	20	20	103	68	2	16	12	2	75	447
あり→なし	13.3%		6.7%		20.0%	13.3%		13.3%	6.7%			100.0%
なし→あり	16.7%		16.7%			33.3%		16.7%		16.7%	16.7%	100.0%
全体	20.1%	31.8%	4.5%	4.5%	23.0%	15.2%	0.4%	3.6%	2.7%	0.4%	16.8%	100.0%

（注）　雇用契約ありからなしへの変化については、移行前の前回調査の回答を集計（ただし、仕事上の出来事に係る設問は第２回調査からのため第２回調査から第３回調査の変化に係る 15 人についてのみ集計）。雇用契約なしからありへの変化については変化後の当該調査回の回答を集計。全体については、第２回調査及び第３回調査において雇用契約あり（問９で正社員、パート・アルバイト、派遣、自営、内職、就労継続A型）と回答した 447 人（第２回調査 230 人、第３回調査 217 人）について集計。

イ．仕事の満足度

「雇用契約ありからなし」になった局面から遡及する調査回での仕事への満足の状態としては、「労働条件」や「職場環境」には満足していたが「仕事内容」や「人間関係」には不満足な状態にある傾向が示された。「契約なしからあり」になった時の満足度は全ての項目で全体回答よりも満足度は低い傾向にある。

表Ⅱ-2-9　雇用契約について変化した人の仕事の満足度

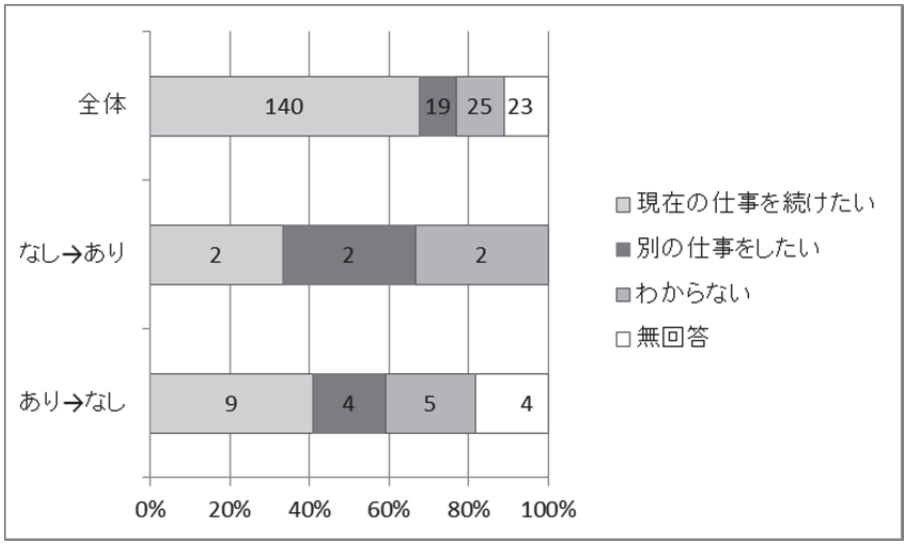
（人）

	仕事内容				労働条件				人間関係				職場環境				対象者
	満足	中立	不満足	無回答	満足	中立	不満足	無回答	満足	中立	不満足	無回答	満足	中立	不満足	無回答	
あり→なし	15	4	2	1	9	5	6	2	9	5	6	2	15	3	2	2	22
なし→あり	3	2	1		1	2	3		3	1	2		3	1	2		6
全体	152	45	16	4	104	52	52	9	120	50	35	12	136	47	23	11	217
あり→なし	68.2%	18.2%	9.1%	4.5%	40.9%	22.7%	27.3%	9.1%	40.9%	22.7%	27.3%	9.1%	68.2%	13.6%	9.1%	9.1%	100.0%
なし→あり	50.0%	33.3%	16.7%		16.7%	33.3%	50.0%		50.0%	16.7%	33.3%		50.0%	16.7%	33.3%		100.0%
全体	70.0%	20.7%	7.4%	1.8%	47.9%	24.0%	24.0%	4.1%	55.3%	23.0%	16.1%	5.5%	62.7%	21.7%	10.6%	5.1%	100.0%

（注）　雇用契約ありからなしへの変化については、移行前の前回調査の回答を集計。雇用契約なしからありへの変化については変化後の当該調査回の回答を集計。全体は３回とも回答のあった 246 人の内、第３回調査で雇用契約ありと回答のあった 217 人。

ウ. 仕事継続の意思

全体傾向で「現在の仕事を続けたい」とする人は 76.1%であるのに対し、変化局面の前後でどちらもその回答割合は低い。雇用契約のあった働き方から無い働き方または無業となった人では、前の職場での「現在の仕事を続けたい」としていた人は無回答を除く 18 人中９人で半数は「別の仕事をしたい」または「わからない」と考えていた。また、「雇用契約なしからあり」になった人では新たな職場で今の仕事を続けたいと考えている６人中２人であった。



図Ⅱ-2-5　　雇用契約について変化した人の仕事の継続意思

表Ⅱ-2-10　雇用契約について変化した人の仕事の継続意思

（人）

	現在の仕事を続けたい	別の仕事をしたい	わからない	無回答	計
あり→なし	9	4	5	4	22
なし→あり	2	2	2		10
全体	140	19	25	23	207
あり→なし	40.9%	18.2%	22.7%	18.2%	100.0%
なし→あり	20.0%	20.0%	20.0%		100.0%
全体	67.6%	9.2%	12.1%	11.1%	100.0%

(注)　雇用契約ありからなしへの変化については、変化前の前回調査の回答を集計。雇用契約なしからありへの変化については変化後の当該調査回の回答を集計。３回とも雇用契約ありの 207 人の第３回調査における回答と比較。

（4）離職理由と就職活動の状況

ア. 離職理由

自己都合による離職が約４割強、また事業主都合が約３割となっている。

自己都合の理由をみると、「体調不良」と「体力的にきつくなった」が全体の２分の１と最も高く、次いで「仕事内容」、「人間関係」となっている。「体力的にきつくなった」は特に第２回調査から第３回調査にかけて自己都合により離職した人の７人のうち５人が回答しており、加齢の要因が考えられる。

表Ⅱ-2-11 離職理由

（人）

	事業主	定年退職	再雇用満了	契約満了	休職満了	自己都合	その他	不明・無回答	計
1→2回	4					3			7
2→3回	3			3		7		2	15
計	7			3		10		2	22
比率	31.8%			13.6%		45.5%		9.1%	100.0%

(注)雇用契約ありから無しへ変化した22人について集計。以下(3)において同じ。

表Ⅱ-2-12 自己都合の理由(複数回答)

（人）

	仕事内容	賃金・条件	人間関係	体調不良	体力的にきつい	結婚	出産	家庭の事情	その他	わからない・不明	計
1→2回			1	2					2		3
2→3回	2		1	3	5				1		7
計	2		2	5	5				3		10
比率	20.0%		20.0%	50.0%	50.0%				30.0%		100.0%

(注)その他は、難聴が悪化したため、社内設備の改善がなかったためやめた、集中力がなくなった

イ. 就職活動の状況

仕事についての考えをみると、「時間をかけて自分にあった仕事を探したい」が最も多く４割の回答、次いで「すぐに仕事につきたい」が３割弱となっている。「仕事にはつきたくない」の回答も第３回の回答にあった。

これからつきたい仕事の働き方を複数回答で尋ねたところ、正社員が６割近くで、非正規と就労継続支援事業Ａ型Ｂ型それぞれが２割であった。正社員を希望する８人のうち、正社員のみを選択した人は５人であった。就業継続支援事業所の希望は５人で、その内単独での希望は１人であった。

仕事を探す時の相談先についてみると、「雇用契約ありからなし」への変化後においては、仕事を探す際に、ハローワークの利用が 72.7%と高い割合。その他の就労支援機関の活用も約２割ある。公共相談機関として括りにしてプライベートな括りとしての相手と比較しても、仕事を探すときの相談機関利用率は高く、また、就労継続者も含む全体設問「過去２年間での仕事で困った時の相談先」においては、支援機関への相談が 4.0%であることと比較すると、同じ仕事に関することでも就職活動の局面においては、支援機関の役割がより大きいことが窺える。

表Ⅱ-2-13　仕事についての考え

（人）

	すぐに仕事につきたい	すぐにというわけではないが仕事につきたい	時間をかけて自分にあった仕事を探したい	福祉工場や作業所で働きたい	仕事にはつきたくない	その他	無回答	計
1→2回	3	1	3					7
2→3回	3	2	6		1		3	15
計	6	3	9		1		3	22
比率	27.3%	13.6%	40.9%		4.5%		13.6%	100.0%

表Ⅱ-2-14　これから就きたい仕事の働き方（複数回答）

（人）

正社員	パート、アルバイト、嘱託、契約社員	派遣	自営、家業	内職	就労継続支援A型	就労継続支援B型	その他	対象者
8	3	1			3	3		14
57.1%	21.4%	7.1%			21.4%	21.4%		100.0%

（注）第３回から新たに設けた質問

表Ⅱ-2-15　仕事を探す時の相談先

（人）

	配偶者	子ども	父親	母親	兄弟姉妹	会社の上司や同僚	知り合い・友人	障害者相談員	ハローワーク	障害者職業センター	障害者就業・生活支援センター	相談支援事業者	かかりつけの病院・診療所	保健所（福祉事務所）	学校	その他	相談しない	対象者
非就労期	4	1	4	4	1	2	5	4	16	4	4	1	2		1			22
在職中	63	8	26	55	23	104	64	12	28	8	24	5	24	1		13	73	320
非就労期	18.2%	4.5%	18.2%	18.2%	4.5%	9.1%	22.7%	18.2%	72.7%	18.2%	18.2%	4.5%	9.1%		4.5%			100.0%
在職中	19.7%	2.5%	8.1%	17.2%	7.2%	32.5%	20.0%	3.8%	8.8%	2.5%	7.5%	1.6%	7.5%	0.3%		4.1%	22.8%	100.0%
非就労期	21(13.6%)							32(18.2%)										
在職中	343(15.3%)							102(4.0%)										

（注1）雇用契約ありからなし22人については、仕事を探す時の相談先（問20）の回答を集計。全体は第3回の全体回答者320人について、仕事で何か困った事が起きた時の相談先（問21）の回答を集計。

（注2）その他（雇用契約ありからなし）は産業雇用安定センター

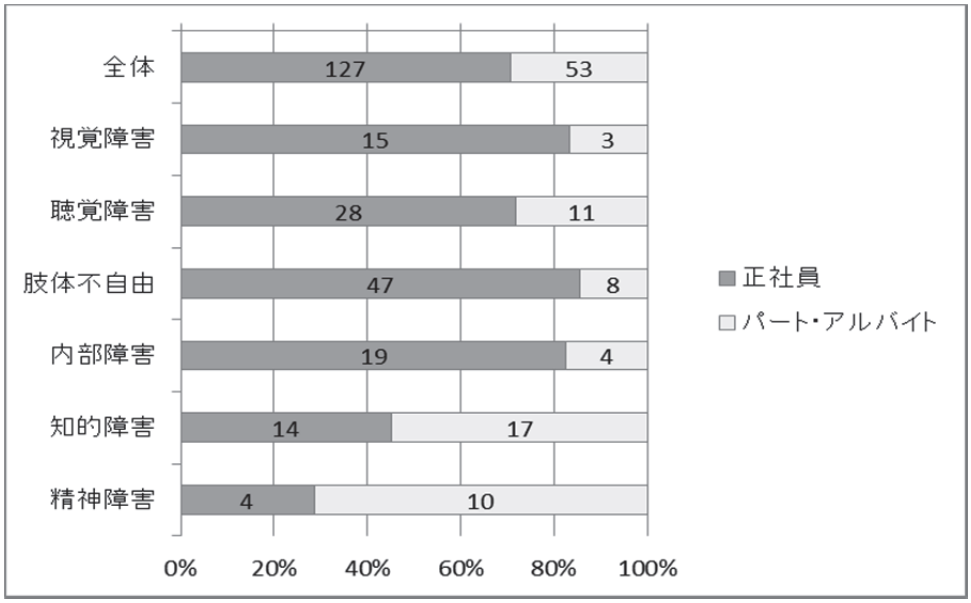
２． 正社員及びパート・アルバイト継続者の状況

第１回から第３回までの全ての調査回において、就労形態が変わることなく一貫して正社員の人 127 人、パート・アルバイトの人 53 人について、その属性（障害種類、性別、年齢）、生活や仕事上の出来事、仕事に対する意識、労働の状況等をみる。

（１）正社員及びパート・アルバイト継続者の属性

ア．障害別構成

視覚障害、肢体不自由、内部障害では正社員継続の割合が高く、聴覚障害では全体の割合とほぼ等しく、知的障害と精神障害ではパート・アルバイト継続の割合が高い。

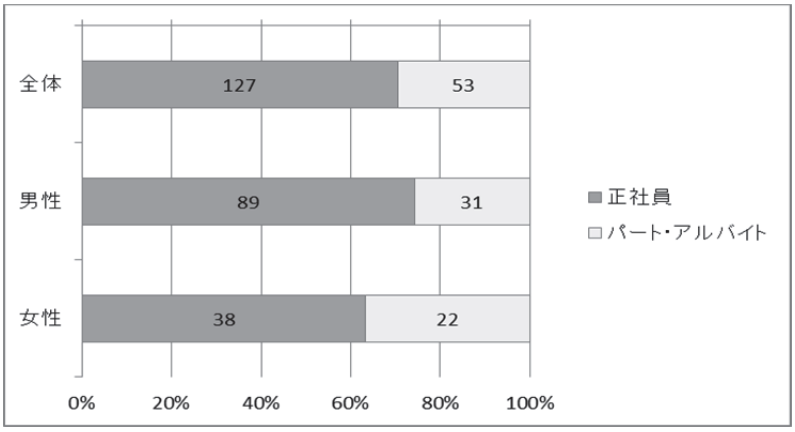


（注）全体は、3 回とも回答のあった 246 人について集計。

図Ⅱ-2-6　雇用継続者の障害別構成

イ．男女別構成

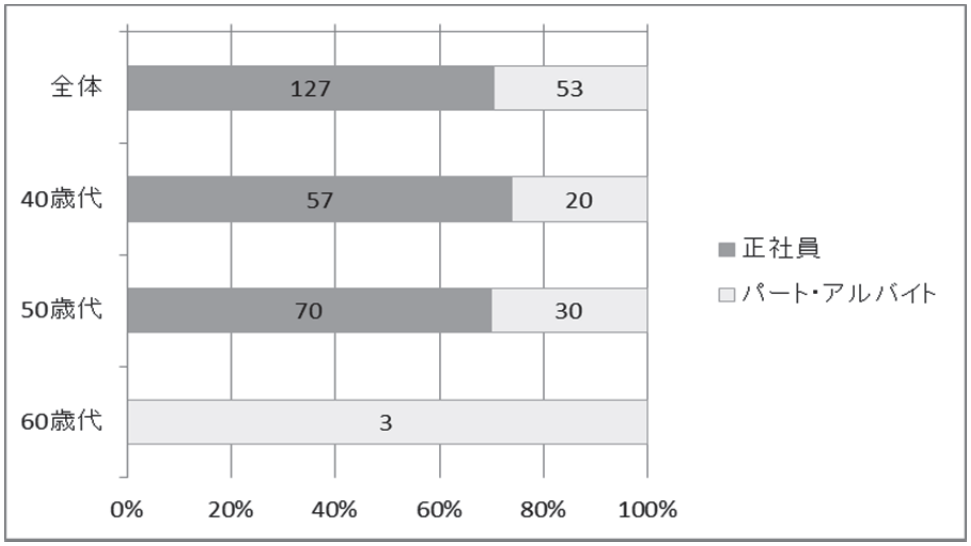
全体の構成比と比べると、女性でややパート・アルバイト継続の割合が高い。



図Ⅱ-2-7　雇用継続者の男女別構成

ウ．年代別構成

全体の構成比と比べると、40 歳代はわずかに正社員継続の割合が高く、50 歳代はさらにごくわずかだがパート・アルバイト継続の割合が高い。60 歳代では３人全員がパート・アルバイト継続であった。



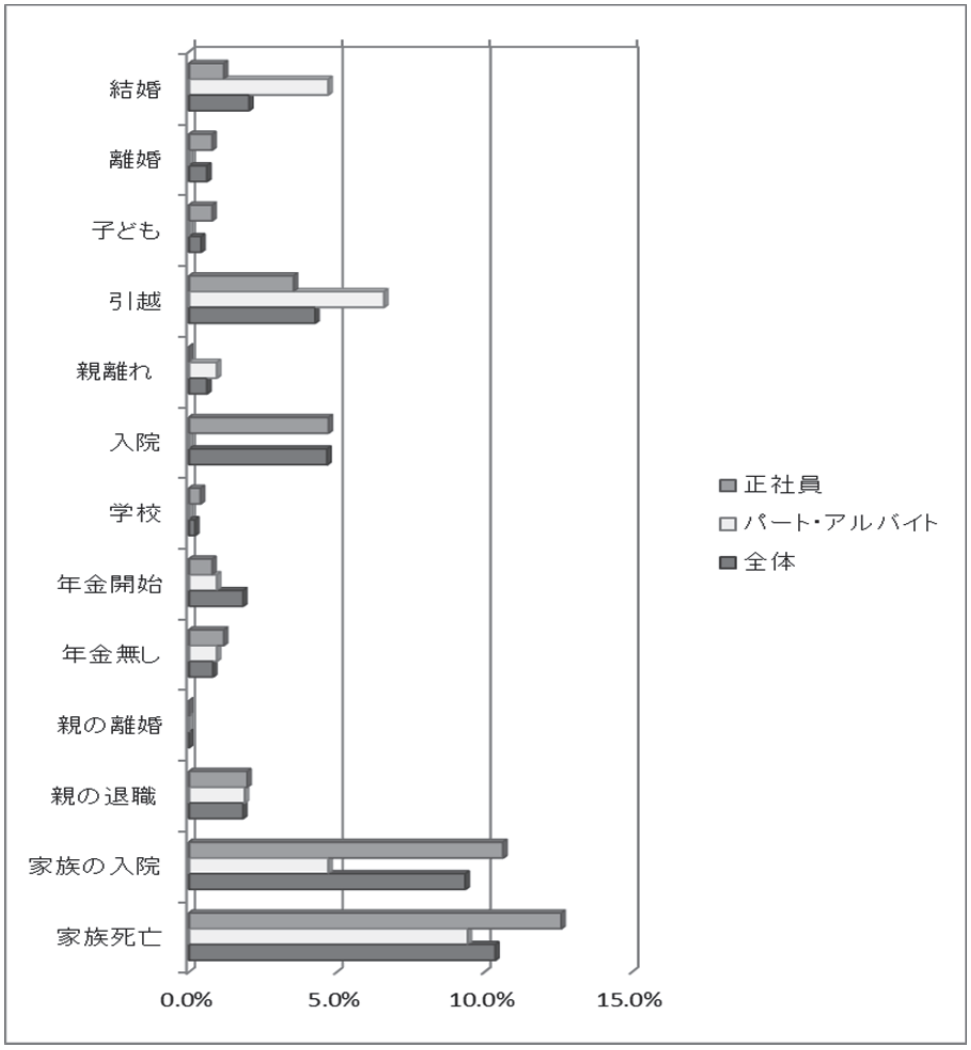
(注)第３回調査時点における年代を集計

図Ⅱ-2-8　雇用継続者の年代別構成

（２）生活に関すること

ア．ライフイベント

ライフイベントの生起頻度は最も高いもので２割以下であり、回答割合が６割前後となる「該当なし」を除いてグラフにしたのが図Ⅱ-2-9 である。「家族が亡くなった」が後期調査対象者では１割程度起きている。また「家族の入院」も同程度だが、パートアルバイト継続者での割合は低い。同じ家族事情として「自分の親が仕事を辞めた」は職業生活への負担が少ない出来事と想定して対比させれば、その回答割合は就業形態別には差がないことから、パート・アルバイト継続には家族の介護は阻害要因となっていることが推測される。またさらには自分の入院については全体回答と正社員継続では５％程度あるのに対して、パート・アルバイト継続者では回答がなかった。家族形成としての結婚は、就業形態別の差はみられず、むしろパート・アルバイト継続者での回答割合が高かった。



図Ⅱ-2-9　雇用継続者のライフイベント（該当なし以外）

表Ⅱ-2-16　雇用継続者のライフイベント

（人）

	自分が結婚をした	自分が離婚をした	自分が子どもを生んだ（子どもが生まれた）	自分が引越をした	自分が親元から離れて暮し始めた	自分が病気や事故で一カ月以上の入院をした	自分が学校に通ったまたは卒業した	自分の障害に関する年金を受給しはじめた	自分の障害に関する年金の受給がなくなった	自分の親が離婚をした	自分の親が仕事を辞めた	家族が病気や事故で一カ月以上の入院をした	家族が亡くなった	該当する項目なし	対象者
正社員	3	2	2	9		12	1	2	3		5	27	32	137	254
パート･アルバイト	5			7	1			1	1		2	5	10	65	106
全体	10	3	2	21	3	23	1	9	4		9	46	51	281	492
正社員	1.2%	0.8%	0.8%	3.5%		4.7%	0.4%	0.8%	1.2%		2.0%	10.6%	12.6%	53.9%	100.0%
パート･アルバイト	4.7%			6.6%	0.9%			0.9%	0.9%		1.9%	4.7%	9.4%	61.3%	100.0%
全体	2.0%	0.6%	0.4%	4.3%	0.6%	4.7%	0.2%	1.8%	0.8%		1.8%	9.3%	10.4%	57.1%	100.0%

イ．　同居の家族

正社員継続者は全体と比較して配偶者を含む家族との同居が多く、その一方、パート・アルバイト継続者は一人暮らしと父母との同居が全体よりも多い傾向が見られた。

表Ⅱ-2-17　雇用継続者の同居家族

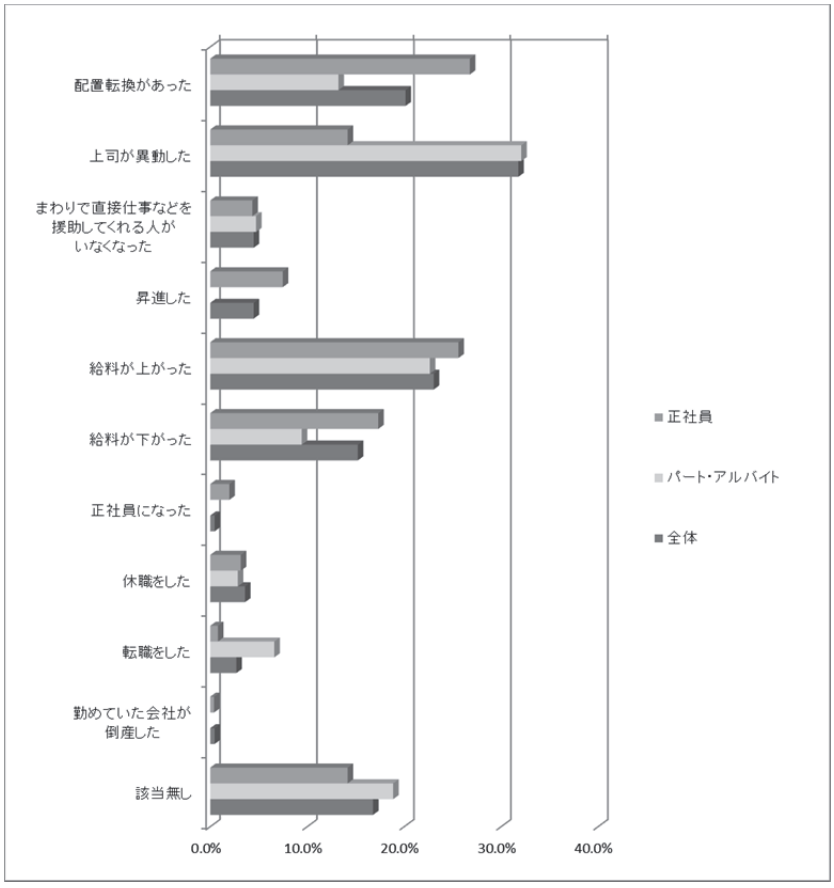
（人）

	一人暮らし	配偶者を含む家族との同居	父母との同居（配偶者とは同居していない）	子ども、兄弟	グループホーム等	その他・無回答	計
正社員	13	62	34	7	3	8	127
パート・アルバイト	8	16	27	1		1	53
全体	34	94	85	12	9	12	246
正社員	10.2%	48.8%	26.8%	5.5%	2.4%	6.3%	100.0%
パート・アルバイト	15.1%	30.2%	50.9%	1.9%		1.9%	100.0%
全体	13.8%	38.2%	34.6%	4.9%	3.7%	4.9%	100.0%

（3）仕事に関すること

ア．仕事上の出来事

「配置転換」は正社員継続者で多く、パート・アルバイトで少ない。逆に「上司の異動」は正社員で少なく、パート・アルバイトで多い。正社員継続者では「給料が上がる」事も「下がる」事も全体と比べて高い割合を示している。「休職」は就業形態別に差はなく、「転職」はパート・アルバイトで多く起きている。



図Ⅱ-2-10　雇用継続者の仕事上の出来事

表Ⅱ-2-18　仕事上の出来事

（人）

	配置転換があった	上司が異動した	まわりで直接仕事などを援助してくれる人がいなくなった	昇進した	給料が上がった	給料が下がった	正社員になった	休職をした	転職をした	勤めていた会社が倒産した	無回答	対象者（注）
正社員	68	36	11	19	65	44	5	8	2	1	36	254
パート･アルバイト	14	34	5		24	10		3	7		20	106
全体	90	142	20	20	103	68	2	16	12	2	75	447
正社員	26.8%	14.2%	4.3%	7.5%	25.6%	17.3%	2.0%	3.1%	0.8%	0.4%	14.2%	100.0%
パート･アルバイト	13.2%	32.1%	4.7%		22.6%	9.4%		2.8%	6.6%		18.9%	100.0%
全体	20.1%	31.8%	4.5%	4.5%	23.0%	15.2%	0.4%	3.6%	2.7%	0.4%	16.8%	100.0%

（注）　３回の調査を通じて正社員の 127 人、パート・アルバイトの 53 人について第２回調査及び第３回調査の回答を集計。全体については、第２回調査及び第３回調査において雇用契約あり（問９で正社員、パート・アルバイト、派遣、自営、内職、就労継続A型）と回答した 447 人（第２回調査 230 人、第３回調査 217 人）について集計。

イ．仕事の状況

（ア）仕事の内容

第１回調査から第３回調査における仕事の変化の状況を見ると、正社員継続者において、変化なしの割合が 81.9 ％と高く、パート・アルバイト継続者は全体の傾向とほぼ同様となっている。

変化なしで最も多い仕事内容は、正社員継続者では事務の仕事で 32.3%と高く、パート・アルバイト継続者ではものを作る仕事で 24.5%。

仕事内容の変化は多様で一定の傾向は特に見られない。

表Ⅱ-2-19　雇用継続者の仕事内容の変化

（人）

	計	変化無し		変化あり		主な変化無し		
全体	207	165	79.7%	38	18.4%	事務	52	25.1%
正社員	127	104	81.9%	21	16.5%	事務	41	32.3%
パート･アルバイト	53	42	79.2%	11	20.8%	ものを作る	13	24.5%

表Ⅱ-2-20 正社員継続者の仕事内容の状況

（人）

		第３回									
		ものを作る仕事	ものを売る仕事	事務の仕事	ものを教える仕事	医療や福祉に関わる仕事	人を相手にするサービス業	清掃やクリーニングなどのサービス業	その他	無回答	計
第１回	ものを作る仕事	35		3					1		39
	ものを売る仕事										
	事務の仕事	3		41		1				1	46
	ものを教える仕事				7						7
	医療や福祉に関わる仕事					11					11
	人を相手にするサービス業			3	1	1		1	1	1	8
	清掃やクリーニングなどのサービス業							6	1		7
	その他	1		2	1		1		4		9
	無回答										
計		39		49	9	13	1	7	7	2	127

表Ⅱ-2-21 パート･アルバイト継続者の仕事内容の状況

（人）

		第３回									
		ものを作る仕事	ものを売る仕事	事務の仕事	ものを教える仕事	医療や福祉に関わる仕事	人を相手にするサービス業	清掃やクリーニングなどのサービス業	その他	無回答	計
第１回	ものを作る仕事	13							1		14
	ものを売る仕事	1	2								3
	事務の仕事			11							11
	ものを教える仕事										
	医療や福祉に関わる仕事					3	1				4
	人を相手にするサービス業	1									1
	清掃やクリーニングなどのサービス業	1					1	10			12
	その他		2	1				2	3		8
	無回答										
計		16	4	12		3	2	12	4		53

（イ） １ヶ月当たりの給与額

第１回調査から第３回調査における給与区分の変化の状況を見ると、各区分とも変化なしが６割台となっている。

変化の方向をみると、全体と正社員継続者では減少が増加を上回っているのに対し、パート・アルバイト継続者では、増加が減少を上回っている。

給与区分は、全体及び正社員継続者が「13 万円以上 25 万円未満」、パート・アルバイト継続者が「７万円以上 13 万円未満」の区分が多くなっている。

表Ⅱ-2-22 雇用継続者の1ヶ月当たりの給与額の変化

（人）

	計	変化無し					変化あり					
		変化無し計		主な変化無し			変化あり計		増加		減少	
全体	207	130	62.8%	13～25	55	26.6%	61	29.5%	26	12.6%	35	16.9%
正社員	127	80	63.0%	13～25	42	33.1%	40	31.5%	17	13.4%	23	18.1%
パート･アルバイト	53	35	66.0%	7～13	22	41.5%	13	24.5%	8	15.1%	5	9.4%

表Ⅱ-2-23 正社員継続者の1ヶ月当たりの給与額の状況

（人）

		第３回						計
		7万円未満	7万円以上 13万円未満	13万円以上 25万円未満	25万円以上 40万円未満	40万円以上	無回答	
第１回	7万円未満	2		1				3
	7万円以上 13万円未満		9	4				13
	13万円以上 25万円未満		4	42	9	1	2	58
	25万円以上 40万円未満			9	26	2	2	39
	40万円以上			1	9	1	1	12
	無回答				2			2
計		2	13	57	46	4	5	127

表Ⅱ-2-24 パート･アルバイト継続者の1ヶ月当たりの給与額の状況

（人）

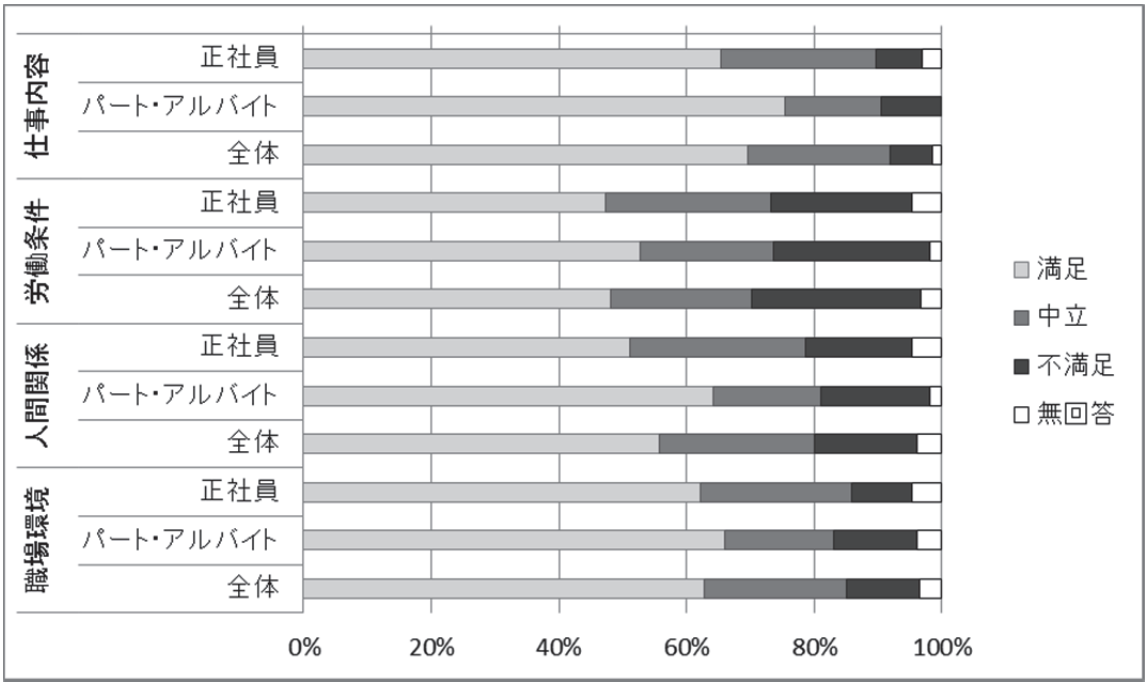
		第３回						計
		7万円未満	7万円以上 13万円未満	13万円以上 25万円未満	25万円以上 40万円未満	40万円以上	無回答	
第１回	7万円未満	4	4					8
	7万円以上 13万円未満	3	22	4			2	31
	13万円以上 25万円未満		1	8				9
	25万円以上 40万円未満			1	1			2
	40万円以上							
	無回答	1	2					3
計		8	29	13	1		2	53

ウ．仕事の満足度

正社員継続者、パート・アルバイト継続者、第３回調査の全回答者ともに、満足度の各項目について、２人に１人から４人に３人が「満足」と回答している。

就業形態別にみると、満足度の各項目において、「満足」とする割合が、パート・アルバイト継続者が正社員継続者を上回っており、正社員継続者は「どちらでもない」とする回答の割合が高くなっている。特に、「仕事内容」、「人間関係」の各項目においては、「満足」とする割合が、正社員継続者が全回答者よりも下回っている。

パート・アルバイト継続者は「満足」の回答が全ての項目で全体よりも高い一方、「不満足」の回答も「仕事内容」、「職場環境」で高い。



図Ⅱ-2-11　仕事の満足度

表Ⅱ-2-25 雇用継続者の仕事の満足度

（人）

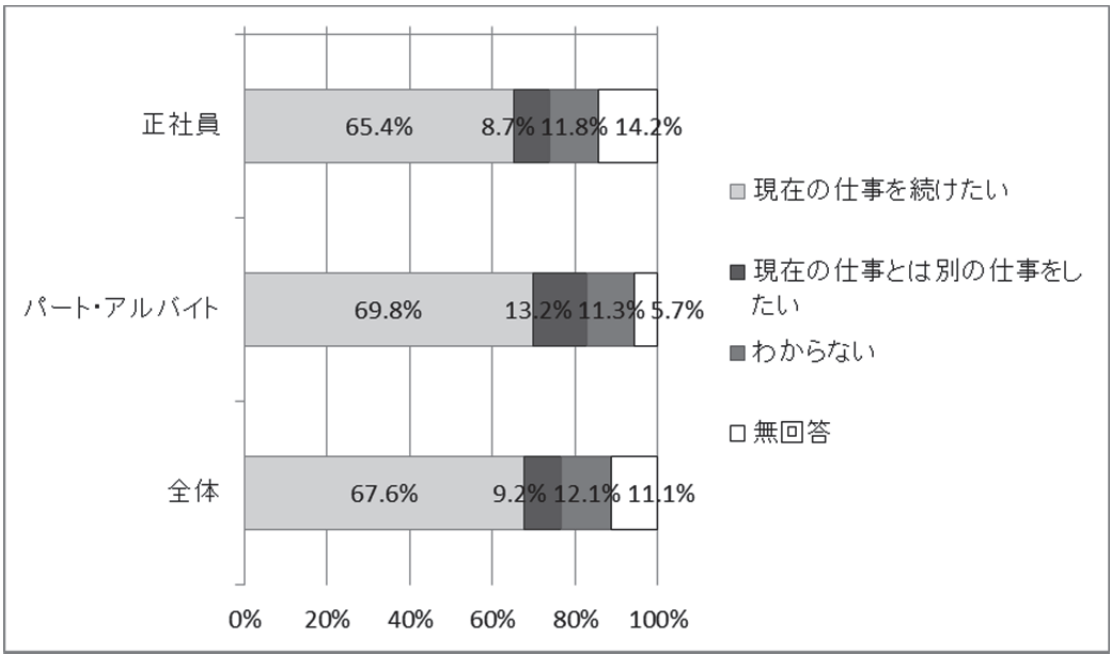
	仕事内容				労働条件				人間関係				職場環境				対象者
	満足	中立	不満足	無回答	満足	中立	不満足	無回答	満足	中立	不満足	無回答	満足	中立	不満足	無回答	
正社員	83	31	9	4	60	33	28	6	65	35	21	6	79	30	12	6	127
パート･アルバイト	40	8	5		28	11	13	1	34	9	9	1	35	9	7	2	53
全体	144	44	15	4	101	50	47	9	114	50	32	11	132	44	21	10	207
正社員	65.4%	24.4%	7.1%	3.1%	47.2%	26.0%	22.0%	4.7%	51.2%	27.6%	16.5%	4.7%	62.2%	23.6%	9.4%	4.7%	100.0%
パート･アルバイト	75.5%	15.1%	9.4%		52.8%	20.8%	24.5%	1.9%	64.2%	17.0%	17.0%	1.9%	66.0%	17.0%	13.2%	3.8%	100.0%
全体	69.6%	21.3%	7.2%	1.9%	48.8%	24.2%	22.7%	4.3%	55.1%	24.2%	15.5%	5.3%	63.8%	21.3%	10.1%	4.8%	100.0%

(注)全体は、第3回調査において雇用契約による就労と回答した288人について集計

エ．仕事の継続意思

正社員継続者、パート・アルバイト継続者、第３回調査の全回答者ともに、６割以上が「現在の仕事を続けたい」と回答している。

就業形態別にみると、「現在の仕事を続けたい」とする割合は、パート・アルバイト継続者が 69.8%と最も高い。また同時に、パート・アルバイト継続者は「別の仕事をしたい」とする回答も 13.2%と全体や正社員と比較して高い割合を示している。



図Ⅱ-2-12　　仕事継続の意思（雇用形態間の比較）

表Ⅱ-2-26　雇用継続者の仕事の継続意思

（人）

	現在の仕事を続けたい	現在の仕事とは別の仕事をしたい	わからない	無回答	計
正社員	83	11	15	18	127
パート・アルバイト	37	7	6	3	53
全体	140	19	25	23	207
正社員	65.4%	8.7%	11.8%	14.2%	100.0%
パート・アルバイト	69.8%	13.2%	11.3%	5.7%	100.0%
全体	67.6%	9.2%	12.1%	11.1%	100.0%

３．正社員とパート・アルバイト間変化者の状況

全ての調査回に回答があり、雇用契約の継続されている人のうち、正社員とパート・アルバイトの就業形態だけに着目してその変化をみると、第１回調査から第２回調査で就業形態の回答が正社員からパート・アルバイトに変化したのは４人、第２回調査から第３回調査で同様の変化があったのは４人で、パート・アルバイトから正社員への変化は１人であった。４年間で就業形態の回答が正社員からパート・アルバイトに変わった計８人について集計した。

（１）正社員からパート・アルバイトに変化した者の属性

対象者の属性としては、知的障害が多く、性別に偏りは見られない。

表Ⅱ-2-27　障害別人数　（人）

視覚障害	内部障害	知的障害	精神障害	計
2	1	4	1	8

表Ⅱ-2-28　男女別人数　（人）

男性	女性	計
5	3	8

（２）正社員からパート・アルバイトに変化した者の勤務条件の変化

就業形態の変化によって、仕事内容が変わることがあるが、変化の傾向は多様である。勤務時間は８人のうち３人が変化なしで、３人が短くなった。休日日数は６人が変化なし。給与区分は４人が変化なしで、３人が下がった。

表Ⅱ-2-29　就業形態変化者の仕事内容　（人）

		パート・アルバイト									
		ものを作る仕事	ものを売る仕事	事務の仕事	ものを教える仕事	医療や福祉に関わる仕事	人を相手にするサービス業	清掃やクリーニングなどのサービス業	その他	無回答	計
正社員	ものを作る仕事										
	ものを売る仕事										
	事務の仕事										
	ものを教える仕事				1						1
	医療や福祉に関わる仕事					1					1
	人を相手にするサービス業					1					1
	清掃やクリーニングなどのサービス業							1		1	2
	その他							1	1		2
	無回答					1					1
計					1	3		2	1	1	8

表Ⅱ-2-30　就業形態変化者の勤務時間

(人)

		パート・アルバイト				計
		20時間未満	20時間以上30時間未満	30時間以上（フルタイム）	無回答	
正社員	20時間未満					
	20時間以上30時間未満	1	1			2
	30時間以上（フルタイム）	1	1	2	1	5
	無回答				1	1
計		2	2	2	2	8

表Ⅱ-2-31　就業形態変化者の休日日数

(人)

		パート・アルバイト						計
		1日	2日	3日	4日以上	不定期	無回答	
正社員	1日	1						1
	2日		4		1		1	6
	3日							
	4日以上			1				1
	不定期							
	無回答							
計		1	4	1	1		1	8

表Ⅱ-2-32　就業形態変化者の給与額

(人)

		パート・アルバイト						計
		7万円未満	7万円以上13万円未満	13万円以上25万円未満	25万円以上40万円未満	40万円以上	無回答	
正社員	7万円未満							
	7万円以上13万円未満	1	3				1	5
	13万円以上25万円未満	2		1				3
	25万円以上40万円未満							
	40万円以上							
	無回答							
計		3	3	1			1	8

（3）正社員からパート・アルバイトに変化した者の仕事満足度

仕事満足度については、正社員からパート・アルバイトになった人では満足度が上昇する人は少なかった。項目別には、「給与待遇」では就業形態の変化の前と後で、あまり変化した人はいなかったが、「人間関係」で満足度が低くなった人が多かった。

表Ⅱ-2-33　就業形態変化者の仕事満足度

（人）

仕事内容	変化なし	4	50.0%
	上昇		
	低下	3	37.5%
	無回答	1	12.5%
労働条件	変化なし	5	62.5%
	上昇		
	低下	1	12.5%
	無回答	2	25.0%
人間関係	変化なし	1	12.5%
	上昇	1	12.5%
	低下	4	50.0%
	無回答	2	25.0%
職場環境	変化なし	4	50.0%
	上昇		
	低下	2	25.0%
	無回答	2	25.0%

４．雇用契約による就労と福祉的就労との間の変化状況

総合福祉法制定の趣旨からも、雇用と福祉の間の移動は、障害のある労働者の職業サイクルの継続として大変に重要且つ注目されるところで、本パネル調査においてそういった状況がどういった様態においてどの程度起きているのかについて、調査回にそって確認していく。第１回後期調査から第３回後期調査までの４年間において、雇用から雇用契約のない福祉的就労への変化者は７人、福祉的就労から雇用への変化者は１人が確認されている。

少数であるため、以下でそれぞれの詳細状況を記述する。まず雇用から福祉的就労へ移行した人７人の内訳は、男性が４人、女性が３人。障害は知的障害５人（グループホーム入居３人、親との同居２人）、聴覚障害１人、精神障害１人（いずれも一人暮らし）。移行前の雇用形態は全員がパート・アルバイトで、変化前の継続意思は、「続けたい」から「わからない」に変わっていた人が３人いた。就職活動の希望としては、「時間をかけて自分に合った仕事を探したい」と答える人が、無回答以外の全員で、これから就きたいと考えている働き方では、複数回答として正社員やパート・アルバイトと併せて就労継続支援事業所Ａ型やＢ型を選んでいる人が２人、Ｂ型のみを選んでいる人が１人であった。就職活動の相談先としては就業・生活支援センターを選ぶ人が３人と多かった。

一方、雇用契約のない福祉的就労から一般雇用に変化した人は、40 歳代の精神障害（受障は就職後の中途障害）で、パート・アルバイトで就職した。雇用への変化が確認された調査回では同時にライフイベントとして結婚もあった。

異なる就労形態間の変化は一方行とは限らず、また永続的なものでもないので、今回変化のあった人の今後の経過についても追跡していく事とする。

第３節　まとめ

第Ⅱ部第２章では職業生活後期調査で第１回から第３回までの全ての回に回答のあった人を対象とし、就業形態の経過についてパターンに分けて分析を行った。まず仕事が「雇用契約ありからなし」に変化した人の生活状況を見ると、「一人暮らし」と、「グループホーム」が多く、「雇用契約なしからあり」に変化した人は、「配偶者との同居」または「親との同居」が多い。今回の報告においては、第１回から第３回調査までの６年間で「雇用契約ありからなし」または「なしからあり」の変化の局面にあった人は少数なので、結論付けるのは時期尚早ではあるが、仕事の継続と家族形態については、職業生活のサポートという機能において関連性が強いことが想定される。

「雇用契約なしからあり」の局面で仕事上の出来事として全体傾向よりも高い割合を示したのは、「休職」と「給料が下がった」であった。40 歳代で該当者の多い再就職の局面では、給与が下がる事が起きやすく、仕事についての満足度としてはほぼ全ての項目で「満足」の回答率が低く、「不満足」の回答率が高い傾向が示された。「雇用契約ありからなし」となった人の前職場に対する仕事満足度は、「労働条件」と「職場環境」についての項目で「満足」の回答が比較的高く、「人間関係」の項目では不満足の傾向にあった。

「雇用契約ありからなし」になった人の離職理由は「自己都合」４割、「事業主都合」３割で、「自己都合」の内、「体力や体調によるもの」が第３回では増えている。求職活動の相談先は大半がハローワークの利用を考えており、求職中の人の３割は「すぐに仕事につきたい」としているが、４割は「時間をかけて自分にあった仕事を探したい」としている。これから就きたい仕事の働き方についての設問で「正社員」と回答した８人中５人は正社員のみに限定されており、就労継続支援事業所利用を希望する５人のうちその働き方だけに限定する人は１人であった。

第１回調査から第３回調査で就業形態に変化がなく正社員を継続している人では、給与区分の変化の割合が比較的高く、増加よりも減少への変化率が高い。その一方パート・アルバイトを継続している人では給与区分の変化率は低い。現在の仕事の継続意思は、正社員継続者、パート・アルバイト継続者とも全体と比較して「今の仕事を続けたい」としている人の割合が高い。また同時にパート・アルバイトを継続している人は「別の仕事をしたい」の回答割合も高い傾向にある。仕事満足度についての回答傾向として正社員を継続している人は「どちらとも言えない」の中立回答が多い。パート・アルバイトを継続している人は中立回答が少なく、満足と不満足に分かれている。全般的にパート・アルバイトを継続している人の満足度が、正社員を継続している人の満足度よりも高い。ところが、正社員からパート・アルバイトになるなど就業形態に変化のあった人では、満足度は正社員の時の方が高いという結果が出ている。これら就業形態別での満足度の違いを規定する要因については、今後更なるデータの蓄積を待って統計解析により明らかにしていく。

【参考】仕事をしている人全体の状況

45 歳以上の就業者数は、平成 23 年９月時点（平成 23 年の３月から８月は東日本大震災の影響により労働力調査が未実施であったため第２回調査時に直近のもの）と平成 25 年７月（第３回調査時）共に増加している。第３回職業生活後期調査は今年度実施のため、年平均の統計値が未整備で月次の数値のみの比較となるが、雇用者数も増加し、失業者数は減少している。その一方正規雇用と非正規雇用の割合は若年層では大凡７：３であるのに対し 45 歳以上では６：４となっており、非正規雇用が多い。

表Ⅱ-2-34　仕事をしている人全体の状況　（△増　▲減）

	平成21年7月 （第1回調査）	平成23年9月 （第2回調査）	平成25年7月 （第3回調査）
1 就業者 （45歳以上）	3,050万人(21.7)	3,075万人(23.9) △0.8%	3,128万人(25.7) △1.7%
2 雇用者数 （同上）	2,412万人(21.7)	2,090万人(23.9) ▲13.3%	2,537万人(25.7) △21.4%
3 正規雇用 （同上）	1,299万人(21年平均)	1,287万人(23年平均) ▲0.9%	1,292万人(25.7)
4 非正規雇用 （同上）	848万人(21年平均)	908万人(23年平均) △7.1%	907万人(25.7)
5 正規雇用と非正規雇用の比率 (3, 4より計算)	正規雇用:非正規雇用 60.5% : 39.5%	正規雇用:非正規雇用 58.6% : 41.4% ▲1.9P : △1.9P	正規雇用:非正規雇用 58.8% : 41.2%
6 完全失業者数 （45歳以上）	132万人(21.7)	110万人(23.9) ▲16.7%	104万人(25.7) ▲5.5%
7 完全失業率 （同上）	4.2%	3.5%(23.9) ▲0.7P	3.2%(25.7) ▲0.3P
8 賃金(年齢計、事業所規模5人以上)	262,658円 (21.6) (決まって支給する給与)	263,305円 (23.6) (決まって支給する給与) ▲0.02%	261,019円(25.6) (決まって支給する給与) ▲0.09%
9 週労働時間別非農林業雇用者数 （年齢計）	週1～29時間995万人 週30時間以上4,305万人	週1～29時間975万人 ▲2.0% 週30時間以上4,113万人 ▲4.5%	

10　転職者数(注1) (45歳以上)	91万人(21年平均)	87万人(23年平均) ▲4.4%	
11　転職者比率 (45歳以上就業者数に対する比率)	3.0% (3,055万人に対する比率、21年平均)	3.0% (2,924万人に対する比率、23年平均)　－	
12　転職者の転職後の雇用形態 (年齢計)	正規→正規76万人 正規→非正規34万人 非正規→正規46万人 非正規→非正規126万人 (21年平均)	正規→正規65万人 正規→非正規30万人 非正規→正規40万人 非正規→非正規117万人 (23年平均)	
13　転職希望者 (年齢計)	612万人 転職希望率(注2)9.7%	586万人 転職希望率(注2)9.8% ▲4.2%、△0.1P	
14　転職前後の収入増減	収入増15万人(16.5%) ほぼ同じ22万人(24.2%) 収入減54万人(59.3%)	収入増15万人(18.3%) △1.8P ほぼ同じ19万人(23.2%) ▲1.0P 収入減47万人(57.3%) ▲2.0P	

(資料出所)総務省「労働力調査」(7, 8以外)、厚生労働省「毎月勤労統計調査」(7, 8)

(注1)転職者とは就業者のうち前職のある者で、過去1年間に離職を経験した者

(注2)転職希望者率とは就業者数に対する比率。

(注3)平成23年平均は補完推計値を用いた参考値

終章

総括的検討と今後の課題

終章　　総括的な検討と今後の課題

職業サイクル（就職、雇用、離職（退職）等）の各局面における状況と課題を明らかにするため、第Ⅰ部において、第２回調査と第３回調査の２年間の経過について分析し、第１回調査と第２回調査の経過と比較を行うとともに、第Ⅱ部において、第１回調査から第３回調査までを通じた就業状況の経過の把握とその各局面における出来事や変化、意識等の状況について分析を行った。

本章では、これらを踏まえ、前期調査と後期調査を通じた総括的な検討を行うとともに、今後に向けた課題を整理することとする。

第１節　年代別の分析

職業サイクルが職業生涯を通じてどのような経過を辿るのか、そのアウトラインを描くことは本研究における重要な課題の一つである。

第３回までの調査では４年間を網羅しているにすぎず、職業生涯を見通した縦断的な分析はまだできないが、ひとつの試みとして、ライフイベントと仕事上の出来事について、それぞれの項目がどの年代でどの程度の割合で起こっているのかについて、第２回と第３回のデータ（ライフイベントについては延べ 1284 人分、仕事上の出来事については延べ 1155 人分）を使い年代別の生起率を集計した（グラフの作成に当たっては 10 歳代１人を除いている。）。

１．　ライフイベントの年代ごとの状況

本人に関することについてみると、「結婚」、「出産」、「引越し」など家族形成に関わる出来事は 30 歳代がピークとなっている。また「親元からの独立」や「就学」は 20 歳代が最も高く次第に低下している。「年金の受給開始」は 20 歳代で最も多く、「自分の入院」は年齢に応じ増加の傾向が見られる（図-終-1～3）。

家族に関することでは、年齢が高くなるに応じて家族の「入院」、「死亡」が増加しており、「家族の離職」は 20 歳代から 30 歳代にかけて増加するがその後減少している。（図-終-4）

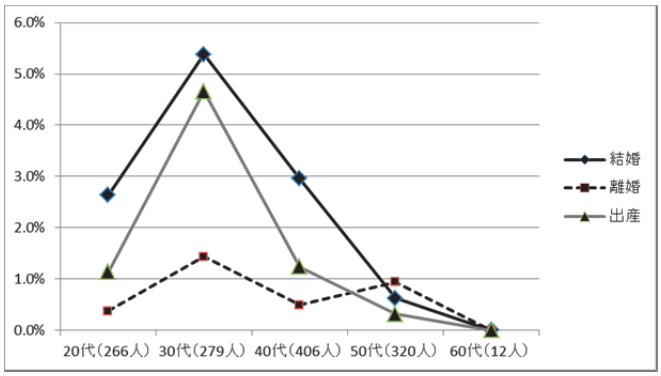


図-終-1　年代別ライフイベント（１）

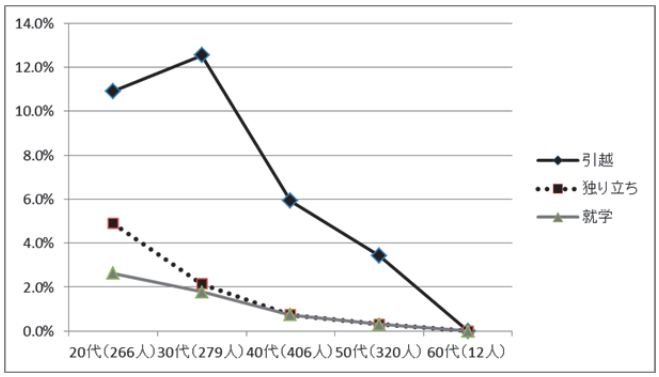


図-終-2　年代別ライフイベント（２）

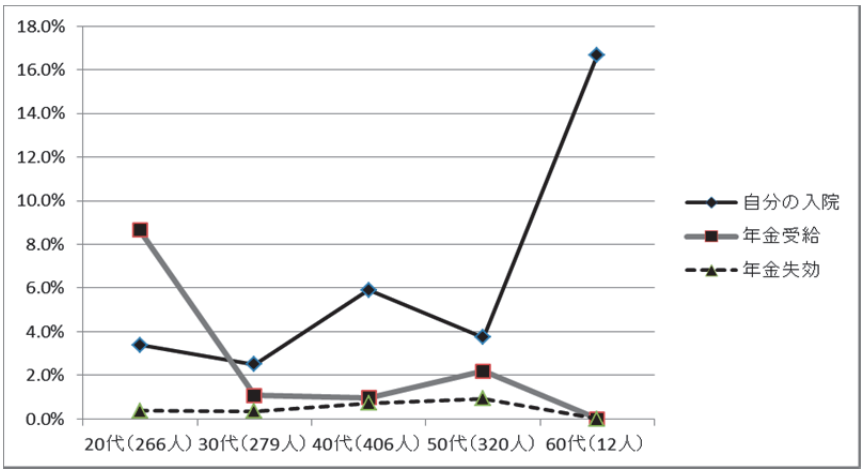


図-終-3　　年代別ライフイベント（３）

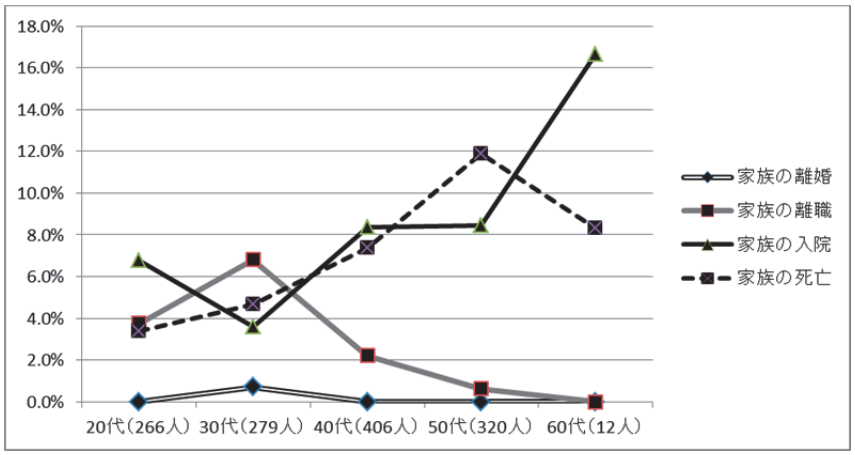


図-終-4　年代別ライフイベント（４）

２．仕事上の出来事の年代ごとの状況

各項目について年代ごとの生起率をみると、「昇給」は 30～50%の水準で、また「配置転換」は 20%程度の水準で、ほぼ全ての年代を通じて他の出来事よりも高い割合で起こっており、他の項目はいずれも 10%以下の割合となっている。(図-終-5)

「昇進」は 40 歳代が、「支援者がいなくなる」(以下「失支援」と略記）のは 30 歳代がそれぞれピークとなっており、支援を受ける立場から独り立ちして昇進していく状況が窺われる。また、「正社員への転換」は20歳代から 30 歳代にかけて２%程度の水準で起こっており他の年代より高い割合となっている。また、「転職」と「休職」は、ほぼ全ての年代を通じて、３%から５%程度の水準で起こっている。（図-終-6～7）

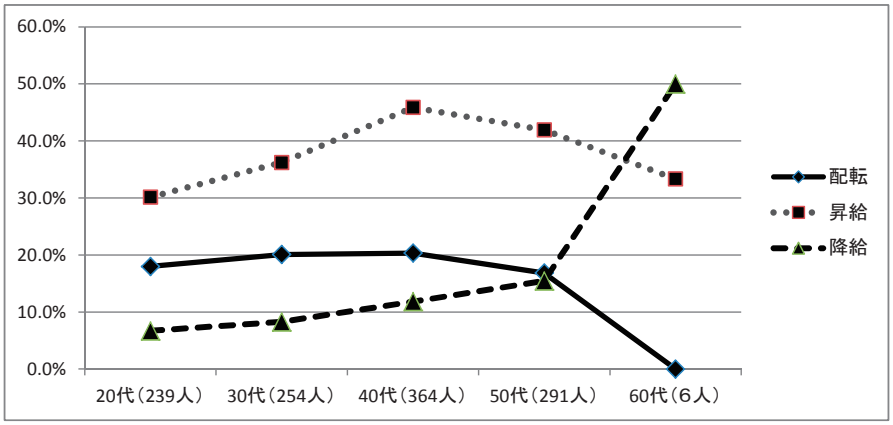


図-終-5　仕事上の出来事（１）

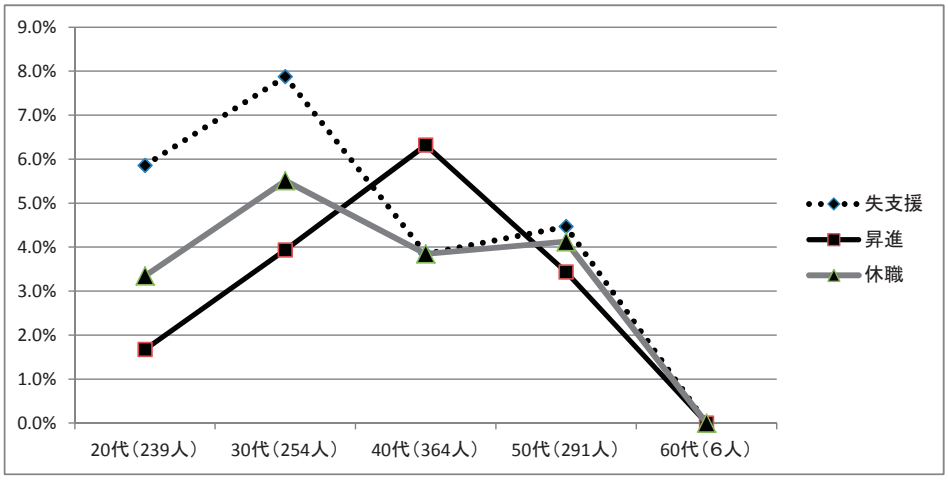


図-終-6　仕事上の出来事（２）

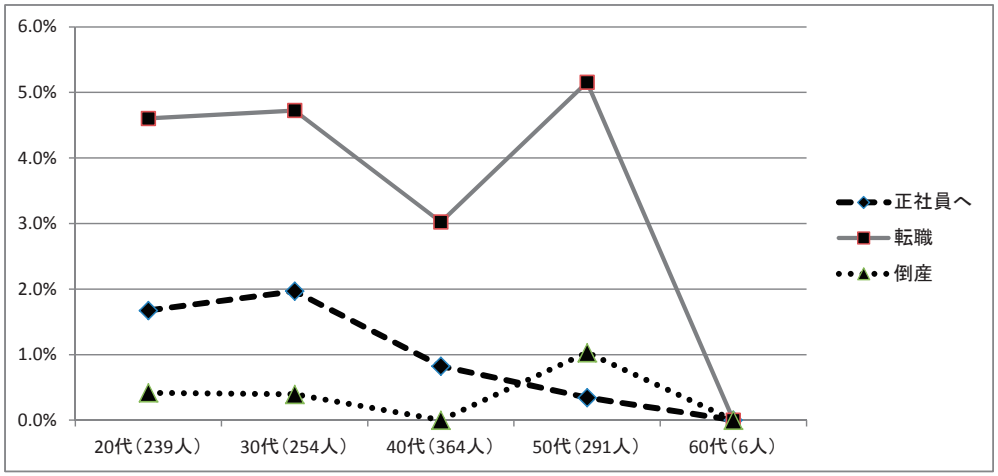


図-終-7　仕事上の出来事（３）

第２節　今後の課題

１　生活や仕事の経過の長期的な把握

本調査研究では、第２回調査から第３回調査の２年間の経過について分析し、第１回と第２回の経過と比較を行うとともに、第１回から第３回までを通じた就業状況の経過とその各局面における状況を把握した。

２年ごとの経過の比較においては、第２回調査から第３回調査の２年間においても、仕事内容、給与額、勤務時間等の仕事の状況は第１回と第２回の間の経過と同様７～８割程度の人が「変化なし」で、第２回調査時点と同様の状況が継続していることがわかった。また、第１回調査から第３回調査を通じた就業状況の経過においては、約１割の人で就業（「雇用契約あり」の就労）と非就業の間の変化が見られた。

引き続き、これらの継続と変化の双方に注目していくことが必要である。

具体的には、まず、２年間ごとの変化の状況を継続して把握し、それまでと異なった状況があればその背景等について分析を深めることで課題発見の契機となることが考えられる。

また、就業と非就業や就業形態の経過に着目し、①就業や同一の就業形態を継続させる要因は何か、また、②非就業の状況は、各調査対象者においてどれくらいの頻度で起こっているか、特定の人に連続して起こってないか、起こるとすればどのような背景が考えられるのかについて長期的に注目していくことが、支援対象の具体化など支援策の検討につながると考えられる。

さらに、就業と非就業の間の変化、異なる就業形態（正社員とパート・アルバイト、雇用と福祉的就労）の間の変化の局面についても、その前後の仕事の状況や満足度などの意識にどの様に影響しているか等について把握する必要がある。またその際、内容によっては変化の直後だけではなくより長期的な経過を見ることも必要と考えられる。

２　支援ニーズの把握

就業から非就業への変化、非就業から就業への変化の局面に着目し、離職に至る状況や背景、再就職に向けた就職活動や支援機関の活用状況などのデータを蓄積し、職場定着や再就職のための支援ニーズを明らかにしていくことが必要である。

３　キャリア形成の視点からの調査結果の分析

過去２年間の仕事上の出来事について、該当項目がなかった人は第２回、第３回の調査において３割程度であり７割の人は何らかの出来事があったといえる。

これらの中で、「配置転換」、「転職」などの出来事については、その直後と一定期間が経過し適応が進んだ段階では満足度などの意識が異なっていることも想定されるところであり、その後の経過を一定期間継続して追跡し、キャリア形成の過程でどのような意味をもったのかを把握することも考えられる。

また、その際、正社員とパート・アルバイトの就業形態の違いについても留意する必要がある。

４　就労に関する意識と就業実態の関連の把握

仕事の満足度に影響する要因は何か、また仕事継続に関する意思はその後のキャリアにどのように影響していく

のか等、意識と就業状況の相互の関連は、職業サイクルの展開を把握する上で重要な視点であり、必要に応じて統計分析の手法も活用しつつ検証していく必要がある。

５　加齢、障害の重度化の影響

職業生活後期調査については対象者の年齢が 60 歳代に入りつつあり、加齢に伴う職業生活への影響等について、障害の重度化等の過程にも留意しつつ丁寧に把握していくこととする。

６　障害別の分析

仕事に関係した調査項目の２年間の経過は、全体としては各項目とも７割から８割において２年前と同様の状況が継続したが、障害別に見ると変化の状況に一定の違いが見られた。また、就業形態も障害種類により違いが見られるところである。

今後、データの蓄積が進む中で可能な分析の範囲も広がると考えられることから、焦点を絞るなどして障害別の分析を進める必要がある。

７　年代に応じた分析

職業サイクルが職業生涯を通じてどのような経過を辿るのか、そのアウトラインを描くことは本研究における重要な課題の一つである。

調査開始時点では 40 歳未満であった前期調査の対象者も 40 歳代に入ってきており、前期調査と後期調査の比較の視点に加え、前期調査と後期調査を通じた視点での分析も有益と考えられる。

８　縦断調査（パネル調査）の集計分析の方法等

今後、調査の回数を重ねる中でデータの蓄積が進み、より長期間の経過を把握できるようになるとともに、障害別や年代別などの側面からの分析も可能となってくることが期待される。

また、今回の追加募集で得られたデータについては今回の集計では横断的な集計のみとしたが、第４回調査以降においては継続と変化についての分析対象とする予定である。

今後とも、調査対象者のご協力を得ながらデータの効率的な蓄積を図るとともに、分析に当たっては、視点に応じて柔軟にデータの切り出しを行うなど、限られたデータを最大限に活用していくこととする。

資料編

資料編

1　第３回調査結果についての障害別集計

（１）職業生活前期調査

追加募集を含まない 310 人の集計　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 133

追加募集を含む 421 人の集計　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 148

（２）職業生活後期調査

追加募集を含まない 320 人の集計　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 165

追加募集を含む 414 人の集計　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 181

2　第２回調査と第３回調査の２年間の経過について障害別集計

（１）職業生活前期調査

家族構成の状況　（障害別）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 199

同居の家族　（障害別）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 200

就業形態の状況　（障害別）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 201

仕事内容の状況　（障害別）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 202

勤務時間の状況　（障害別）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 203

１週間当たりの休日数の状況　（障害別）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 204

１ヶ月当たりの給与額の状況　（障害別）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 205

仕事の継続意思の状況（障害別）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 206

（２）職業生活後期調査

家族構成の状況　（障害別）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 207

同居の家族　（障害別）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 208

就業形態の状況　（障害別）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 209

仕事内容の状況　（障害別）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 210

勤務時間の状況　（障害別）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 211

１週間当たりの休日数の状況　（障害別）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 212

１ヶ月当たりの給与額の状況　（障害別）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 213

仕事の継続意思の状況（障害別）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 214

3　就業形態に変化のない人の障害別集計

（１）職業生活前期調査

３回とも正社員の人（性別）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 215

３回ともパート・アルバイトの人（性別）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 215

３回とも正社員の人の年代（第３回）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 215
３回ともパート・アルバイトの人の年代（第３回）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 215
正社員継続者の第２回第３回のライフイベント累計（複数回答）　・・・・・・・・・・・・ 215
パート・アルバイト継続者の第２回第３回のライフイベント累計（複数回答）　・・・・・ 216
正社員継続者の第２回第３回の仕事上の出来事累計（複数回答）・・・・・・・・・・・・ 216
パート・アルバイト継続者の第２回第３回の仕事上の出来事累計（複数回答）・・・・・・ 217
正社員継続者の仕事の継続意思　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 217
パート・アルバイト継続者の仕事の継続意思　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 217
正社員継続者の仕事満足度　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 218
パート・アルバイト継続者の仕事満足度　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 218

（２）職業生活後期調査
３回とも正社員の人（性別）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 219
３回ともパート・アルバイトの人（性別）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 219
３回とも正社員の人の年代（第３回）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 219
３回ともパート・アルバイトの人の年代（第３回）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 219
正社員継続者の第２回第３回のライフイベント累計（複数回答）　・・・・・・・・・・・・ 219
パート・アルバイト継続者の第２回第３回のライフイベント累計（複数回答）　・・・・・ 220
正社員継続者の第２回第３回の仕事上の出来事累計（複数回答）　・・・・・・・・・・・・ 220
パート・アルバイト継続者の第２回第３回の仕事上の出来事累計（複数回答）　・・・・・ 221
正社員継続者の仕事の継続意思　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 221
パート・アルバイト継続者の仕事の継続意思　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 221
正社員継続者の仕事満足度　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 222
パート・アルバイト継続者の仕事満足度　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 222

４　第３回調査票　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 223

1　第３回調査結果についての障害別集計

（1）職業生活前期調査　【第３回職業生活前期調査　追加募集を含まない 310 人の集計】

問１　性別

	男性	女性	計
全体	199 (64.2)	111 (35.8)	310 (100.0)
視覚障害	18 (54.5)	15 (45.5)	33 (100.0)
聴覚障害	28 (52.8)	25 (47.2)	53 (100.0)
肢体不自由	46 (69.7)	20 (30.3)	66 (100.0)
内部障害	15 (71.4)	6 (28.6)	21 (100.0)
知的障害	69 (66.3)	35 (33.7)	104 (100.0)
精神障害	23 (69.7)	10 (30.3)	33 (100.0)

問２　年齢

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	計
全体		108 (34.8)	137 (44.2)	65 (21.0)	310 (100.0)
視覚障害		5 (15.2)	19 (57.6)	9 (27.3)	33 (100.0)
聴覚障害		14 (26.4)	26 (49.1)	13 (24.5)	53 (100.0)
肢体不自由		21 (31.8)	26 (39.4)	19 (28.8)	66 (100.0)
内部障害		2 (9.5)	10 (47.6)	9 (42.9)	21 (100.0)
知的障害		65 (62.5)	32 (30.8)	7 (6.7)	104 (100.0)
精神障害		1 (3.0)	24 (72.7)	8 (24.2)	33 (100.0)

問４　家族構成（複数回答）

	配偶者	子ども	父親	母親	義父	義母	兄弟姉妹	祖父	祖母	その他	無回答	対象者
全体	49 (15.8)	25 (8.1)	223 (71.9)	254 (81.9)	17 (5.5)	16 (5.2)	198 (63.9)	30 (9.7)	61 (19.7)	7 (2.3)	5 (1.6)	310 (100.0)
視覚障害	10 (30.3)	5 (15.2)	19 (57.6)	26 (78.8)	6 (18.2)	6 (18.2)	19 (57.6)	4 (12.1)	8 (24.2)	1 (3.0)		33 (100.0)
聴覚障害	18 (34.0)	12 (22.6)	35 (66.0)	37 (69.8)	4 (7.5)	4 (7.5)	33 (62.3)	1 (1.9)	6 (11.3)		2 (3.8)	53 (100.0)
肢体不自由	7 (10.6)	3 (4.5)	55 (83.3)	57 (86.4)	2 (3.0)	2 (3.0)	47 (71.2)	7 (10.6)	13 (19.7)	1 (1.5)		66 (100.0)
内部障害	7 (33.3)	2 (9.5)	14 (66.7)	18 (85.7)	2 (9.5)		13 (61.9)	1 (4.8)	5 (23.8)	1 (4.8)		21 (100.0)
知的障害	2 (1.9)	1 (1.0)	75 (72.1)	89 (85.6)	1 (1.0)	1 (1.0)	63 (60.6)	16 (15.4)	24 (23.1)	2 (1.9)	3 (2.9)	104 (100.0)
精神障害	5 (15.2)	2 (6.1)	25 (75.8)	27 (81.8)	2 (6.1)	3 (9.1)	23 (69.7)	1 (3.0)	5 (15.2)	2 (6.1)		33 (100.0)

問５a　住環境

	自分・配偶者の家	配偶者以外の家	社員寮等	グループホーム等	その他	無回答	計
全体	88 (28.4)	184 (59.4)	12 (3.9)	17 (5.5)	5 (1.6)	4 (1.3)	310 (100.0)
視覚障害	21 (63.6)	10 (30.3)	2 (6.1)				33 (100.0)
聴覚障害	27 (50.9)	23 (43.4)	1 (1.9)		1 (1.9)	1 (1.9)	53 (100.0)
肢体不自由	15 (22.7)	46 (69.7)	4 (6.1)		1 (1.5)		66 (100.0)
内部障害	8 (38.1)	9 (42.9)	4 (19.0)				21 (100.0)
知的障害	6 (5.8)	79 (76.0)	1 (1.0)	15 (14.4)	1 (1.0)	2 (1.9)	104 (100.0)
精神障害	11 (33.3)	17 (51.5)		2 (6.1)	2 (6.1)	1 (3.0)	33 (100.0)

問５ｂ　独居

	一人暮らし	一人暮らしでない	無回答	計
全体	34 (12.0)	246 (86.6)	4 (1.4)	284 (100.0)
視覚障害	11 (33.3)	22 (66.7)		33 (100.0)
聴覚障害	5 (9.8)	45 (88.2)	1 (2.0)	51 (100.0)
肢体不自由	7 (10.8)	58 (89.2)		65 (100.0)
内部障害	5 (23.8)	16 (76.2)		21 (100.0)
知的障害	2 (2.3)	81 (94.2)	3 (3.5)	86 (100.0)
精神障害	4 (14.3)	24 (85.7)		28 (100.0)

問５ｃ　同居家族　（複数回答）

	配偶者	子ども	父親	母親	義父	義母	兄弟姉妹	祖父	祖母	その他	無回答	対象者
全体	48 (19.5)	24 (9.8)	163 (66.3)	184 (74.8)	1 (0.4)	3 (1.2)	84 (34.1)	15 (6.1)	24 (9.8)	7 (2.8)	1 (0.4)	246 (100.0)
視覚障害	10 (45.5)	5 (22.7)	5 (22.7)	11 (50.0)			4 (18.2)	1 (4.5)		1 (4.5)		22 (100.0)
聴覚障害	18 (40.0)	12 (26.7)	24 (53.3)	24 (53.3)	1 (2.2)	2 (4.4)	12 (26.7)		2 (4.4)	1 (2.2)	1 (2.2)	45 (100.0)
肢体不自由	7 (12.1)	3 (5.2)	46 (79.3)	49 (84.5)		1 (1.7)	21 (36.2)	5 (8.6)	7 (12.1)			58 (100.0)
内部障害	7 (43.8)	2 (12.5)	8 (50.0)	10 (62.5)			2 (12.5)		1 (6.3)	1 (6.3)		16 (100.0)
知的障害	1 (1.2)		64 (79.0)	74 (91.4)			40 (49.4)	9 (11.1)	13 (16.0)	1 (1.2)		81 (100.0)
精神障害	5 (20.8)	2 (8.3)	16 (66.7)	16 (66.7)			5 (20.8)		1 (4.2)	3 (12.5)		24 (100.0)

問８ライフイベント　（複数回答）

	結婚をした	離婚をした	子どもを生んだ／子どもが生まれた	引越をした	親元から離れて暮し始めた	自分が病気や事故で一カ月以上の入院をした	学校に通ったまたは卒業した	障害に関する年金を受給しはじめた	障害に関する年金の受給がなくなった	自分の親が離婚をした	自分の親が仕事を辞めた	家族が病気や事故で一カ月以上の入院をした	家族が亡くなった	該当する項目なし	無回答	対象者
全体	6 (1.9)	2 (0.6)	10 (3.2)	33 (10.6)	7 (2.3)	11 (3.5)	7 (2.3)	5 (1.6)	2 (0.6)	2 (0.6)	16 (5.2)	15 (4.8)	12 (3.9)	197 (63.5)	26 (8.4)	310 (100.0)
視覚障害			3 (9.1)	8 (24.2)	2 (6.1)		2 (6.1)			1 (3.0)	2 (6.1)	1 (3.0)		20 (60.6)		33 (100.0)
聴覚障害	4 (7.5)	1 (1.9)	6 (11.3)	10 (18.9)	2 (3.8)	4 (7.5)	2 (3.8)	1 (1.9)	1 (1.9)			2 (3.8)	1 (1.9)	32 (60.4)	3 (5.7)	53 (100.0)
肢体不自由	1 (1.5)	1 (1.5)		6 (9.1)	2 (3.0)	4 (6.1)			1 (1.5)		3 (4.5)	3 (4.5)	5 (7.6)	40 (60.6)	6 (9.1)	66 (100.0)
内部障害	1 (4.8)		1 (4.8)	4 (19.0)			1 (4.8)				3 (14.3)	2 (9.5)	1 (4.8)	10 (47.6)	2 (9.5)	21 (100.0)
知的障害				1 (1.0)	1 (1.0)	2 (1.9)	1 (1.0)	4 (3.8)		1 (1.0)	6 (5.8)	5 (4.8)	4 (3.8)	73 (70.2)	13 (12.5)	104 (100.0)
精神障害				4 (12.1)		1 (3.0)	1 (3.0)				2 (6.1)	2 (6.1)	1 (3.0)	22 (66.7)	2 (6.1)	33 (100.0)

問９　就業形態

	正社員	パート・アルバイト	派遣	自営	内職	就労継続支援事業所A型	就労継続支援事業所B型等	仕事をしていない	その他	無回答	計
全体	149 (48.1)	112 (36.1)	1 (0.3)	3 (1.0)		13 (4.2)	10 (3.2)	21 (6.8)	1 (0.3)		310 (100.0)
視覚障害	23 (69.7)	4 (12.1)		1 (3.0)		1 (3.0)		4 (12.1)			33 (100.0)
聴覚障害	36 (67.9)	11 (20.8)		1 (1.9)		1 (1.9)	1 (1.9)	3 (5.7)			53 (100.0)
肢体不自由	39 (59.1)	21 (31.8)				1 (1.5)	1 (1.5)	4 (6.1)			66 (100.0)
内部障害	16 (76.2)	4 (19.0)						1 (4.8)			21 (100.0)
知的障害	27 (26.0)	59 (56.7)	1 (1.0)	1 (1.0)		7 (6.7)	5 (4.8)	3 (2.9)	1 (1.0)		104 (100.0)
精神障害	8 (24.2)	13 (39.4)				3 (9.1)	3 (9.1)	6 (18.2)			33 (100.0)

問 10　仕事内容

	ものを作る仕事	ものを売る仕事	事務の仕事	ものを教える仕事	医療や福祉に関わる仕事	人を相手にするサービス業	清掃やクリーニングなどのサービス業	その他	無回答	計
全体	73 (26.3)	20 (7.2)	89 (32.0)	8 (2.9)	25 (9.0)	12 (4.3)	35 (12.6)	11 (4.0)	5 (1.8)	278 (100.0)
視覚障害			6 (20.7)	6 (20.7)	16 (55.2)	1 (3.4)				29 (100.0)
聴覚障害	17 (34.7)	2 (4.1)	23 (46.9)	1 (2.0)	2 (4.1)	1 (2.0)		1 (2.0)	2 (4.1)	49 (100.0)
肢体不自由	12 (19.7)	2 (3.3)	41 (67.2)	1 (1.6)	1 (1.6)		1 (1.6)	2 (3.3)	1 (1.6)	61 (100.0)
内部障害	4 (20.0)		13 (65.0)		2 (10.0)		1 (5.0)			20 (100.0)
知的障害	34 (35.8)	11 (11.6)	2 (2.1)		3 (3.2)	6 (6.3)	33 (34.7)	5 (5.3)	1 (1.1)	95 (100.0)
精神障害	6 (25.0)	5 (20.8)	4 (16.7)		1 (4.2)	4 (16.7)		3 (12.5)	1 (4.2)	24 (100.0)

問 11 a　勤務時間

	20時間未満	20時間以上30時間未満	30時間以上	無回答	計
全体	18 (6.5)	66 (23.7)	187 (67.3)	7 (2.5)	278 (100.0)
視覚障害	1 (3.4)	1 (3.4)	26 (89.7)	1 (3.4)	29 (100.0)
聴覚障害	6 (12.2)	8 (16.3)	33 (67.3)	2 (4.1)	49 (100.0)
肢体不自由	3 (4.9)	8 (13.1)	49 (80.3)	1 (1.6)	61 (100.0)
内部障害		2 (10.0)	18 (90.0)		20 (100.0)
知的障害	7 (7.4)	40 (42.1)	46 (48.4)	2 (2.1)	95 (100.0)
精神障害	1 (4.2)	7 (29.2)	15 (62.5)	1 (4.2)	24 (100.0)

問 11 b　休日日数

	1日	2日	3日	4日以上	不定期	無回答	計
全体	14 (5.0)	211 (75.9)	14 (5.0)	26 (9.4)	7 (2.5)	6 (2.2)	278 (100.0)
視覚障害	3 (10.3)	21 (72.4)	1 (3.4)	4 (13.8)			29 (100.0)
聴覚障害		39 (79.6)		5 (10.2)	4 (8.2)	1 (2.0)	49 (100.0)
肢体不自由	3 (4.9)	52 (85.2)	3 (4.9)	2 (3.3)		1 (1.6)	61 (100.0)
内部障害	1 (5.0)	17 (85.0)		2 (10.0)			20 (100.0)
知的障害	6 (6.3)	64 (67.4)	7 (7.4)	13 (13.7)	2 (2.1)	3 (3.2)	95 (100.0)
精神障害	1 (4.2)	18 (75.0)	3 (12.5)		1 (4.2)	1 (4.2)	24 (100.0)

問 11 c　1ヶ月当たり給与区分

	7万円未満	7～13万円	13～25万円	26～39万円	40万円以上	無回答	計
全体	33 (11.9)	108 (38.8)	116 (41.7)	12 (4.3)	2 (0.7)	7 (2.5)	278 (100.0)
視覚障害	2 (6.9)	3 (10.3)	22 (75.9)	1 (3.4)	1 (3.4)		29 (100.0)
聴覚障害	3 (6.1)	9 (18.4)	27 (55.1)	8 (16.3)		2 (4.1)	49 (100.0)
肢体不自由	3 (4.9)	20 (32.8)	33 (54.1)	1 (1.6)	1 (1.6)	3 (4.9)	61 (100.0)
内部障害		3 (15.0)	15 (75.0)	2 (10.0)			20 (100.0)
知的障害	22 (23.2)	60 (63.2)	12 (12.6)			1 (1.1)	95 (100.0)
精神障害	3 (12.5)	13 (54.2)	7 (29.2)			1 (4.2)	24 (100.0)

問 11 d　年間賞与区分

	なし	10万円未満	10～30万円	30～50万円	50～100万円	100万円以上	無回答	計
全体	73 (26.3)	57 (20.5)	50 (18.0)	33 (11.9)	52 (18.7)	8 (2.9)	5 (1.8)	278 (100.0)
視覚障害	5 (17.2)	5 (17.2)	5 (17.2)	3 (10.3)	10 (34.5)	1 (3.4)		29 (100.0)
聴覚障害	6 (12.2)	3 (6.1)	13 (26.5)	9 (18.4)	11 (22.4)	5 (10.2)	2 (4.1)	49 (100.0)
肢体不自由	10 (16.4)	9 (14.8)	9 (14.8)	12 (19.7)	18 (29.5)	1 (1.6)	2 (3.3)	61 (100.0)
内部障害	1 (5.0)	1 (5.0)	4 (20.0)	4 (20.0)	9 (45.0)	1 (5.0)		20 (100.0)
知的障害	43 (45.3)	32 (33.7)	16 (16.8)	4 (4.2)				95 (100.0)
精神障害	8 (33.3)	7 (29.2)	3 (12.5)	1 (4.2)	4 (16.7)		1 (4.2)	24 (100.0)

問 12 a　通勤手段　（複数回答）

	徒歩	自転車	原付/バイク	自動車	自動車(他者運転)	公共交通機関	その他	無回答	対象者
全体	98 (35.3)	43 (15.5)	4 (1.4)	63 (22.7)	25 (9.0)	149 (53.6)	8 (2.9)	1 (0.4)	278 (100.0)
視覚障害	22 (75.9)					21 (72.4)			29 (100.0)
聴覚障害	17 (34.7)	10 (20.4)	2 (4.1)	14 (28.6)	1 (2.0)	26 (53.1)	1 (2.0)	1 (2.0)	49 (100.0)
肢体不自由	13 (21.3)	1 (1.6)		26 (42.6)	8 (13.1)	20 (32.8)	5 (8.2)		61 (100.0)
内部障害	8 (40.0)	2 (10.0)	1 (5.0)	9 (45.0)		9 (45.0)	1 (5.0)		20 (100.0)
知的障害	33 (34.7)	25 (26.3)		7 (7.4)	11 (11.6)	62 (65.3)	1 (1.1)		95 (100.0)
精神障害	5 (20.8)	5 (20.8)	1 (4.2)	7 (29.2)	5 (20.8)	11 (45.8)			24 (100.0)

問 12 b　通勤時間

	30分未満	30分～1時間	1時間～1時間30分	1時間30分～2時間	2時間以上	無回答	計
全体	102 (36.7)	117 (42.1)	51 (18.3)	6 (2.2)		2 (0.7)	278 (100.0)
視覚障害	10 (34.5)	9 (31.0)	6 (20.7)	4 (13.8)			29 (100.0)
聴覚障害	17 (34.7)	21 (42.9)	9 (18.4)	1 (2.0)		1 (2.0)	49 (100.0)
肢体不自由	24 (39.3)	27 (44.3)	9 (14.8)			1 (1.6)	61 (100.0)
内部障害	8 (40.0)	9 (45.0)	3 (15.0)				20 (100.0)
知的障害	34 (35.8)	43 (45.3)	17 (17.9)	1 (1.1)			95 (100.0)
精神障害	9 (37.5)	8 (33.3)	7 (29.2)				24 (100.0)

問 13　従業員規模

	1～9人	10人～49人	50人～299人	300人～999人	1000人以上	わからない	無回答	計
全体	29 (10.4)	79 (28.4)	74 (26.6)	33 (11.9)	47 (16.9)	14 (5.0)	2 (0.7)	278 (100.0)
視覚障害	2 (6.9)	9 (31.0)	8 (27.6)	2 (6.9)	7 (24.1)	1 (3.4)		29 (100.0)
聴覚障害	4 (8.2)	4 (8.2)	11 (22.4)	9 (18.4)	19 (38.8)	1 (2.0)	1 (2.0)	49 (100.0)
肢体不自由	2 (3.3)	12 (19.7)	20 (32.8)	15 (24.6)	8 (13.1)	4 (6.6)		61 (100.0)
内部障害	1 (5.0)	3 (15.0)	5 (25.0)	5 (25.0)	4 (20.0)	2 (10.0)		20 (100.0)
知的障害	20 (21.1)	43 (45.3)	22 (23.2)	1 (1.1)	4 (4.2)	4 (4.2)	1 (1.1)	95 (100.0)
精神障害		8 (33.3)	8 (33.3)	1 (4.2)	5 (20.8)	2 (8.3)		24 (100.0)

問 14　現職就職年齢

	15～20歳	21～25歳	26～30歳	31～35歳	36～40歳	41～45歳	無回答	計
全体	88 (31.7)	73 (26.3)	45 (16.2)	35 (12.6)	25 (9.0)	4 (1.4)	8 (2.9)	278 (100.0)
視覚障害	1 (3.4)	10 (34.5)	8 (27.6)	9 (31.0)	1 (3.4)			29 (100.0)
聴覚障害	12 (24.5)	19 (38.8)	7 (14.3)	3 (6.1)	4 (8.2)	2 (4.1)	2 (4.1)	49 (100.0)
肢体不自由	17 (27.9)	10 (16.4)	16 (26.2)	8 (13.1)	7 (11.5)	1 (1.6)	2 (3.3)	61 (100.0)
内部障害	2 (10.0)	8 (40.0)	3 (15.0)	3 (15.0)	4 (20.0)			20 (100.0)
知的障害	54 (56.8)	23 (24.2)	6 (6.3)	5 (5.3)	2 (2.1)	1 (1.1)	4 (4.2)	95 (100.0)
精神障害	2 (8.3)	3 (12.5)	5 (20.8)	7 (29.2)	7 (29.2)			24 (100.0)

問 15　障害内容の説明

	ほとんどの人に説明	一部の人に説明	説明していない	わからない	無回答	計
全体	165 (59.4)	96 (34.5)	5 (1.8)	8 (2.9)	4 (1.4)	278 (100.0)
視覚障害	18 (62.1)	11 (37.9)				29 (100.0)
聴覚障害	29 (59.2)	16 (32.7)	2 (4.1)	1 (2.0)	1 (2.0)	49 (100.0)
肢体不自由	29 (47.5)	28 (45.9)	1 (1.6)	2 (3.3)	1 (1.6)	61 (100.0)
内部障害	11 (55.0)	9 (45.0)				20 (100.0)
知的障害	67 (70.5)	20 (21.1)	2 (2.1)	4 (4.2)	2 (2.1)	95 (100.0)
精神障害	11 (45.8)	12 (50.0)		1 (4.2)		24 (100.0)

注1）説明していない理由：聴覚「聴覚障害社関係の仕事なので」「聴覚障害者協会事務所の為全員理解している」「障害を持っていることは全員知っている」・肢体不自由「同じ製造ラインで作業している人はみんな知っています」・知的「自分から説明していないが、会社の人は知っている」「自分の障害が分かっていない」

問 16　仕事満足度

		満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満足	不満足	無回答	計
a 仕事の内容	全体	103 (37.1)	103 (37.1)	46 (16.5)	17 (6.1)	5 (1.8)	4 (1.4)	278 (100.0)
	視覚障害	11 (37.9)	11 (37.9)	5 (17.2)	1 (3.4)	1 (3.4)		29 (100.0)
	聴覚障害	10 (20.4)	19 (38.8)	14 (28.6)	4 (8.2)	1 (2.0)	1 (2.0)	49 (100.0)
	肢体不自由	26 (42.6)	20 (32.8)	8 (13.1)	4 (6.6)	2 (3.3)	1 (1.6)	61 (100.0)
	内部障害	4 (20.0)	9 (45.0)	4 (20.0)	1 (5.0)	1 (5.0)	1 (5.0)	20 (100.0)
	知的障害	46 (48.4)	31 (32.6)	12 (12.6)	5 (5.3)		1 (1.1)	95 (100.0)
	精神障害	6 (25.0)	13 (54.2)	3 (12.5)	2 (8.3)			24 (100.0)
		満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満足	不満足	無回答	計
b給料や待遇	全体	76 (27.3)	81 (29.1)	53 (19.1)	50 (18.0)	13 (4.7)	5 (1.8)	278 (100.0)
	視覚障害	8 (27.6)	9 (31.0)	6 (20.7)	5 (17.2)	1 (3.4)		29 (100.0)
	聴覚障害	7 (14.3)	16 (32.7)	11 (22.4)	12 (24.5)	2 (4.1)	1 (2.0)	49 (100.0)
	肢体不自由	16 (26.2)	16 (26.2)	13 (21.3)	10 (16.4)	4 (6.6)	2 (3.3)	61 (100.0)
	内部障害	1 (5.0)	9 (45.0)	4 (20.0)	4 (20.0)	1 (5.0)	1 (5.0)	20 (100.0)
	知的障害	39 (41.1)	23 (24.2)	15 (15.8)	13 (13.7)	4 (4.2)	1 (1.1)	95 (100.0)
	精神障害	5 (20.8)	8 (33.3)	4 (16.7)	6 (25.0)	1 (4.2)		24 (100.0)
		満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満足	不満足	無回答	計
c職場の人間関係	全体	82 (29.5)	101 (36.3)	51 (18.3)	24 (8.6)	14 (5.0)	6 (2.2)	278 (100.0)
	視覚障害	3 (10.3)	16 (55.2)	7 (24.1)	2 (6.9)	1 (3.4)		29 (100.0)
	聴覚障害	9 (18.4)	19 (38.8)	10 (20.4)	8 (16.3)	2 (4.1)	1 (2.0)	49 (100.0)
	肢体不自由	17 (27.9)	20 (32.8)	13 (21.3)	6 (9.8)	3 (4.9)	2 (3.3)	61 (100.0)
	内部障害	3 (15.0)	9 (45.0)	4 (20.0)	2 (10.0)	1 (5.0)	1 (5.0)	20 (100.0)
	知的障害	44 (46.3)	27 (28.4)	14 (14.7)	5 (5.3)	3 (3.2)	2 (2.1)	95 (100.0)
	精神障害	6 (25.0)	10 (41.7)	3 (12.5)	1 (4.2)	4 (16.7)		24 (100.0)
		満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満足	不満足	無回答	計
d職場の環境	全体	91 (32.7)	87 (31.3)	55 (19.8)	31 (11.2)	8 (2.9)	6 (2.2)	278 (100.0)
	視覚障害	6 (20.7)	14 (48.3)	5 (17.2)	4 (13.8)			29 (100.0)
	聴覚障害	8 (16.3)	16 (32.7)	17 (34.7)	5 (10.2)	2 (4.1)	1 (2.0)	49 (100.0)
	肢体不自由	23 (37.7)	19 (31.1)	9 (14.8)	6 (9.8)	2 (3.3)	2 (3.3)	61 (100.0)
	内部障害	4 (20.0)	7 (35.0)	3 (15.0)	3 (15.0)	2 (10.0)	1 (5.0)	20 (100.0)
	知的障害	42 (44.2)	23 (24.2)	16 (16.8)	11 (11.6)	1 (1.1)	2 (2.1)	95 (100.0)
	精神障害	8 (33.3)	8 (33.3)	5 (20.8)	2 (8.3)	1 (4.2)		24 (100.0)

問 17　a 働き続けたい年齢

	50歳未満	50歳以上60歳未満	60歳	61歳以上65歳未満	65歳	66歳以上70歳未満	70歳	80歳	無制限/出来るだけ	定年まで	無回答	計
全体	13 (4.7)	31 (11.2)	128 (46.0)	2 (0.7)	66 (23.7)		13 (4.7)	5 (1.8)	6 (2.2)	1 (0.4)	13 (4.7)	278 (100.0)
視覚障害		1 (3.4)	10 (34.5)		10 (34.5)		4 (13.8)		2 (6.9)		2 (6.9)	29 (100.0)
聴覚障害	2 (4.1)	4 (8.2)	25 (51.0)		14 (28.6)			1 (2.0)	1 (2.0)		2 (4.1)	49 (100.0)
肢体不自由	6 (9.8)	7 (11.5)	26 (42.6)	1 (1.6)	12 (19.7)		2 (3.3)	3 (4.9)	2 (3.3)	1 (1.6)	1 (1.6)	61 (100.0)
内部障害		1 (5.0)	12 (60.0)		3 (15.0)		2 (10.0)				2 (10.0)	20 (100.0)
知的障害	4 (4.2)	16 (16.8)	45 (47.4)	1 (1.1)	17 (17.9)		4 (4.2)	1 (1.1)	1 (1.1)		6 (6.3)	95 (100.0)
精神障害	1 (4.2)	2 (8.3)	10 (41.7)		10 (41.7)		1 (4.2)					24 (100.0)

問 17 b　仕事の継続意思

	今の仕事を続けたい	別の仕事をしたい	わからない	無回答	計
全体	185 (66.5)	42 (15.1)	47 (16.9)	4 (1.4)	278 (100.0)
視覚障害	19 (65.5)	3 (10.3)	7 (24.1)		29 (100.0)
聴覚障害	28 (57.1)	12 (24.5)	8 (16.3)	1 (2.0)	49 (100.0)
肢体不自由	41 (67.2)	9 (14.8)	10 (16.4)	1 (1.6)	61 (100.0)
内部障害	10 (50.0)	3 (15.0)	7 (35.0)		20 (100.0)
知的障害	74 (77.9)	11 (11.6)	9 (9.5)	1 (1.1)	95 (100.0)
精神障害	13 (54.2)	4 (16.7)	6 (25.0)	1 (4.2)	24 (100.0)

問 18　仕事上の出来事（複数回答）

障害	配置転換があった	上司が異動した	まわりで直接仕事などを援助してくれる人がいなくなった	昇進した	給料が上がった	給料が下がった	正社員になった	休職をした	転職をした	勤めていた会社が倒産した	該当する項目なし	無回答	対象者
全体	47 (16.9)	70 (25.2)	18 (6.5)	6 (2.2)	93 (33.5)	25 (9.0)	5 (1.8)	12 (4.3)	12 (4.3)	1 (0.4)	48 (17.3)	33 (11.9)	278 (100.0)
視覚障害	3 (10.3)	8 (27.6)	1 (3.4)	2 (6.9)	9 (31.0)	6 (20.7)	1 (3.4)				10 (34.5)		29 (100.0)
聴覚障害	13 (26.5)	9 (18.4)		1 (2.0)	19 (38.8)	5 (10.2)	2 (4.1)	3 (6.1)	3 (6.1)		7 (14.3)	3 (6.1)	49 (100.0)
肢体不自由	12 (19.7)	16 (26.2)	3 (4.9)		23 (37.7)	4 (6.6)	1 (1.6)	4 (6.6)	3 (4.9)		14 (23.0)	5 (8.2)	61 (100.0)
内部障害	7 (35.0)	4 (20.0)	1 (5.0)	2 (10.0)	7 (35.0)	1 (5.0)		2 (10.0)	1 (5.0)		4 (20.0)	1 (5.0)	20 (100.0)
知的障害	10 (10.5)	26 (27.4)	11 (11.6)		26 (27.4)	7 (7.4)		2 (2.1)	3 (3.2)	1 (1.1)	7 (7.4)	24 (25.3)	95 (100.0)
精神障害	2 (8.3)	7 (29.2)	2 (8.3)	1 (4.2)	9 (37.5)	2 (8.3)	1 (4.2)	1 (4.2)	2 (8.3)		6 (25.0)		24 (100.0)

問 19a　非就労　過去 2 年間での仕事の経験の有無

	就業経験あり	就業経験なし	無回答	計
全体	24 (75.0)	7 (21.9)	1 (3.1)	32 (100.0)
視覚障害	3 (75.0)	1 (25.0)		4 (100.0)
聴覚障害	2 (50.0)	2 (50.0)		4 (100.0)
肢体不自由	3 (60.0)	2 (40.0)		5 (100.0)
内部障害	1 (100.0)			1 (100.0)
知的障害	7 (77.8)	1 (11.1)	1 (11.1)	9 (100.0)
精神障害	8 (88.9)	1 (11.1)		9 (100.0)

問 19b　非就労　離職理由

	事業主の都合	契約期間満了	休職期間満了	定年退職	自分の都合	その他	わからない	計
全体	1 (4.2)	2 (8.3)	1 (4.2)		18 (75.0)	2 (8.3)		24 (100.0)
視覚障害					3 (100.0)			3 (100.0)
聴覚障害					2 (100.0)			2 (100.0)
肢体不自由		1 (33.3)			2 (66.7)			3 (100.0)
内部障害					1 (100.0)			1 (100.0)
知的障害	1 (14.3)	1 (14.3)			3 (42.9)	2 (28.6)		7 (100.0)
精神障害			1 (12.5)		7 (87.5)			8 (100.0)

問 19c　非就労　自己都合の理由　（複数回答）

	仕事内容が合わなかった	賃金、労働条件に不満があった	職場の雰囲気・人間関係	体調不良	結婚	出産	家庭等の事情	その他	わからない	対象者
全体	6 (33.3)	3 (16.7)	9 (50.0)	10 (55.6)		1 (5.6)		4 (22.2)		18 (100.0)
視覚障害			1 (33.3)			1 (33.3)		1 (33.3)		3 (100.0)
聴覚障害	2 (100.0)	1 (50.0)	2 (100.0)	2 (100.0)						2 (100.0)
肢体不自由	1 (50.0)		1 (50.0)	1 (50.0)						2 (100.0)
内部障害								1 (100.0)		1 (100.0)
知的障害		1 (33.3)	2 (66.7)	1 (33.3)						3 (100.0)
精神障害	3 (42.9)	1 (14.3)	3 (42.9)	6 (85.7)				2 (28.6)		7 (100.0)

問 20a 就職活動の考え

	すぐに仕事につきたい	すぐにではないが仕事につきたい	時間をかけて仕事を探したい	仕事にはつきたくない	その他	無回答	計
全体	10 (31.3)	11 (34.4)	8 (25.0)		2 (6.3)	1 (3.1)	32 (100.0)
視覚障害	2 (50.0)	1 (25.0)	1 (25.0)				4 (100.0)
聴覚障害	1 (25.0)	2 (50.0)				1 (25.0)	4 (100.0)
肢体不自由	2 (40.0)	1 (20.0)	1 (20.0)		1 (20.0)		5 (100.0)
内部障害			1 (100.0)				1 (100.0)
知的障害	1 (11.1)	4 (44.4)	3 (33.3)		1 (11.1)		9 (100.0)
精神障害	4 (44.4)	3 (33.3)	2 (22.2)				9 (100.0)

問 20b-1 働き方の希望 （複数回答）

	正社員	非正規	派遣社員	自営など	内職	就労継続A型	就労継続B型	その他	無回答	計
全体	12 (41.4)	14 (48.3)		2 (6.9)	2 (6.9)	7 (24.1)	1 (3.4)	3 (10.3)	4 (13.8)	29 (100.0)
視覚障害	2 (50.0)	1 (25.0)		2 (50.0)						4 (100.0)
聴覚障害	1 (33.3)	3 (100.0)				1 (33.3)		1 (33.3)		3 (100.0)
肢体不自由	3 (75.0)	2 (50.0)							1 (25.0)	4 (100.0)
内部障害	1 (100.0)									1 (100.0)
知的障害	1 (12.5)	2 (25.0)				4 (50.0)	1 (12.5)	1 (12.5)	2 (25.0)	8 (100.0)
精神障害	4 (44.4)	6 (66.7)			2 (22.2)	2 (22.2)		1 (11.1)	1 (11.1)	9 (100.0)

問 20b-2 求職活動の相談先 （複数回答）

	配偶者	子ども	父親	母親	兄弟姉妹	上司同僚	知人知人	障害者相談員	ハローワーク	地域障害者職業センター	就業・生活支援センター	相談支援事業者	病院診療所	保健所福祉事務所	学校	その他	相談利用なし	無回答	対象者数
全体	4 (12.5)		10 (31.3)	12 (37.5)	1 (3.1)	2 (6.3)	3 (9.4)	6 (18.8)	23 (71.9)	7 (21.9)	10 (31.3)	5 (15.6)	4 (12.5)	2 (6.3)	1 (3.1)	3 (9.4)		3 (9.4)	32 (100.0)
視覚障害	2 (50.0)		1 (25.0)	1 (25.0)			1 (25.0)		4 (100.0)		1 (25.0)	1 (25.0)	1 (25.0)						4 (100.0)
聴覚障害			1 (25.0)	2 (50.0)	1 (25.0)	1 (25.0)	1 (25.0)	2 (50.0)	3 (75.0)	1 (25.0)	2 (50.0)	1 (25.0)		1 (25.0)	1 (25.0)			1 (25.0)	4 (100.0)
肢体不自由				1				1 (20.0)	4 (80.0)	1 (20.0)		1 (20.0)		1 (20.0)				1 (20.0)	5 (100.0)
内部障害									1 (100.0)										1 (100.0)
知的障害			4 (44.4)	4 (44.4)				1 (11.1)	3 (33.3)	1 (11.1)	3 (33.3)					3 (33.3)		1 (11.1)	9 (100.0)
精神障害	2 (22.2)		4 (44.4)	4 (44.4)		1 (11.1)	1 (11.1)	2 (22.2)	8 (88.9)	4 (44.4)	4 (44.4)	2 (22.2)	3 (33.3)						9 (100.0)

問 21　仕事関連相談先　（複数回答）

	配偶者	子ども	父親	母親	兄弟姉妹	上司 同僚	知人 知人	障害者相談員	ハローワーク	地域障害者職業センター	就業・生活支援センター	相談支援事業者	病院 診療所	保健所 福祉事務所	学校	その他	相談利用なし	無回答	対象者数
全体	31 (10.0)	1 (0.3)	66 (21.3)	119 (38.4)	25 (8.1)	125 (40.3)	81 (26.1)	23 (7.4)	14 (4.5)	7 (2.3)	28 (9.0)	13 (4.2)	24 (7.7)	3 (1.0)	7 (2.3)	14 (4.5)	42 (13.5)	15 (4.8)	310 (100.0)
視覚障害	6 (18.2)		4 (12.1)	8 (24.2)	2 (6.1)	16 (48.5)	15 (45.5)		2 (6.1)		1 (3.0)		3 (9.1)	1 (3.0)			8 (24.2)	1 (3.0)	33 (100.0)
聴覚障害	12 (22.6)	1 (1.9)	13 (24.5)	19 (35.8)	8 (15.1)	26 (49.1)	20 (37.7)	7 (13.2)	3 (5.7)		1 (1.9)	2 (3.8)	1 (1.9)	1 (1.9)	1 (1.9)	3 (5.7)	3 (5.7)	1 (1.9)	53 (100.0)
肢体不自由	3 (4.5)		18 (27.3)	27 (40.9)	5 (7.6)	25 (37.9)	21 (31.8)	2 (3.0)	3 (4.5)	1 (1.5)	3 (4.5)	2 (3.0)	4 (6.1)		3 (4.5)	1 (1.5)	10 (15.2)	1 (1.5)	66 (100.0)
内部障害	5 (23.8)		2 (9.5)	6 (28.6)	4 (19.0)	14 (66.7)	9 (42.9)						2 (9.5)				2 (9.5)		21 (100.0)
知的障害			16 (15.4)	41 (39.4)	4 (3.8)	32 (30.8)	7 (6.7)	8 (7.7)	2 (1.9)	3 (2.9)	14 (13.5)	3 (2.9)	2 (1.9)	1 (1.0)	3 (2.9)	8 (7.7)	18 (17.3)	11 (10.6)	104 (100.0)
精神障害	5 (15.2)		13 (39.4)	18 (54.5)	2 (6.1)	12 (36.4)	9 (27.3)	6 (18.2)	4 (12.1)	3 (9.1)	9 (27.3)	6 (18.2)	12 (36.4)			2 (6.1)	1 (3.0)	1 (3.0)	33 (100.0)

問 22　障害基礎年金

	受給している	受給していない	わからない	無回答	計
全体	249 (80.3)	51 (16.5)	3 (1.0)	7 (2.3)	310 (100.0)
視覚障害	28 (84.8)	4 (12.1)		1 (3.0)	33 (100.0)
聴覚障害	45 (84.9)	6 (11.3)	1 (1.9)	1 (1.9)	53 (100.0)
肢体不自由	54 (81.8)	10 (15.2)	2 (3.0)		66 (100.0)
内部障害	14 (66.7)	7 (33.3)			21 (100.0)
知的障害	83 (79.8)	16 (15.4)		5 (4.8)	104 (100.0)
精神障害	25 (75.8)	8 (24.2)			33 (100.0)

問 23　生計の収入源

	「年金」だけ	「家族などの支援」だけ	「働いて得る収入」だけ	「年金」と「家族などの支援」	「年金」と「働いて得る収入」	「家族などの支援」と「働いて得る収入」	「年金」と「家族などの支援」と「働いて得る収入」	その他 （非就業）	わからない	無回答	計
全体	7 (2.3)	10 (3.2)	53 (17.1)	11 (3.5)	130 (41.9)	33 (10.6)	49 (15.8)	7 (2.3)	5 (1.6)	5 (1.6)	310 (100.0)
視覚障害		3 (9.1)	5 (15.2)	1 (3.0)	21 (63.6)	1 (3.0)	1 (3.0)			1 (3.0)	33 (100.0)
聴覚障害	3 (5.7)	1 (1.9)	12 (22.6)	2 (3.8)	24 (45.3)	3 (5.7)	7 (13.2)			1 (1.9)	53 (100.0)
肢体不自由	1 (1.5)		7 (10.6)	4 (6.1)	27 (40.9)	8 (12.1)	16 (24.2)		1 (1.5)	2 (3.0)	66 (100.0)
内部障害			4 (19.0)		10 (47.6)	3 (14.3)	4 (19.0)				21 (100.0)
知的障害		5 (4.8)	21 (20.2)	2 (1.9)	40 (38.5)	14 (13.5)	13 (12.5)	4 (3.8)	4 (3.8)	1 (1.0)	104 (100.0)
精神障害	3 (9.1)	1 (3.0)	4 (12.1)	2 (6.1)	8 (24.2)	4 (12.1)	8 (24.2)	3 (9.1)			33 (100.0)

問 24　経済面での相談先　（複数回答）

	配偶者	子ども	父親	母親	兄弟姉妹	上司同僚	知人友人	障害者相談員	ハローワーク	地域障害者職業センター	就業・生活支援センター	相談支援事業者	病院診療所	保健所福祉事務所	学校	その他	相談利用なし	無回答	対象者数
全体	27 (8.7)	1 (0.3)	71 (22.9)	97 (31.3)	19 (6.1)	7 (2.3)	23 (7.4)	4 (1.3)	2 (0.6)		6 (1.9)	4 (1.3)	8 (2.6)		1 (0.3)	6 (1.9)	135 (43.5)	18 (5.8)	310 (100.0)
視覚障害	1 (3.0)		4 (12.1)	5 (15.2)	1 (3.0)	1 (3.0)	2 (6.1)						1 (3.0)				22 (66.7)	4 (12.1)	33 (100.0)
聴覚障害	14 (26.4)	1 (1.9)	16 (30.2)	19 (35.8)	11 (20.8)		7 (13.2)	1 (1.9)	2 (3.8)			1 (1.9)	2 (3.8)			2 (3.8)	14 (26.4)	1 (1.9)	53 (100.0)
肢体不自由	4 (6.1)		18 (27.3)	22 (33.3)	2 (3.0)	1 (1.5)	9 (13.6)					1 (1.5)	1 (1.5)		1 (1.5)		30 (45.5)	2 (3.0)	66 (100.0)
内部障害	3 (14.3)		5 (23.8)	7 (33.3)	2 (9.5)	2 (9.5)	1 (4.8)									1 (4.8)	6 (28.6)	3 (14.3)	21 (100.0)
知的障害	1 (1.0)		15 (14.4)	33 (31.7)	3 (2.9)	2 (1.9)	1 (1.0)				3 (2.9)		1 (1.0)			3 (2.9)	52 (50.0)	6 (5.8)	104 (100.0)
精神障害	4 (12.1)		13 (39.4)	11 (33.3)		1 (3.0)	3 (9.1)	3 (9.1)			3 (9.1)	2 (6.1)	3 (9.1)				11 (33.3)	2 (6.1)	33 (100.0)

問 25　仕事をする上での重要なこと

		重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	どちらかといえば重要でない	重要でない	無回答	計
a 賃金や給料	全体	220 (71.0)	66 (21.3)	15 (4.8)	2 (0.6)	2 (0.6)	5 (1.6)	310 (100.0)
	視覚障害	27 (81.8)	6 (18.2)					33 (100.0)
	聴覚障害	36 (67.9)	13 (24.5)	3 (5.7)		1 (1.9)		53 (100.0)
	肢体不自由	42 (63.6)	17 (25.8)	4 (6.1)	1 (1.5)		2 (3.0)	66 (100.0)
	内部障害	13 (61.9)	7 (33.3)		1 (4.8)			21 (100.0)
	知的障害	88 (84.6)	10 (9.6)	3 (2.9)			3 (2.9)	104 (100.0)
	精神障害	14 (42.4)	13 (39.4)	5 (15.2)		1 (3.0)		33 (100.0)

		重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	どちらかといえば重要でない	重要でない	無回答	計
b 自分の能力・経験	全体	163 (52.6)	112 (36.1)	26 (8.4)	2 (0.6)		7 (2.3)	310 (100.0)
	視覚障害	26 (78.8)	7 (21.2)					33 (100.0)
	聴覚障害	24 (45.3)	22 (41.5)	6 (11.3)	1 (1.9)			53 (100.0)
	肢体不自由	30 (45.5)	27 (40.9)	6 (9.1)			3 (4.5)	66 (100.0)
	内部障害	7 (33.3)	11 (52.4)	2 (9.5)	1 (4.8)			21 (100.0)
	知的障害	67 (64.4)	27 (26.0)	6 (5.8)			4 (3.8)	104 (100.0)
	精神障害	9 (27.3)	18 (54.5)	6 (18.2)				33 (100.0)

		重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	どちらかといえば重要でない	重要でない	無回答	計
c仕事の内容	全体	180 (58.1)	96 (31.0)	25 (8.1)	2 (0.6)		7 (2.3)	310 (100.0)
	視覚障害	25 (75.8)	8 (24.2)					33 (100.0)
	聴覚障害	29 (54.7)	17 (32.1)	6 (11.3)	1 (1.9)			53 (100.0)
	肢体不自由	33 (50.0)	23 (34.8)	7 (10.6)			3 (4.5)	66 (100.0)
	内部障害	11 (52.4)	8 (38.1)	2 (9.5)				21 (100.0)
	知的障害	63 (60.6)	32 (30.8)	4 (3.8)	1 (1.0)		4 (3.8)	104 (100.0)
	精神障害	19 (57.6)	8 (24.2)	6 (18.2)				33 (100.0)

		重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	どちらかといえば重要でない	重要でない	無回答	計
d職場の環境整備	全体	178 (57.4)	99 (31.9)	20 (6.5)	5 (1.6)		8 (2.6)	310 (100.0)
	視覚障害	19 (57.6)	12 (36.4)	2 (6.1)				33 (100.0)
	聴覚障害	27 (50.9)	20 (37.7)	5 (9.4)	1 (1.9)			53 (100.0)
	肢体不自由	40 (60.6)	17 (25.8)	4 (6.1)	2 (3.0)		3 (4.5)	66 (100.0)
	内部障害	5 (23.8)	12 (57.1)	2 (9.5)	2 (9.5)			21 (100.0)
	知的障害	75 (72.1)	20 (19.2)	4 (3.8)			5 (4.8)	104 (100.0)
	精神障害	12 (36.4)	18 (54.5)	3 (9.1)				33 (100.0)

		重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	どちらかといえば重要でない	重要でない	無回答	計
e勤務時間や休日	全体	175 (56.5)	102 (32.9)	22 (7.1)	2 (0.6)	1 (0.3)	8 (2.6)	310 (100.0)
	視覚障害	20 (60.6)	11 (33.3)	1 (3.0)		1 (3.0)		33 (100.0)
	聴覚障害	25 (47.2)	24 (45.3)	4 (7.5)				53 (100.0)
	肢体不自由	27 (40.9)	27 (40.9)	8 (12.1)			4 (6.1)	66 (100.0)
	内部障害	14 (66.7)	5 (23.8)	2 (9.5)				21 (100.0)
	知的障害	69 (66.3)	24 (23.1)	6 (5.8)	1 (1.0)		4 (3.8)	104 (100.0)
	精神障害	20 (60.6)	11 (33.3)	1 (3.0)	1 (3.0)			33 (100.0)

		重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	どちらかといえば重要でない	重要でない	無回答	計
f職場仲間との人間関係	全体	188 (60.6)	89 (28.7)	23 (7.4)	3 (1.0)		7 (2.3)	310 (100.0)
	視覚障害	27 (81.8)	4 (12.1)	1 (3.0)	1 (3.0)			33 (100.0)
	聴覚障害	24 (45.3)	22 (41.5)	6 (11.3)	1 (1.9)			53 (100.0)
	肢体不自由	35 (53.0)	22 (33.3)	5 (7.6)	1 (1.5)		3 (4.5)	66 (100.0)
	内部障害	13 (61.9)	6 (28.6)	2 (9.5)				21 (100.0)
	知的障害	72 (69.2)	20 (19.2)	8 (7.7)			4 (3.8)	104 (100.0)
	精神障害	17 (51.5)	15 (45.5)	1 (3.0)				33 (100.0)

問 26a 仕事をする上で必要な配慮事項　（複数回答）

	作業手順をわかりやすくしたり、仕事をやりやすくすること	作業のスピードや仕事の量を障害に合わせること	作業を容易にする機器や設備を改善すること	通勤の便宜を図ること	まわりに仕事やコミュニケーションを援助してくれる人を配置すること	体力や体調に合わせて、勤務時間や休みを調整すること	安全や健康管理に特別の配慮をすること	その他	無回答	対象者数
全体	154 (49.7)	126 (40.6)	57 (18.4)	49 (15.8)	137 (44.2)	101 (32.6)	65 (21.0)	13 (4.2)	17 (5.5)	310 (100.0)
視覚障害	13 (39.4)	14 (42.4)	17 (51.5)	9 (27.3)	15 (45.5)	13 (39.4)	10 (30.3)	1 (3.0)		33 (100.0)
聴覚障害	21 (39.6)	12 (22.6)	6 (11.3)	5 (9.4)	35 (66.0)	13 (24.5)	6 (11.3)	7 (13.2)	1 (1.9)	53 (100.0)
肢体不自由	30 (45.5)	28 (42.4)	15 (22.7)	16 (24.2)	17 (25.8)	21 (31.8)	11 (16.7)	1 (1.5)	6 (9.1)	66 (100.0)
内部障害	3 (14.3)	5 (23.8)	2 (9.5)	5 (23.8)	5 (23.8)	14 (66.7)	8 (38.1)	1 (4.8)		21 (100.0)
知的障害	68 (65.4)	55 (52.9)	12 (11.5)	10 (9.6)	52 (50.0)	22 (21.2)	23 (22.1)	2 (1.9)	9 (8.7)	104 (100.0)
精神障害	19 (57.6)	12 (36.4)	5 (15.2)	4 (12.1)	13 (39.4)	18 (54.5)	7 (21.2)	1 (3.0)	1 (3.0)	33 (100.0)

問 26b 仕事をする上で、特に会社にお願いしたい配慮事項　（複数回答）

	障害や障害者のことを理解してほしい	職場に障害者の仲間を多くしてほしい	ずっと働き続けることができるようにしてほしい	給与面を改善してほしい	体力や障害に合わせた労働時間や休日の設定をしてほしい	能力に応じた評価や、昇進・昇格をしてほしい	研修や教育訓練を充実してほしい	健康管理を充実してほしい	職場の中で困ったことの相談ができるようにしてほしい	その他	無回答	対象者数
全体	146 (47.1)	42 (13.5)	163 (52.6)	118 (38.1)	60 (19.4)	97 (31.3)	63 (20.3)	40 (12.9)	97 (31.3)	10 (3.2)	19 (6.1)	310 (100.0)
視覚障害	18 (54.5)	1 (3.0)	15 (45.5)	12 (36.4)	7 (21.2)	11 (33.3)	6 (18.2)	6 (18.2)	8 (24.2)	2 (6.1)	1 (3.0)	33 (100.0)
聴覚障害	32 (60.4)	16 (30.2)	16 (30.2)	21 (39.6)	5 (9.4)	19 (35.8)	17 (32.1)	7 (13.2)	14 (26.4)	5 (9.4)	1 (1.9)	53 (100.0)
肢体不自由	25 (37.9)	6 (9.1)	30 (45.5)	25 (37.9)	16 (24.2)	21 (31.8)	14 (21.2)	4 (6.1)	16 (24.2)	2 (3.0)	7 (10.6)	66 (100.0)
内部障害	7 (33.3)		6 (28.6)	10 (47.6)	7 (33.3)	11 (52.4)	6 (28.6)	2 (9.5)	5 (23.8)		2 (9.5)	21 (100.0)
知的障害	43 (41.3)	17 (16.3)	73 (70.2)	36 (34.6)	14 (13.5)	24 (23.1)	13 (12.5)	14 (13.5)	41 (39.4)	1 (1.0)	6 (5.8)	104 (100.0)
精神障害	21 (63.6)	2 (6.1)	23 (69.7)	14 (42.4)	11 (33.3)	11 (33.3)	7 (21.2)	7 (21.2)	13 (39.4)		2 (6.1)	33 (100.0)

問 29　生活満足度

		満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満足	不満足	無回答	計
a 家族との人間関係	全体	143 (46.1)	112 (36.1)	40 (12.9)	7 (2.3)	5 (1.6)	3 (1.0)	310 (100.0)
	視覚障害	19 (57.6)	8 (24.2)	4 (12.1)	1 (3.0)	1 (3.0)		33 (100.0)
	聴覚障害	20 (37.7)	21 (39.6)	10 (18.9)	2 (3.8)			53 (100.0)
	肢体不自由	32 (48.5)	23 (34.8)	8 (12.1)	1 (1.5)	2 (3.0)		66 (100.0)
	内部障害	7 (33.3)	11 (52.4)	2 (9.5)			1 (4.8)	21 (100.0)
	知的障害	53 (51.0)	32 (30.8)	14 (13.5)	3 (2.9)		2 (1.9)	104 (100.0)
	精神障害	12 (36.4)	17 (51.5)	2 (6.1)		2 (6.1)		33 (100.0)

		満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満足	不満足	無回答	計
b 友人・知人との人間関係	全体	109 (35.2)	109 (35.2)	62 (20.0)	19 (6.1)	5 (1.6)	6 (1.9)	310 (100.0)
	視覚障害	15 (45.5)	10 (30.3)	6 (18.2)	2 (6.1)			33 (100.0)
	聴覚障害	13 (24.5)	25 (47.2)	10 (18.9)	5 (9.4)			53 (100.0)
	肢体不自由	26 (39.4)	25 (37.9)	11 (16.7)	2 (3.0)	1 (1.5)	1	66 (100.0)
	内部障害	6 (28.6)	10 (47.6)	1 (4.8)	3 (14.3)		1 (4.8)	21 (100.0)
	知的障害	43 (41.3)	30 (28.8)	20 (19.2)	5 (4.8)	2 (1.9)	4 (3.8)	104 (100.0)
	精神障害	6 (18.2)	9 (27.3)	14 (42.4)	2 (6.1)	2 (6.1)		33 (100.0)

		満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満足	不満足	無回答	計
c 自分の体力や健康	全体	68 (21.9)	96 (31.0)	87 (28.1)	36 (11.6)	16 (5.2)	7 (2.3)	310 (100.0)
	視覚障害	6 (18.2)	12 (36.4)	10 (30.3)	5 (15.2)			33 (100.0)
	聴覚障害	10 (18.9)	18 (34.0)	18 (34.0)	6 (11.3)	1 (1.9)		53 (100.0)
	肢体不自由	15 (22.7)	12 (18.2)	23 (34.8)	11 (16.7)	3 (4.5)	2 (3.0)	66 (100.0)
	内部障害	2 (9.5)	7 (33.3)	5 (23.8)	2 (9.5)	4 (19.0)	1 (4.8)	21 (100.0)
	知的障害	31 (29.8)	38 (36.5)	24 (23.1)	5 (4.8)	2 (1.9)	4 (3.8)	104 (100.0)
	精神障害	4 (12.1)	9 (27.3)	7 (21.2)	7 (21.2)	6 (18.2)		33 (100.0)

		満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満足	不満足	無回答	計
d 収入や経済生活	全体	63 (20.3)	84 (27.1)	78 (25.2)	60 (19.4)	19 (6.1)	6 (1.9)	310 (100.0)
	視覚障害	6 (11.3)	11 (20.8)	21 (39.6)	12 (22.6)	3 (5.7)		53 (100.0)
	聴覚障害	6 (11.3)	11 (20.8)	21 (39.6)	12 (22.6)	3 (5.7)		53 (100.0)
	肢体不自由	11 (16.7)	22 (33.3)	16 (24.2)	12 (18.2)	4 (6.1)	1 (1.5)	66 (100.0)
	内部障害	2 (9.5)	4 (19.0)	6 (28.6)	7 (33.3)	1 (4.8)	1 (4.8)	21 (100.0)
	知的障害	33 (31.7)	29 (27.9)	20 (19.2)	11 (10.6)	7 (6.7)	4 (3.8)	104 (100.0)
	精神障害	5 (15.2)	3 (9.1)	10 (30.3)	13 (39.4)	2 (6.1)		33 (100.0)

【第 3 回職業生活前期調査　追加募集を含む 421 人の集計】

問１　性別

	男性	女性	計
全体	282 (67.0)	139 (33.0)	421 (100.0)
視覚障害	18 (51.4)	17 (48.6)	35 (100.0)
聴覚障害	43 (55.1)	35 (44.9)	78 (100.0)
肢体不自由	50 (71.4)	20 (28.6)	70 (100.0)
内部障害	17 (73.9)	6 (26.1)	23 (100.0)
知的障害	117 (71.3)	47 (28.7)	164 (100.0)
精神障害	37 (72.5)	14 (27.5)	51 (100.0)

問２　年齢

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	計
全体	4 (1.0)	154 (36.6)	180 (42.8)	83 (19.7)	421 (100.0)
視覚障害		5 (14.3)	20 (57.1)	10 (28.6)	35 (100.0)
聴覚障害		22 (28.2)	39 (50.0)	17 (21.8)	78 (100.0)
肢体不自由		23 (32.9)	28 (40.0)	19 (27.1)	70 (100.0)
内部障害		2 (8.7)	11 (47.8)	10 (43.5)	23 (100.0)
知的障害	4 (2.4)	93 (56.7)	53 (32.3)	14 (8.5)	164 (100.0)
精神障害		9 (17.6)	29 (56.9)	13 (25.5)	51 (100.0)

問４　家族構成（複数回答）

	配偶者	子ども	父親	母親	義父	義母	兄弟姉妹	祖父	祖母	その他	無回答	対象者
全体	66 (15.7)	39 (9.3)	301 (71.5)	344 (81.7)	21 (5.0)	20 (4.8)	274 (65.1)	43 (10.2)	86 (20.4)	13 (3.1)	9 (2.1)	421 (100.0)
視覚障害	11 (31.4)	5 (14.3)	21 (60.0)	28 (80.0)	7 (20.0)	7 (20.0)	21 (60.0)	4 (11.4)	8 (22.9)	2 (5.7)	1 (2.9)	35 (100.0)
聴覚障害	32 (41.0)	23 (29.5)	49 (62.8)	52 (66.7)	6 (7.7)	6 (7.7)	43 (55.1)	7 (9.0)	13 (16.7)		2 (2.6)	78 (100.0)
肢体不自由	8 (11.4)	4 (5.7)	58 (82.9)	61 (87.1)	3 (4.3)	3 (4.3)	50 (71.4)	7 (10.0)	14 (20.0)	1 (1.4)		70 (100.0)
内部障害	8 (34.8)	3 (13.0)	15 (65.2)	19 (82.6)	2 (8.7)		14 (60.9)	1 (4.3)	5 (21.7)	1 (4.3)		23 (100.0)
知的障害	2 (1.2)	1 (0.6)	117 (71.3)	139 (84.8)	1 (0.6)	1 (0.6)	107 (65.2)	19 (11.6)	37 (22.6)	7 (4.3)	6 (3.7)	164 (100.0)
精神障害	5 (9.8)	3 (5.9)	41 (80.4)	45 (88.2)	2 (3.9)	3 (5.9)	39 (76.5)	5 (9.8)	9 (17.6)	2 (3.9)		51 (100.0)

問５a　住環境

	自分･配偶者の家	配偶者以外の家	社員寮等	グループホーム等	その他	無回答	計
全体	116 (27.6)	241 (57.2)	17 (4.0)	38 (9.0)	5 (1.2)	4 (1.0)	421 (100.0)
視覚障害	23 (65.7)	10 (28.6)	2 (5.7)				35 (100.0)
聴覚障害	40 (51.3)	33 (42.3)	3 (3.8)		1 (1.3)	1 (1.3)	78 (100.0)
肢体不自由	17 (24.3)	47 (67.1)	5 (7.1)		1 (1.4)		70 (100.0)
内部障害	10 (43.5)	9 (39.1)	4 (17.4)				23 (100.0)
知的障害	10 (6.1)	115 (70.1)	1 (0.6)	35 (21.3)	1 (0.6)	2 (1.2)	164 (100.0)
精神障害	16 (31.4)	27 (52.9)	2 (3.9)	3 (5.9)	2 (3.9)	1 (2.0)	51 (100.0)

問５ｂ　独居

	一人暮らし	一人暮らしでない	無回答	計
全体	50 (13.4)	320 (85.6)	4 (1.1)	374 (100.0)
視覚障害	12 (34.3)	23 (65.7)		35 (100.0)
聴覚障害	8 (10.5)	67 (88.2)	1 (1.3)	76 (100.0)
肢体不自由	9 (13.0)	60 (87.0)		69 (100.0)
内部障害	6 (26.1)	17 (73.9)		23 (100.0)
知的障害	6 (4.8)	117 (92.9)	3 (2.4)	126 (100.0)
精神障害	9 (20.0)	36 (80.0)		45 (100.0)

問５ｃ　同居家族　（複数回答）

	配偶者	子ども	父親	母親	義父	義母	兄弟姉妹	祖父	祖母	その他	無回答	対象者
全体	65 (20.3)	38 (11.9)	213 (66.6)	238 (74.4)	1 (0.3)	3 (0.9)	108 (33.8)	18 (5.6)	31 (9.7)	9 (2.8)	1 (0.3)	320 (100.0)
視覚障害	11 (47.8)	5 (21.7)	5 (21.7)	11 (47.8)			4 (17.4)	1 (4.3)		1 (4.3)		23 (100.0)
聴覚障害	32 (47.8)	23 (34.3)	32 (47.8)	33 (49.3)	1 (1.5)	2 (3.0)	15 (22.4)	1 (1.5)	3 (4.5)	1 (1.5)	1 (1.5)	67 (100.0)
肢体不自由	8 (13.3)	4 (6.7)	47 (78.3)	50 (83.3)		1 (1.7)	21 (35.0)	5 (8.3)	7 (11.7)			60 (100.0)
内部障害	8 (47.1)	3 (17.6)	8 (47.1)	10 (58.8)			2 (11.8)		1 (5.9)	1 (5.9)		17 (100.0)
知的障害	1 (0.9)	(0.0)	95 (81.2)	107 (91.5)			56 (47.9)	10 (8.5)	18 (15.4)	3 (2.6)		117 (100.0)
精神障害	5 (13.9)	3 (8.3)	26 (72.2)	27 (75.0)			10 (27.8)	1 (2.8)	2 (5.6)	3 (8.3)		36 (100.0)

問８ライフイベント　（複数回答）

	結婚をした	離婚をした	子どもを生んだ／子どもが生まれた	引越をした	親元から離れて暮し始めた	自分が病気や事故で一カ月以上の入院をした	学校に通ったまたは卒業した	障害に関する年金を受給しはじめた	障害に関する年金の受給がなくなった	自分の親が離婚をした	自分の親が仕事を辞めた	家族が病気や事故で一カ月以上の入院をした	家族が亡くなった	該当する項目なし	無回答	対象者
全体	8 (1.9)	2 (0.5)	10 (2.4)	43 (10.2)	14 (3.3)	11 (2.6)	17 (4.0)	21 (5.0)	3 (0.7)	2 (0.5)	19 (4.5)	17 (4.0)	20 (4.8)	256 (60.8)	33 (7.8)	421 (100.0)
視覚障害			3 (8.6)	9 (25.7)	3 (8.6)		2 (5.7)			1 (2.9)	3 (8.6)	2 (5.7)	1 (2.9)	20 (57.1)		35 (100.0)
聴覚障害	6 (7.7)	1 (1.3)	6 (7.7)	12 (15.4)	2 (2.6)	4 (5.1)	2 (2.6)	1 (1.3)	1 (1.3)			3 (3.8)	2 (2.6)	51 (65.4)	4 (5.1)	78 (100.0)
肢体不自由	1 (1.4)	1 (1.4)		7 (10.0)	3 (4.3)	4 (5.7)	1 (1.4)	2 (2.9)	2 (2.9)		3 (4.3)	3 (4.3)	6 (8.6)	40 (57.1)	6 (8.6)	70 (100.0)
内部障害	1 (4.3)		1 (4.3)	5 (21.7)			2 (8.7)				3 (13.0)	2 (8.7)	1 (4.3)	11 (47.8)	2 (8.7)	23 (100.0)
知的障害				4 (2.4)	4 (2.4)	2 (1.2)	6 (3.7)	11 (6.7)		1 (0.6)	7 (4.3)	5 (3.0)	8 (4.9)	107 (65.2)	18 (11.0)	164 (100.0)
精神障害				6 (11.8)	2 (3.9)	1 (2.0)	4 (7.8)	7 (13.7)			3 (5.9)	2 (3.9)	2 (3.9)	27 (52.9)	3 (5.9)	51 (100.0)

問９　就業形態

	正社員	パート・アルバイト	派遣	自営	内職	就労継続支援事業所A型	就労継続支援事業所B型等	仕事をしていない	その他	無回答	計
全体	194 (46.1)	174 (41.3)	1 (0.2)	3 (0.7)		17 (4.0)	10 (2.4)	21 (5.0)	1 (0.2)		421 (100.0)
視覚障害	25 (71.4)	4 (11.4)		1 (2.9)		1 (2.9)		4 (11.4)			35 (100.0)
聴覚障害	51 (65.4)	21 (26.9)		1 (1.3)		1 (1.3)	1 (1.3)	3 (3.8)			78 (100.0)
肢体不自由	42 (60.0)	22 (31.4)				1 (1.4)	1 (1.4)	4 (5.7)			70 (100.0)
内部障害	18 (78.3)	4 (17.4)						1 (4.3)			23 (100.0)
知的障害	46 (28.0)	96 (58.5)	1 (0.6)	1 (0.6)		11 (6.7)	5 (3.0)	3 (1.8)	1 (0.6)		164 (100.0)
精神障害	12 (23.5)	27 (52.9)				3 (5.9)	3 (5.9)	6 (11.8)			51 (100.0)

問 10　仕事内容

	ものを作る仕事	ものを売る仕事	事務の仕事	ものを教える仕事	医療や福祉に関わる仕事	人を相手にするサービス業	清掃やクリーニングなどのサービス業	その他	無回答	計
全体	103 (26.5)	33 (8.5)	119 (30.6)	8 (2.1)	30 (7.7)	21 (5.4)	47 (12.1)	19 (4.9)	8 (2.1)	389 (100.0)
視覚障害			7 (22.6)	6 (19.4)	17 (54.8)	1 (3.2)				31 (100.0)
聴覚障害	25 (33.8)	3 (4.1)	34 (45.9)	1 (1.4)	4 (5.4)	3 (4.1)		1 (1.4)	3 (4.1)	74 (100.0)
肢体不自由	12 (18.5)	2 (3.1)	44 (67.7)	1 (1.5)	1 (1.5)	1 (1.5)	1 (1.5)	2 (3.1)	1 (1.5)	65 (100.0)
内部障害	4 (18.2)		15 (68.2)		2 (9.1)		1 (4.5)			22 (100.0)
知的障害	53 (34.2)	20 (12.9)	8 (5.2)		5 (3.2)	10 (6.5)	46 (29.7)	10 (6.5)	3 (1.9)	155 (100.0)
精神障害	9 (21.4)	8 (19.0)	11 (26.2)		1 (2.4)	6 (14.3)		6 (14.3)	1 (2.4)	42 (100.0)

問 11 a　勤務時間

	20時間未満	20時間以上30時間未満	30時間以上	無回答	計
全体	24 (6.2)	92 (23.7)	261 (67.1)	12 (3.1)	389 (100.0)
視覚障害	1 (3.2)	1 (3.2)	28 (90.3)	1 (3.2)	31 (100.0)
聴覚障害	6 (8.1)	11 (14.9)	54 (73.0)	3 (4.1)	74 (100.0)
肢体不自由	3 (4.6)	8 (12.3)	53 (81.5)	1 (1.5)	65 (100.0)
内部障害		2 (9.1)	20 (90.9)		22 (100.0)
知的障害	10 (6.5)	58 (37.4)	83 (53.5)	4 (2.6)	155 (100.0)
精神障害	4 (9.5)	12 (28.6)	23 (54.8)	3 (7.1)	42 (100.0)

問 11 b　休日日数

	1日	2日	3日	4日以上	不定期	無回答	計
全体	24 (6.2)	294 (75.6)	20 (5.1)	32 (8.2)	9 (2.3)	10 (2.6)	389 (100.0)
視覚障害	3 (9.7)	23 (74.2)	1 (3.2)	4 (12.9)			31 (100.0)
聴覚障害	2 (2.7)	59 (79.7)	1 (1.4)	7 (9.5)	4 (5.4)	1 (1.4)	74 (100.0)
肢体不自由	3 (4.6)	56 (86.2)	3 (4.6)	2 (3.1)		1 (1.5)	65 (100.0)
内部障害	1 (4.5)	19 (86.4)		2 (9.1)			22 (100.0)
知的障害	14 (9.0)	106 (68.4)	11 (7.1)	15 (9.7)	3 (1.9)	6 (3.9)	155 (100.0)
精神障害	1 (2.4)	31 (73.8)	4 (9.5)	2 (4.8)	2 (4.8)	2 (4.8)	42 (100.0)

問 11 c　1ヶ月当たり給与区分

	7万円未満	7～13万円	13～25万円	26～39万円	40万円以上	無回答	計
全体	44 (11.3)	172 (44.2)	144 (37.0)	17 (4.4)	2 (0.5)	10 (2.6)	389 (100.0)
視覚障害	2 (6.5)	3 (9.7)	22 (71.0)	3 (9.7)	1 (3.2)		31 (100.0)
聴覚障害	3 (4.1)	15 (20.3)	45 (60.8)	9 (12.2)		2 (2.7)	74 (100.0)
肢体不自由	3 (4.6)	21 (32.3)	35 (53.8)	2 (3.1)	1 (1.5)	3 (4.6)	65 (100.0)
内部障害		4 (18.2)	15 (68.2)	3 (13.6)			22 (100.0)
知的障害	30 (19.4)	102 (65.8)	20 (12.9)			3 (1.9)	155 (100.0)
精神障害	6 (14.3)	27 (64.3)	7 (16.7)			2 (4.8)	42 (100.0)

問 11 d　年間賞与区分

	なし	10万円 未満	10～30万円	30～50万円	50～100万円	100万円以上	無回答	計
全体	114 (29.3)	82 (21.1)	69 (17.7)	46 (11.8)	60 (15.4)	10 (2.6)	8 (2.1)	389 (100.0)
視覚障害	5 (16.1)	5 (16.1)	6 (19.4)	3 (9.7)	11 (35.5)	1 (3.2)		31 (100.0)
聴覚障害	9 (12.2)	5 (6.8)	18 (24.3)	16 (21.6)	18 (24.3)	6 (8.1)	2 (2.7)	74 (100.0)
肢体不自由	11 (16.9)	9 (13.8)	9 (13.8)	14 (21.5)	18 (27.7)	1 (1.5)	3 (4.6)	65 (100.0)
内部障害	1 (4.5)	1 (4.5)	5 (22.7)	4 (18.2)	9 (40.9)	2 (9.1)		22 (100.0)
知的障害	69 (44.5)	51 (32.9)	26 (16.8)	7 (4.5)			2 (1.3)	155 (100.0)
精神障害	19 (45.2)	11 (26.2)	5 (11.9)	2 (4.8)	4 (9.5)		1 (2.4)	42 (100.0)

問 12 a　通勤手段　（複数回答）

	徒歩	自転車	原付/バイク	自動車	自動車(他者運転)	公共交通機関	その他	無回答	対象者
全体	132 (33.9)	84 (21.6)	7 (1.8)	82 (21.1)	32 (8.2)	207 (53.2)	8 (2.1)	2 (0.5)	389 (100.0)
視覚障害	23 (74.2)					23 (74.2)			31 (100.0)
聴覚障害	22 (29.7)	16 (21.6)	5 (6.8)	26 (35.1)	1 (1.4)	34 (45.9)	1 (1.4)	1 (1.4)	74 (100.0)
肢体不自由	15 (23.1)	1 (1.5)		27 (41.5)	8 (12.3)	22 (33.8)	5 (7.7)		65 (100.0)
内部障害	9 (40.9)	2 (9.1)	1 (4.5)	10 (45.5)		10 (45.5)	1 (4.5)		22 (100.0)
知的障害	52 (33.5)	53 (34.2)		9 (5.8)	16 (10.3)	97 (62.6)	1 (0.6)	1 (0.6)	155 (100.0)
精神障害	11 (22.7)	12 (27.3)	1 (2.3)	10 (22.7)	7 (15.9)	21 (47.7)			42 (100.0)

問 12 b　通勤時間

	30分未満	30分～1時間	1時間～1時間30分	1時間30分～2時間	2時間以上	無回答	計
全体	145 (37.3)	163 (41.9)	66 (17.0)	11 (2.8)		4 (1.0)	389 (100.0)
視覚障害	10 (32.3)	10 (32.3)	7 (22.6)	4 (12.9)			31 (100.0)
聴覚障害	28 (37.8)	31 (41.9)	12 (16.2)	2 (2.7)		1 (1.4)	74 (100.0)
肢体不自由	26 (40.0)	28 (43.1)	10 (15.4)			1 (1.5)	65 (100.0)
内部障害	8 (36.4)	10 (45.5)	4 (18.2)				22 (100.0)
知的障害	58 (37.4)	68 (43.9)	24 (15.5)	4 (2.6)		1 (0.6)	155 (100.0)
精神障害	15 (35.7)	16 (38.1)	9 (21.4)	1 (2.4)		1 (2.4)	42 (100.0)

問 13　従業員規模

	1～9人	10人～49人	50人～299人	300人～999人	1000人以上	わからない	無回答	計
全体	38 (9.8)	117 (30.1)	102 (26.2)	42 (10.8)	62 (15.9)	25 (6.4)	3 (0.8)	389 (100.0)
視覚障害	2 (6.5)	9 (29.0)	8 (25.8)	2 (6.5)	9 (29.0)	1 (3.2)		31 (100.0)
聴覚障害	4 (5.4)	6 (8.1)	21 (28.4)	15 (20.3)	25 (33.8)	2 (2.7)	1 (1.4)	74 (100.0)
肢体不自由	2 (3.1)	12 (18.5)	22 (33.8)	15 (23.1)	10 (15.4)	4 (6.2)		65 (100.0)
内部障害	1 (4.5)	3 (13.6)	5 (22.7)	5 (22.7)	6 (27.3)	2 (9.1)		22 (100.0)
知的障害	29 (18.7)	75 (48.4)	33 (21.3)	4 (2.6)	4 (2.6)	8 (5.2)	2 (1.3)	155 (100.0)
精神障害		12 (28.6)	13 (31.0)	1 (2.4)	8 (19.0)	8 (19.0)		42 (100.0)

問 14　現職就職年齢

	15～20歳	21～25歳	26～30歳	31～35歳	36～40歳	41～45歳	無回答	計
全体	126 (32.4)	103 (26.5)	61 (15.7)	47 (12.1)	35 (9.0)	4 (1.0)	13 (3.3)	389 (100.0)
視覚障害	2 (6.5)	10 (32.3)	8 (25.8)	10 (32.3)	1 (3.2)			31 (100.0)
聴覚障害	18 (24.3)	31 (41.9)	10 (13.5)	5 (6.8)	6 (8.1)	2 (2.7)	2 (2.7)	74 (100.0)
肢体不自由	18 (27.7)	10 (15.4)	17 (26.2)	9 (13.8)	8 (12.3)	1 (1.5)	2 (3.1)	65 (100.0)
内部障害	2 (9.1)	8 (36.4)	4 (18.2)	3 (13.6)	5 (22.7)			22 (100.0)
知的障害	82 (52.9)	34 (21.9)	13 (8.4)	11 (7.1)	5 (3.2)	1 (0.6)	9 (5.8)	155 (100.0)
精神障害	4 (9.5)	10 (23.8)	9 (21.4)	9 (21.4)	10 (23.8)			42 (100.0)

問 15　障害内容の説明

	ほとんどの人に説明	一部の人に説明	説明していない	わからない	無回答	計
全体	226 (58.1)	125 (32.1)	20 (5.1)	12 (3.1)	6 (1.5)	389 (100.0)
視覚障害	19 (61.3)	12 (38.7)				31 (100.0)
聴覚障害	45 (60.8)	22 (29.7)	3 (4.1)	2 (2.7)	2 (2.7)	74 (100.0)
肢体不自由	33 (50.8)	28 (43.1)	1 (1.5)	2 (3.1)	1 (1.5)	65 (100.0)
内部障害	11 (50.0)	11 (50.0)				22 (100.0)
知的障害	99 (63.9)	31 (20.0)	15 (9.7)	7 (4.5)	3 (1.9)	155 (100.0)
精神障害	19 (45.2)	21 (50.0)	1 (2.4)	1 (2.4)		42 (100.0)

問 16　仕事満足度

		満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満足	不満足	無回答	計
a 仕事の内容	全体	142 (36.5)	150 (38.6)	59 (15.2)	26 (6.7)	7 (1.8)	5 (1.3)	389 (100.0)
	視覚障害	12 (38.7)	12 (38.7)	5 (16.1)	1 (3.2)	1 (3.2)		31 (100.0)
	聴覚障害	14 (18.9)	35 (47.3)	18 (24.3)	5 (6.8)	1 (1.4)	1 (1.4)	74 (100.0)
	肢体不自由	28 (43.1)	22 (33.8)	8 (12.3)	4 (6.2)	2 (3.1)	1 (1.5)	65 (100.0)
	内部障害	6 (27.3)	9 (40.9)	4 (18.2)	1 (4.5)	1 (4.5)	1 (4.5)	22 (100.0)
	知的障害	71 (45.8)	49 (31.6)	20 (12.9)	12 (7.7)	1 (0.6)	2 (1.3)	155 (100.0)
	精神障害	11 (26.2)	23 (54.8)	4 (9.5)	3 (7.1)	1 (2.4)		42 (100.0)
		満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満足	不満足	無回答	計
b 給料や待遇	全体	107 (27.5)	115 (29.6)	79 (20.3)	63 (16.2)	18 (4.6)	7 (1.8)	389 (100.0)
	視覚障害	10 (32.3)	9 (29.0)	6 (19.4)	5 (16.1)	1 (3.2)		31 (100.0)
	聴覚障害	8 (10.8)	27 (36.5)	18 (24.3)	17 (23.0)	3 (4.1)	1 (1.4)	74 (100.0)
	肢体不自由	18 (27.7)	17 (26.2)	14 (21.5)	10 (15.4)	4 (6.2)	2 (3.1)	65 (100.0)
	内部障害	3 (13.6)	9 (40.9)	4 (18.2)	4 (18.2)	1 (4.5)	1 (4.5)	22 (100.0)
	知的障害	60 (38.7)	41 (26.5)	26 (16.8)	18 (11.6)	7 (4.5)	3 (1.9)	155 (100.0)
	精神障害	8 (19.0)	12 (28.6)	11 (26.2)	9 (21.4)	2 (4.8)		42 (100.0)
		満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満足	不満足	無回答	計
c 職場の人間関係	全体	113 (29.0)	141 (36.2)	75 (19.3)	33 (8.5)	19 (4.9)	8 (2.1)	389 (100.0)
	視覚障害	4 (12.9)	16 (51.6)	8 (25.8)	2 (6.5)	1 (3.2)		31 (100.0)
	聴覚障害	9 (12.2)	36 (48.6)	14 (18.9)	12 (16.2)	2 (2.7)	1 (1.4)	74 (100.0)
	肢体不自由	19 (29.2)	22 (33.8)	13 (20.0)	6 (9.2)	3 (4.6)	2 (3.1)	65 (100.0)
	内部障害	4 (18.2)	10 (45.5)	4 (18.2)	2 (9.1)	1 (4.5)	1 (4.5)	22 (100.0)
	知的障害	65 (41.9)	44 (28.4)	27 (17.4)	9 (5.8)	6 (3.9)	4 (2.6)	155 (100.0)
	精神障害	12 (28.6)	13 (31.0)	9 (21.4)	2 (4.8)	6 (14.3)		42 (100.0)
		満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満足	不満足	無回答	計
d 職場の環境	全体	121 (31.1)	130 (33.4)	72 (18.5)	43 (11.1)	15 (3.9)	8 (2.1)	389 (100.0)
	視覚障害	6 (19.4)	15 (48.4)	5 (16.1)	5 (16.1)			31 (100.0)
	聴覚障害	9 (12.2)	30 (40.5)	20 (27.0)	12 (16.2)	2 (2.7)	1 (1.4)	74 (100.0)
	肢体不自由	23 (35.4)	23 (35.4)	9 (13.8)	6 (9.2)	2 (3.1)	2 (3.1)	65 (100.0)
	内部障害	6 (27.3)	7 (31.8)	3 (13.6)	3 (13.6)	2 (9.1)	1 (4.5)	22 (100.0)
	知的障害	63 (40.6)	41 (26.5)	27 (17.4)	14 (9.0)	6 (3.9)	4 (2.6)	155 (100.0)
	精神障害	14 (33.3)	14 (33.3)	8 (19.0)	3 (7.1)	3 (7.1)		42 (100.0)

問 17　a 働き続けたい年齢

	50歳未満	50歳以上60歳未満	60歳	61歳以上65歳未満	65歳	66歳以上70歳未満	70歳	80歳	無制限/出来るだけ	定年まで	無回答	計
全体	30 (7.7)	34 (8.7)	183 (47.0)	2 (0.5)	86 (22.1)	1 (0.3)	22 (5.7)	5 (1.3)	7 (1.8)	1 (0.3)	18 (4.6)	389 (100.0)
視覚障害		1 (3.2)	10 (32.3)		11 (35.5)		5 (16.1)		2 (6.5)		2 (6.5)	31 (100.0)
聴覚障害	7 (9.5)	5 (6.8)	38 (51.4)		18 (24.3)		2 (2.7)	1 (1.4)	1 (1.4)		2 (2.7)	74 (100.0)
肢体不自由	7 (10.8)	7 (10.8)	28 (43.1)	1 (1.5)	13 (20.0)		2 (3.1)	3 (4.6)	2 (3.1)	1 (1.5)	1 (1.5)	65 (100.0)
内部障害	1 (4.5)	2 (9.1)	12 (54.5)		3 (13.6)		2 (9.1)				2 (9.1)	22 (100.0)
知的障害	13 (8.4)	17 (11.0)	78 (50.3)	1 (0.6)	24 (15.5)	1 (0.6)	8 (5.2)	1 (0.6)	1 (0.6)		11 (7.1)	155 (100.0)
精神障害	2 (4.8)	2 (4.8)	17 (40.5)		17 (40.5)		3 (7.1)		1 (2.4)			42 (100.0)

問 17 b　仕事の継続意思

	今の仕事を続けたい	別の仕事をしたい	わからない	無回答	計
全体	257 (66.1)	60 (15.4)	66 (17.0)	6 (1.5)	389 (100.0)
視覚障害	21 (67.7)	3 (9.7)	7 (22.6)		31 (100.0)
聴覚障害	43 (58.1)	17 (23.0)	13 (17.6)	1 (1.4)	74 (100.0)
肢体不自由	45 (69.2)	9 (13.8)	10 (15.4)	1 (1.5)	65 (100.0)
内部障害	11 (50.0)	3 (13.6)	8 (36.4)		22 (100.0)
知的障害	114 (73.5)	23 (14.8)	15 (9.7)	3 (1.9)	155 (100.0)
精神障害	23 (54.8)	5 (11.9)	13 (31.0)	1 (2.4)	42 (100.0)

問 18　仕事上の出来事（複数回答）

障害	配置転換があった	上司が異動した	まわりで直接仕事などを援助してくれる人がいなくなった	昇進した	給料が上がった	給料が下がった	正社員になった	休職をした	転職をした	勤めていた会社が倒産した	該当する項目なし	無回答	対象者
全体	62 (15.9)	108 (27.8)	28 (7.2)	7 (1.8)	121 (31.1)	29 (7.5)	7 (1.8)	16 (4.1)	20 (5.1)	1 (0.3)	62 (15.9)	58 (14.9)	389 (100.0)
視覚障害	5 (16.1)	8 (25.8)	2 (6.5)	2 (6.5)	10 (32.3)	6 (19.4)	1 (3.2)				10 (32.3)		31 (100.0)
聴覚障害	19 (25.7)	19 (25.7)		1 (1.4)	26 (35.1)	6 (8.1)	2 (2.7)	3 (4.1)	4 (5.4)		14 (18.9)	4 (5.4)	74 (100.0)
肢体不自由	13 (20.0)	19 (29.2)	3 (4.6)	1 (1.5)	25 (38.5)	4 (6.2)	1 (1.5)	4 (6.2)	3 (4.6)		14 (21.5)	5 (7.7)	65 (100.0)
内部障害	7 (31.8)	6 (27.3)	1 (4.5)	2 (9.1)	9 (40.9)	1 (4.5)	1 (4.5)	2 (9.1)	1 (4.5)		4 (18.2)	1 (4.5)	22 (100.0)
知的障害	14 (9.0)	41 (26.5)	19 (12.3)		40 (25.8)	9 (5.8)	1 (0.6)	2 (1.3)	7 (4.5)	1 (0.6)	13 (8.4)	46 (29.7)	155 (100.0)
精神障害	4 (9.5)	15 (35.7)	3 (7.1)	1 (2.4)	11 (26.2)	3 (7.1)	1 (2.4)	5 (11.9)	5 (11.9)		7 (16.7)	2 (4.8)	42 (100.0)

問 19a　非就労　過去 2 年間での仕事の経験の有無

	就業経験あり	就業経験なし	無回答	計
全体	24 (75.0)	7 (21.9)	1 (3.1)	32 (100.0)
視覚障害	3 (75.0)	1 (25.0)		4 (100.0)
聴覚障害	2 (50.0)	2 (50.0)		4 (100.0)
肢体不自由	3 (60.0)	2 (40.0)		5 (100.0)
内部障害	1 (100.0)			1 (100.0)
知的障害	7 (77.8)	1 (11.1)	1 (11.1)	9 (100.0)
精神障害	8 (88.9)	1 (11.1)		9 (100.0)

問 19b　非就労　離職理由

	事業主の都合	契約期間満了	休職期間満了	定年退職	自分の都合	その他	わからない	計
全体	1 (4.2)	2 (8.3)	1 (4.2)		18 (75.0)	2 (8.3)		24 (100.0)
視覚障害					3 (100.0)			3 (100.0)
聴覚障害					2 (100.0)			2 (100.0)
肢体不自由		1 (33.3)			2 (66.7)			3 (100.0)
内部障害					1 (100.0)			1 (100.0)
知的障害	1 (14.3)	1 (14.3)			3 (42.9)	2 (28.6)		7 (100.0)
精神障害			1 (12.5)		7 (87.5)			8 (100.0)

問 19c　非就労　自己都合の理由　（複数回答）

	仕事内容が合わなかった	賃金、労働条件に不満があった	職場の雰囲気・人間関係	体調不良	結婚	出産	家庭等の事情	その他	わからない	無回答	対象者
全体	6 (33.3)	3 (16.7)	9 (50.0)	10 (55.6)		1 (5.6)		4 (22.2)			18 (100.0)
視覚障害			1 (33.3)			1 (33.3)		1 (33.3)			3 (100.0)
聴覚障害	2 (100.0)	1 (50.0)	2 (100.0)	2 (100.0)							2 (100.0)
肢体不自由	1 (50.0)		1 (50.0)	1 (50.0)							2 (100.0)
内部障害								1 (100.0)			1 (100.0)
知的障害		1 (33.3)	2 (66.7)	1 (33.3)							3 (100.0)
精神障害	3 (42.9)	1 (14.3)	3 (42.9)	6 (85.7)				2 (28.6)			7 (100.0)

問 20a 就職活動の考え

	すぐに仕事につきたい	すぐにではないが仕事につきたい	時間をかけて仕事を探したい	福祉工場や作業所で働きたい	仕事にはつきたくない	その他	無回答	計
全体	10 (31.3)	11 (34.4)	8 (25.0)			2 (6.3)	1 (3.1)	32 (100.0)
視覚障害	2 (50.0)	1 (25.0)	1 (25.0)					4 (100.0)
聴覚障害	1 (25.0)	2 (50.0)					1 (25.0)	4 (100.0)
肢体不自由	2 (40.0)	1 (20.0)	1 (20.0)			1 (20.0)		5 (100.0)
内部障害			1 (100.0)					1 (100.0)
知的障害	1 (11.1)	4 (44.4)	3 (33.3)			1 (11.1)		9 (100.0)
精神障害	4 (44.4)	3 (33.3)	2 (22.2)					9 (100.0)

問 20b-1 働き方の希望 （複数回答）

	正社員	非正規	派遣社員	自営など	内職	就労継続A型	就労継続B型	その他	無回答	計
全体	12 (41.4)	14 (48.3)		2 (6.9)	2 (6.9)	7 (24.1)	1 (3.4)	3 (10.3)	4 (13.8)	29 (100.0)
視覚障害	2 (50.0)	1 (25.0)		2 (50.0)						4 (100.0)
聴覚障害	1 (33.3)	3 (100.0)				1 (33.3)		1 (33.3)		3 (100.0)
肢体不自由	3 (75.0)	2 (50.0)							1 (25.0)	4 (100.0)
内部障害	1 (100.0)									1 (100.0)
知的障害	1 (12.5)	2 (25.0)				4 (50.0)	1 (12.5)	1 (12.5)	2 (25.0)	8 (100.0)
精神障害	4 (44.4)	6 (66.7)			2 (22.2)	2 (22.2)		1 (11.1)	1 (11.1)	9 (100.0)

問 20b-2 求職活動の相談先 （複数回答）

	配偶者	子ども	父親	母親	兄弟姉妹	上司同僚	知人知人	障害者相談員	ハローワーク	地域障害者職業センター	就業・生活支援センター	相談支援事業者	病院診療所	保健所福祉事務所	学校	その他	相談利用なし	無回答	対象者数
全体	4 (12.5)		10 (31.3)	12 (37.5)	1 (3.1)	2 (6.3)	3 (9.4)	6 (18.8)	23 (71.9)	7 (21.9)	10 (31.3)	5 (15.6)	4 (12.5)	2 (6.3)	1 (3.1)	3 (9.4)		3 (9.4)	32 (100.0)
視覚障害	2 (50.0)		1 (25.0)	1 (25.0)			1 (25.0)		4 (100.0)		1 (25.0)	1 (25.0)	1 (25.0)						4 (100.0)
聴覚障害			1 (25.0)	2 (50.0)	1 (25.0)	1 (25.0)	1 (25.0)	2 (50.0)	3 (75.0)	1 (25.0)	2 (50.0)	1 (25.0)		1 (25.0)	1 (25.0)			1 (25.0)	4 (100.0)
肢体不自由				1 (20.0)				1 (20.0)	4 (80.0)	1 (20.0)		1 (20.0)		1 (20.0)				1 (20.0)	5 (100.0)
内部障害									1 (100.0)										1 (100.0)
知的障害			4 (44.4)	4 (44.4)				1 (11.1)	3 (33.3)	1 (11.1)	3 (33.3)					3 (33.3)		1 (11.1)	9 (100.0)
精神障害	2 (22.2)		4 (44.4)	4 (44.4)		1 (11.1)	1 (11.1)	2 (22.2)	8 (88.9)	4 (44.4)	4 (44.4)	2 (22.2)	3 (33.3)						9 (100.0)

問 21　仕事関連相談先　（複数回答）

	配偶者	子ども	父親	母親	兄弟姉妹	上司 同僚	知人 知人	障害者相談員	ハローワーク	地域障害者職業センター	就業・生活支援センター	相談支援事業者	病院 診療所	保健所 福祉事務所	学校	その他	相談利用なし	無回答	対象者数
全体	44 (10.5)	1 (0.2)	89 (21.1)	167 (39.7)	33 (7.8)	163 (38.7)	104 (24.7)	32 (7.6)	25 (5.9)	29 (6.9)	48 (11.4)	19 (4.5)	44 (10.5)	3 (0.7)	8 (1.9)	19 (4.5)	56 (13.3)	19 (4.5)	421 (100.0)
視覚障害	13 (37.1)	1 (2.9)	14 (40.0)	20 (57.1)	9 (25.7)	28 (80.0)	21 (60.0)	7 (20.0)	3 (8.6)		1 (2.9)	2 (5.7)	1 (2.9)	1 (2.9)	1 (2.9)	3 (8.6)	3 (8.6)	1 (2.9)	35 (100.0)
聴覚障害	22 (28.2)	1 (1.3)	17 (21.8)	27 (34.6)	10 (12.8)	37 (47.4)	32 (41.0)	9 (11.5)	5 (6.4)	1 (1.3)	1 (1.3)	2 (2.6)	1 (1.3)	1 (1.3)	1 (1.3)	4 (5.1)	6 (7.7)	1 (1.3)	78 (100.0)
肢体不自由	4 (5.7)		21 (30.0)	31 (44.3)	6 (8.6)	27 (38.6)	23 (32.9)	2 (2.9)	5 (7.1)	3 (4.3)	4 (5.7)	2 (2.9)	4 (5.7)		3 (4.3)	1 (1.4)	10 (14.3)	1 (1.4)	70 (100.0)
内部障害	6 (26.1)		4 (17.4)	8 (34.8)	5 (21.7)	15 (65.2)	10 (43.5)			1 (4.3)			15 (65.2)				2 (8.7)		23 (100.0)
知的障害			25 (15.2)	66 (40.2)	7 (4.3)	47 (28.7)	11 (6.7)	13 (7.9)	7 (4.3)	14 (8.5)	29 (17.7)	8 (4.9)	3 (1.8)	1 (0.6)	4 (2.4)	11 (6.7)	28 (17.1)	14 (8.5)	164 (100.0)
精神障害	5 (9.8)		17 (33.3)	26 (51.0)	2 (3.9)	19 (37.3)	12 (23.5)	8 (15.7)	6 (11.8)	10 (19.6)	13 (25.5)	7 (13.7)	18 (35.3)			3 (5.9)	2 (3.9)	2 (3.9)	51 (100.0)

問 22　障害基礎年金

	受給している	受給していない	わからない	無回答	計
全体	331 (78.6)	78 (18.5)	4 (1.0)	8 (1.9)	421 (100.0)
視覚障害	30 (85.7)	4 (11.4)		1 (2.9)	35 (100.0)
聴覚障害	69 (88.5)	7 (9.0)	1 (1.3)	1 (1.3)	78 (100.0)
肢体不自由	56 (80.0)	12 (17.1)	2 (2.9)		70 (100.0)
内部障害	14 (60.9)	9 (39.1)			23 (100.0)
知的障害	129 (78.7)	29 (17.7)	1 (0.6)	5 (3.0)	164 (100.0)
精神障害	33 (64.7)	17 (33.3)		1 (2.0)	51 (100.0)

問 23　生計の収入源

	「年金」だけ	「家族などの支援」だけ	「働いて得る収入」だけ	「年金」と「家族などの支援」	「年金」と「働いて得る収入」	「家族などの支援」と「働いて得る収入」	「年金」と「家族などの支援」と「働いて得る収入」	その他 (非就業)	わからない	無回答	計
全体	7 (1.7)	12 (2.9)	66 (15.7)	11 (2.6)	192 (45.6)	49 (11.6)	61 (14.5)	11 (2.6)	7 (1.7)	5 (1.2)	421 (100.0)
視覚障害		3 (8.6)	5 (14.3)	1 (2.9)	23 (65.7)	1 (2.9)	1 (2.9)			1 (2.9)	35 (100.0)
聴覚障害	3 (3.8)	1 (1.3)	14 (17.9)	2 (2.6)	40 (51.3)	4 (5.1)	13 (16.7)			1 (1.3)	78 (100.0)
肢体不自由	1 (1.4)		8 (11.4)	4 (5.7)	28 (40.0)	9 (12.9)	17 (24.3)		1 (1.4)	2 (2.9)	70 (100.0)
内部障害			6 (26.1)		10 (43.5)	3 (13.0)	4 (17.4)				23 (100.0)
知的障害		5 (3.0)	25 (15.2)	2 (1.2)	76 (46.3)	26 (15.9)	16 (9.8)	7 (4.3)	6 (3.7)	1 (0.6)	164 (100.0)
精神障害	3 (5.9)	3 (5.9)	8 (15.7)	2 (3.9)	15 (29.4)	6 (11.8)	10 (19.6)	4 (7.8)			51 (100.0)

問 24　経済面での相談先　（複数回答）

	配偶者	子ども	父親	母親	兄弟姉妹	上司同僚	知人友人	障害者相談員	ハローワーク	地域障害者職業センター	就業・生活支援センター	相談支援事業者	病院診療所	保健所福祉事務所	学校	その他	相談利用なし	無回答	対象者数
全体	39 (9.3)	2 (0.5)	89 (21.1)	136 (32.3)	26 (6.2)	12 (2.9)	31 (7.4)	7 (1.7)	4 (1.0)	2 (0.5)	11 (2.6)	8 (1.9)	10 (2.4)		1 (0.2)	13 (3.1)	178 (42.3)	25 (5.9)	421 (100.0)
視覚障害	1 (2.9)		4 (11.4)	5 (14.3)	1 (2.9)	1 (2.9)	2 (5.7)						1 (2.9)				24 (68.6)	4 (11.4)	35 (100.0)
聴覚障害	25 (32.1)	2 (2.6)	21 (26.9)	28 (35.9)	13 (16.7)	1 (1.3)	12 (15.4)	3 (3.8)	2 (2.6)			1 (1.3)	2 (2.6)			2 (2.6)	22 (28.2)	1 (1.3)	78 (100.0)
肢体不自由	5 (7.1)		21 (30.0)	26 (37.1)	3 (4.3)	2 (2.9)	9 (12.9)		1 (1.4)			1 (1.4)	1 (1.4)		1 (1.4)		30 (42.9)	2 (2.9)	70 (100.0)
内部障害	3 (13.0)		6 (26.1)	8 (34.8)	2 (8.7)	2 (8.7)	1 (4.3)									1 (4.3)	7 (30.4)	3 (13.0)	23 (100.0)
知的障害	1 (0.6)		19 (11.6)	51 (31.1)	7 (4.3)	3 (1.8)	3 (1.8)	1 (0.6)			8 (4.9)	4 (2.4)	2 (1.2)			9 (5.5)	77 (47.0)	11 (6.7)	164 (100.0)
精神障害	4 (7.8)		18 (35.3)	18 (35.3)		3 (5.9)	4 (7.8)	3 (5.9)	1 (2.0)	2 (3.9)	3 (5.9)	2 (3.9)	4 (7.8)			1 (2.0)	18 (35.3)	4 (7.8)	51 (100.0)

問 25　仕事をする上での重要なこと

		重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	どちらかといえば重要でない	重要でない	無回答	計
a 賃金や給与	全体	310 (73.6)	84 (20.0)	17 (4.0)	3 (0.7)	2 (0.5)	5 (1.2)	421 (100.0)
	視覚障害	29 (82.9)	6 (17.1)					35 (100.0)
	聴覚障害	55 (70.5)	18 (23.1)	4 (5.1)		1 (1.3)		78 (100.0)
	肢体不自由	46 (65.7)	17 (24.3)	4 (5.7)	1 (1.4)		2 (2.9)	70 (100.0)
	内部障害	15 (65.2)	7 (30.4)		1 (4.3)			23 (100.0)
	知的障害	142 (86.6)	15 (9.1)	3 (1.8)	1 (0.6)		3 (1.8)	164 (100.0)
	精神障害	23 (45.1)	21 (41.2)	6 (11.8)		1 (2.0)		51 (100.0)

		重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	どちらかといえば重要でない	重要でない	無回答	計
b 自分の能力・経験	合計	236 (56.1)	141 (33.5)	33 (7.8)	3 (0.7)		8 (1.9)	421 (100.0)
	視覚障害	27 (77.1)	8 (22.9)					35 (100.0)
	聴覚障害	42 (53.8)	27 (34.6)	8 (10.3)	1 (1.3)			78 (100.0)
	肢体不自由	34 (48.6)	27 (38.6)	6 (8.6)			3 (4.3)	70 (100.0)
	内部障害	7 (30.4)	12 (52.2)	3 (13.0)	1 (4.3)			23 (100.0)
	知的障害	108 (65.9)	42 (25.6)	9 (5.5)			5 (3.0)	164 (100.0)
	精神障害	18 (35.3)	25 (49.0)	7 (13.7)	1 (2.0)			51 (100.0)

		重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	どちらかといえば重要でない	重要でない	無回答	計
c 仕事の内容	合計	246 (58.4)	132 (31.4)	31 (7.4)	4 (1.0)		8 (1.9)	421 (100.0)
	視覚障害	27 (77.1)	8 (22.9)					35 (100.0)
	聴覚障害	42 (53.8)	28 (35.9)	7 (9.0)	1 (1.3)			78 (100.0)
	肢体不自由	37 (52.9)	23 (32.9)	7 (10.0)			3 (4.3)	70 (100.0)
	内部障害	12 (52.2)	8 (34.8)	3 (13.0)				23 (100.0)
	知的障害	102 (62.2)	48 (29.3)	7 (4.3)	2 (1.2)		5 (3.0)	164 (100.0)
	精神障害	26 (51.0)	17 (33.3)	7 (13.7)	1 (2.0)			51 (100.0)

		重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	どちらかといえば重要でない	重要でない	無回答	計
d 職場の環境整備	合計	239 (56.8)	138 (32.8)	29 (6.9)	6 (1.4)		9 (2.1)	421 (100.0)
	視覚障害	20 (57.1)	13 (37.1)	2 (5.7)				35 (100.0)
	聴覚障害	41 (52.6)	29 (37.2)	7 (9.0)	1 (1.3)			78 (100.0)
	肢体不自由	42 (60.0)	19 (27.1)	4 (5.7)	2 (2.9)		3 (4.3)	70 (100.0)
	内部障害	6 (26.1)	13 (56.5)	2 (8.7)	2 (8.7)			23 (100.0)
	知的障害	111 (67.7)	36 (22.0)	11 (6.7)			6 (3.7)	164 (100.0)
	精神障害	19 (37.3)	28 (54.9)	3 (5.9)	1 (2.0)			51 (100.0)

		重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	どちらかといえば重要でない	重要でない	無回答	計
e 勤務時間や休日	合計	249 (59.1)	129 (30.6)	31 (7.4)	3 (0.7)	1 (0.2)	8 (1.9)	421 (100.0)
	視覚障害	22 (62.9)	11 (31.4)	1 (2.9)		1 (2.9)		35 (100.0)
	聴覚障害	41 (52.6)	29 (37.2)	8 (10.3)				78 (100.0)
	肢体不自由	29 (41.4)	29 (41.4)	8 (11.4)			4 (5.7)	70 (100.0)
	内部障害	16 (69.6)	5 (21.7)	2 (8.7)				23 (100.0)
	知的障害	113 (68.9)	39 (23.8)	7 (4.3)	1 (0.6)		4 (2.4)	164 (100.0)
	精神障害	28 (54.9)	16 (31.4)	5 (9.8)	2 (3.9)			51 (100.0)

		重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	どちらかといえば重要でない	重要でない	無回答	計
f 職場仲間との人間関係	合計	265 (62.9)	112 (26.6)	31 (7.4)	5 (1.2)		8 (1.9)	421 (100.0)
	視覚障害	29 (82.9)	4 (11.4)	1 (2.9)	1 (2.9)			35 (100.0)
	聴覚障害	37 (47.4)	32 (41.0)	8 (10.3)	1 (1.3)			78 (100.0)
	肢体不自由	38 (54.3)	23 (32.9)	5 (7.1)	1 (1.4)		3 (4.3)	70 (100.0)
	内部障害	15 (65.2)	6 (26.1)	2 (8.7)				23 (100.0)
	知的障害	116 (70.7)	28 (17.1)	14 (8.5)	1 (0.6)		5 (3.0)	164 (100.0)
	精神障害	30 (58.8)	19 (37.3)	1 (2.0)	1 (2.0)			51 (100.0)

問 26a 仕事をする上で必要な配慮事項　（複数回答）

	作業手順をわかりやすくしたり、仕事をやりやすくすること	作業のスピードや仕事の量を障害に合わせること	作業を容易にする機器や設備を改善すること	通勤の便宜を図ること	まわりに仕事やコミュニケーションを援助してくれる人を配置すること	体力や体調に合わせて、勤務時間や休みを調整すること	安全や健康管理に特別の配慮をすること	その他	無回答	対象者数
全体	214 (50.8)	166 (39.4)	72 (17.1)	56 (13.3)	196 (46.6)	119 (28.3)	84 (20.0)	17 (4.0)	28 (6.7)	421 (100.0)
視覚障害	13 (37.1)	15 (42.9)	18 (51.4)	9 (25.7)	16 (45.7)	13 (37.1)	11 (31.4)	1 (2.9)		35 (100.0)
聴覚障害	37 (47.4)	19 (24.4)	13 (16.7)	5 (6.4)	56 (71.8)	16 (20.5)	12 (15.4)	8 (10.3)	2 (2.6)	78 (100.0)
肢体不自由	33 (47.1)	29 (41.4)	16 (22.9)	16 (22.9)	18 (25.7)	23 (32.9)	11 (15.7)	1 (1.4)	6 (8.6)	70 (100.0)
内部障害	3 (13.0)	6 (26.1)	2 (8.7)	5 (21.7)	5 (21.7)	14 (60.9)	8 (34.8)	1 (4.3)	1 (4.3)	23 (100.0)
知的障害	96 (58.5)	75 (45.7)	17 (10.4)	15 (9.1)	81 (49.4)	32 (19.5)	32 (19.5)	4 (2.4)	16 (9.8)	164 (100.0)
精神障害	32 (62.7)	22 (43.1)	6 (11.8)	6 (11.8)	20 (39.2)	21 (41.2)	10 (19.6)	2 (3.9)	3 (5.9)	51 (100.0)

問 26b 仕事をする上で、特に会社にお願いしたい配慮事項　（複数回答）

	障害や障害者のことを理解してほしい	職場に障害者の仲間を多くしてほしい	ずっと働き続けることができるようにしてほしい	給与面を改善してほしい	体力や障害に合わせた労働時間や休日の設定をしてほしい	能力に応じた評価や、昇進・昇格をしてほしい	研修や教育訓練を充実してほしい	健康管理を充実してほしい	職場の中で困ったときの相談ができるようにしてほしい	その他	無回答	対象者数
合計	198 (47.0)	63 (15.0)	221 (52.5)	118 (28.0)	69 (16.4)	120 (28.5)	77 (18.3)	49 (11.6)	139 (33.0)	15 (3.6)	19 (4.5)	421 (100.0)
視覚障害	19 (54.3)	1 (2.9)	16 (45.7)	12 (34.3)	7 (20.0)	11 (31.4)	6 (17.1)	6 (17.1)	9 (25.7)	2 (5.7)	1 (2.9)	35 (100.0)
聴覚障害	51 (65.4)	26 (33.3)	25 (32.1)	30 (38.5)	6 (7.7)	29 (37.2)	24 (30.8)	10 (12.8)	23 (29.5)	6 (7.7)	1 (1.3)	78 (100.0)
肢体不自由	26 (37.1)	7 (10.0)	32 (45.7)	27 (38.6)	16 (22.9)	22 (31.4)	16 (22.9)	4 (5.7)	16 (22.9)	2 (2.9)	7 (10.0)	70 (100.0)
内部障害	8 (34.8)	0 (0.0)	8 (34.8)	10 (43.5)	7 (30.4)	12 (52.2)	6 (26.1)	2 (8.7)	5 (21.7)		2 (8.7)	23 (100.0)
知的障害	62 (37.8)	27 (16.5)	111 (67.7)	63 (38.4)	19 (11.6)	32 (19.5)	17 (10.4)	18 (11.0)	67 (40.9)	3 (1.8)	6 (3.7)	164 (100.0)
精神障害	32 (62.7)	2 (3.9)	29 (56.9)	21 (41.2)	14 (27.5)	14 (27.5)	8 (15.7)	9 (17.6)	19 (37.3)	2 (3.9)	2 (3.9)	51 (100.0)

問 27　普段の生活での楽しみ類型

	家族、友人との交流	PC、ゲーム、テレビ	食事、料理	音楽	スポーツ（観戦）	旅行	映画・DVD	買い物	読書	休日/仕事後の時間	ドライブ/ツーリング	睡眠/休養	仕事	勉強	その他趣味	対象者数
全体	114 (32.1)	55 (15.5)	39 (11.0)	52 (14.6)	60 (16.9)	34 (9.6)	38 (10.7)	34 (9.6)	19 (5.4)	64 (18.0)	10 (2.8)	18 (5.1)	13 (3.7)	8 (2.3)	27 (7.6)	355 (100.0)
視覚障害	14 (43.8)	3 (9.4)	5 (15.6)	6 (18.8)	2 (6.3)	3 (9.4)	1 (3.1)	2 (6.3)	3 (9.4)	8 (25.0)		3 (9.4)			4 (12.5)	32 (100.0)
聴覚障害	29 (45.3)	8 (12.5)	5 (7.8)	1 (1.6)	9 (14.1)	8 (12.5)	7 (10.9)	2 (3.1)	5 (7.8)	15 (23.4)	2 (3.1)	1 (1.6)	1 (1.6)	2 (3.1)	7 (10.9)	64 (100.0)
肢体不自由	16 (28.1)	10 (17.5)	9 (15.8)	12 (21.1)	9 (15.8)	6 (10.5)	5 (8.8)	7 (12.3)	2 (3.5)	7 (12.3)	2 (3.5)	4 (7.0)		1 (1.8)	4 (7.0)	57 (100.0)
内部障害	10 (62.5)	1 (6.3)	2 (12.5)	2 (12.5)	2 (12.5)	2 (12.5)	1 (6.3)	2 (12.5)		4 (25.0)	2 (12.5)		1 (6.3)			16 (100.0)
知的障害	36 (25.9)	25 (18.0)	10 (7.2)	23 (16.5)	29 (20.9)	14 (10.1)	21 (15.1)	18 (12.9)	6 (4.3)	28 (20.1)	1 (0.7)	2 (1.4)	9 (6.5)	5 (3.6)	8 (5.8)	139 (100.0)
精神障害	9 (19.1)	8 (17.0)	8 (17.0)	8 (17.0)	9 (19.1)	1 (2.1)	3 (6.4)	3 (6.4)	3 (6.4)	2 (4.3)	3 (6.4)	8 (17.0)	2 (4.3)		4 (8.5)	47 (100.0)

問 28　近い将来実現したい事類型

	結婚・出産、家庭、恋人	職業面向上（昇進、昇給等）	趣味充実（スポーツ等大会で入賞等）	自立（経済的自立、一人暮らし等）	免許資格取得、留学、勉強	家、車等購入	健康面	金銭（貯金、借金返済等）	その他	対象者数
全体	105 (37.2)	66 (23.4)	45 (16.0)	28 (9.9)	39 (13.8)	15 (5.3)	11 (3.9)	10 (3.5)	5 (1.8)	282 (100.0)
視覚障害	11 (39.3)	10 (35.7)	1 (3.6)	2 (7.1)	5 (17.9)	1 (3.6)	1 (3.6)	1 (3.6)	1 (3.6)	28 (100.0)
聴覚障害	20 (39.2)	13 (25.5)	4 (7.8)	2 (3.9)	9 (17.6)	5 (9.8)	1 (2.0)	6 (11.8)	2 (3.9)	51 (100.0)
肢体不自由	18 (37.5)	9 (18.8)	5 (10.4)	4 (8.3)	11 (22.9)	5 (10.4)	3 (6.3)	1 (2.1)		48 (100.0)
内部障害	6 (40.0)	6 (40.0)		1 (6.7)	3 (20.0)		2 (13.3)		2 (13.3)	15 (100.0)
知的障害	32 (32.7)	12 (12.2)	32 (32.7)	16 (16.3)	7 (7.1)	2 (2.0)	1 (1.0)			98 (100.0)
精神障害	18 (42.9)	16 (38.1)	3 (7.1)	3 (7.1)	4 (9.5)	2 (4.8)	3 (7.1)	2 (4.8)		42 (100.0)

問 29　生活満足度

		満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満足	不満足	無回答	計
a 家族との人間関係	全体	193 (45.8)	152 (36.1)	54 (12.8)	8 (1.9)	9 (2.1)	5 (1.2)	421 (100.0)
	視覚障害	20 (57.1)	9 (25.7)	4 (11.4)	1 (2.9)	1 (2.9)		35 (100.0)
	聴覚障害	29 (37.2)	35 (44.9)	12 (15.4)	2 (2.6)			78 (100.0)
	肢体不自由	35 (50.0)	24 (34.3)	8 (11.4)	1 (1.4)	2 (2.9)		70 (100.0)
	内部障害	8 (34.8)	11 (47.8)	2 (8.7)		1 (4.3)	1 (4.3)	23 (100.0)
	知的障害	86 (52.4)	47 (28.7)	22 (13.4)	4 (2.4)	1 (0.6)	4 (2.4)	164 (100.0)
	精神障害	15 (29.4)	26 (51.0)	6 (11.8)		4 (7.8)		51 (100.0)

		満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満足	不満足	無回答	計
b 友人・知人との人間関係	全体	152 (36.1)	152 (36.1)	78 (18.5)	23 (5.5)	8 (1.9)	8 (1.9)	421 (100.0)
	視覚障害	16 (45.7)	11 (31.4)	6 (17.1)	2 (5.7)			35 (100.0)
	聴覚障害	22 (28.2)	38 (48.7)	12 (15.4)	6 (7.7)			78 (100.0)
	肢体不自由	29 (41.4)	26 (37.1)	11 (15.7)	2 (2.9)	1 (1.4)	1 (1.4)	70 (100.0)
	内部障害	7 (30.4)	10 (43.5)	1 (4.3)	3 (13.0)	1 (4.3)	1 (4.3)	23 (100.0)
	知的障害	66 (40.2)	52 (31.7)	32 (19.5)	6 (3.7)	2 (1.2)	6 (3.7)	164 (100.0)
	精神障害	12 (23.5)	15 (29.4)	16 (31.4)	4 (7.8)	4 (7.8)		51 (100.0)

		満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満足	不満足	無回答	計
c 自分の体力や健康	全体	104 (24.7)	140 (33.3)	105 (24.9)	43 (10.2)	20 (4.8)	9 (2.1)	421 (100.0)
	視覚障害	6 (17.1)	14 (40.0)	10 (28.6)	5 (14.3)			35 (100.0)
	聴覚障害	13 (16.7)	33 (42.3)	25 (32.1)	6 (7.7)	1 (1.3)		78 (100.0)
	肢体不自由	16 (22.9)	13 (18.6)	24 (34.3)	12 (17.1)	3 (4.3)	2 (2.9)	70 (100.0)
	内部障害	3 (13.0)	7 (30.4)	5 (21.7)	2 (8.7)	5 (21.7)	1 (4.3)	23 (100.0)
	知的障害	57 (34.8)	59 (36.0)	30 (18.3)	8 (4.9)	4 (2.4)	6 (3.7)	164 (100.0)
	精神障害	9 (17.6)	14 (27.5)	11 (21.6)	10 (19.6)	7 (13.7)		51 (100.0)

		満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満足	不満足	無回答	計
d 収入や経済生活	全体	87 (20.7)	120 (28.5)	102 (24.2)	78 (18.5)	24 (5.7)	10 (2.4)	421 (100.0)
	視覚障害	8 (22.9)	15 (42.9)	5 (14.3)	5 (14.3)	2 (5.7)		35 (100.0)
	聴覚障害	7 (9.0)	23 (29.5)	28 (35.9)	16 (20.5)	4 (5.1)		78 (100.0)
	肢体不自由	13 (18.6)	24 (34.3)	16 (22.9)	12 (17.1)	4 (5.7)	1 (1.4)	70 (100.0)
	内部障害	3 (13.0)	4 (17.4)	6 (26.1)	7 (30.4)	2 (8.7)	1 (4.3)	23 (100.0)
	知的障害	49 (29.9)	48 (29.3)	33 (20.1)	17 (10.4)	9 (5.5)	8 (4.9)	164 (100.0)
	精神障害	7 (13.7)	6 (11.8)	14 (27.5)	21 (41.2)	3 (5.9)		51 (100.0)

問 31　東日本大震災についての自由記述分類

	被災体験		帰宅困難		情報通信		仕事への影響		復興支援、防災		家族関係		地域生活		計		対象者数	
視覚障害	4	11.4%	4	11.4%	1	2.9%	1	2.9%			1	2.9%	1	2.9%	12	34.3%	35	100.0%
聴覚障害	9	11.5%	3	3.8%	6	7.7%	7	9.0%	2	2.6%	1	1.3%	8	10.3%	36	46.2%	78	100.0%
肢体不自由	15	21.4%	3	4.3%			4	5.7%	4	5.7%	2	2.9%			28	40.0%	70	100.0%
内部障害	3	13.0%	2	8.7%			2	8.7%							7	30.4%	23	100.0%
知的障害	16	9.8%	6	3.7%	3	1.8%	9	5.5%	8	4.9%	3	1.8%	2	1.2%	47	28.7%	164	100.0%
精神障害	6	11.8%	2	3.9%			2	3.9%	2	3.9%	4	7.8%	1	2.0%	17	33.3%	51	100.0%

主な記載内容

○体験

・出先で会社からの連絡が伝わらなかった。（視覚障害）

・予定していた透析を受けられず不安だった。（内部障害）

・ガソリンが買えず、電車が止まり、通院が困難だった。（内部障害）

○体験（帰宅困難）

・交通機関がストップし、職場に泊まった。（聴覚障害　精神障害　他）

・案内情報がわからずいつもと違う交通機関で帰宅するのが大変だった（視覚障害）

○体験（情報通信）

・避難の誘導、アナウンスが聞こえず大変だった。（聴覚障害）

・計画停電など生活に密着した情報（テレビは字幕、ホームページは pdf 形式で音声化できず）が取りづらく苦労した。（視覚障害）

○仕事への影響

・職場の仕事が減り会社を辞めなければならなかったが、就労継続支援 B 型事業所で頑張り再就職できた。（知的障害）

・エレベータが止まり電動車いすを残し担いでもらい避難した。その後も計画停電でエレベータが使えず仕事を休まなければならなかった。（肢体不自由）

・節電で職場のエアコンの設定温度が上がり体調不良となり退職した。（肢体不自由）

○復興支援・防災

・ボランティアに行った。募金をした。等（各障害）

○家族

・家族が帰宅できず不安だった。（知的障害）

・離れて住んでいる両親と以前から連絡方法を打ち合せていたので当日夜にメールで安否確認できた（視覚障害）

○地域生活

・日頃から地域とのコミュニケーションが大切だと思うが、きっかけがつかめない、（聴覚障害、視覚障害）

（2）職業生活後期調査【第 3 回職業生活後期調査　追加募集を含まない 320 人の集計】

問１　性別

	男性	女性	計
全体	224 (70.0)	96 (30.0)	320 (100.0)
視覚障害	26 (61.9)	16 (38.1)	42 (100.0)
聴覚障害	40 (62.5)	24 (37.5)	64 (100.0)
肢体不自由	70 (75.3)	23 (24.7)	93 (100.0)
内部障害	26 (76.5)	8 (23.5)	34 (100.0)
知的障害	39 (67.2)	19 (32.8)	58 (100.0)
精神障害	23 (79.3)	6 (20.7)	29 (100.0)

問２　年齢

	40歳代	50歳代	60歳代	計
全体	128 (40.0)	185 (57.8)	7 (2.2)	320 (100.0)
視覚障害	16 (38.1)	26 (61.9)		42 (100.0)
聴覚障害	25 (39.1)	39 (60.9)		64 (100.0)
肢体不自由	34 (36.6)	52 (55.9)	7 (7.5)	93 (100.0)
内部障害	6 (17.6)	28 (82.4)		34 (100.0)
知的障害	32 (55.2)	26 (44.8)		58 (100.0)
精神障害	15 (51.7)	14 (48.3)		29 (100.0)

問４　家族構成（複数回答）

	配偶者	子ども	父親	母親	義父	義母	兄弟姉妹	祖父	祖母	子どもの配偶者	孫	その他	無回答	対象者
全体	131 (40.9)	102 (31.9)	96 (30.0)	171 (53.4)	17 (5.3)	27 (8.4)	130 (40.6)	2 (0.6)	2 (0.6)	7 (2.2)	8 (2.5)	11 (3.4)	18 (5.6)	320 (100.0)
視覚障害	17 (40.5)	12 (28.6)	21 (50.0)	25 (59.5)	3 (7.1)	4 (9.5)	17 (40.5)	1 (2.4)		1 (2.4)	1 (2.4)	1 (2.4)	3 (7.1)	42 (100.0)
聴覚障害	43 (67.2)	38 (59.4)	12 (18.8)	25 (39.1)	4 (6.3)	4 (6.3)	12 (18.8)			2 (3.1)	2 (3.1)	4 (6.3)	6 (9.4)	64 (100.0)
肢体不自由	47 (50.5)	32 (34.4)	22 (23.7)	42 (45.2)	5 (5.4)	10 (10.8)	30 (32.3)		1 (1.1)	2 (2.2)	1 (1.1)		2 (2.2)	93 (100.0)
内部障害	15 (44.1)	13 (38.2)	9 (26.5)	22 (64.7)	3 (8.8)	6 (17.6)	19 (55.9)			2 (5.9)	2 (5.9)	2 (5.9)	1 (2.9)	34 (100.0)
知的障害	2 (3.4)	2 (3.4)	22 (37.9)	41 (70.7)	2 (3.4)	2 (3.4)	38 (65.5)	1 (1.7)	1 (1.7)		2 (3.4)	4 (6.9)	4 (6.9)	58 (100.0)
精神障害	7 (24.1)	5 (17.2)	10 (34.5)	16 (55.2)		1 (3.4)	14 (48.3)						2 (6.9)	29 (100.0)

問５a　住環境

	自分・配偶者の家	配偶者以外の家	社員寮等	グループホーム等	その他	無回答	計
全体	204 (63.8)	88 (27.5)	4 (1.3)	18 (5.6)	1 (0.3)	5 (1.6)	320 (100.0)
視覚障害	26 (61.9)	16 (38.1)					42 (100.0)
聴覚障害	25 (39.1)	34 (53.1)		4 (6.3)		1 (1.6)	64 (100.0)
肢体不自由	67 (72.0)	20 (21.5)	3 (3.2)	1 (1.1)		2 (2.2)	93 (100.0)
内部障害	16 (47.1)	9 (26.5)		7 (20.6)		2 (5.9)	34 (100.0)
知的障害	45 (77.6)	6 (10.3)	1 (1.7)	6 (10.3)			58 (100.0)
精神障害	25 (86.2)	3 (10.3)			1 (3.4)		29 (100.0)

問５ｂ　独居

	一人暮らし	一人暮らしでない	無回答	計
全体	51 (17.2)	241 (81.4)	4 (1.4)	296 (100.0)
視覚障害	12 (29.3)	27 (65.9)	2 (4.9)	41 (100.0)
聴覚障害	9 (14.3)	54 (85.7)		63 (100.0)
肢体不自由	16 (17.2)	75 (80.6)	2 (2.2)	93 (100.0)
内部障害	7 (20.6)	27 (79.4)		34 (100.0)
知的障害	2 (4.9)	39 (95.1)		41 (100.0)
精神障害	5 (20.8)	19 (79.2)		24 (100.0)

問５ｃ　同居家族　（複数回答）

	配偶者	子ども	父親	母親	義父	義母	兄弟姉妹	祖父	祖母	子どもの配偶者	孫	その他	無回答	対象者
全体	121 (50.2)	75 (31.1)	56 (23.2)	102 (42.3)	1 (0.4)	4 (1.7)	24 (10.0)				2 (0.8)	4 (1.7)	6 (2.5)	241 (100.0)
視覚障害	15 (55.6)	12 (44.4)	10 (37.0)	10 (37.0)			2 (7.4)				1 (3.7)		1 (3.7)	27 (100.0)
聴覚障害	40 (74.1)	25 (46.3)	6 (11.1)	14 (25.9)	1 (1.9)	1 (1.9)	1 (1.9)					1 (1.9)	1 (1.9)	54 (100.0)
肢体不自由	42 (56.0)	27 (36.0)	13 (17.3)	26 (34.7)		3 (4.0)	4 (5.3)						2 (2.7)	75 (100.0)
内部障害	15 (55.6)	8 (29.6)	4 (14.8)	12 (44.4)			1 (3.7)					1 (3.7)		27 (100.0)
知的障害	2 (5.1)	1 (2.6)	16 (41.0)	29 (74.4)			12 (30.8)				1 (2.6)	2 (5.1)	2 (5.1)	39 (100.0)
精神障害	7 (36.8)	2 (10.5)	7 (36.8)	11 (57.9)			4 (21.1)							19 (100.0)

問８ライフイベント　（複数回答）

	結婚をした	離婚をした	子どもを生んだ／子どもが生まれた	引越をした	親元から離れて暮し始めた	自分が病気や事故で一カ月以上の入院をした	学校に通つたまたは卒業した	障害に関する年金を受給しはじめた	障害に関する年金の受給がなくなつた	自分の親が離婚をした	自分の親が仕事を辞めた	家族が病気や事故で一カ月以上の入院をした	家族が亡くなつた	該当する項目なし	無回答	対象者
全体	6 (1.9)	5 (1.6)	1 (0.3)	13 (4.1)		16 (5.0)	1 (0.3)	4 (1.3)	3 (0.9)		4 (1.3)	33 (10.3)	27 (8.4)	180 (56.3)	42 (13.1)	320 (100.0)
視覚障害	2 (4.8)	1 (2.4)							1 (2.4)			4 (9.5)	4 (9.5)	28 (66.7)	4 (9.5)	42 (100.0)
聴覚障害	3 (4.7)	3 (4.7)		3 (4.7)				1 (1.6)				8 (12.5)	4 (6.3)	38 (59.4)	7 (10.9)	64 (100.0)
肢体不自由		1 (1.1)		4 (4.3)		10 (10.8)	1 (1.1)	1 (1.1)			2 (2.2)	14 (15.1)	7 (7.5)	52 (55.9)	8 (8.6)	93 (100.0)
内部障害			1 (2.9)			5			2 (5.9)		1 (2.9)	2 (5.9)	4 (11.8)	17 (50.0)	4 (11.8)	34 (100.0)
知的障害				2 (3.4)				2 (3.4)			1 (1.7)	2 (3.4)	4 (6.9)	32 (55.2)	15 (25.9)	58 (100.0)
精神障害	1 (3.4)			4 (13.8)		1 (3.4)						3 (10.3)	4 (13.8)	13 (44.8)	4 (13.8)	29 (100.0)

問９　就業形態

	正社員	パート・アルバイト	派遣	自営	内職	就労継続支援事業所A型	就労継続支援事業所B型等	仕事をしていない	その他	無回答	計
全体	170 (53.1)	92 (28.8)	1 (0.3)	14 (4.4)		6 (1.9)	12 (3.8)	19 (5.9)	1 (0.3)	5 (1.6)	320 (100.0)
視覚障害	24 (57.1)	6 (14.3)		11 (26.2)				1 (2.4)			42 (100.0)
聴覚障害	37 (57.8)	19 (29.7)		1 (1.6)		1 (1.6)	1 (1.6)	2 (3.1)	1 (1.6)	2 (3.1)	64 (100.0)
肢体不自由	61 (65.6)	13 (14.0)	1 (1.1)			2 (2.2)	3 (3.2)	13 (14.0)			93 (100.0)
内部障害	25 (73.5)	6 (17.6)		2 (5.9)				1 (2.9)			34 (100.0)
知的障害	19 (32.8)	27 (46.6)				3 (5.2)	7 (12.1)	1 (1.7)		1 (1.7)	58 (100.0)
精神障害	4 (13.8)	21 (72.4)					1 (3.4)	1 (3.4)		2 (6.9)	29 (100.0)

問 10　仕事内容

	ものを作る仕事	ものを売る仕事	事務の仕事	ものを教える仕事	医療や福祉に関わる仕事	人を相手にするサービス業	清掃やクリーニングなどのサービス業	その他	無回答	計
全体	66 (23.3)	9 (3.2)	92 (32.5)	14 (4.9)	37 (13.1)	4 (1.4)	35 (12.4)	22 (7.8)	4 (1.4)	283 (100.0)
視覚障害			4 (9.8)	10 (24.4)	26 (63.4)				1 (2.4)	41 (100.0)
聴覚障害	23 (39.7)	1 (1.7)	19 (32.8)	2 (3.4)	5 (8.6)		1 (1.7)	6 (10.3)	1 (1.7)	58 (100.0)
肢体不自由	21 (27.3)		41 (53.2)	1 (1.3)	3 (3.9)	2 (2.6)	2 (2.6)	6 (7.8)	1 (1.3)	77 (100.0)
内部障害	3 (9.1)	2 (6.1)	20 (60.6)	1 (3.0)	2 (6.1)		4 (12.1)	1 (3.0)		33 (100.0)
知的障害	15 (30.6)	3 (6.1)	1 (2.0)		1 (2.0)	1 (2.0)	22 (44.9)	5 (10.2)	1 (2.0)	49 (100.0)
精神障害	4 (16.0)	3 (12.0)	7 (28.0)			1 (4.0)	6 (24.0)	4 (16.0)		25 (100.0)

問 11 a　勤務時間

	20時間未満	20時間以上30時間未満	30時間以上	無回答	計
全体	15 (5.3)	46 (16.3)	211 (74.6)	11 (3.9)	283 (100.0)
視覚障害	2 (4.9)	2 (4.9)	37 (90.2)		41 (100.0)
聴覚障害	2 (3.4)	8 (13.8)	46 (79.3)	2 (3.4)	58 (100.0)
肢体不自由	2 (2.6)	7 (9.1)	66 (85.7)	2 (2.6)	77 (100.0)
内部障害	1 (3.0)	6 (18.2)	25 (75.8)	1 (3.0)	33 (100.0)
知的障害	5 (10.2)	15 (30.6)	24 (49.0)	5 (10.2)	49 (100.0)
精神障害	3 (12.0)	8 (32.0)	13 (52.0)	1 (4.0)	25 (100.0)

問 11 b　休日

	1日	2日	3日	4日以上	不定期	無回答	計
全体	28 (9.9)	189 (66.8)	14 (4.9)	33 (11.7)	10 (3.5)	9 (3.2)	283 (100.0)
視覚障害	11 (26.8)	21 (51.2)	2 (4.9)	5 (12.2)	1 (2.4)	1 (2.4)	41 (100.0)
聴覚障害	6 (10.3)	37 (63.8)	3 (5.2)	8 (13.8)	2 (3.4)	2 (3.4)	58 (100.0)
肢体不自由	1 (1.3)	63 (81.8)	3 (3.9)	5 (6.5)	3 (3.9)	2 (2.6)	77 (100.0)
内部障害	2 (6.1)	22 (66.7)		5 (15.2)	3 (9.1)	1 (3.0)	33 (100.0)
知的障害	5 (10.2)	32 (65.3)	2 (4.1)	7 (14.3)		3 (6.1)	49 (100.0)
精神障害	3 (12.0)	14 (56.0)	4 (16.0)	3 (12.0)	1 (4.0)		25 (100.0)

問 11 c　1ヶ月当たり給与区分

	7万円未満	7～13万円	13～25万円	26～39万円	40万円以上	無回答	計
全体	21 (7.4)	74 (26.1)	105 (37.1)	65 (23.0)	7 (2.5)	11 (3.9)	283 (100.0)
視覚障害	4 (9.8)	4 (9.8)	15 (36.6)	15 (36.6)	1 (2.4)	2 (4.9)	41 (100.0)
聴覚障害	3 (5.2)	9 (15.5)	31 (53.4)	12 (20.7)	2 (3.4)	1 (1.7)	58 (100.0)
肢体不自由	4 (5.2)	6 (7.8)	39 (50.6)	24 (31.2)	2 (2.6)	2 (2.6)	77 (100.0)
内部障害	2 (6.1)	5 (15.2)	12 (36.4)	11 (33.3)	2 (6.1)	1 (3.0)	33 (100.0)
知的障害	7 (14.3)	31 (63.3)	6 (12.2)			5 (10.2)	49 (100.0)
精神障害	1 (4.0)	19 (76.0)	2 (8.0)	3 (12.0)			25 (100.0)

問 11 d　年間賞与区分

	なし	10万円未満	10～30万円	30～50万円	50～100万円	100万円以上	無回答	計
全体	71 (25.1)	41 (14.5)	40 (14.1)	25 (8.8)	61 (21.6)	38 (13.4)	7 (2.5)	283 (100.0)
視覚障害	16 (39.0)	1 (2.4)	2 (4.9)	1 (2.4)	11 (26.8)	8 (19.5)	2 (4.9)	41 (100.0)
聴覚障害	9 (15.5)	4 (6.9)	12 (20.7)	10 (17.2)	14 (24.1)	8 (13.8)	1 (1.7)	58 (100.0)
肢体不自由	11 (14.3)	6 (7.8)	15 (19.5)	9 (11.7)	21 (27.3)	14 (18.2)	1 (1.3)	77 (100.0)
内部障害	7 (21.2)	1 (3.0)	4 (12.1)	4 (12.1)	11 (33.3)	6 (18.2)		33 (100.0)
知的障害	14 (28.6)	23 (46.9)	6 (12.2)		2 (4.1)	1 (2.0)	3 (6.1)	49 (100.0)
精神障害	14 (56.0)	6 (24.0)	1 (4.0)	1 (4.0)	2 (8.0)	1 (4.0)		25 (100.0)

問 12 a　通勤手段　（複数回答）

	徒歩	自転車	原付/バイク	自動車	自動車(他者運転)	公共交通機関	その他	無回答	対象者
全体	63 (22.3)	37 (13.1)	9 (3.2)	113 (39.9)	12 (4.2)	118 (41.7)	11 (3.9)	3 (1.1)	283 (100.0)
視覚障害	26 (63.4)	3 (7.3)			3 (7.3)	21 (51.2)	7 (17.1)		41 (100.0)
聴覚障害	12 (20.7)	8 (13.8)	5 (8.6)	29 (50.0)	1 (1.7)	23 (39.7)	1 (1.7)	1 (1.7)	58 (100.0)
肢体不自由	6 (7.8)	3 (3.9)		53 (68.8)	6 (7.8)	20 (26.0)	1 (1.3)	1 (1.3)	77 (100.0)
内部障害	3 (9.1)	4 (12.1)	1 (3.0)	19 (57.6)		11 (33.3)	1 (3.0)		33 (100.0)
知的障害	10 (20.4)	13 (26.5)		1 (2.0)	2 (4.1)	34 (69.4)	1 (2.0)	1 (2.0)	49 (100.0)
精神障害	6 (24.0)	6 (24.0)	3 (12.0)	11 (44.0)		9 (36.0)			25 (100.0)

問 12 b　通勤時間

	30分未満	30分～1時間	1時間～1時間30分	1時間30分～2時間	2時間以上	無回答	計
全体	122 (43.1)	110 (38.9)	36 (12.7)	5 (1.8)		10 (3.5)	283 (100.0)
視覚障害	19 (46.3)	12 (29.3)	3 (7.3)	2 (4.9)		5 (12.2)	41 (100.0)
聴覚障害	27 (46.6)	21 (36.2)	8 (13.8)	1 (1.7)		1 (1.7)	58 (100.0)
肢体不自由	36 (46.8)	30 (39.0)	9 (11.7)	1 (1.3)		1 (1.3)	77 (100.0)
内部障害	19 (57.6)	11 (33.3)	3 (9.1)				33 (100.0)
知的障害	10 (20.4)	27 (55.1)	9 (18.4)	1 (2.0)		2 (4.1)	49 (100.0)
精神障害	11 (44.0)	9 (36.0)	4 (16.0)			1 (4.0)	25 (100.0)

問 13　従業員規模

	1～9人	10人～49人	50人～299人	300人～999人	1000人以上	わからない	無回答	計
全体	38 (13.4)	75 (26.5)	74 (26.1)	36 (12.7)	46 (16.3)	9 (3.2)	5 (1.8)	283 (100.0)
視覚障害	16 (39.0)	6 (14.6)	6 (14.6)	5 (12.2)	7 (17.1)		1 (2.4)	41 (100.0)
聴覚障害	4 (6.9)	14 (24.1)	13 (22.4)	11 (19.0)	15 (25.9)		1 (1.7)	58 (100.0)
肢体不自由		22 (28.6)	28 (36.4)	10 (13.0)	14 (18.2)	2 (2.6)	1 (1.3)	77 (100.0)
内部障害	8 (24.2)	5 (15.2)	8 (24.2)	8 (24.2)	4 (12.1)			33 (100.0)
知的障害	10 (20.4)	19 (38.8)	12 (24.5)	1 (2.0)		5 (10.2)	2 (4.1)	49 (100.0)
精神障害		9 (36.0)	7 (28.0)	1 (4.0)	6 (24.0)	2 (8.0)		25 (100.0)

問 14　現職就職年齢

	20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55歳以上	無回答	計
全体	31 (11.0)	37 (13.1)	33 (11.7)	27 (9.5)	36 (12.7)	33 (11.7)	41 (14.5)	22 (7.8)	5 (1.8)	18 (6.4)	283 (100.0)
視覚障害	1 (2.4)	8 (19.5)	6 (14.6)	8 (19.5)	6 (14.6)	3 (7.3)	4 (9.8)	2 (4.9)	1 (2.4)	2 (4.9)	41 (100.0)
聴覚障害	10 (17.2)	10 (17.2)	6 (10.3)	2 (3.4)	6 (10.3)	7 (12.1)	9 (15.5)	2 (3.4)	2 (3.4)	4 (6.9)	58 (100.0)
肢体不自由	6 (7.8)	10 (13.0)	14 (18.2)	9 (11.7)	9 (11.7)	6 (7.8)	13 (16.9)	7 (9.1)	1 (1.3)	2 (2.6)	77 (100.0)
内部障害	4 (12.1)	3 (9.1)	3 (9.1)	4 (12.1)	4 (12.1)	4 (12.1)	5 (15.2)	5 (15.2)		1 (3.0)	33 (100.0)
知的障害	9 (18.4)	4 (8.2)	4 (8.2)	3 (6.1)	7 (14.3)	7 (14.3)	6 (12.2)	2 (4.1)		7 (14.3)	49 (100.0)
精神障害	1 (4.0)	2 (8.0)		1 (4.0)	4 (16.0)	6 (24.0)	4 (16.0)	4 (16.0)	1 (4.0)	2 (8.0)	25 (100.0)

問 15　障害内容の説明

	ほとんどの人に説明	一部の人に説明	説明していない	わからない	無回答	計
全体	183 (64.7)	72 (25.4)	11 (3.9)	6 (2.1)	11 (3.9)	283 (100.0)
視覚障害	25 (61.0)	8 (19.5)	4 (9.8)		4 (9.8)	41 (100.0)
聴覚障害	42 (72.4)	12 (20.7)	2 (3.4)		2 (3.4)	58 (100.0)
肢体不自由	45 (58.4)	23 (29.9)	3 (3.9)	4 (5.2)	2 (2.6)	77 (100.0)
内部障害	27 (81.8)	6 (18.2)				33 (100.0)
知的障害	34 (69.4)	9 (18.4)	1 (2.0)	2 (4.1)	3 (6.1)	49 (100.0)
精神障害	10 (40.0)	14 (56.0)	1 (4.0)			25 (100.0)

問 16　仕事満足度

		満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満足	不満足	無回答	計
a仕事の内容	全体	86 (30.4)	110 (38.9)	61 (21.6)	13 (4.6)	7 (2.5)	6 (2.1)	283 (100.0)
	視覚障害	16 (39.0)	13 (31.7)	8 (19.5)	2 (4.9)		2 (4.9)	41 (100.0)
	聴覚障害	7 (12.1)	27 (46.6)	19 (32.8)	4 (6.9)		1 (1.7)	58 (100.0)
	肢体不自由	24 (31.2)	21 (27.3)	23 (29.9)	2 (2.6)	6 (7.8)	1 (1.3)	77 (100.0)
	内部障害	8 (24.2)	20 (60.6)	3 (9.1)	2 (6.1)			33 (100.0)
	知的障害	27 (55.1)	16 (32.7)	3 (6.1)		1 (2.0)	2 (4.1)	49 (100.0)
	精神障害	4 (16.0)	13 (52.0)	5 (20.0)	3 (12.0)			25 (100.0)
		満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満足	不満足	無回答	計
b給料や待遇	全体	47 (16.6)	88 (31.1)	61 (21.6)	53 (18.7)	22 (7.8)	12 (4.2)	283 (100.0)
	視覚障害	6 (14.6)	18 (43.9)	7 (17.1)	5 (12.2)	1 (2.4)	4 (9.8)	41 (100.0)
	聴覚障害	4 (6.9)	20 (34.5)	12 (20.7)	16 (27.6)	5 (8.6)	1 (1.7)	58 (100.0)
	肢体不自由	12 (15.6)	18 (23.4)	17 (22.1)	16 (20.8)	12 (15.6)	2 (2.6)	77 (100.0)
	内部障害	2 (6.1)	11 (33.3)	10 (30.3)	10 (30.3)			33 (100.0)
	知的障害	21 (42.9)	13 (26.5)	7 (14.3)	2 (4.1)	1 (2.0)	5 (10.2)	49 (100.0)
	精神障害	2 (8.0)	8 (32.0)	8 (32.0)	4 (16.0)	3 (12.0)		25 (100.0)
		満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満足	不満足	無回答	計
c職場の人間関係	全体	89 (31.4)	67 (23.7)	29 (10.2)	16 (5.7)	15 (5.3)	67 (23.7)	283 (100.0)
	視覚障害	14 (34.1)	4 (9.8)		1 (2.4)	6 (14.6)	16 (39.0)	41 (100.0)
	聴覚障害	20 (34.5)	22 (37.9)	8 (13.8)	4 (6.9)	1 (1.7)	3 (5.2)	58 (100.0)
	肢体不自由	25 (32.5)	16 (20.8)	11 (14.3)	6 (7.8)	3 (3.9)	16 (20.8)	77 (100.0)
	内部障害	14 (42.4)	11 (33.3)	5 (15.2)			3 (9.1)	33 (100.0)
	知的障害	10 (20.4)	9 (18.4)	4 (8.2)		5 (10.2)	21 (42.9)	49 (100.0)
	精神障害	6 (24.0)	5 (20.0)	1 (4.0)	5 (20.0)		8 (32.0)	25 (100.0)
		満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満足	不満足	無回答	計
d職場の環境	全体	69 (24.4)	106 (37.5)	62 (21.9)	24 (8.5)	8 (2.8)	14 (4.9)	283 (100.0)
	視覚障害	13 (31.7)	17 (41.5)	6 (14.6)		1 (2.4)	4 (9.8)	41 (100.0)
	聴覚障害	3 (5.2)	25 (43.1)	21 (36.2)	6 (10.3)	2 (3.4)	1 (1.7)	58 (100.0)
	肢体不自由	22 (28.6)	29 (37.7)	13 (16.9)	9 (11.7)	2 (2.6)	2 (2.6)	77 (100.0)
	内部障害	5 (15.2)	14 (42.4)	10 (30.3)	4 (12.1)			33 (100.0)
	知的障害	20 (40.8)	14 (28.6)	6 (12.2)	1 (2.0)	1 (2.0)	7 (14.3)	49 (100.0)
	精神障害	6 (24.0)	7 (28.0)	6 (24.0)	4 (16.0)	2 (8.0)		25 (100.0)

問 17　a 定年退職制度の有無

	決まっている	決まっていない	無回答	計
全体	196 (69.3)	77 (27.2)	10 (3.5)	283 (100.0)
視覚障害	23 (56.1)	16 (39.0)	2 (4.9)	41 (100.0)
聴覚障害	41 (70.7)	13 (22.4)	4 (6.9)	58 (100.0)
肢体不自由	63 (81.8)	13 (16.9)	1 (1.3)	77 (100.0)
内部障害	25 (75.8)	8 (24.2)		33 (100.0)
知的障害	31 (63.3)	16 (32.7)	2 (4.1)	49 (100.0)
精神障害	13 (52.0)	11 (44.0)	1 (4.0)	25 (100.0)

問 17　b 定年退職制度のある場合の年齢

	～59歳	60歳	61～64歳	65歳	66歳以上	無回答	計
全体	12 (6.1)	66 (33.7)	99 (50.5)	2 (1.0)	12 (6.1)	5 (2.6)	196 (100.0)
視覚障害		4 (17.4)	4 (17.4)	12 (52.2)		3 (13.0)	23 (100.0)
聴覚障害		17 (41.5)		22 (53.7)	1 (2.4)	1 (2.4)	41 (100.0)
肢体不自由	1 (1.6)	22 (34.9)	3 (4.8)	34 (54.0)	2 (3.2)	1 (1.6)	63 (100.0)
内部障害		6 (24.0)	2 (8.0)	15 (60.0)		2 (8.0)	25 (100.0)
知的障害	1 (3.2)	13 (41.9)	1 (3.2)	11 (35.5)		5 (16.1)	31 (100.0)
精神障害		4 (30.8)	2 (15.4)	5 (38.5)	2 (15.4)		13 (100.0)

問 17 c　定年退職制度についての自分の希望

	定年前にやめたい	定年まで	定年以降も続けたい	その他	無回答	計
全体	60 (30.6)	72 (36.7)	20 (10.2)	6 (3.1)	38 (19.4)	196 (100.0)
視覚障害	10 (43.5)	9 (39.1)	2 (8.7)		2 (8.7)	23 (100.0)
聴覚障害	13 (31.7)	13 (31.7)	6 (14.6)	2 (4.9)	7 (17.1)	41 (100.0)
肢体不自由	22 (34.9)	26 (41.3)	5 (7.9)		10 (15.9)	63 (100.0)
内部障害	6 (24.0)	11 (44.0)	3 (12.0)		5 (20.0)	25 (100.0)
知的障害	4 (12.9)	12 (38.7)	2 (6.5)	3 (9.7)	10 (32.3)	31 (100.0)
精神障害	5 (38.5)	1 (7.7)	2 (15.4)	1 (7.7)	4 (30.8)	13 (100.0)

問 17 d 定年退職制度がない人の働き続けたい年齢

	～59歳	60歳	61～64歳	65歳	66歳以上	生涯現役	無回答	計
全体	8 (10.4)	17 (22.1)	5 (6.5)	28 (36.4)	15 (19.5)	2 (2.6)	2 (2.6)	77 (100.0)
視覚障害	1 (6.3)		1 (6.3)	3 (18.8)	10 (62.5)	1 (6.3)		16 (100.0)
聴覚障害	5 (38.5)	2 (15.4)	2 (15.4)	3 (23.1)			1 (7.7)	13 (100.0)
肢体不自由	1 (7.7)	2 (15.4)	2 (15.4)	7 (53.8)	1 (7.7)			13 (100.0)
内部障害		1 (12.5)		4 (50.0)	3 (37.5)			8 (100.0)
知的障害	1 (6.3)	9 (56.3)		4 (25.0)	1 (6.3)	1 (6.3)		16 (100.0)
精神障害		3 (27.3)		7 (63.6)			1 (9.1)	11 (100.0)

問 17 e 仕事の継続意思

	今の仕事を続けたい	別の仕事をしたい	わからない	無回答	計
全体	180 (63.6)	29 (10.2)	43 (15.2)	31 (11.0)	283 (100.0)
視覚障害	27 (65.9)	2 (4.9)	6 (14.6)	6 (14.6)	41 (100.0)
聴覚障害	33 (56.9)	6 (10.3)	12 (20.7)	7 (12.1)	58 (100.0)
肢体不自由	44 (57.1)	8 (10.4)	15 (19.5)	10 (13.0)	77 (100.0)
内部障害	24 (72.7)	3 (9.1)	4 (12.1)	2 (6.1)	33 (100.0)
知的障害	38 (77.6)	6 (12.2)	2 (4.1)	3 (6.1)	49 (100.0)
精神障害	14 (56.0)	4 (16.0)	4 (16.0)	3 (12.0)	25 (100.0)

問 18　仕事出来事　（複数回答）

障害	配置転換があった	上司が異動した	まわりで直接仕事などを援助してくれる人がいなくなった	昇進した	給料が上がった	給料が下がった	正社員になった	休職をした	転職をした	勤めていた会社が倒産した	該当する項目なし	無回答	対象者
全体	48 (17.0)	90 (31.8)	16 (5.7)	13 (4.6)	52 (18.4)	41 (14.5)	1 (0.4)	11 (3.9)	19 (6.7)	1 (0.4)	76 (26.9)	29 (10.2)	283 (100.0)
視覚障害	5 (12.2)	10 (24.4)	2 (4.9)	1 (2.4)	4 (9.8)	7 (17.1)		1 (2.4)	3 (7.3)		16 (39.0)	2 (4.9)	41 (100.0)
聴覚障害	13 (22.4)	15 (25.9)	4 (6.9)	1 (1.7)	9 (15.5)	3 (5.2)	1 (1.7)	2 (3.4)	5 (8.6)	1 (1.7)	22 (37.9)	7 (12.1)	58 (100.0)
肢体不自由	12 (15.6)	31 (40.3)	3 (3.9)	8 (10.4)	14 (18.2)	19 (24.7)		4 (5.2)	3 (3.9)		19 (24.7)	4 (5.2)	77 (100.0)
内部障害	5 (15.2)	12 (36.4)	3 (9.1)	2 (6.1)	6 (18.2)	7 (21.2)		1 (3.0)			9 (27.3)	2 (6.1)	33 (100.0)
知的障害	9 (18.4)	12 (24.5)	2 (4.1)		16 (32.7)	4 (8.2)			3 (6.1)		1 (2.0)	14 (28.6)	49 (100.0)
精神障害	4 (16.0)	10 (40.0)	2 (8.0)	1 (4.0)	3 (12.0)	1 (4.0)		3 (12.0)	5 (20.0)		9 (36.0)		25 (100.0)

問 19a　非就労　過去 2 年間での仕事の経験の有無

	就業経験あり	就業経験なし	無回答	計
全体	20 (62.5)	9 (28.1)	3 (9.4)	32 (100.0)
視覚障害		1 (100.0)		1 (100.0)
聴覚障害	3 (75.0)	1 (25.0)		4 (100.0)
肢体不自由	11 (68.8)	5 (31.3)		16 (100.0)
内部障害	1 (100.0)			1 (100.0)
知的障害	5 (62.5)		3 (37.5)	8 (100.0)
精神障害		2 (100.0)		2 (100.0)

問 19b　非就労　離職理由

	事業主の都合	定年退職	定年後の再雇用期間満了	契約期間満了	休職期間満了	自分の都合	その他	わからない	計
全体	4 (20.0)			4 (20.0)		12 (60.0)			20 (100.0)
視覚障害									
聴覚障害	1 (33.3)					2 (66.7)			3 (100.0)
肢体不自由	2 (18.2)			2 (18.2)		7 (63.6)			11 (100.0)
内部障害						1 (100.0)			1 (100.0)
知的障害	1 (20.0)			2 (40.0)		2 (40.0)			5 (100.0)
精神障害									

問 19c　非就労　自己都合の理由（複数回答）

	仕事内容が合わなかった	賃金、労働条件に不満があった	職場の雰囲気・人間関係	体調不良	体力的にきつくなった	結婚	出産	家庭等の事情	その他	わからない	無回答	対象者
全体	2 (16.7)		2 (16.7)	6 (50.0)	7 (58.3)			1 (8.3)	1 (8.3)		1 (8.3)	12 (100.0)
視覚障害												
聴覚障害			1 (50.0)								1 (50.0)	2 (100.0)
肢体不自由	2 (28.6)			4 (57.1)	5 (71.4)			1 (14.3)	1 (14.3)			7 (100.0)
内部障害			1 (100.0)	1 (100.0)	1 (100.0)							1 (100.0)
知的障害				1 (50.0)	1 (50.0)							2 (100.0)
精神障害												

問 20a 就職活動の考え

	すぐに仕事につきたい	すぐにではないが仕事につきたい	時間をかけて仕事を探したい	福祉工場や作業所で働きたい	仕事にはつきたくない	その他	無回答	計
全体	7 (21.9)	5 (15.6)	9 (28.1)	1 (3.1)	4 (12.5)	2 (6.3)	4 (12.5)	32 (100.0)
視覚障害			1 (100.0)					1 (100.0)
聴覚障害	2 (50.0)				1 (25.0)		1 (25.0)	4 (100.0)
肢体不自由	4 (25.0)	4 (25.0)	4 (25.0)	1 (6.3)	2 (12.5)	1 (6.3)		16 (100.0)
内部障害	1 (100.0)							1 (100.0)
知的障害		1 (12.5)	4 (50.0)				3 (37.5)	8 (100.0)
精神障害					1 (50.0)	1 (50.0)		2 (100.0)

問 20b-1 働き方の希望 （複数回答）

	正社員	非正規	派遣社員	自営など	内職	就労継続A	就労継続B	その他	無回答	計
全体	13 (61.9)	6 (28.6)	1 (4.8)	1 (4.8)		4 (19.0)	3 (14.3)	1 (4.8)	1 (4.8)	21 (100.0)
視覚障害	1 (100.0)									1 (100.0)
聴覚障害	2 (100.0)			1 (50.0)						2 (100.0)
肢体不自由	7 (58.3)	4 (33.3)	1 (8.3)			2 (16.7)	1 (8.3)		1 (8.3)	12 (100.0)
内部障害	1 (100.0)	1 (100.0)				1 (100.0)				1 (100.0)
知的障害	2 (40.0)	1 (20.0)				1 (20.0)	2 (40.0)	1 (20.0)		5 (100.0)
精神障害										

問 20b-2 求職活動の相談先 （複数回答）

	配偶者	子ども	父親	母親	兄弟姉妹	上司 同僚	知人 友人	障害者相談員	ハローワーク	地域障害者職業センター	就業・生活支援センター	相談支援事業者	病院 診療所	保健所 福祉事務所	学校	その他	相談利用なし	無回答	対象者
全体	3 (9.4)	1 (3.1)	3 (9.4)	4 (12.5)	3 (9.4)	1 (3.1)	8 (25.0)	4 (12.5)	17 (53.1)	4 (12.5)	8 (25.0)	2 (6.3)	1 (3.1)		2 (6.3)	1 (3.1)		6 (18.8)	32 (100.0)
視覚障害							1 (100.0)								1 (100.0)				1 (100.0)
聴覚障害							1 (25.0)		2 (50.0)									2 (50.0)	4 (100.0)
肢体不自由	3 (18.8)	1 (6.3)	2 (12.5)	2 (12.5)	2 (12.5)	1 (6.3)	6 (37.5)	3 (18.8)	13 (81.3)	2 (12.5)	3 (18.8)	1 (6.3)	1 (6.3)						16 (100.0)
内部障害								1 (100.0)	1 (100.0)	1 (100.0)									1 (100.0)
知的障害			1 (12.5)	1 (12.5)	1 (12.5)				1 (12.5)	1 (12.5)	4 (50.0)	1 (12.5)				1 (12.5)		3 (37.5)	8 (100.0)
精神障害				1 (50.0)							1 (50.0)				1 (50.0)			1 (50.0)	2 (100.0)

問 21　仕事関連相談先　（複数回答）

	配偶者	子ども	父親	母親	兄弟姉妹	上司同僚	知人友人	障害者相談員	ハローワーク	地域障害者職業センター	就業・生活支援センター	相談支援事業者	病院診療所	保健所福祉事務所	学校	その他	相談利用なし	無回答	対象者数
全体	63 (19.7)	8 (2.5)	26 (8.1)	55 (17.2)	23 (7.2)	104 (32.5)	64 (20.0)	12 (3.8)	28 (8.8)	8 (2.5)	24 (7.5)	5 (1.6)	24 (7.5)	1 (0.3)		13 (4.1)	73 (22.8)	23 (7.2)	320 (100.0)
視覚障害	8 (19.0)	1 (2.4)	2 (4.8)	5 (11.9)	3 (7.1)	19 (45.2)	13 (31.0)	(0.0)	1 (2.4)			1 (2.4)	1 (2.4)			1 (2.4)	14 (33.3)	3 (7.1)	42 (100.0)
聴覚障害	17 (26.6)		1 (1.6)	6 (9.4)	2 (3.1)	24 (37.5)	18 (28.1)	5 (7.8)	8 (12.5)		1 (1.6)		2 (3.1)			3 (4.7)	12 (18.8)	5 (7.8)	64 (100.0)
肢体不自由	22 (23.7)	6 (6.5)	7 (7.5)	11 (11.8)	6 (6.5)	30 (32.3)	15 (16.1)	3 (3.2)	11 (11.8)	1 (1.1)	4 (4.3)		5 (5.4)				25 (26.9)	5 (5.4)	93 (100.0)
内部障害	10 (29.4)		3 (8.8)	5 (14.7)	1 (2.9)	14 (41.2)	11 (32.4)		2 (5.9)								9 (26.5)		34 (100.0)
知的障害			8 (13.8)	18 (31.0)	4 (6.9)	9 (15.5)	1 (1.7)	3 (5.2)	3 (5.2)	4 (6.9)	10 (17.2)	3 (5.2)				5 (8.6)	10 (17.2)	9 (15.5)	58 (100.0)
精神障害	6 (20.7)	1 (3.4)	5 (17.2)	10 (34.5)	7 (24.1)	8 (27.6)	6 (20.7)	1 (3.4)	3 (10.3)	3 (10.3)	9 (31.0)	1 (3.4)	16 (55.2)	1 (3.4)		4 (13.8)	3 (10.3)	1 (3.4)	29 (100.0)

問 22　障害基礎年金

	受給している	受給していない	わからない	無回答	計
全体	238 (74.4)	71 (22.2)	2 (0.6)	9 (2.8)	320 (100.0)
視覚障害	29 (69.0)	12 (28.6)		1 (2.4)	42 (100.0)
聴覚障害	57 (89.1)	5 (7.8)		2 (3.1)	64 (100.0)
肢体不自由	63 (67.7)	24 (25.8)	1 (1.1)	5 (5.4)	93 (100.0)
内部障害	22 (64.7)	12 (35.3)			34 (100.0)
知的障害	48 (82.8)	8 (13.8)	1 (1.7)	1 (1.7)	58 (100.0)
精神障害	19 (65.5)	10 (34.5)			29 (100.0)

問 23　生計の収入源

	「年金」だけ	「家族などの支援」だけ	「働いて得る収入」だけ	「年金」と「家族などの支援」	「年金」と「働いて得る収入」	「家族などの支援」と「働いて得る収入」	「年金」と「家族などの支援」と「働いて得る収入」	その他	わからない	無回答	計
全体	5 (1.6)	3 (0.9)	65 (20.3)	12 (3.8)	151 (47.2)	18 (5.6)	40 (12.5)	11 (3.4)	2 (0.6)	13 (4.1)	320 (100.0)
視覚障害	1 (2.4)		13 (31.0)	1 (2.4)	18 (42.9)	3 (7.1)	5 (11.9)			1 (2.4)	42 (100.0)
聴覚障害			13 (20.3)	4 (6.3)	35 (54.7)		9 (14.1)			3 (4.7)	64 (100.0)
肢体不自由	3 (3.2)	1 (1.1)	16 (17.2)	4 (4.3)	41 (44.1)	8 (8.6)	11 (11.8)	4 (4.3)		5 (5.4)	93 (100.0)
内部障害	1 (2.9)		10 (29.4)	1 (2.9)	17 (50.0)	1 (2.9)	4 (11.8)				34 (100.0)
知的障害		2 (3.4)	8 (13.8)	1 (1.7)	25 (43.1)	4 (6.9)	8 (13.8)	4 (6.9)	2 (3.4)	4 (6.9)	58 (100.0)
精神障害			5 (17.2)	1 (3.4)	15 (51.7)	2 (6.9)	3 (10.3)	3 (10.3)			29 (100.0)

問 24　経済面での相談先　（複数回答）

	配偶者	子ども	父親	母親	兄弟姉妹	上司同僚	知人友人	障害者相談員	ハローワーク	地域障害者職業センター	就業・生活支援センター	相談支援事業者	病院診療所	保健所福祉事務所	学校	その他	相談利用なし	無回答	対象者数
全体	58 (18.1)	5 (1.6)	23 (7.2)	47 (14.7)	26 (8.1)	8 (2.5)	19 (5.9)	7 (2.2)	7 (2.2)	1 (0.3)	9 (2.8)	3 (0.9)	3 (0.9)	3 (0.9)		8 (2.5)	155 (48.4)	27 (8.4)	320 (100.0)
視覚障害	7 (16.7)		1 (2.4)	3 (7.1)	2 (4.8)		2	1								1 (2.4)	26 (61.9)	5 (11.9)	42 (100.0)
聴覚障害	22 (34.4)	3 (4.7)	6 (9.4)	9 (14.1)	6 (9.4)	1 (1.6)	7 (10.9)	1 (1.6)	2 (3.1)							2 (3.1)	24 (37.5)	4 (6.3)	64 (100.0)
肢体不自由	14 (15.1)	1 (1.1)	6 (6.5)	11 (11.8)	9 (9.7)	3 (3.2)	7 (7.5)	2 (2.2)	3 (3.2)	1 (1.1)	1 (1.1)	1 (1.1)	1 (1.1)	3 (3.2)			55 (59.1)	5 (5.4)	93 (100.0)
内部障害	9 (26.5)	1 (2.9)	2 (5.9)	5 (14.7)	1 (2.9)		2 (5.9)										19 (55.9)	1 (2.9)	34 (100.0)
知的障害			5 (8.6)	14 (24.1)	3 (5.2)	3 (5.2)	1 (1.7)	2 (3.4)	2 (3.4)		3 (5.2)	2 (3.4)				4 (6.9)	21 (36.2)	10 (17.2)	58 (100.0)
精神障害	6 (20.7)		3 (10.3)	5 (17.2)	5 (17.2)	1 (3.4)		1 (3.4)			5 (17.2)		2 (6.9)			1 (3.4)	10 (34.5)	2 (6.9)	29 (100.0)

問 25　仕事をする上での重要なこと

		重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	どちらかといえば重要でない	重要でない	無回答	計
a 賃金や給料	全体	211 (65.9)	74 (23.1)	20 (6.3)	4 (1.3)	2 (0.6)	9 (2.8)	320 (100.0)
	視覚障害	24 (57.1)	13 (31.0)	1 (2.4)			4 (9.5)	42 (100.0)
	聴覚障害	39 (60.9)	18 (28.1)	6 (9.4)	1 (1.6)			64 (100.0)
	肢体不自由	59 (63.4)	24 (25.8)	8 (8.6)	1 (1.1)	1 (1.1)		93 (100.0)
	内部障害	23 (67.6)	8 (23.5)	2 (5.9)	1 (2.9)			34 (100.0)
	知的障害	46 (79.3)	5 (8.6)	1 (1.7)	1 (1.7)	1 (1.7)	4 (6.9)	58 (100.0)
	精神障害	20 (69.0)	6 (20.7)	2 (6.9)			1 (3.4)	29 (100.0)

		重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	どちらかといえば重要でない	重要でない	無回答	計
b 自分の能力・経験	全体	180 (56.3)	87 (27.2)	39 (12.2)	1 (0.3)	1 (0.3)	12 (3.8)	320 (100.0)
	視覚障害	31 (73.8)	6 (14.3)	2 (4.8)			3 (7.1)	42 (100.0)
	聴覚障害	32 (50.0)	22 (34.4)	10 (15.6)				64 (100.0)
	肢体不自由	52 (55.9)	28 (30.1)	12 (12.9)			1 (1.1)	93 (100.0)
	内部障害	13 (38.2)	15 (44.1)	4 (11.8)		1 (2.9)	1 (2.9)	34 (100.0)
	知的障害	37 (63.8)	10 (17.2)	5 (8.6)			6 (10.3)	58 (100.0)
	精神障害	15 (51.7)	6 (20.7)	6 (20.7)	1 (3.4)		1 (3.4)	29 (100.0)

		重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	どちらかといえば重要でない	重要でない	無回答	計
c 仕事の内容	全体	161 (50.3)	96 (30.0)	40 (12.5)	7 (2.2)	3 (0.9)	13 (4.1)	320 (100.0)
	視覚障害	22 (52.4)	14 (33.3)	1 (2.4)	1 (2.4)		4 (9.5)	42 (100.0)
	聴覚障害	29 (45.3)	25 (39.1)	7 (10.9)	2 (3.1)		1 (1.6)	64 (100.0)
	肢体不自由	48 (51.6)	26 (28.0)	14 (15.1)	2 (2.2)	2 (2.2)	1 (1.1)	93 (100.0)
	内部障害	14 (41.2)	14 (41.2)	4 (11.8)	1 (2.9)	1 (2.9)		34 (100.0)
	知的障害	33 (56.9)	12 (20.7)	7 (12.1)			6 (10.3)	58 (100.0)
	精神障害	15 (51.7)	5 (17.2)	7 (24.1)	1 (3.4)		1 (3.4)	29 (100.0)

		重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	どちらかといえば重要でない	重要でない	無回答	計
d 職場の環境整備	全体	148 (46.3)	112 (35.0)	40 (12.5)	5 (1.6)	3 (0.9)	12 (3.8)	320 (100.0)
	視覚障害	17 (40.5)	14 (33.3)	7 (16.7)			4 (9.5)	42 (100.0)
	聴覚障害	29 (45.3)	24 (37.5)	7 (10.9)	1 (1.6)	2 (3.1)	1 (1.6)	64 (100.0)
	肢体不自由	52 (55.9)	29 (31.2)	10 (10.8)	2 (2.2)			93 (100.0)
	内部障害	7 (20.6)	17 (50.0)	8 (23.5)	1 (2.9)	1 (2.9)		34 (100.0)
	知的障害	31 (53.4)	15 (25.9)	5 (8.6)	1 (1.7)		6 (10.3)	58 (100.0)
	精神障害	12 (41.4)	13 (44.8)	3 (10.3)			1 (3.4)	29 (100.0)

		重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	どちらかといえば重要でない	重要でない	無回答	計
e 勤務時間や休日	全体	159 (49.7)	110 (34.4)	31 (9.7)	6 (1.9)	3 (0.9)	11 (3.4)	320 (100.0)
	視覚障害	16 (38.1)	17 (40.5)	5 (11.9)			4 (9.5)	42 (100.0)
	聴覚障害	27 (42.2)	25 (39.1)	10 (15.6)	1 (1.6)	1 (1.6)		64 (100.0)
	肢体不自由	54 (58.1)	29 (31.2)	6 (6.5)	2 (2.2)	2 (2.2)		93 (100.0)
	内部障害	13 (38.2)	14 (41.2)	5 (14.7)	2 (5.9)			34 (100.0)
	知的障害	31 (53.4)	17 (29.3)	3 (5.2)	1 (1.7)		6 (10.3)	58 (100.0)
	精神障害	18 (62.1)	8 (27.6)	2 (6.9)			1 (3.4)	29 (100.0)

		重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	どちらかといえば重要でない	重要でない	無回答	計
f 職場仲間との人間関係	全体	159 (49.7)	107 (33.4)	27 (8.4)	8 (2.5)	5 (1.6)	14 (4.4)	320 (100.0)
	視覚障害	20 (47.6)	13 (31.0)	3 (7.1)	1 (2.4)		5 (11.9)	42 (100.0)
	聴覚障害	24 (37.5)	27 (42.2)	7 (10.9)	3 (4.7)	2 (3.1)	1 (1.6)	64 (100.0)
	肢体不自由	52 (55.9)	29 (31.2)	8 (8.6)	1 (1.1)	2 (2.2)	1 (1.1)	93 (100.0)
	内部障害	12 (35.3)	18 (52.9)	4 (11.8)				34 (100.0)
	知的障害	34 (58.6)	11 (19.0)	4 (6.9)	2 (3.4)	1 (1.7)	6 (10.3)	58 (100.0)
	精神障害	17 (58.6)	9 (31.0)	1 (3.4)	1 (3.4)		1 (3.4)	29 (100.0)

問 26a 仕事をする上で必要な配慮事項　（複数回答）

	作業手順をわかりやすくしたり、仕事をやりやすくすること	作業のスピードや仕事の量を障害に合わせること	作業を容易にする機器や設備を改善すること	通勤の便宜を図ること	まわりに仕事やコミュニケーションを援助してくれる人を配置すること	体力や体調に合わせて、勤務時間や休みを調整すること	安全や健康管理に特別の配慮をすること	その他	無回答	対象者
全体	130 (40.6)	87 (27.2)	62 (19.4)	43 (13.4)	94 (29.4)	108 (33.8)	78 (24.4)	29 (9.1)	39 (12.2)	320 (100.0)
視覚障害	12 (28.6)	10 (23.8)	12 (28.6)	8 (19.0)	8 (19.0)	7 (16.7)	7 (16.7)	3 (7.1)	11 (26.2)	42 (100.0)
聴覚障害	30 (46.9)	8 (12.5)	15 (23.4)	1 (1.6)	40 (62.5)	19 (29.7)	15 (23.4)	2 (3.1)	5 (7.8)	64 (100.0)
肢体不自由	35 (37.6)	33 (35.5)	26 (28.0)	25 (26.9)	16 (17.2)	39 (41.9)	27 (29.0)	14 (15.1)	3 (3.2)	93 (100.0)
内部障害	7 (20.6)	3 (8.8)	3 (8.8)	2 (5.9)	3 (8.8)	22 (64.7)	8 (23.5)	4 (11.8)	4 (11.8)	34 (100.0)
知的障害	34 (58.6)	23 (39.7)	4 (6.9)	5 (8.6)	18 (31.0)	11 (19.0)	14 (24.1)	4 (6.9)	12 (20.7)	58 (100.0)
精神障害	12 (41.4)	10 (34.5)	2 (6.9)	2 (6.9)	9 (31.0)	10 (34.5)	7 (24.1)	2 (6.9)	4 (13.8)	29 (100.0)

問 26b 仕事をする上で、特に会社にお願いしたい配慮事項　（複数回答）

	障害や障害者のことを理解してほしい	職場に障害者の仲間を多くしてほしい	ずっと働き続けることができるようにしてほしい	給与面を改善してほしい	体力や障害に合わせた労働時間や休日の設定をしてほしい	能力に応じた評価や、昇進・昇格をしてほしい	研修や教育訓練を充実してほしい	健康管理を充実してほしい	職場の中で困ったことの相談ができるようにしてほしい	その他	無回答	対象者
全体	130 (40.6)	28 (8.8)	113 (35.3)	110 (34.4)	59 (18.4)	74 (23.1)	43 (13.4)	32 (10.0)	69 (21.6)	22 (6.9)	37 (11.6)	320 (100.0)
視覚障害	20 (47.6)	2 (4.8)	11 (26.2)	10 (23.8)	5 (11.9)	9 (21.4)	11 (26.2)	3 (7.1)	5 (11.9)	5 (11.9)	8 (19.0)	42 (100.0)
聴覚障害	29 (45.3)	9 (14.1)	17 (26.6)	20 (31.3)	9 (14.1)	17 (26.6)	12 (18.8)	10 (15.6)	18 (28.1)	7 (10.9)	4 (6.3)	64 (100.0)
肢体不自由	36 (38.7)	6 (6.5)	27 (29.0)	36 (38.7)	26 (28.0)	20 (21.5)	11 (11.8)	8 (8.6)	20 (21.5)	4 (4.3)	6 (6.5)	93 (100.0)
内部障害	9 (26.5)		8 (23.5)	13 (38.2)	7 (20.6)	8 (23.5)	5 (14.7)	2 (5.9)	3 (8.8)	3 (8.8)	5 (14.7)	34 (100.0)
知的障害	25 (43.1)	8 (13.8)	35 (60.3)	17 (29.3)	5 (8.6)	11 (19.0)	2 (3.4)	5 (8.6)	18 (31.0)	2 (3.4)	10 (17.2)	58 (100.0)
精神障害	11 (37.9)	3 (10.3)	15 (51.7)	14 (48.3)	7 (24.1)	9 (31.0)	2 (6.9)	4 (13.8)	5 (17.2)	1 (3.4)	4 (13.8)	29 (100.0)

問 29　生活満足度

		満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満足	不満足	無回答	計
a・家族との人間関係	全体	134 (41.9)	109 (34.1)	48 (15.0)	12 (3.8)	4 (1.3)	13 (4.1)	320 (100.0)
	視覚障害	18 (42.9)	18 (42.9)	2 (4.8)	2 (4.8)		2 (4.8)	42 (100.0)
	聴覚障害	19 (29.7)	27 (42.2)	15 (23.4)	1 (1.6)	1 (1.6)	1 (1.6)	64 (100.0)
	肢体不自由	40 (43.0)	32 (34.4)	17 (18.3)	3 (3.2)	1 (1.1)		93 (100.0)
	内部障害	16 (47.1)	13 (38.2)	3 (8.8)			2 (5.9)	34 (100.0)
	知的障害	33 (56.9)	8 (13.8)	7 (12.1)	2 (3.4)	1 (1.7)	7 (12.1)	58 (100.0)
	精神障害	8 (27.6)	11 (37.9)	4 (13.8)	4 (13.8)	1 (3.4)	1 (3.4)	29 (100.0)

		満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満足	不満足	無回答	計
b・友人・知人との人間関係	全体	93 (29.1)	131 (40.9)	72 (22.5)	7 (2.2)	4 (1.3)	13 (4.1)	320 (100.0)
	視覚障害	18 (42.9)	18 (42.9)	4 (9.5)			2 (4.8)	42 (100.0)
	聴覚障害	12 (18.8)	26 (40.6)	23 (35.9)	1 (1.6)		2 (3.1)	64 (100.0)
	肢体不自由	28 (30.1)	37 (39.8)	25 (26.9)	2 (2.2)	1 (1.1)		93 (100.0)
	内部障害	7 (20.6)	20 (58.8)	5 (14.7)	1 (2.9)		1 (2.9)	34 (100.0)
	知的障害	22 (37.9)	18 (31.0)	9 (15.5)	1 (1.7)	1 (1.7)	7 (12.1)	58 (100.0)
	精神障害	6 (20.7)	12 (41.4)	6 (20.7)	2 (6.9)	2 (6.9)	1 (3.4)	29 (100.0)

		満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満足	不満足	無回答	計
c・自分の体力や健康	全体	53 (16.6)	63 (19.7)	101 (31.6)	58 (18.1)	35 (10.9)	10 (3.1)	320 (100.0)
	視覚障害	5 (11.9)	15 (35.7)	14 (33.3)	5 (11.9)	1 (2.4)	2 (4.8)	42 (100.0)
	聴覚障害	7 (10.9)	18 (28.1)	25 (39.1)	11 (17.2)	2 (3.1)	1 (1.6)	64 (100.0)
	肢体不自由	12 (12.9)	10 (10.8)	26 (28.0)	23 (24.7)	22 (23.7)		93 (100.0)
	内部障害	4 (11.8)	6 (17.6)	11 (32.4)	9 (26.5)	4 (11.8)		34 (100.0)
	知的障害	23 (39.7)	11 (19.0)	11 (19.0)	4 (6.9)	3 (5.2)	6 (10.3)	58 (100.0)
	精神障害	2 (6.9)	3 (10.3)	14 (48.3)	6 (20.7)	3 (10.3)	1 (3.4)	29 (100.0)

		満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満足	不満足	無回答	計
d・収入や経済生活	全体	39 (12.2)	98 (30.6)	80 (25.0)	56 (17.5)	35 (10.9)	12 (3.8)	320 (100.0)
	視覚障害	5 (11.9)	18 (42.9)	11 (26.2)	3 (7.1)	3 (7.1)	2 (4.8)	42 (100.0)
	聴覚障害	2 (3.1)	24 (37.5)	22 (34.4)	12 (18.8)	3 (4.7)	1 (1.6)	64 (100.0)
	肢体不自由	12 (12.9)	21 (22.6)	24 (25.8)	20 (21.5)	16 (17.2)		93 (100.0)
	内部障害	2 (5.9)	12 (35.3)	7 (20.6)	9 (26.5)	4 (11.8)		34 (100.0)
	知的障害	16 (27.6)	15 (25.9)	11 (19.0)	4 (6.9)	4 (6.9)	8 (13.8)	58 (100.0)
	精神障害	2 (6.9)	8 (27.6)	5 (17.2)	8 (27.6)	5 (17.2)	1 (3.4)	29 (100.0)

【第３回職業生活後期調査　追加募集を含む 414 人の集計】

問１　性別

	男性	女性	計
全体	292 (70.5)	122 (29.5)	414 (100.0)
視覚障害	27 (62.8)	16 (37.2)	43 (100.0)
聴覚障害	51 (63.8)	29 (36.3)	80 (100.0)
肢体不自由	75 (75.8)	24 (24.2)	99 (100.0)
内部障害	55 (71.4)	22 (28.6)	77 (100.0)
知的障害	49 (67.1)	24 (32.9)	73 (100.0)
精神障害	35 (83.3)	7 (16.7)	42 (100.0)

問２　年齢

	40歳代	50歳代	60歳代	計
全体	165 (39.9)	241 (58.2)	8 (1.9)	414 (100.0)
視覚障害	16 (37.2)	27 (62.8)		43 (100.0)
聴覚障害	32 (40.0)	47 (58.8)	1 (1.3)	80 (100.0)
肢体不自由	36 (36.4)	56 (56.6)	7 (7.1)	99 (100.0)
内部障害	22 (28.6)	55 (71.4)		77 (100.0)
知的障害	38 (52.1)	35 (47.9)		73 (100.0)
精神障害	21 (50.0)	21 (50.0)		42 (100.0)

問４　家族構成（複数回答）

	配偶者	子ども	父親	母親	義父	義母	兄弟姉妹	祖父	祖母	子どもの配偶者	孫	その他	無回答	対象者
全体	173 (41.8)	135 (32.6)	124 (30.0)	220 (53.1)	29 (7.0)	42 (10.1)	174 (42.0)	2 (0.5)	3 (0.7)	11 (2.7)	11 (2.7)	11 (2.7)	24 (5.8)	414 (100.0)
視覚障害	18 (41.9)	13 (30.2)	22 (51.2)	26 (60.5)	3 (7.0)	4 (9.3)	17 (39.5)	1 (2.3)		1 (2.3)	1 (2.3)	1 (2.3)	3 (7.0)	43 (100.0)
聴覚障害	56 (70.0)	49 (61.3)	15 (18.8)	28 (35.0)	9 (11.3)	10 (12.5)	17 (21.3)			4 (5.0)	4 (5.0)	1 (1.3)	7 (8.8)	80 (100.0)
肢体不自由	50 (50.5)	34 (34.3)	24 (24.2)	43 (43.4)	5 (5.1)	10 (10.1)	32 (32.3)		1 (1.0)	2 (2.0)	2 (2.0)		3 (3.0)	99 (100.0)
内部障害	37 (48.1)	28 (36.4)	19 (24.7)	51 (66.2)	8 (10.4)	14 (18.2)	40 (51.9)			3 (3.9)	2 (2.6)	5 (6.5)	2 (2.6)	77 (100.0)
知的障害	2 (2.7)	3 (4.1)	27 (37.0)	51 (69.9)	2 (2.7)	2 (2.7)	46 (63.0)	1 (1.4)	1 (1.4)	1 (1.4)	2 (2.7)	4 (5.5)	5 (6.8)	73 (100.0)
精神障害	10 (23.8)	8 (19.0)	17 (40.5)	21 (50.0)	2 (4.8)	2 (4.8)	22 (52.4)		1 (2.4)				4 (9.5)	42 (100.0)

問５a　住環境

	自分・配偶者の家	配偶者以外の家	社員寮等	グループホーム等	その他	無回答	計
全体	265 (64.0)	115 (27.8)	5 (1.2)	21 (5.1)	2 (0.5)	6 (1.4)	414 (100.0)
視覚障害	31 (72.1)	10 (23.3)	1 (2.3)			1 (2.3)	43 (100.0)
聴覚障害	64 (80.0)	15 (18.8)			1 (1.3)		80 (100.0)
肢体不自由	74 (74.7)	23 (23.2)	2 (2.0)				99 (100.0)
内部障害	57 (74.0)	16 (20.8)	2 (2.6)		1 (1.3)	1 (1.3)	77 (100.0)
知的障害	20 (27.4)	34 (46.6)		16 (21.9)		3 (4.1)	73 (100.0)
精神障害	19 (45.2)	17 (40.5)		5 (11.9)		1 (2.4)	42 (100.0)

問５ｂ　独居

	一人暮らし	一人暮らしでない	無回答	計
全体	68 (17.7)	313 (81.3)	4 (1.0)	385 (100.0)
視覚障害	12 (28.6)	28 (66.7)	2 (4.8)	42 (100.0)
聴覚障害	9 (11.4)	70 (88.6)		79 (100.0)
肢体不自由	18 (18.2)	79 (79.8)	2 (2.0)	99 (100.0)
内部障害	12 (16.0)	63 (84.0)		75 (100.0)
知的障害	7 (13.0)	47 (87.0)		54 (100.0)
精神障害	10 (27.8)	26 (72.2)		36 (100.0)

問５ｃ　同居家族

	配偶者	子ども	父親	母親	義父	義母	兄弟姉妹	祖父	祖母	子どもの配偶者	孫	その他	無回答	対象者
全体	161 (51.4)	102 (32.6)	78 (24.9)	135 (43.1)	4 (1.3)	8 (2.6)	32 (10.2)			1 (0.3)	3 (1.0)	4 (1.3)	6 (1.9)	313 (100.0)
視覚障害	16 (57.1)	12 (42.9)	11 (39.3)	11 (39.3)			2 (7.1)				1 (3.6)		1 (3.6)	28 (100.0)
聴覚障害	53 (75.7)	38 (54.3)	8 (11.4)	17 (24.3)	4 (5.7)	5 (7.1)	1 (1.4)			1 (1.4)	1 (1.4)	1 (1.4)	1 (1.4)	70 (100.0)
肢体不自由	45 (57.0)	28 (35.4)	14 (17.7)	27 (34.2)		3 (3.8)	4 (5.1)						2 (2.5)	79 (100.0)
内部障害	35 (55.6)	18 (28.6)	13 (20.6)	28 (44.4)			5 (7.9)					1 (1.6)		63 (100.0)
知的障害	2 (4.3)	1 (2.1)	20 (42.6)	36 (76.6)			15 (31.9)				1 (2.1)	2 (4.3)	2 (4.3)	47 (100.0)
精神障害	10 (38.5)	5 (19.2)	12 (46.2)	16 (61.5)			5 (19.2)							26 (100.0)

問８ライフイベント　(複数回答)

	結婚をした	離婚をした	子どもを生んだ/子どもが生まれた	引越をした	親元から離れて暮し始めた	自分が病気や事故で一カ月以上の入院をした	学校に通つたまたは卒業した	障害に関する年金を受給しはじめた	障害に関する年金の受給がなくなつた	自分の親が離婚をした	自分の親が仕事を辞めた	家族が病気や事故で一カ月以上の入院をした	家族が亡くなつた	該当する項目なし	無回答	対象者
全体	7 (1.7)	7 (1.7)	1 (0.2)	19 (4.6)	3 (0.7)	19 (4.6)	1 (0.2)	10 (2.4)	4 (1.0)		5 (1.2)	43 (10.4)	39 (9.4)	234 (56.5)	51 (12.3)	414 (100.0)
視覚障害	2 (4.7)	1 (2.3)							1 (2.3)			4 (9.3)	4 (9.3)	29 (67.4)	4 (9.3)	43 (100.0)
聴覚障害	4 (5.0)	3 (3.8)		3 (3.8)				1 (1.3)				8 (10.0)	7 (8.8)	50 (62.5)	8 (10.0)	80 (100.0)
肢体不自由		1 (1.0)		4 (4.0)		10 (10.1)	1 (1.0)	1 (1.0)			2 (2.0)	14 (14.1)	7 (7.1)	57 (57.6)	9 (9.1)	99 (100.0)
内部障害		2 (2.6)	1 (1.3)	2 (2.6)	1 (1.3)	7 (9.1)		4 (5.2)	3 (3.9)		2 (2.6)	10 (13.0)	11 (14.3)	40 (51.9)	5 (6.5)	77 (100.0)
知的障害				4 (5.5)	1 (1.4)	1 (1.4)		3 (4.1)			1 (1.4)	2 (2.7)	5 (6.8)	37 (50.7)	21 (28.8)	73 (100.0)
精神障害	1 (2.4)			6 (14.3)	1 (2.4)	1 (2.4)		1 (2.4)				5 (11.9)	5 (11.9)	21 (50.0)	4 (9.5)	42 (100.0)

問９　就業形態

	正社員	パート・アルバイト	派遣	自営	内職	就労継続支援事業所A型	就労継続支援事業所B型等	仕事をしていない	その他	無回答	計
全体	215 (51.9)	125 (30.2)	1 (0.2)	19 (4.6)		11 (2.7)	12 (2.9)	22 (5.3)	1 (0.2)	8 (1.9)	414 (100.0)
視覚障害	24 (55.8)	6 (14.0)		11 (25.6)				2 (4.7)			43 (100.0)
聴覚障害	46 (57.5)	24 (30.0)		2 (2.5)		1 (1.3)	1 (1.3)	2 (2.5)	1 (1.3)	3 (3.8)	80 (100.0)
肢体不自由	61 (61.6)	15 (15.2)	1 (1.0)			5 (5.1)	3 (3.0)	13 (13.1)		1 (1.0)	99 (100.0)
内部障害	51 (66.2)	16 (20.8)		6 (7.8)				3 (3.9)		1 (1.3)	77 (100.0)
知的障害	27 (37.0)	34 (46.6)				3 (4.1)	7 (9.6)	1 (1.4)		1 (1.4)	73 (100.0)
精神障害	6 (14.3)	30 (71.4)				2 (4.8)	1 (2.4)	1 (2.4)		2 (4.8)	42 (100.0)

問 10　仕事内容

	ものを作る仕事	ものを売る仕事	事務の仕事	ものを教える仕事	医療や福祉に関わる仕事	人を相手にするサービス業	清掃やクリーニングなどのサービス業	その他	無回答	計
全体	86 (23.2)	19 (5.1)	119 (32.1)	14 (3.8)	40 (10.8)	7 (1.9)	45 (12.1)	35 (9.4)	6 (1.6)	371 (100.0)
視覚障害			4 (9.8)	10 (24.4)	26 (63.4)				1 (2.4)	41 (100.0)
聴覚障害	30 (41.1)	3 (4.1)	22 (30.1)	2 (2.7)	5 (6.8)		2 (2.7)	7 (9.6)	2 (2.7)	73 (100.0)
肢体不自由	24 (29.3)		41 (50.0)	1 (1.2)	3 (3.7)	2 (2.4)	2 (2.4)	8 (9.8)	1 (1.2)	82 (100.0)
内部障害	5 (6.8)	7 (9.6)	43 (58.9)	1 (1.4)	4 (5.5)	3 (4.1)	4 (5.5)	6 (8.2)		73 (100.0)
知的障害	20 (31.3)	4 (6.3)	1 (1.6)		1 (1.6)	1 (1.6)	28 (43.8)	7 (10.9)	2 (3.1)	64 (100.0)
精神障害	7 (18.4)	5 (13.2)	8 (21.1)		1 (2.6)	1 (2.6)	9 (23.7)	7 (18.4)		38 (100.0)

問 11 a　勤務時間

	20時間未満	20時間以上30時間未満	30時間以上	無回答	計
全体	26 (7.0)	61 (16.4)	269 (72.5)	15 (4.0)	371 (100.0)
視覚障害	2 (4.9)	2 (4.9)	37 (90.2)		41 (100.0)
聴覚障害	2 (2.7)	10 (13.7)	58 (79.5)	3 (4.1)	73 (100.0)
肢体不自由	3 (3.7)	7 (8.5)	70 (85.4)	2 (2.4)	82 (100.0)
内部障害	5 (6.8)	11 (15.1)	56 (76.7)	1 (1.4)	73 (100.0)
知的障害	9 (14.1)	18 (28.1)	29 (45.3)	8 (12.5)	64 (100.0)
精神障害	5 (13.2)	13 (34.2)	19 (50.0)	1 (2.6)	38 (100.0)

問 11 b　休日日数

	1日	2日	3日	4日以上	不定期	無回答	計
全体	37 (10.0)	241 (65.0)	19 (5.1)	48 (12.9)	14 (3.8)	12 (3.2)	371 (100.0)
視覚障害	11 (26.8)	21 (51.2)	2 (4.9)	5 (12.2)	1 (2.4)	1 (2.4)	41 (100.0)
聴覚障害	8 (11.0)	46 (63.0)	3 (4.1)	9 (12.3)	4 (5.5)	3 (4.1)	73 (100.0)
肢体不自由	1 (1.2)	67 (81.7)	4 (4.9)	5 (6.1)	3 (3.7)	2 (2.4)	82 (100.0)
内部障害	6 (8.2)	47 (64.4)	3 (4.1)	11 (15.1)	5 (6.8)	1 (1.4)	73 (100.0)
知的障害	7 (10.9)	39 (60.9)	3 (4.7)	10 (15.6)		5 (7.8)	64 (100.0)
精神障害	4 (10.5)	21 (55.3)	4 (10.5)	8 (21.1)	1 (2.6)		38 (100.0)

問 11 c　1ヶ月当たり給与区分

	7万円未満	7～13万円	13～25万円	26～39万円	40万円以上	無回答	計
全体	31 (8.4)	98 (26.4)	142 (38.3)	76 (20.5)	10 (2.7)	14 (3.8)	371 (100.0)
視覚障害	4 (9.8)	4 (9.8)	15 (36.6)	15 (36.6)	1 (2.4)	2 (4.9)	41 (100.0)
聴覚障害	4 (5.5)	11 (15.1)	38 (52.1)	15 (20.5)	2 (2.7)	3 (4.1)	73 (100.0)
肢体不自由	5 (6.1)	6 (7.3)	43 (52.4)	24 (29.3)	2 (2.4)	2 (2.4)	82 (100.0)
内部障害	5 (6.8)	15 (20.5)	28 (38.4)	19 (26.0)	5 (6.8)	1 (1.4)	73 (100.0)
知的障害	10 (15.6)	35 (54.7)	13 (20.3)			6 (9.4)	64 (100.0)
精神障害	3 (7.9)	27 (71.1)	5 (13.2)	3 (7.9)			38 (100.0)

問 11 d　年間賞与区分

	なし	10万円未満	10～30万円	30～50万円	50～100万円	100万円以上	無回答	計
全体	101 (27.2)	53 (14.3)	55 (14.8)	36 (9.7)	73 (19.7)	44 (11.9)	9 (2.4)	371 (100.0)
視覚障害	16 (39.0)	1 (2.4)	2 (4.9)	1 (2.4)	11 (26.8)	8 (19.5)	2 (4.9)	41 (100.0)
聴覚障害	14 (19.2)	5 (6.8)	14 (19.2)	13 (17.8)	16 (21.9)	9 (12.3)	2 (2.7)	73 (100.0)
肢体不自由	11 (13.4)	7 (8.5)	17 (20.7)	10 (12.2)	22 (26.8)	14 (17.1)	1 (1.2)	82 (100.0)
内部障害	21 (28.8)	5 (6.8)	8 (11.0)	8 (11.0)	20 (27.4)	11 (15.1)		73 (100.0)
知的障害	20 (31.3)	27 (42.2)	8 (12.5)	2 (3.1)	2 (3.1)	1 (1.6)	4 (6.3)	64 (100.0)
精神障害	19 (50.0)	8 (21.1)	6 (15.8)	2 (5.3)	2 (5.3)	1 (2.6)		38 (100.0)

問 12 a　通勤手段（複数回答）

	徒歩	自転車	原付/バイク	自動車	自動車(他者運転)	公共交通機関	その他	無回答	対象者
全体	74 (19.9)	41 (11.1)	12 (3.2)	158 (42.6)	13 (3.5)	145 (39.1)	14 (3.8)	6 (1.6)	371 (100.0)
視覚障害	26 (63.4)	3 (7.3)			3 (7.3)	21 (51.2)	7 (17.1)		41 (100.0)
聴覚障害	14 (19.2)	8 (11.0)	6 (8.2)	37 (50.7)	1 (1.4)	27 (37.0)	1 (1.4)	3 (4.1)	73 (100.0)
肢体不自由	6 (7.3)	3 (3.7)		57 (69.5)	7 (8.5)	20 (24.4)	2 (2.4)	1 (1.2)	82 (100.0)
内部障害	8 (11.0)	4 (5.5)	1 (1.4)	47 (64.4)		18 (24.7)	2 (2.7)		73 (100.0)
知的障害	12 (18.8)	15 (23.4)		2 (3.1)	2 (3.1)	44 (68.8)	1 (1.6)	2 (3.1)	64 (100.0)
精神障害	8 (21.1)	8 (21.1)	5 (13.2)	15 (39.5)		15 (39.5)	1 (2.6)		38 (100.0)

問 12 b　通勤時間

	30分未満	30分～1時間	1時間～1時間30分	1時間30分～2時間	2時間以上	無回答	計
全体	160 (43.1)	140 (37.7)	51 (13.7)	6 (1.6)		14 (3.8)	371 (100.0)
視覚障害	19 (46.3)	12 (29.3)	3 (7.3)	2 (4.9)		5 (12.2)	41 (100.0)
聴覚障害	35 (47.9)	23 (31.5)	11 (15.1)	1 (1.4)		3 (4.1)	73 (100.0)
肢体不自由	39 (47.6)	30 (36.6)	10 (12.2)	1 (1.2)		2 (2.4)	82 (100.0)
内部障害	41 (56.2)	22 (30.1)	9 (12.3)	1 (1.4)			73 (100.0)
知的障害	12 (18.8)	35 (54.7)	13 (20.3)	1 (1.6)		3 (4.7)	64 (100.0)
精神障害	14 (36.8)	18 (47.4)	5 (13.2)			1 (2.6)	38 (100.0)

問 13　従業員規模

	1～9人	10人～49人	50人～299人	300人～999人	1000人以上	わからない	無回答	計
全体	62 (16.7)	94 (25.3)	94 (25.3)	42 (11.3)	59 (15.9)	13 (3.5)	7 (1.9)	371 (100.0)
視覚障害	16 (39.0)	6 (14.6)	6 (14.6)	5 (12.2)	7 (17.1)		1 (2.4)	41 (100.0)
聴覚障害	5 (6.8)	18 (24.7)	19 (26.0)	11 (15.1)	17 (23.3)	1 (1.4)	2 (2.7)	73 (100.0)
肢体不自由		22 (26.8)	32 (39.0)	11 (13.4)	14 (17.1)	2 (2.4)	1 (1.2)	82 (100.0)
内部障害	25 (34.2)	11 (15.1)	14 (19.2)	11 (15.1)	12 (16.4)			73 (100.0)
知的障害	16 (25.0)	23 (35.9)	14 (21.9)	1 (1.6)		7 (10.9)	3 (4.7)	64 (100.0)
精神障害		14 (36.8)	9 (23.7)	3 (7.9)	9 (23.7)	3 (7.9)		38 (100.0)

問 14　現職就職年齢

	20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55歳以上	無回答	計
全体	40 (10.8)	48 (12.9)	41 (11.1)	34 (9.2)	48 (12.9)	45 (12.1)	52 (14.0)	30 (8.1)	9 (2.4)	24 (6.5)	371 (100.0)
視覚障害	1 (2.4)	8 (19.5)	6 (14.6)	8 (19.5)	6 (14.6)	3 (7.3)	4 (9.8)	2 (4.9)	1 (2.4)	2 (4.9)	41 (100.0)
聴覚障害	12 (16.4)	11 (15.1)	7 (9.6)	4 (5.5)	8 (11.0)	8 (11.0)	12 (16.4)	4 (5.5)	2 (2.7)	5 (6.8)	73 (100.0)
肢体不自由	7 (8.5)	11 (13.4)	16 (19.5)	10 (12.2)	9 (11.0)	6 (7.3)	13 (15.9)	7 (8.5)	1 (1.2)	2 (2.4)	82 (100.0)
内部障害	8 (11.0)	11 (15.1)	7 (9.6)	8 (11.0)	11 (15.1)	12 (16.4)	6 (8.2)	6 (8.2)	2 (2.7)	2 (2.7)	73 (100.0)
知的障害	11 (17.2)	5 (7.8)	5 (7.8)	3 (4.7)	8 (12.5)	7 (10.9)	9 (14.1)	4 (6.3)	1 (1.6)	11 (17.2)	64 (100.0)
精神障害	1 (2.6)	2 (5.3)		1 (2.6)	6 (15.8)	9 (23.7)	8 (21.1)	7 (18.4)	2 (5.3)	2 (5.3)	38 (100.0)

問 15　障害内容の説明

	ほとんどの人に説明	一部の人に説明	説明していない	わからない	無回答	計
全体	236 (63.6)	100 (27.0)	12 (3.2)	6 (1.6)	17 (4.6)	371 (100.0)
視覚障害	25 (61.0)	8 (19.5)	4 (9.8)		4 (9.8)	41 (100.0)
聴覚障害	50 (68.5)	16 (21.9)	2 (2.7)		5 (6.8)	73 (100.0)
肢体不自由	49 (59.8)	24 (29.3)	3 (3.7)	4 (4.9)	2 (2.4)	82 (100.0)
内部障害	52 (71.2)	20 (27.4)			1 (1.4)	73 (100.0)
知的障害	43 (67.2)	12 (18.8)	2 (3.1)	2 (3.1)	5 (7.8)	64 (100.0)
精神障害	17 (44.7)	20 (52.6)	1 (2.6)			38 (100.0)

問 16　仕事満足度

		満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満足	不満足	無回答	計
a仕事の内容	全体	116 (31.3)	141 (38.0)	80 (21.6)	16 (4.3)	9 (2.4)	9 (2.4)	371 (100.0)
	視覚障害	16 (39.0)	13 (31.7)	8 (19.5)	2 (4.9)		2 (4.9)	41 (100.0)
	聴覚障害	9 (12.3)	35 (47.9)	21 (28.8)	6 (8.2)		2 (2.7)	73 (100.0)
	肢体不自由	25 (30.5)	23 (28.0)	25 (30.5)	2 (2.4)	6 (7.3)	1 (1.2)	82 (100.0)
	内部障害	24 (32.9)	34 (46.6)	12 (16.4)	3 (4.1)			73 (100.0)
	知的障害	36 (56.3)	18 (28.1)	5 (7.8)		1 (1.6)	4 (6.3)	64 (100.0)
	精神障害	6 (15.8)	18 (47.4)	9 (23.7)	3 (7.9)	2 (5.3)		38 (100.0)
		満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満足	不満足	無回答	計
b給料や待遇	全体	70 (18.9)	108 (29.1)	87 (23.5)	61 (16.4)	30 (8.1)	15 (4.0)	371 (100.0)
	視覚障害	6 (14.6)	18 (43.9)	7 (17.1)	5 (12.2)	1 (2.4)	4 (9.8)	41 (100.0)
	聴覚障害	5 (6.8)	25 (34.2)	18 (24.7)	17 (23.3)	6 (8.2)	2 (2.7)	73 (100.0)
	肢体不自由	14 (17.1)	19 (23.2)	18 (22.0)	17 (20.7)	12 (14.6)	2 (2.4)	82 (100.0)
	内部障害	15 (20.5)	19 (26.0)	21 (28.8)	13 (17.8)	5 (6.8)		73 (100.0)
	知的障害	26 (40.6)	16 (25.0)	10 (15.6)	4 (6.3)	1 (1.6)	7 (10.9)	64 (100.0)
	精神障害	4 (10.5)	11 (28.9)	13 (34.2)	5 (13.2)	5 (13.2)		38 (100.0)
		満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満足	不満足	無回答	計
c職場の人間関係	全体	88 (23.7)	113 (30.5)	95 (25.6)	39 (10.5)	17 (4.6)	19 (5.1)	371 (100.0)
	視覚障害	16 (39.0)	14 (34.1)	4 (9.8)		1 (2.4)	6 (14.6)	41 (100.0)
	聴覚障害	5 (6.8)	25 (34.2)	27 (37.0)	10 (13.7)	4 (5.5)	2 (2.7)	73 (100.0)
	肢体不自由	16 (19.5)	28 (34.1)	17 (20.7)	12 (14.6)	6 (7.3)	3 (3.7)	82 (100.0)
	内部障害	16 (21.9)	19 (26.0)	27 (37.0)	11 (15.1)			73 (100.0)
	知的障害	27 (42.2)	12 (18.8)	11 (17.2)	5 (7.8)	1 (1.6)	8 (12.5)	64 (100.0)
	精神障害	8 (21.1)	15 (39.5)	9 (23.7)	1 (2.6)	5 (13.2)		38 (100.0)
		満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満足	不満足	無回答	計
d職場の環境	全体	90 (24.3)	133 (35.8)	87 (23.5)	33 (8.9)	10 (2.7)	18 (4.9)	371 (100.0)
	視覚障害	13 (31.7)	17 (41.5)	6 (14.6)		1 (2.4)	4 (9.8)	41 (100.0)
	聴覚障害	5 (6.8)	30 (41.1)	26 (35.6)	8 (11.0)	2 (2.7)	2 (2.7)	73 (100.0)
	肢体不自由	23 (28.0)	32 (39.0)	14 (17.1)	9 (11.0)	2 (2.4)	2 (2.4)	82 (100.0)
	内部障害	17 (23.3)	25 (34.2)	22 (30.1)	9 (12.3)			73 (100.0)
	知的障害	25 (39.1)	16 (25.0)	8 (12.5)	2 (3.1)	3 (4.7)	10 (15.6)	64 (100.0)
	精神障害	7 (18.4)	13 (34.2)	11 (28.9)	5 (13.2)	2 (5.3)		38 (100.0)

問 17　a 定年退職制度の有無

	決まっている	決まっていない	無回答	計
全体	244 (65.8)	114 (30.7)	13 (3.5)	371 (100.0)
視覚障害	23 (56.1)	16 (39.0)	2 (4.9)	41 (100.0)
聴覚障害	51 (69.9)	17 (23.3)	5 (6.8)	73 (100.0)
肢体不自由	67 (81.7)	14 (17.1)	1 (1.2)	82 (100.0)
内部障害	50 (68.5)	23 (31.5)		73 (100.0)
知的障害	36 (56.3)	24 (37.5)	4 (6.3)	64 (100.0)
精神障害	17 (44.7)	20 (52.6)	1 (2.6)	38 (100.0)

問 17　b 定年退職制度のある場合の年齢

	～59歳	60歳	61～64歳	65歳	66歳以上	無回答	計
全体	2 (0.8)	86 (35.2)	15 (6.1)	119 (48.8)	7 (2.9)	15 (6.1)	244 (100.0)
視覚障害		4 (17.4)	4 (17.4)	12 (52.2)		3 (13.0)	23 (100.0)
聴覚障害		21 (41.2)		25 (49.0)	3 (5.9)	2 (3.9)	51 (100.0)
肢体不自由	1 (1.5)	23 (34.3)	3 (4.5)	37 (55.2)	2 (3.0)	1 (1.5)	67 (100.0)
内部障害		18 (36.0)	4 (8.0)	25 (50.0)		3 (6.0)	50 (100.0)
知的障害	1 (2.8)	15 (41.7)	1 (2.8)	13 (36.1)		6 (16.7)	36 (100.0)
精神障害		5 (29.4)	3 (17.6)	7 (41.2)	2 (11.8)		17 (100.0)

問 17 c　定年退職制度についての自分の希望

	定年前にやめたい	定年まで	定年以降も続けたい	その他	無回答	計
全体	47 (19.3)	73 (29.9)	95 (38.9)	23 (9.4)	6 (2.5)	244 (100.0)
視覚障害	10 (43.5)	9 (39.1)	2 (8.7)		2 (8.7)	23 (100.0)
聴覚障害	15 (29.4)	20 (39.2)	6 (11.8)	2 (3.9)	8 (15.7)	51 (100.0)
肢体不自由	23 (34.3)	28 (41.8)	5 (7.5)		11 (16.4)	67 (100.0)
内部障害	14 (28.0)	20 (40.0)	5 (10.0)		11 (22.0)	50 (100.0)
知的障害	6 (16.7)	14 (38.9)	2 (5.6)	3 (8.3)	11 (30.6)	36 (100.0)
精神障害	5 (29.4)	4 (23.5)	3 (17.6)	1 (5.9)	4 (23.5)	17 (100.0)

問 17 d 定年退職制度がない人の働き続けたい年齢

	～59歳	60歳	61～64歳	65歳	66歳以上	生涯現役	無回答	計
全体	10 (8.8)	24 (21.1)	7 (6.1)	39 (34.2)	21 (18.4)	4 (3.5)	9 (7.9)	114 (100.0)
視覚障害	1 (6.3)		1 (6.3)	3 (18.8)	10 (62.5)	1 (6.3)		16 (100.0)
聴覚障害	5 (29.4)	2 (11.8)	3 (17.6)	4 (23.5)	1		2 (11.8)	17 (100.0)
肢体不自由	1 (7.1)	3 (21.4)	2 (14.3)	7 (50.0)	1 (7.1)			14 (100.0)
内部障害	2	5 (21.7)		7 (30.4)	6 (26.1)		3 (13.0)	23 (100.0)
知的障害	1 (4.2)	9 (37.5)		7 (29.2)	2 (8.3)	3 (12.5)	2 (8.3)	24 (100.0)
精神障害		5 (25.0)	1 (5.0)	11 (55.0)	1		2 (10.0)	20 (100.0)

問 17 e 仕事の継続意思

	今の仕事を続けたい	別の仕事をしたい	わからない	無回答	計
全体	232 (62.5)	39 (10.5)	56 (15.1)	44 (11.9)	371 (100.0)
視覚障害	27 (65.9)	2 (4.9)	6 (14.6)	6 (14.6)	41 (100.0)
聴覚障害	41 (56.2)	8 (11.0)	13 (17.8)	11 (15.1)	73 (100.0)
肢体不自由	47 (57.3)	8 (9.8)	17 (20.7)	10 (12.2)	82 (100.0)
内部障害	49 (67.1)	8 (11.0)	9 (12.3)	7 (9.6)	73 (100.0)
知的障害	46 (71.9)	7 (10.9)	6 (9.4)	5 (7.8)	64 (100.0)
精神障害	22 (57.9)	6 (15.8)	5 (13.2)	5 (13.2)	38 (100.0)

問 18　仕事上の出来事（複数回答）

障害	配置転換があった	上司が異動した	まわりで直接仕事などを援助してくれる人がいなくなった	昇進した	給料が上がった	給料が下がった	正社員になった	休職をした	転職をした	勤めていた会社が倒産した	該当する項目なし	無回答	対象者
全体	57 (15.4)	105 (28.3)	21 (5.7)	15 (4.0)	68 (18.3)	51 (13.7)	3 (0.8)	17 (4.6)	32 (8.6)	1 (0.3)	104 (28.0)	42 (11.3)	371 (100.0)
視覚障害	5 (12.2)	10 (24.4)	2 (4.9)	1 (2.4)	4 (9.8)	7 (17.1)		1 (2.4)	3 (7.3)		16 (39.0)	2 (4.9)	41 (100.0)
聴覚障害	13 (17.8)	16 (21.9)	4 (5.5)	1 (1.4)	10 (13.7)	5 (6.8)	1 (1.4)	2 (2.7)	7 (9.6)	1 (1.4)	29 (39.7)	11 (15.1)	73 (100.0)
肢体不自由	13 (15.9)	32 (39.0)	3 (3.7)	8 (9.8)	16 (19.5)	19 (23.2)		4 (4.9)	3 (3.7)		21 (25.6)	4 (4.9)	82 (100.0)
内部障害	9 (12.3)	20 (27.4)	6 (8.2)	4 (5.5)	13 (17.8)	15 (20.5)	2 (2.7)	6 (8.2)	5 (6.8)		20 (27.4)	4 (5.5)	73 (100.0)
知的障害	10 (15.6)	14 (21.9)	2 (3.1)		17 (26.6)	4 (6.3)		1	5 (7.8)		4 (6.3)	21 (32.8)	64 (100.0)
精神障害	7 (18.4)	13 (34.2)	4 (10.5)	1 (2.6)	8 (21.1)	1 (2.6)		3 (7.9)	9 (23.7)		14 (36.8)		38 (100.0)

問 19a　非就労　過去 2 年間での仕事の経験の有無

	就業経験あり	就業経験なし	無回答	計
全体	22 (62.9)	10 (28.6)	3 (8.6)	35 (100.0)
視覚障害	1 (50.0)	1 (50.0)		2 (100.0)
聴覚障害	3 (75.0)	1 (25.0)		4 (100.0)
肢体不自由	11 (68.8)	5 (31.3)		16 (100.0)
内部障害	2 (66.7)	1 (33.3)		3 (100.0)
知的障害	5 (62.5)		3 (37.5)	8 (100.0)
精神障害		2 (100.0)		2 (100.0)

問 19b　非就労　離職理由

	事業主の都合	定年退職	定年後の再雇用期間満了	契約期間満了	休職期間満了	自分の都合	その他	わからない	無回答	計
全体	4 (18.2)			5 (22.7)		13 (59.1)				22 (100.0)
視覚障害						1 (100.0)				1 (100.0)
聴覚障害	1 (33.3)					2 (66.7)				3 (100.0)
肢体不自由	2 (18.2)			2 (18.2)		7 (63.6)				11 (100.0)
内部障害				1 (50.0)		1 (50.0)				2 (100.0)
知的障害	1 (20.0)			2 (40.0)		2 (40.0)				5 (100.0)
精神障害										0

問 19c　非就労　自己都合の理由　(複数回答)

	仕事内容が合わなかった	賃金、労働条件に不満があった	職場の雰囲気・人間関係	体調不良	体力的にきつくなった	結婚	出産	家庭等の事情	その他	わからない	無回答	対象者
全体	2 (15.4)		2 (15.4)	6 (46.2)	8 (61.5)			1 (7.7)	1 (7.7)		1 (7.7)	13 (100.0)
視覚障害					1 (100.0)							1 (100.0)
聴覚障害			1 (50.0)								1 (50.0)	2 (100.0)
肢体不自由	2 (28.6)			4 (57.1)	5 (71.4)			1 (14.3)	1 (14.3)			7 (100.0)
内部障害			1 (100.0)	1 (100.0)	1 (100.0)							1 (100.0)
知的障害				1 (50.0)	1 (50.0)							2 (100.0)
精神障害												

問 20a 就職活動の考え

	すぐに仕事につきたい	すぐにではないが仕事につきたい	時間をかけて仕事を探したい	福祉工場や作業所で働きたい	仕事にはつきたくない	その他	無回答	計
全体	7 (20.0)	7 (20.0)	9 (25.7)	2 (5.7)	4 (11.4)	2 (5.7)	4 (11.4)	35 (100.0)
視覚障害			1 (50.0)	1				2 (100.0)
聴覚障害	2 (50.0)				1 (25.0)		1 (25.0)	4 (100.0)
肢体不自由	4 (25.0)	4 (25.0)	4 (25.0)	1 (6.3)	2 (12.5)	1 (6.3)		16 (100.0)
内部障害	1 (33.3)	2 (66.7)						3 (100.0)
知的障害		1 (12.5)	4 (50.0)				3 (37.5)	8 (100.0)
精神障害					1 (50.0)	1 (50.0)		2 (100.0)

問 20b-1 働き方の希望（複数回答）

	正社員	非正規	派遣社員	自営など	内職	就労継続A	就労継続B	その他	無回答	計
全体	14 (60.9)	7 (30.4)	1 (4.3)	1 (4.3)		4 (17.4)	3 (13.0)	1 (4.3)	1 (4.3)	23 (100.0)
視覚障害	1 (100.0)									1 (100.0)
聴覚障害	2 (100.0)			1 (50.0)						2 (100.0)
肢体不自由	7 (58.3)	4 (33.3)	1 (8.3)			2 (16.7)	1 (8.3)		1 (8.3)	12 (100.0)
内部障害	2 (66.7)	2 (66.7)				1 (33.3)				3 (100.0)
知的障害	2 (40.0)	1 (20.0)				1 (20.0)	2 (40.0)	1 (20.0)		5 (100.0)
精神障害										

問 20b-2 求職活動の相談先（複数回答）

	配偶者	子ども	父親	母親	兄弟姉妹	上司同僚	知人友人	障害者相談員	ハローワーク	地域障害者職業センター	就業・生活支援センター	相談支援事業者	病院診療所	保健所福祉事務所	学校	その他	相談利用なし	無回答	対象者
全体	3 (8.6)	1 (2.9)	3 (8.6)	4 (11.4)	4 (11.4)	1 (2.9)	9 (25.7)	4 (11.4)	19 (54.3)	4 (11.4)	8 (22.9)	2 (5.7)	1 (2.9)		2 (5.7)	1 (2.9)		7 (20.0)	35 (100.0)
視覚障害							1 (50.0)								1 (50.0)			1 (50.0)	2 (100.0)
聴覚障害							1 (25.0)		2 (50.0)									2 (50.0)	4 (100.0)
肢体不自由	3 (18.8)	1 (6.3)	2 (12.5)	2 (12.5)	2 (12.5)	1 (6.3)	6 (37.5)	3 (18.8)	13 (81.3)	2 (12.5)	3 (18.8)	1 (6.3)	1 (6.3)						16 (100.0)
内部障害					1 (33.3)		1 (33.3)	1 (33.3)	3 (100.0)	1 (33.3)									3 (100.0)
知的障害			1 (12.5)	1 (12.5)	1 (12.5)				1 (12.5)	1 (12.5)	4 (50.0)	1 (12.5)				1 (12.5)		3 (37.5)	8 (100.0)
精神障害				1 (50.0)							1 (50.0)				1 (50.0)			1 (50.0)	2 (100.0)

問 21　仕事関連相談先（複数回答）

	配偶者	子ども	父親	母親	兄弟姉妹	上司同僚	知人友人	障害者相談員	ハローワーク	地域障害者職業センター	就業・生活支援センター	相談支援事業者	病院診療所	保健所福祉事務所	学校	その他	相談利用なし	無回答	対象者数
全体	83 (25.9)	11 (3.4)	26 (8.1)	55 (17.2)	23 (7.2)	104 (32.5)	64 (20.0)	12 (3.8)	28 (8.8)	8 (2.5)	24 (7.5)	5 (1.6)	24 (7.5)	1 (0.3)		13 (4.1)	73 (22.8)	23 (7.2)	320 (100.0)
視覚障害	8 (19.0)	1 (2.4)	2 (4.8)	5 (11.9)	3 (7.1)	19 (45.2)	13 (31.0)	(0.0)	1 (2.4)			1 (2.4)	1 (2.4)			1 (2.4)	14 (33.3)	3 (7.1)	42 (100.0)
聴覚障害	23 (35.9)	3 (4.7)	1 (1.6)	6 (9.4)	2 (3.1)	24 (37.5)	18 (28.1)	5 (7.8)	8 (12.5)		1 (1.6)		2 (3.1)			3 (4.7)	12 (18.8)	5 (7.8)	64 (100.0)
肢体不自由	23 (24.7)	6 (6.5)	7 (7.5)	11 (11.8)	6 (6.5)	30 (32.3)	15 (16.1)	3 (3.2)	11 (11.8)	1 (1.1)	4 (4.3)		5 (5.4)				25 (26.9)	5 (5.4)	93 (100.0)
内部障害	22 (64.7)		3 (8.8)	5 (14.7)	1 (2.9)	14 (41.2)	11 (32.4)		2 (5.9)								9 (26.5)		34 (100.0)
知的障害			8 (13.8)	18 (31.0)	4 (6.9)	9 (15.5)	1 (1.7)	3 (5.2)	3 (5.2)	4 (6.9)	10 (17.2)	3 (5.2)				5 (8.6)	10 (17.2)	9 (15.5)	58 (100.0)
精神障害	7 (24.1)	1 (3.4)	5 (17.2)	10 (34.5)	7 (24.1)	8 (27.6)	6 (20.7)	1 (3.4)	3 (10.3)	3 (10.3)	9 (31.0)	1 (3.4)	16 (55.2)	1 (3.4)		4 (13.8)	3 (10.3)	1 (3.4)	29 (100.0)

問 22　障害基礎年金

	受給している	受給していない	わからない	無回答	計
全体	308 (74.4)	92 (22.2)	3 (0.7)	11 (2.7)	414 (100.0)
視覚障害	30 (69.8)	12 (27.9)		1 (2.3)	43 (100.0)
聴覚障害	72 (90.0)	5 (6.3)		3 (3.8)	80 (100.0)
肢体不自由	68 (68.7)	25 (25.3)	1 (1.0)	5 (5.1)	99 (100.0)
内部障害	55 (71.4)	21 (27.3)	1		77 (100.0)
知的障害	56 (76.7)	14 (19.2)	1 (1.4)	2 (2.7)	73 (100.0)
精神障害	27 (64.3)	15 (35.7)			42 (100.0)

問 23　生計の収入源

	「年金」だけ	「家族などの支援」だけ	「働いて得る収入」だけ	「年金」と「家族などの支援」	「年金」と「働いて得る収入」	「家族などの支援」と「働いて得る収入」	「年金」と「家族などの支援」と「働いて得る収入」	その他	わからない	無回答	計
全体	7 (1.7)	4 (1.0)	83 (20.0)	15 (3.6)	199 (48.1)	24 (5.8)	53 (12.8)	13 (3.1)	2 (0.5)	14 (3.4)	414 (100.0)
視覚障害	1 (2.3)		13 (30.2)	2 (4.7)	18 (41.9)	3 (7.0)	5 (11.6)			1 (2.3)	43 (100.0)
聴覚障害			14 (17.5)	4 (5.0)	46 (57.5)	1 (1.3)	11 (13.8)			4 (5.0)	80 (100.0)
肢体不自由	3 (3.0)	1 (1.0)	17 (17.2)	5 (5.1)	43 (43.4)	8 (8.1)	13 (13.1)	4 (4.0)		5 (5.1)	99 (100.0)
内部障害	3 (3.9)	1 (1.3)	18 (23.4)	2 (2.6)	41 (53.2)	4 (5.2)	8 (10.4)				77 (100.0)
知的障害		2 (2.7)	13 (17.8)	1 (1.4)	32 (43.8)	5 (6.8)	9 (12.3)	5 (6.8)	2 (2.7)	4 (5.5)	73 (100.0)
精神障害			8 (19.0)	1 (2.4)	19 (45.2)	3 (7.1)	7 (16.7)	4 (9.5)			42 (100.0)

問 24　経済面での相談先

（人）

	配偶者	子ども	父親	母親	兄弟姉妹	上司同僚	知人友人	障害者相談員	ハローワーク	地域障害者職業センター	就業・生活支援センター	相談支援事業者	病院診療所	保健所福祉事務所	学校	その他	相談利用なし	無回答	対象者数
全体	77	5	34	61	34	11	28	9	8	5	13	5	5	4		14	192	29	414
	(18.6)	(1.2)	(8.2)	(14.7)	(8.2)	(2.7)	(6.8)	(2.2)	(1.9)	(1.2)	(3.1)	(1.2)	(1.2)	(1.0)		(3.4)	(46.4)	(7.0)	(100.0)
視覚障害	8		1	3	2		2	1								1	25	5	43
	(18.6)		(2.3)	(7.0)	(4.7)		(4.7)	(2.3)								(2.3)	(58.1)	(11.6)	(100.0)
聴覚障害	32	3	8	13	8	2	10	2	3			1	1			2	25	4	80
	(40.0)	(3.8)	(10.0)	(16.3)	(10.0)	(2.5)	(12.5)	(2.5)	(3.8)			(1.3)	(1.3)			(2.5)	(31.3)	(5.0)	(100.0)
肢体不自由	15	1	8	10	11	4	8	2	3	1	1	1	1	3		1	57	5	99
	(15.2)	(1.0)	(8.1)	(10.1)	(11.1)	(4.0)	(8.1)	(2.0)	(3.0)	(1.0)	(1.0)	(1.0)	(1.0)	(3.0)		(1.0)	(57.6)	(5.1)	(100.0)
内部障害	16	1	4	11	4	1	5		1	1	1					1	44	1	77
	(20.8)	(1.3)	(5.2)	(14.3)	(5.2)	(1.3)	(6.5)		(1.3)	(1.3)	(1.3)					(1.3)	(57.1)	(1.3)	(100.0)
知的障害			7	17	3	3	2	2	1		4	2				7	27	11	73
			(9.6)	(23.3)	(4.1)	(4.1)	(2.7)	(2.7)	(1.4)		(5.5)	(2.7)				(9.6)	(37.0)	(15.1)	(100.0)
精神障害	6		6	7	6	1	1	2		3	7	1	3	1		2	14	3	42
	(14.3)		(14.3)	(16.7)	(14.3)	(2.4)	(2.4)	(4.8)		(7.1)	(16.7)	(2.4)	(7.1)	(2.4)		(4.8)	(33.3)	(7.1)	(100.0)

注1）その他：区役所、税務署（肢体）　困ったことがない（視覚）　市役所（精神）グループホームの責任者・GHの職員・支援者・いまの所こまっていない（知的）　銀行・保険」（聴覚）

問 25　仕事をする上での重要なこと

		重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	どちらかといえば重要でない	重要でない	無回答	計
a 賃金や給料	全体	259 (62.6)	108 (26.1)	29 (7.0)	4 (1.0)	2 (0.5)	12 (2.9)	414 (100.0)
	視覚障害	24 (55.8)	14 (32.6)	1 (2.3)			4 (9.3)	43 (100.0)
	聴覚障害	46 (57.5)	24 (30.0)	9 (11.3)	1 (1.3)			80 (100.0)
	肢体不自由	63 (63.6)	26 (26.3)	8 (8.1)	1 (1.0)	1 (1.0)		99 (100.0)
	内部障害	40 (51.9)	29 (37.7)	6 (7.8)	1 (1.3)		1	77 (100.0)
	知的障害	57 (78.1)	6 (8.2)	2 (2.7)	1 (1.4)	1 (1.4)	6 (8.2)	73 (100.0)
	精神障害	29 (69.0)	9 (21.4)	3 (7.1)			1 (2.4)	42 (100.0)

		重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	どちらかといえば重要でない	重要でない	無回答	計
b 自分の能力・経験	全体	222 (53.6)	115 (27.8)	57 (13.8)	3 (0.7)	2 (0.5)	15 (3.6)	414 (100.0)
	視覚障害	28 (65.1)	7 (16.3)	4 (9.3)	1 (2.3)		3 (7.0)	43 (100.0)
	聴覚障害	38 (47.5)	26 (32.5)	16 (20.0)				80 (100.0)
	肢体不自由	57 (57.6)	28 (28.3)	13 (13.1)		1 (1.0)		99 (100.0)
	内部障害	33 (42.9)	31 (40.3)	9 (11.7)	1 (1.3)	1 (1.3)	2 (2.6)	77 (100.0)
	知的障害	46 (63.0)	12 (16.4)	6 (8.2)			9 (12.3)	73 (100.0)
	精神障害	20 (47.6)	11 (26.2)	9 (21.4)	1 (2.4)		1 (2.4)	42 (100.0)

		重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	どちらかといえば重要でない	重要でない	無回答	計
c 仕事の内容	全体	198 (47.8)	135 (32.6)	53 (12.8)	8 (1.9)	3 (0.7)	17 (4.1)	414 (100.0)
	視覚障害	23 (53.5)	14 (32.6)	1 (2.3)	1 (2.3)		4 (9.3)	43 (100.0)
	聴覚障害	29 (45.3)	25 (39.1)	7 (10.9)	2 (3.1)		1 (1.6)	64 (100.0)
	肢体不自由	48 (51.6)	26 (28.0)	14 (15.1)	2 (2.2)	2 (2.2)	1 (1.1)	93 (100.0)
	内部障害	14 (41.2)	14 (41.2)	4 (11.8)	1 (2.9)	1 (2.9)		34 (100.0)
	知的障害	33 (56.9)	12 (20.7)	7 (12.1)			6 (10.3)	58 (100.0)
	精神障害	15 (51.7)	5 (17.2)	7 (24.1)	1 (3.4)		1 (3.4)	29 (100.0)

		重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	どちらかといえば重要でない	重要でない	無回答	計
d 職場の環境整備	全体	171 (41.3)	164 (39.6)	51 (12.3)	7 (1.7)	4 (1.0)	17 (4.1)	414 (100.0)
	視覚障害	17 (39.5)	15 (34.9)	7 (16.3)			4 (9.3)	43 (100.0)
	聴覚障害	33 (41.3)	34 (42.5)	9 (11.3)	1 (1.3)	2 (2.5)	1 (1.3)	80 (100.0)
	肢体不自由	54 (54.5)	31 (31.3)	11 (11.1)	2 (2.0)	1		99 (100.0)
	内部障害	11 (14.3)	49 (63.6)	12 (15.6)	3 (3.9)	1 (1.3)	1 (1.3)	77 (100.0)
	知的障害	39 (53.4)	18 (24.7)	6 (8.2)	1 (1.4)		9 (12.3)	73 (100.0)
	精神障害	17 (40.5)	17 (40.5)	6 (14.3)			2 (4.8)	42 (100.0)

		重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	どちらかといえば重要でない	重要でない	無回答	計
e 勤務時間や休日	全体	200 (48.3)	141 (34.1)	44 (10.6)	10 (2.4)	3 (0.7)	16 (3.9)	414 (100.0)
	視覚障害	16 (37.2)	18 (41.9)	5 (11.6)			4 (9.3)	43 (100.0)
	聴覚障害	31 (38.8)	31 (38.8)	15 (18.8)	2 (2.5)	1 (1.3)		80 (100.0)
	肢体不自由	56 (56.6)	31 (31.3)	8 (8.1)	2 (2.0)	2 (2.0)		99 (100.0)
	内部障害	33 (42.9)	30 (39.0)	8 (10.4)	5 (6.5)		1	77 (100.0)
	知的障害	37 (50.7)	21 (28.8)	5 (6.8)	1 (1.4)		9 (12.3)	73 (100.0)
	精神障害	27 (64.3)	10 (23.8)	3 (7.1)			2 (4.8)	42 (100.0)

		重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	どちらかといえば重要でない	重要でない	無回答	計
f 職場仲間との人間関係	全体	194 (46.9)	140 (33.8)	45 (10.9)	9 (2.2)	7 (1.7)	19 (4.6)	414 (100.0)
	視覚障害	21 (48.8)	13 (30.2)	3 (7.0)	1 (2.3)		5 (11.6)	43 (100.0)
	聴覚障害	25 (31.3)	37 (46.3)	12 (15.0)	3 (3.8)	2 (2.5)	1 (1.3)	80 (100.0)
	肢体不自由	54 (54.5)	30 (30.3)	10 (10.1)	1 (1.0)	3 (3.0)	1 (1.0)	99 (100.0)
	内部障害	29 (37.7)	37 (48.1)	10 (13.0)			1 (1.3)	77 (100.0)
	知的障害	40 (54.8)	12 (16.4)	7 (9.6)	3 (4.1)	2 (2.7)	9 (12.3)	73 (100.0)
	精神障害	25 (59.5)	11 (26.2)	3 (7.1)	1 (2.4)		2 (4.8)	42 (100.0)

問 26a 仕事をする上で必要な配慮事項（複数回答）

	作業手順をわかりやすくしたり、仕事をやりやすくすること	作業のスピードや仕事の量を障害に合わせること	作業を容易にする機器や設備を改善すること	通勤の便宜を図ること	まわりに仕事やコミュニケーションを援助してくれる人を配置すること	体力や体調に合わせて、勤務時間や休みを調整すること	安全や健康管理に特別の配慮をすること	その他	無回答	対象者数
全体	324	220	146	112	226	282	210	70	94	414
	(78.3)	(53.1)	(35.3)	(27.1)	(54.6)	(68.1)	(50.7)	(16.9)	(22.7)	(100.0)
視覚障害	12	10	12	8	8	7	7	3	11	43
	(27.9)	(23.3)	(27.9)	(18.6)	(18.6)	(16.3)	(16.3)	(7.0)	(25.6)	(100.0)
聴覚障害	37	10	18	1	50	23	20	2	5	80
	(46.3)	(12.5)	(22.5)	(1.3)	(62.5)	(28.8)	(25.0)	(2.5)	(6.3)	(100.0)
肢体不自由	37	34	27	26	15	40	27	15	4	99
	(37.4)	(34.3)	(27.3)	(26.3)	(15.2)	(40.4)	(27.3)	(15.2)	(4.0)	(100.0)
内部障害	17	11	5	10	5	41	27	5	7	77
	(22.1)	(14.3)	(6.5)	(13.0)	(6.5)	(53.2)	(35.1)	(6.5)	(9.1)	(100.0)
知的障害	40	29	5	7	21	15	19	7	15	73
	(54.8)	(39.7)	(6.8)	(9.6)	(28.8)	(20.5)	(26.0)	(9.6)	(20.5)	(100.0)
精神障害	19	16	6	4	14	15	5	3	5	42
	(45.2)	(38.1)	(14.3)	(9.5)	(33.3)	(35.7)	(11.9)	(7.1)	(11.9)	(100.0)

問 26b 仕事をする上で、特に会社にお願いしたい配慮事項（複数回答）

	障害や障害者のことを理解してほしい	職場に障害者の仲間を多くしてほしい	ずっと働き続けることができるようにしてほしい	給与面を改善してほしい	体力や障害に合わせた労働時間や休日の設定をしてほしい	能力に応じた評価や、昇進・昇格をしてほしい	研修や教育訓練を充実してほしい	健康管理を充実してほしい	職場の中で困ったことの相談ができるようにしてほしい	その他	無回答	対象者
全体	173	34	145	137	85	105	53	43	90		41	414
	(41.8)	(8.2)	(35.0)	(33.1)	(20.5)	(25.4)	(12.8)	(10.4)	(21.7)		(9.9)	(100.0)
視覚障害	21	3	12	10	5	10	12	3	5		8	43
	(48.8)	(7.0)	(27.9)	(23.3)	(11.6)	(23.3)	(27.9)	(7.0)	(11.6)		(18.6)	(100.0)
聴覚障害	37	12	21	26	13	23	15	11	21		5	80
	(46.3)	(15.0)	(26.3)	(32.5)	(16.3)	(28.8)	(18.8)	(13.8)	(26.3)		(6.3)	(100.0)
肢体不自由	37	6	28	37	27	22	12	8	21		6	99
	(37.4)	(6.1)	(28.3)	(37.4)	(27.3)	(22.2)	(12.1)	(8.1)	(21.2)		(6.1)	(100.0)
内部障害	32		21	23	22	22	9	9	10		6	77
	(41.6)		(27.3)	(29.9)	(28.6)	(28.6)	(11.7)	(11.7)	(13.0)		(7.8)	(100.0)
知的障害	29	10	40	24	9	15	2	8	23		12	73
	(39.7)	(13.7)	(54.8)	(32.9)	(12.3)	(20.5)	(2.7)	(11.0)	(31.5)		(16.4)	(100.0)
精神障害	17	3	23	17	9	13	3	4	10		4	42
	(40.5)	(7.1)	(54.8)	(40.5)	(21.4)	(31.0)	(7.1)	(9.5)	(23.8)		(9.5)	(100.0)

問 27　普段の生活での楽しみ類型

	家族、友人との交流	PC、ゲーム、テレビ	食事、料理	音楽	スポーツ〈観戦〉	旅行	映画・DVD	買い物	読書
全体	114 (32.1)	55 (15.5)	39 (11.0)	52 (14.6)	60 (16.9)	34 (9.6)	38 (10.7)	34 (9.6)	19 (5.4)
視覚障害	14 (43.8)	3 (9.4)	5 (15.6)	6 (18.8)	2 (6.3)	3 (9.4)	1 (3.1)	2 (6.3)	3 (9.4)
聴覚障害	29 (45.3)	8 (12.5)	5 (7.8)	1 (1.6)	9 (14.1)	8 (12.5)	7 (10.9)	2 (3.1)	5 (7.8)
肢体不自由	16 (28.1)	10 (17.5)	9 (15.8)	12 (21.1)	9 (15.8)	6 (10.5)	5 (8.8)	7 (12.3)	2 (3.5)
内部障害	10 (62.5)	1 (6.3)	2 (12.5)	2 (12.5)	2 (12.5)	2 (12.5)	1 (6.3)	2 (12.5)	
知的障害	36 (25.9)	25 (18.0)	10 (7.2)	23 (16.5)	29 (20.9)	14 (10.1)	21 (15.1)	18 (12.9)	6 (4.3)
精神障害	9 (19.1)	8 (17.0)	8 (17.0)	8 (17.0)	9 (19.1)	1 (2.1)	3 (6.4)	3 (6.4)	3 (6.4)

休日/仕事後の時間	ドライブ/ツーリング	睡眠/休養	仕事	勉強	その他趣味	対象者数
64 (18.0)	10 (2.8)	18 (5.1)	13 (3.7)	8 (2.3)	27 (7.6)	355 (100.0)
8 (25.0)		3 (9.4)			4 (12.5)	32 (100.0)
15 (23.4)	2 (3.1)	1 (1.6)	1 (1.6)	2 (3.1)	7 (10.9)	64 (100.0)
7 (12.3)	2 (3.5)	4 (7.0)		1 (1.8)	4 (7.0)	57 (100.0)
4 (25.0)	2 (12.5)		1 (6.3)			16 (100.0)
28 (20.1)	1 (0.7)	2 (1.4)	9 (6.5)	5 (3.6)	8 (5.8)	139 (100.0)
2 (4.3)	3 (6.4)	8 (17.0)	2 (4.3)		4 (8.5)	47 (100.0)

問 28　近い将来実現したい事類型

	結婚・出産、家庭、恋人	職業面向上（昇進、昇給等）	趣味充実（スポーツ等大会で入賞等）	自立（経済的自立、一人暮らし等）	免許資格取得、留学、勉強	家、車等購入	健康面	金銭（貯金、借金返済等）	子供の成長	その他	対象者数
全体	35 (14.8)	54 (22.8)	56 (23.6)	21 (8.9)	18 (7.6)	21 (8.9)	29 (12.2)	12 (5.1)	7 (3.0)	6 (2.5)	237 (100.0)
視覚障害	10 (38.5)	5 (19.2)	7 (26.9)	1 (3.8)	3 (11.5)	3 (11.5)	2 (7.7)		1 (3.8)		26 (100.0)
聴覚障害	3 (5.4)	16 (28.6)	16 (28.6)	4 (7.1)	4 (7.1)	3 (5.4)	10 (17.9)	1 (1.8)	2 (3.6)	3 (5.4)	56 (100.0)
肢体不自由	4 (6.9)	11 (19.0)	15 (25.9)	8 (13.8)	2 (3.4)	8 (13.8)	5 (8.6)	4 (6.9)	2 (3.4)	1 (1.7)	58 (100.0)
内部障害	7 (17.1)	10 (24.4)	8 (19.5)	1 (2.4)	5 (12.2)	4 (9.8)	5 (12.2)	2 (4.9)	1 (2.4)	1 (2.4)	41 (100.0)
知的障害	7 (26.9)	4 (15.4)	7 (26.9)	3 (11.5)	2 (7.7)	2 (7.7)	2 (7.7)	1 (3.8)		1 (3.8)	26 (100.0)
精神障害	4 (13.3)	8 (26.7)	3 (10.0)	4 (13.3)	2 (6.7)	1 (3.3)	5 (16.7)	4 (13.3)	1 (3.3)		30 (100.0)

問 29　生活満足度

		満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満足	不満足	無回答	計
a．家族との人間関係	全体	169 (40.8)	142 (34.3)	66 (15.9)	13 (3.1)	4 (1.0)	20 (4.8)	414 (100.0)
	視覚障害	18 (41.9)	19 (44.2)	2 (4.7)	2 (4.7)		2 (4.7)	43 (100.0)
	聴覚障害	23 (28.8)	35 (43.8)	19 (23.8)	1 (1.3)	1 (1.3)	1 (1.3)	80 (100.0)
	肢体不自由	42 (42.4)	35 (35.4)	18 (18.2)	3 (3.0)	1 (1.0)		99 (100.0)
	内部障害	36 (46.8)	28 (36.4)	9 (11.7)	1		3 (3.9)	77 (100.0)
	知的障害	40 (54.8)	8 (11.0)	9 (12.3)	2 (2.7)	1 (1.4)	13 (17.8)	73 (100.0)
	精神障害	10 (23.8)	17 (40.5)	9 (21.4)	4 (9.5)	1 (2.4)	1 (2.4)	42 (100.0)

		満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満足	不満足	無回答	計
b．友人・知人との人間関係	全体	121 (29.2)	169 (40.8)	91 (22.0)	9 (2.2)	4 (1.0)	20 (4.8)	414 (100.0)
	視覚障害	18 (41.9)	18 (41.9)	5 (11.6)			2 (4.7)	43 (100.0)
	聴覚障害	13 (16.3)	39 (48.8)	25 (31.3)	1 (1.3)		2 (2.5)	80 (100.0)
	肢体不自由	30 (30.3)	39 (39.4)	26 (26.3)	3 (3.0)	1 (1.0)		99 (100.0)
	内部障害	24 (31.2)	38 (49.4)	12 (15.6)	1 (1.3)		2 (2.6)	77 (100.0)
	知的障害	26 (35.6)	19 (26.0)	14 (19.2)	1 (1.4)	1 (1.4)	12 (16.4)	73 (100.0)
	精神障害	10 (23.8)	16 (38.1)	9 (21.4)	3 (7.1)	2 (4.8)	2 (4.8)	42 (100.0)

		満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満足	不満足	無回答	計
c．自分の体力や健康	全体	66 (15.9)	87 (21.0)	134 (32.4)	72 (17.4)	41 (9.9)	14 (3.4)	414 (100.0)
	視覚障害	5 (11.6)	15 (34.9)	15 (34.9)	5 (11.6)	1 (2.3)	2 (4.7)	43 (100.0)
	聴覚障害	9 (11.3)	24 (30.0)	32 (40.0)	12 (15.0)	2 (2.5)	1 (1.3)	80 (100.0)
	肢体不自由	12 (12.1)	10 (10.1)	28 (28.3)	25 (25.3)	24 (24.2)		99 (100.0)
	内部障害	9 (11.7)	15 (19.5)	28 (36.4)	17 (22.1)	8 (10.4)		77 (100.0)
	知的障害	28 (38.4)	13 (17.8)	14 (19.2)	5 (6.8)	3 (4.1)	10 (13.7)	73 (100.0)
	精神障害	3 (7.1)	10 (23.8)	17 (40.5)	8 (19.0)	3 (7.1)	1 (2.4)	42 (100.0)

		満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満足	不満足	無回答	計
d．収入や経済生活	全体	48 (11.6)	129 (31.2)	106 (25.6)	72 (17.4)	41 (9.9)	18 (4.3)	414 (100.0)
	視覚障害	5 (11.6)	19 (44.2)	11 (25.6)	3 (7.0)	3 (7.0)	2 (4.7)	43 (100.0)
	聴覚障害	2 (2.5)	30 (37.5)	29 (36.3)	15 (18.8)	3 (3.8)	1 (1.3)	80 (100.0)
	肢体不自由	12 (12.1)	23 (23.2)	25 (25.3)	22 (22.2)	17 (17.2)		99 (100.0)
	内部障害	6 (7.8)	28 (36.4)	19 (24.7)	16 (20.8)	7 (9.1)	1 (1.3)	77 (100.0)
	知的障害	20 (27.4)	17 (23.3)	14 (19.2)	4 (5.5)	5 (6.8)	13 (17.8)	73 (100.0)
	精神障害	3 (7.1)	12 (28.6)	8 (19.0)	12 (28.6)	6 (14.3)	1 (2.4)	42 (100.0)

問 31　東日本大震災についての自由記述分類

	被災体験		帰宅困難		情報通信		仕事への影響		復興支援、防災		家族関係		地域生活		計		対象者数	
視覚障害	12	27.9%	1	2.3%			1	2.3%	1	2.3%	1	2.3%			16	37.2%	43	100.0%
聴覚障害	5	6.3%			7	8.8%	1	1.3%	7	8.8%	1	1.3%	5	6.3%	26	32.5%	80	100.0%
肢体不自由	16	16.2%	3	3.0%	2	2.0%	3	3.0%	5	5.1%	1	1.0%			30	30.3%	99	100.0%
内部障害	14	18.2%	1	1.3%			4	5.2%	5	6.5%	1	1.3%	4	5.2%	29	37.7%	77	100.0%
知的障害	6	8.2%	6	8.2%			1	1.4%	7	9.6%	1	1.4%			21	28.8%	73	100.0%
精神障害	5	11.9%	1	2.4%			3	7.1%	1	2.4%					10	23.8%	42	100.0%

主な記載内容

○体験

・口コミの地域情報（ガソリン、トイレットペーパーの確保など）が入らず不安だった（聴覚障害)。

・計画停電で歩き慣れた町が暗くなり移動が不安だった（視覚障害）

・震災当日、人工透析が受けられなかった。計画停電、水不足で透析が予定通り受けられず不安だった。他（内部障害）

・病院までのガソリンの確保が大変だった（内部障害)。

・震災、原発事故で精神的ストレスを感じている。（肢体不自由、内部障害）

○体験（帰宅困難）

・電車が止まり帰宅できず会社に泊まった（知的障害、内部障害　他）

・本人と連絡が取れず心配した。臨機応変な判断は難しいので会社に待機させてほしかった（知的障害者の家族)。

○体験（情報通信）

・水やガソリンの情報が入らなかった。放送では情報がわからない。（聴覚障害）

○仕事への影響

・会社が被災し退社した。避難が遅かったら津波にあっていたと思う。（肢体不自由）

・職場にいたが優先的に避難や帰宅をさせてもらった（肢体不自由）

・計画停電の影響で勤務時間が不規則となり体調を崩し仕事を辞めた。（精神障害）

○復興支援・防災

・計画停電を経験し防災、インフラの大切さを学んだ。（肢体不自由）

・震災を契機に職場で防災訓練を行った。防災意識が高まった　等。（聴覚障害、知的障害　他）

○家族

・家族と話し合うことが大切だ（知的障害）

・帰宅に時間がかかったが家族間の連絡がスムーズで助かった。（視覚障害）

2　第２回調査と第３回調査の２年間の経過について障害別集計

（1）職業生活前期調査

家族構成の状況（前期調査）

家族構成の状況：配偶者、子どもの有無　視覚障害　（人）

			第３回				計
			配偶者あり		配偶者なし		
			子どもあり	子どもなし	子どもあり	子どもなし	
第２回	配偶者あり	子どもあり	2				2
		子どもなし	2	3			5
	配偶者なし	子どもあり					
		子どもなし				19	19
計			4	3		19	26

家族構成の状況：配偶者、子どもの有無　聴覚障害　（人）

			第３回				計
			配偶者あり		配偶者なし		
			子どもあり	子どもなし	子どもあり	子どもなし	
第２回	配偶者あり	子どもあり	5				5
		子どもなし	6	2			8
	配偶者なし	子どもあり					
		子どもなし		4		26	30
計			11	6		26	43

家族構成の状況：配偶者、子どもの有無　肢体不自由　（人）

			第３回				計
			配偶者あり		配偶者なし		
			子どもあり	子どもなし	子どもあり	子どもなし	
第２回	配偶者あり	子どもあり	2				2
		子どもなし		4			4
	配偶者なし	子どもあり					
		子どもなし		1		53	54
計			2	5		53	60

家族構成の状況：配偶者、子どもの有無　内部障害　（人）

			第３回				計
			配偶者あり		配偶者なし		
			子どもあり	子どもなし	子どもあり	子どもなし	
第２回	配偶者あり	子どもあり	1				1
		子どもなし		4			4
	配偶者なし	子どもあり					
		子どもなし		1		14	15
計			1	5		14	20

家族構成の状況：配偶者、子どもの有無　知的障害　（人）

			第３回				計
			配偶者あり		配偶者なし		
			子どもあり	子どもなし	子どもあり	子どもなし	
第２回	配偶者あり	子どもあり	1				1
		子どもなし		1			1
	配偶者なし	子どもあり					
		子どもなし				92	92
計			1	1		92	94

家族構成の状況：配偶者、子どもの有無　精神障害　（人）

			第３回				計
			配偶者あり		配偶者なし		
			子どもあり	子どもなし	子どもあり	子どもなし	
第２回	配偶者あり	子どもあり				2	2
		子どもなし		1		2	3
	配偶者なし	子どもあり					
		子どもなし	2	2		23	27
計			2	3		27	32

同居の家族（前期調査）

同居の家族（視覚障害）

		第3回						
		一人暮らし	配偶者を含む家族との同居	父母との同居(配偶者とは同居していない)	子ども、兄弟	グループホーム等	その他・無回答	計
第2回	一人暮らし	7						7
	配偶者を含む家族との同居		7					7
	父母との同居(配偶者とは同居していない)	1		9				10
	子ども、兄弟							
	グループホーム等							
	その他・無回答	1					1	2
	計	9	7	9			1	26

同居の家族（聴覚障害）

		第3回						
		一人暮らし	配偶者を含む家族との同居	父母との同居(配偶者とは同居していない)	子ども、兄弟	グループホーム等	その他・無回答	計
第2回	一人暮らし	2	2	2				6
	配偶者を含む家族との同居		13					13
	父母との同居(配偶者とは同居していない)		2	19				21
	子ども、兄弟							
	グループホーム等	1						1
	その他・無回答						2	2
	計	3	17	21			2	43

同居の家族（肢体不自由）

		第3回						
		一人暮らし	配偶者を含む家族との同居	父母との同居(配偶者とは同居していない)	子ども、兄弟	グループホーム等	その他・無回答	計
第2回	一人暮らし	5						5
	配偶者を含む家族との同居		6					6
	父母との同居(配偶者とは同居していない)	1		44				45
	子ども、兄弟			1				1
	グループホーム等							
	その他・無回答			3				3
	計	6	6	48				60

同居の家族（内部障害）

		第3回						
		一人暮らし	配偶者を含む家族との同居	父母との同居(配偶者とは同居していない)	子ども、兄弟	グループホーム等	その他・無回答	計
第2回	一人暮らし	5						5
	配偶者を含む家族との同居		4	1				5
	父母との同居(配偶者とは同居していない)			9				9
	子ども、兄弟							
	グループホーム等							
	その他・無回答		1					1
	計	5	5	10				20

同居の家族（知的障害）

		第3回						
		一人暮らし	配偶者を含む家族との同居	父母との同居(配偶者とは同居していない)	子ども、兄弟	グループホーム等	その他・無回答	計
第2回	一人暮らし	1						1
	配偶者を含む家族との同居		1				1	2
	父母との同居(配偶者とは同居していない)	2		69				71
	子ども、兄弟			2	1			3
	グループホーム等			1		15		16
	その他・無回答			1				1
	計	3	1	73	1	15	1	94

同居の家族（精神障害）

		第3回						
		一人暮らし	配偶者を含む家族との同居	父母との同居(配偶者とは同居していない)	子ども、兄弟	グループホーム等	その他・無回答	計
第2回	一人暮らし	1	2	1			2	6
	配偶者を含む家族との同居	1		4				5
	父母との同居(配偶者とは同居していない)	1	2	12			1	16
	子ども、兄弟							
	グループホーム等					2		2
	その他・無回答			2			1	3
	計	3	4	19		2	4	32

就業形態の状況　（前期調査）

就業形態の状況　視覚障害

		第3回								計
		正社員	パート・アルバイト	派遣	自営	就労継続A型	就労継続B型等	仕事をしていない	無回答	
第2回	正社員	16						2		18
	パート・アルバイト	1	3			1				5
	派遣									
	自営				1					1
	福祉工場や作業所									
	仕事をしていない	2								2
	無回答									
計		19	3		1	1		2		26

就業形態の状況　聴覚障害

		第3回								計
		正社員	パート・アルバイト	派遣	自営	就労継続A型	就労継続B型等	仕事をしていない	無回答	
第2回	正社員	26						1		27
	パート・アルバイト	1	10							11
	派遣									
	自営									
	福祉工場や作業所					1				1
	仕事をしていない	1	1				1	1		4
	無回答									
計		28	11			1	1	2		43

就業形態の状況　肢体不自由

		第3回								計
		正社員	パート・アルバイト	派遣	自営	就労継続A型	就労継続B型等	仕事をしていない	無回答	
第2回	正社員	31	2					1		34
	パート・アルバイト	1	17		1			2		21
	派遣									
	自営									
	福祉工場や作業所		1				1			2
	仕事をしていない		1			1		1		3
	無回答									
計		32	21		1	1	1	4		60

就業形態の状況　内部障害

		第3回								計
		正社員	パート・アルバイト	派遣	自営	就労継続A型	就労継続B型等	仕事をしていない	無回答	
第2回	正社員	15						1		16
	パート・アルバイト		3							3
	派遣									
	自営									
	福祉工場や作業所									
	仕事をしていない		1							1
	無回答									
計		15	4					1		20

就業形態の状況　知的障害

		第3回								計
		正社員	パート・アルバイト	派遣	自営	就労継続A型	就労継続B型等	仕事をしていない	無回答	
第2回	正社員	18	2			2				22
	パート・アルバイト	6	52	1		3	1	1		64
	派遣							1		1
	自営									
	福祉工場や作業所					2	1			3
	仕事をしていない		1				2		1	4
	無回答									
計		24	55	1		7	4	2	1	94

就業形態の状況　精神障害

		第3回								計
		正社員	パート・アルバイト	派遣	自営	就労継続A型	就労継続B型等	仕事をしていない	無回答	
第2回	正社員	5	2							7
	パート・アルバイト	2	8			2	2	6		20
	派遣		1							1
	自営									
	福祉工場や作業所					1	1			2
	仕事をしていない	1	1							2
	無回答									
計		8	12			3	3	6		32

仕事内容の状況（前期調査）

仕事内容の状況　（視覚障害）　（人）

第2回＼第3回	ものを作る仕事	ものを売る仕事	事務の仕事	ものを教える仕事	医療や福祉に関わる仕事	人を相手にするサービス業	清掃やクリーニングなどのサービス業	その他	無回答	計
ものを作る仕事										
ものを売る仕事										
事務の仕事			6							6
ものを教える仕事				4						4
医療や福祉に関わる仕事					11					11
人を相手にするサービス業						1				1
清掃やクリーニングなどのサービス業										
その他										
無回答										
計			6	4	11	1				22

仕事内容の状況　（聴覚障害）　（人）

第2回＼第3回	ものを作る仕事	ものを売る仕事	事務の仕事	ものを教える仕事	医療や福祉に関わる仕事	人を相手にするサービス業	清掃やクリーニングなどのサービス業	その他	無回答	計
ものを作る仕事	10		1							11
ものを売る仕事		1								1
事務の仕事	2		18						1	21
ものを教える仕事				1						1
医療や福祉に関わる仕事					1					1
人を相手にするサービス業										
清掃やクリーニングなどのサービス業										
その他					1			1		2
無回答										
計	12	1	19	1	2			1	1	37

仕事内容の状況　（肢体不自由）　（人）

第2回＼第3回	ものを作る仕事	ものを売る仕事	事務の仕事	ものを教える仕事	医療や福祉に関わる仕事	人を相手にするサービス業	清掃やクリーニングなどのサービス業	その他	無回答	計
ものを作る仕事	10							1		11
ものを売る仕事										
事務の仕事			34						1	35
ものを教える仕事										
医療や福祉に関わる仕事					1					1
人を相手にするサービス業		1								1
清掃やクリーニングなどのサービス業		1					2			3
その他										
無回答			1							1
計	10	2	35		1		2	1	1	52

仕事内容の状況　（内部障害）　（人）

第2回＼第3回	ものを作る仕事	ものを売る仕事	事務の仕事	ものを教える仕事	医療や福祉に関わる仕事	人を相手にするサービス業	清掃やクリーニングなどのサービス業	その他	無回答	計
ものを作る仕事	3									3
ものを売る仕事										
事務の仕事			12							12
ものを教える仕事										
医療や福祉に関わる仕事					1					1
人を相手にするサービス業										
清掃やクリーニングなどのサービス業							1			1
その他			1							1
無回答										
計	3		13		1		1			18

仕事内容の状況　（知的障害）　（人）

第2回＼第3回	ものを作る仕事	ものを売る仕事	事務の仕事	ものを教える仕事	医療や福祉に関わる仕事	人を相手にするサービス業	清掃やクリーニングなどのサービス業	その他	無回答	計
ものを作る仕事	24	1	1				1			27
ものを売る仕事	1	3				3	1		1	9
事務の仕事	1		2							3
ものを教える仕事										
医療や福祉に関わる仕事					2					2
人を相手にするサービス業		2				2				4
清掃やクリーニングなどのサービス業	3	2			1		23	1		30
その他	1	1								2
無回答	2						2	3		7
計	32	9	3		3	5	27	4	1	84

仕事内容の状況　（精神障害）　（人）

第2回＼第3回	ものを作る仕事	ものを売る仕事	事務の仕事	ものを教える仕事	医療や福祉に関わる仕事	人を相手にするサービス業	清掃やクリーニングなどのサービス業	その他	無回答	計
ものを作る仕事	4		1					1		6
ものを売る仕事		1								1
事務の仕事		1	2			2		1		6
ものを教える仕事										
医療や福祉に関わる仕事		1			1					2
人を相手にするサービス業		1								1
清掃やクリーニングなどのサービス業										
その他	1	1						1	1	4
無回答										
計	5	5	3		1	2		3	1	20

勤務時間の状況（前期調査）

勤務時間の状況　（視覚障害）　（人）

		第３回				計
		20時間未満	20時間以上30時間未満	30時間以上（フルタイム）	無回答	
第２回	20時間未満	1				1
	20時間以上30時間未満		1	1		2
	30時間以上（フルタイム）			18	1	19
	無回答					
計		1	1	19	1	22

勤務時間の状況　（聴覚障害）

		第３回				計
		20時間未満	20時間以上30時間未満	30時間以上（フルタイム）	無回答	
第２回	20時間未満			1		1
	20時間以上30時間未満	1	2			3
	30時間以上（フルタイム）	3	3	25	1	32
	無回答		1			1
計		4	6	26	1	37

勤務時間の状況　（肢体不自由）　（人）

		第３回				計
		20時間未満	20時間以上30時間未満	30時間以上（フルタイム）	無回答	
第２回	20時間未満	2				2
	20時間以上30時間未満		6	2		8
	30時間以上（フルタイム）		2	39		41
	無回答				1	1
計		2	8	41	1	52

勤務時間の状況　（内部障害）　（人）

		第３回				計
		20時間未満	20時間以上30時間未満	30時間以上（フルタイム）	無回答	
第２回	20時間未満					
	20時間以上30時間未満		1	1		2
	30時間以上（フルタイム）		1	15		16
	無回答					
計			2	16		18

勤務時間の状況　（知的障害）　（人）

		第３回				計
		20時間未満	20時間以上30時間未満	30時間以上（フルタイム）	無回答	
第２回	20時間未満	1	4	3		8
	20時間以上30時間未満	3	22	3	1	29
	30時間以上（フルタイム）	1	9	32	1	43
	無回答			4		4
計		5	35	42	2	84

勤務時間の状況　（精神障害）　（人）

		第３回				計
		20時間未満	20時間以上30時間未満	30時間以上（フルタイム）	無回答	
第２回	20時間未満					
	20時間以上30時間未満	1	2	3		6
	30時間以上（フルタイム）		1	10	1	12
	無回答		1	1		2
計		1	4	14	1	20

１週間当たりの休日数の状況（前期調査）

1週間当たり休日数の状況　（視覚障害）　（人）

		第３回						計
		1日	2日	3日	4日以上	不定期	無回答	
第2回	1日		1		1			2
	2日		15		2			17
	3日							
	4日以上				1			1
	不定期		1					1
	無回答	1						1
計		1	17		4			22

1週間当たり休日数の状況　（聴覚障害）　（人）

		第３回						計
		1日	2日	3日	4日以上	不定期	無回答	
第2回	1日							
	2日		27		3	2	1	33
	3日		1					1
	4日以上				1			1
	不定期					1		1
	無回答		1					1
計			29		4	3	1	37

1週間当たり休日数の状況　（肢体不自由）　（人）

		第３回						計
		1日	2日	3日	4日以上	不定期	無回答	
第2回	1日	2	3					5
	2日	1	34					35
	3日		1	2				3
	4日以上		5		1			6
	不定期		1					1
	無回答		1				1	2
計		3	45	2	1		1	52

1週間当たり休日数の状況　（内部障害）　（人）

		第３回						計
		1日	2日	3日	4日以上	不定期	無回答	
第2回	1日	1						1
	2日		14		1			15
	3日		1					1
	4日以上		1					1
	不定期							
	無回答							
計		1	16		1			18

1週間当たり休日数の状況　（知的障害）　（人）

		第３回						計
		1日	2日	3日	4日以上	不定期	無回答	
第2回	1日	4	1		1			6
	2日	1	45	1	9	1	1	58
	3日		3	5			1	9
	4日以上		6	1	1			8
	不定期							
	無回答		1		1		1	3
計		5	56	7	12	1	3	84

1週間当たり休日数の状況　（精神障害）　（人）

		第３回						計
		1日	2日	3日	4日以上	不定期	無回答	
第2回	1日							
	2日	1	10	2		1	1	15
	3日		3					3
	4日以上		1					1
	不定期		1					1
	無回答							
計		1	15	2		1	1	20

１ヶ月当たりの給与額の状況　(前期調査)

１か月当たりの給与額の状況　（視覚障害）

（人）

		第３回						
		7万円未満	7万円以上13万円未満	13万円以上25万円未満	25万円以上40万円未満	40万円以上	無回答	計
第２回	7万円未満	1						1
	7万円以上13万円未満		2	1				3
	13万円以上25万円未満			16	1			17
	25万円以上40万円未満							
	40万円以上					1		1
	無回答							
計		1	2	17	1	1		22

１か月当たりの給与額の状況　（聴覚障害）

（人）

		第３回						
		7万円未満	7万円以上13万円未満	13万円以上25万円未満	25万円以上40万円未満	40万円以上	無回答	計
第２回	7万円未満							
	7万円以上13万円未満		5	3				8
	13万円以上25万円未満		3	15	1		2	21
	25万円以上40万円未満			2	5			7
	40万円以上							
	無回答			1				1
計			8	21	6		2	37

１か月当たりの給与額の状況　（肢体不自由）

（人）

		第３回						
		7万円未満	7万円以上13万円未満	13万円以上25万円未満	25万円以上40万円未満	40万円以上	無回答	計
第２回	7万円未満	2	1				1	4
	7万円以上13万円未満		15	6				21
	13万円以上25万円未満		1	22		1	1	25
	25万円以上40万円未満				1			1
	40万円以上							
	無回答						1	1
計		2	17	28	1	1	3	52

１か月当たりの給与額の状況　（内部障害）

（人）

		第３回						
		7万円未満	7万円以上13万円未満	13万円以上25万円未満	25万円以上40万円未満	40万円以上	無回答	計
第２回	7万円未満							
	7万円以上13万円未満		3	1				4
	13万円以上25万円未満			10	2			12
	25万円以上40万円未満			2				2
	40万円以上							
	無回答							
計		0	3	13	2			18

１か月当たりの給与額の状況　（知的障害）

（人）

		第３回						
		7万円未満	7万円以上13万円未満	13万円以上25万円未満	25万円以上40万円未満	40万円以上	無回答	計
第２回	7万円未満	15	7					22
	7万円以上13万円未満	4	45	4			1	54
	13万円以上25万円未満		1	7				8
	25万円以上40万円未満							
	40万円以上							
	無回答							
計		19	53	11			1	84

１か月当たりの給与額の状況　（精神障害）

（人）

		第３回						
		7万円未満	7万円以上13万円未満	13万円以上25万円未満	25万円以上40万円未満	40万円以上	無回答	計
第２回	7万円未満	1	1					2
	7万円以上13万円未満	1	6	3			1	11
	13万円以上25万円未満		3	4				7
	25万円以上40万円未満							
	40万円以上							
	無回答							
計		2	10	7			1	20

仕事の継続意思の状況　（前期調査）

仕事継続意思の状況　（視覚障害）　（人）

		第３回				計
		現在の仕事を続けたい	現在の仕事とは別の仕事をしたい	わからない	無回答	
第２回	現在の仕事を続けたい	11	1	1		13
	現在の仕事とは別の仕事をしたい	1	2			3
	わからない	1		5		6
	無回答					
計		13	3	6		22

仕事継続意思の状況　（聴覚障害）　（人）

		第３回				計
		現在の仕事を続けたい	現在の仕事とは別の仕事をしたい	わからない	無回答	
第２回	現在の仕事を続けたい	18	2	3	1	24
	現在の仕事とは別の仕事をしたい	2	6	1		9
	わからない	1	1	2		4
	無回答					
計		21	9	6	1	37

仕事継続意思の状況　（肢体不自由）　（人）

		第３回				計
		現在の仕事を続けたい	現在の仕事とは別の仕事をしたい	わからない	無回答	
第２回	現在の仕事を続けたい	28	2	4		34
	現在の仕事とは別の仕事をしたい	2	3	1	1	7
	わからない	5	1	3		9
	無回答	2				2
計		37	6	8	1	52

仕事継続意思の状況　（内部障害）　（人）

		第３回				計
		現在の仕事を続けたい	現在の仕事とは別の仕事をしたい	わからない	無回答	
第２回	現在の仕事を続けたい	7	2			9
	現在の仕事とは別の仕事をしたい	1	1			2
	わからない			6		6
	無回答	1				1
計		9	3	6	0	18

仕事継続意思の状況　（知的障害）　（人）

		第３回				計
		現在の仕事を続けたい	現在の仕事とは別の仕事をしたい	わからない	無回答	
第２回	現在の仕事を続けたい	53	3	5		61
	現在の仕事とは別の仕事をしたい	4	2	3		9
	わからない	6	2	2		10
	無回答	3	1			4
計		66	8	10		84

仕事継続意思の状況　（精神障害）　（人）

		第３回				計
		現在の仕事を続けたい	現在の仕事とは別の仕事をしたい	わからない	無回答	
第２回	現在の仕事を続けたい	7	1	1		9
	現在の仕事とは別の仕事をしたい	1	1	1		3
	わからない	4	1	2	1	8
	無回答					
計		12	3	4	1	20

（2）職業生活後期調査

家族構成の状況（後期）

家族構成の状況（視覚障害）

			第3回				計
			配偶者あり		配偶者なし		
			子どもあり	子どもなし	子どもあり	子どもなし	
第2回	配偶者あり	子どもあり	8	2		1	11
		子どもなし		2			2
	配偶者なし	子どもあり			1		1
		子どもなし		2		15	17
計			8	6	1	16	31

家族構成の状況（聴覚障害）

			第3回				計
			配偶者あり		配偶者なし		
			子どもあり	子どもなし	子どもあり	子どもなし	
第2回	配偶者あり	子どもあり	23		2		25
		子どもなし	2	6			8
	配偶者なし	子どもあり	1		3	2	6
		子どもなし		2		10	12
計			26	8	5	12	51

家族構成の状況（肢体不自由）

			第3回				計
			配偶者あり		配偶者なし		
			子どもあり	子どもなし	子どもあり	子どもなし	
第2回	配偶者あり	子どもあり	24	3			27
		子どもなし		14			14
	配偶者なし	子どもあり			5	1	6
		子どもなし				29	29
計			24	17	5	30	76

家族構成の状況（内部障害）

			第3回				計
			配偶者あり		配偶者なし		
			子どもあり	子どもなし	子どもあり	子どもなし	
第2回	配偶者あり	子どもあり	10				10
		子どもなし	1	3			4
	配偶者なし	子どもあり			1		1
		子どもなし	1			14	15
計			12	3	1	14	30

家族構成の状況（知的障害）

			第3回				計
			配偶者あり		配偶者なし		
			子どもあり	子どもなし	子どもあり	子どもなし	
第2回	配偶者あり	子どもあり					0
		子どもなし	1				1
	配偶者なし	子どもあり			1		1
		子どもなし			1	48	49
計			1		2	48	51

家族構成の状況（精神障害）

			第3回				計
			配偶者あり		配偶者なし		
			子どもあり	子どもなし	子どもあり	子どもなし	
第2回	配偶者あり	子どもあり	3	1			4
		子どもなし					0
	配偶者なし	子どもあり			2		2
		子どもなし		1		13	14
計			3	2	2	13	20

同居の家族（後期）

同居の家族（視覚障害）　（人）

		第3回						
		一人暮らし	配偶者を含む家族との同居	父母との同居（配偶者とは同居していない）	子ども、兄弟	グループホーム等	その他・無回答	計
第2回	一人暮らし	7		1				8
	配偶者を含む家族との同居		11				2	13
	父母との同居（配偶者とは同居していない）	1		6			1	8
	子ども、兄弟				1			1
	グループホーム等							
	その他・無回答		1					1
	計	8	12	7	1		3	31

同居の家族（聴覚障害）　（人）

		第3回						
		一人暮らし	配偶者を含む家族との同居	父母との同居（配偶者とは同居していない）	子ども、兄弟	グループホーム等	その他・無回答	計
第2回	一人暮らし	6	1				1	8
	配偶者を含む家族との同居		28	1	1		1	31
	父母との同居（配偶者とは同居していない）		2	6			1	9
	子ども、兄弟	1			2			3
	グループホーム等							
	その他・無回答							
	計	7	31	7	3		3	51

同居の家族（肢体不自由）　（人）

		第3回						
		一人暮らし	配偶者を含む家族との同居	父母との同居（配偶者とは同居していない）	子ども、兄弟	グループホーム等	その他・無回答	計
第2回	一人暮らし	10	1					11
	配偶者を含む家族との同居		35				4	39
	父母との同居（配偶者とは同居していない）	1		21				22
	子ども、兄弟				4			4
	グループホーム等							
	その他・無回答							
	計	11	36	21	4		4	76

同居の家族（内部障害）　（人）

		第3回						
		一人暮らし	配偶者を含む家族との同居	父母との同居（配偶者とは同居していない）	子ども、兄弟	グループホーム等	その他・無回答	計
第2回	一人暮らし	3		1				4
	配偶者を含む家族との同居		14					14
	父母との同居（配偶者とは同居していない）			9				9
	子ども、兄弟	2			1			3
	グループホーム等							
	その他・無回答	1	1	1				3
	計	5	14	10	1			30

同居の家族（知的障害）　（人）

		第3回						
		一人暮らし	配偶者を含む家族との同居	父母との同居（配偶者とは同居していない）	子ども、兄弟	グループホーム等	その他・無回答	計
第2回	一人暮らし	1		1			1	3
	配偶者を含む家族との同居		1					1
	父母との同居（配偶者とは同居していない）			28	1	2	1	32
	子ども、兄弟				2			2
	グループホーム等	1				11	1	13
	その他・無回答							
	計	2	1	29	3	13	3	51

同居の家族（精神障害）　（人）

		第3回						
		一人暮らし	配偶者を含む家族との同居	父母との同居（配偶者とは同居していない）	子ども、兄弟	グループホーム等	その他・無回答	計
第2回	一人暮らし	2	1					3
	配偶者を含む家族との同居		4					4
	父母との同居（配偶者とは同居していない）	1		12				13
	子ども、兄弟							
	グループホーム等							
	その他・無回答							
	計	3	5	12				20

就業形態の状況（後期）

就業形態の状況（視覚障害）

		第3回調査										計
		正社員	パート・アルバイト	派遣	自営	内職	就労継続A型	就労継続B型	仕事をしていない	その他	無回答	
第2回調査	正社員	16	1									17
	パート・アルバイト		4									4
	派遣											
	自営				8							8
	内職											
	就労継続A型											
	就労継続B型											
	仕事をしていない	1							1			2
	その他											
	無回答											
計		17	5		8				1			31

就業形態の状況（聴覚障害）

		第3回調査										計
		正社員	パート・アルバイト	派遣	自営	内職	就労継続A型	就労継続B型	仕事をしていない	その他	無回答	
第2回調査	正社員	29							1		1	31
	パート・アルバイト		12					1			1	14
	派遣											
	自営	1	2		1							4
	内職											
	就労継続A型											
	就労継続B型											
	仕事をしていない								1			1
	その他											
	無回答						1					1
計		30	14		1		1	1	2		2	51

就業形態の状況（肢体不自由）

		第3回調査										計
		正社員	パート・アルバイト	派遣	自営	内職	就労継続A型	就労継続B型	仕事をしていない	その他	無回答	
第2回調査	正社員	50							4			54
	パート・アルバイト		9						2			11
	派遣											
	自営		1									1
	内職											
	就労継続A型						1	2				3
	就労継続B型						1					1
	仕事をしていない		2						4			6
	その他											
	無回答											
計		50	12				2	2	10			76

就業形態の状況（内部障害）

		第3回調査										計
		正社員	パート・アルバイト	派遣	自営	内職	就労継続A型	就労継続B型	仕事をしていない	その他	無回答	
第2回調査	正社員	21	1						1			23
	パート・アルバイト		5									5
	派遣											
	自営				2							2
	内職											
	就労継続A型											
	就労継続B型											
	仕事をしていない											
	その他											
	無回答											
計		21	6		2				1			30

就業形態の状況（知的障害）

		第3回調査										計
		正社員	パート・アルバイト	派遣	自営	内職	就労継続A型	就労継続B型	仕事をしていない	その他	無回答	
第2回調査	正社員	15	1				1				1	18
	パート・アルバイト	2	20				1	5	1			29
	派遣											
	自営											
	内職											
	就労継続A型											
	就労継続B型	1	1									2
	仕事をしていない											
	その他							1				1
	無回答		1									1
計		18	23				2	6	1		1	51

就業形態の状況（精神障害）

		第3回調査										計
		正社員	パート・アルバイト	派遣	自営	内職	就労継続A型	就労継続B型	仕事をしていない	その他	無回答	
第2回調査	正社員	4	1									5
	パート・アルバイト		10									10
	派遣											
	自営											
	内職											
	就労継続A型										1	1
	就労継続B型		1					1				2
	仕事をしていない		1						1			2
	その他											
	無回答											
計		4	13					1	1		1	20

仕事の内容（後期）

仕事内容の状況　（視覚障害）　（人）

第2回＼第3回	ものを作る仕事	ものを売る仕事	事務の仕事	ものを教える仕事	医療や福祉に関わる仕事	人を相手にするサービス業	清掃やクリーニングなどのサービス業	その他	無回答	計
ものを作る仕事										
ものを売る仕事										
事務の仕事			2							2
ものを教える仕事				5	1					6
医療や福祉に関わる仕事					17					17
人を相手にするサービス業				1	1					2
清掃やクリーニングなどのサービス業										
その他				1						1
無回答					1					1
計			2	7	20					29

仕事内容の状況　（聴覚障害）　（人）

第2回＼第3回	ものを作る仕事	ものを売る仕事	事務の仕事	ものを教える仕事	医療や福祉に関わる仕事	人を相手にするサービス業	清掃やクリーニングなどのサービス業	その他	無回答	計
ものを作る仕事	16							1		17
ものを売る仕事	1									1
事務の仕事			13					1		14
ものを教える仕事				1						1
医療や福祉に関わる仕事			1		4					5
人を相手にするサービス業									1	1
清掃やクリーニングなどのサービス業										
その他	4							2		6
無回答										
計	21		14	1	4			4	1	45

仕事内容の状況　（肢体不自由）　（人）

第2回＼第3回	ものを作る仕事	ものを売る仕事	事務の仕事	ものを教える仕事	医療や福祉に関わる仕事	人を相手にするサービス業	清掃やクリーニングなどのサービス業	その他	無回答	計
ものを作る仕事	13		3					2		18
ものを売る仕事										
事務の仕事	1		27					1	1	30
ものを教える仕事				1						1
医療や福祉に関わる仕事					3					3
人を相手にするサービス業						2		1		3
清掃やクリーニングなどのサービス業							2			2
その他	2							1		3
無回答	1									1
計	17		30	1	3	2	2	5	1	61

仕事内容の状況　（内部障害）　（人）

第2回＼第3回	ものを作る仕事	ものを売る仕事	事務の仕事	ものを教える仕事	医療や福祉に関わる仕事	人を相手にするサービス業	清掃やクリーニングなどのサービス業	その他	無回答	計
ものを作る仕事	3									3
ものを売る仕事		2								2
事務の仕事			11							11
ものを教える仕事				1						1
医療や福祉に関わる仕事			1		1					2
人を相手にするサービス業			2							2
清掃やクリーニングなどのサービス業							4			4
その他			3					1		4
無回答										
計	3	2	17	1	1		4	1		29

仕事内容の状況　（知的障害）　（人）

第2回＼第3回	ものを作る仕事	ものを売る仕事	事務の仕事	ものを教える仕事	医療や福祉に関わる仕事	人を相手にするサービス業	清掃やクリーニングなどのサービス業	その他	無回答	計
ものを作る仕事	11									11
ものを売る仕事	1	1								2
事務の仕事			1							1
ものを教える仕事										
医療や福祉に関わる仕事					1					1
人を相手にするサービス業										
清掃やクリーニングなどのサービス業							14			14
その他	1						4	5		10
無回答									1	1
計	13	1	1		1		18	5	1	40

仕事内容の状況　（精神障害）　（人）

第2回＼第3回	ものを作る仕事	ものを売る仕事	事務の仕事	ものを教える仕事	医療や福祉に関わる仕事	人を相手にするサービス業	清掃やクリーニングなどのサービス業	その他	無回答	計
ものを作る仕事	1		1							2
ものを売る仕事	1	2								3
事務の仕事			3							3
ものを教える仕事										
医療や福祉に関わる仕事										
人を相手にするサービス業			1							1
清掃やクリーニングなどのサービス業							1			1
その他	1	1				1		2		5
無回答										
計	3	3	5			1	1	2		15

勤務時間（後期）

勤務時間の状況　（視覚障害）　（人）

		第３回				計
		20時間未満	20時間以上30時間未満	30時間以上（フルタイム）	無回答	
第２回	20時間未満	1				1
	20時間以上30時間未満			2		2
	30時間以上（フルタイム）	1	1	24		26
	無回答					
計		2	1	26		29

勤務時間の状況　（聴覚障害）　（人）

		第３回				計
		20時間未満	20時間以上30時間未満	30時間以上（フルタイム）	無回答	
第２回	20時間未満					
	20時間以上30時間未満	2	4	2	1	9
	30時間以上（フルタイム）		3	31	1	35
	無回答			1		1
計		2	7	34	2	45

勤務時間の状況　（肢体不自由）　（人）

		第３回				計
		20時間未満	20時間以上30時間未満	30時間以上（フルタイム）	無回答	
第２回	20時間未満					
	20時間以上30時間未満	1	6	1		8
	30時間以上（フルタイム）	1		49	2	52
	無回答			1		1
計		2	6	51	2	61

勤務時間の状況　（内部障害）　（人）

		第３回				計
		20時間未満	20時間以上30時間未満	30時間以上（フルタイム）	無回答	
第２回	20時間未満					
	20時間以上30時間未満	1	2	3		6
	30時間以上（フルタイム）		2	19	1	22
	無回答		1			1
計		1	5	22	1	29

勤務時間の状況　（知的障害）　（人）

		第３回				計
		20時間未満	20時間以上30時間未満	30時間以上（フルタイム）	無回答	
第２回	20時間未満	2				2
	20時間以上30時間未満		4	3	1	8
	30時間以上（フルタイム）	1	8	15	1	25
	無回答	1	1	2	1	5
計		4	13	20	3	40

勤務時間の状況　（精神障害）　（人）

		第３回				計
		20時間未満	20時間以上30時間未満	30時間以上（フルタイム）	無回答	
第２回	20時間未満		1			1
	20時間以上30時間未満	2	2			4
	30時間以上（フルタイム）	1	2	6		9
	無回答			1		1
計		3	5	7		15

１週間当たりの休日数（後期）

1週間当たり休日数の状況　（視覚障害）　（人）

		第３回						計
		１日	２日	３日	４日以上	不定期	無回答	
第２回	１日	7			1			8
	２日		12		3		1	16
	３日							
	４日以上		2	2				4
	不定期					1		1
	無回答							
計		7	14	2	4	1	1	29

1週間当たり休日数の状況　（聴覚障害）　（人）

		第３回						計
		１日	２日	３日	４日以上	不定期	無回答	
第２回	１日	2	1	1				4
	２日	4	22	2	4	1	1	34
	３日		1		1			2
	４日以上		2		1		1	4
	不定期		1					1
	無回答							
計		6	27	3	6	1	2	45

1週間当たり休日数の状況　（肢体不自由）　（人）

		第３回						計
		１日	２日	３日	４日以上	不定期	無回答	
第２回	１日		2					2
	２日		39	1	2		2	44
	３日			2				2
	４日以上		7		2			9
	不定期	1				1		2
	無回答		2					2
計		1	50	3	4	1	2	61

1週間当たり休日数の状況　（内部障害）　（人）

		第３回						計
		１日	２日	３日	４日以上	不定期	無回答	
第２回	１日	1			1		1	3
	２日	1	18		3	1		23
	３日							
	４日以上		1		1			2
	不定期					1		1
	無回答							
計		2	19		5	2	1	29

1週間当たり休日数の状況　（知的障害）　（人）

		第３回						計
		１日	２日	３日	４日以上	不定期	無回答	
第２回	１日				1			1
	２日	2	16	1	4		1	24
	３日							
	４日以上	2	6		2			10
	不定期		1					1
	無回答		3				1	4
計		4	26	1	7		2	40

1週間当たり休日数の状況　（精神障害）　（人）

		第３回						計
		１日	２日	３日	４日以上	不定期	無回答	
第２回	１日							
	２日	1	7	1	2	1		12
	３日			3				3
	４日以上							
	不定期							
	無回答							
計		1	7	4	2	1		15

１ヶ月あたりの給与額の状況（後期）

１か月当たりの給与額の状況　（視覚障害）　（人）

		第３回						計
		7万円未満	7万円以上13万円未満	13万円以上25万円未満	25万円以上40万円未満	40万円以上	無回答	
第２回	7万円未満	1						1
	7万円以上13万円未満	1						1
	13万円以上25万円未満	1	1	11	1			14
	25万円以上40万円未満				11		2	13
	40万円以上							2
	無回答							
計		3	1	11	12		2	29

１か月当たりの給与額の状況　（聴覚障害）　（人）

		第３回						計
		7万円未満	7万円以上13万円未満	13万円以上25万円未満	25万円以上40万円未満	40万円以上	無回答	
第２回	7万円未満	1		1				2
	7万円以上13万円未満	2	6	5				13
	13万円以上25万円未満		1	15	2	1	1	20
	25万円以上40万円未満			2	6	1		9
	40万円以上				1			1
	無回答							
計		3	7	23	9	2	1	45

１か月当たりの給与額の状況　（肢体不自由）　（人）

		第３回						計
		7万円未満	7万円以上13万円未満	13万円以上25万円未満	25万円以上40万円未満	40万円以上	無回答	
第２回	7万円未満	2	1					3
	7万円以上13万円未満	2	2	2				6
	13万円以上25万円未満		1	28	4		2	35
	25万円以上40万円未満				13	1		14
	40万円以上				1			1
	無回答			1	1			2
計		4	4	31	19	1	2	61

１か月当たりの給与額の状況　（内部障害）　（人）

		第３回						計
		7万円未満	7万円以上13万円未満	13万円以上25万円未満	25万円以上40万円未満	40万円以上	無回答	
第２回	7万円未満							
	7万円以上13万円未満		3	1				4
	13万円以上25万円未満	1	1	11	2		1	16
	25万円以上40万円未満				6			6
	40万円以上					2		2
	無回答	1						1
計		2	4	12	8	2	1	29

１か月当たりの給与額の状況　（知的障害）　（人）

		第３回						計
		7万円未満	7万円以上13万円未満	13万円以上25万円未満	25万円以上40万円未満	40万円以上	無回答	
第２回	7万円未満	3	3				1	7
	7万円以上13万円未満	1	21	2			1	25
	13万円以上25万円未満		2	3			1	6
	25万円以上40万円未満							
	40万円以上							
	無回答		1	1				2
計		4	27	6			3	40

１か月当たりの給与額の状況　（精神障害）　（人）

		第３回						計
		7万円未満	7万円以上13万円未満	13万円以上25万円未満	25万円以上40万円未満	40万円以上	無回答	
第２回	7万円未満	1	2					3
	7万円以上13万円未満		8					8
	13万円以上25万円未満			1				1
	25万円以上40万円未満			1	2			3
	40万円以上							
	無回答							
計		1	10	2	2			15

仕事の継続意思の状況　（後期調査）

仕事継続意思の状況　（視覚障害）　（人）

		第３回				計
		現在の仕事を続けたい	現在の仕事とは別の仕事をしたい	わからない	無回答	
第２回	現在の仕事を続けたい	15	1	1	2	19
	現在の仕事とは別の仕事をしたい				1	1
	わからない	2	1		1	4
	無回答	4			1	5
計		21	2	1	5	29

仕事継続意思の状況　（聴覚障害）　（人）

		第３回				計
		現在の仕事を続けたい	現在の仕事とは別の仕事をしたい	わからない	無回答	
第２回	現在の仕事を続けたい	15		3	2	20
	現在の仕事とは別の仕事をしたい	4	2	1	1	8
	わからない	2	2	4	1	9
	無回答	5	1		2	8
計		26	5	8	6	45

仕事継続意思の状況　（肢体不自由）　（人）

		第３回				計
		現在の仕事を続けたい	現在の仕事とは別の仕事をしたい	わからない	無回答	
第２回	現在の仕事を続けたい	17	1	3	3	24
	現在の仕事とは別の仕事をしたい	2	1	3		6
	わからない	3	1	3	1	8
	無回答	12	3	4	4	23
計		34	6	13	8	61

仕事継続意思の状況　（内部障害）　（人）

		第３回				計
		現在の仕事を続けたい	現在の仕事とは別の仕事をしたい	わからない	無回答	
第２回	現在の仕事を続けたい	17			2	19
	現在の仕事とは別の仕事をしたい	2				2
	わからない	2		2		4
	無回答	1	2	1		4
計		22	2	3	2	29

仕事継続意思の状況　（知的障害）　（人）

		第３回				計
		現在の仕事を続けたい	現在の仕事とは別の仕事をしたい	わからない	無回答	
第２回	現在の仕事を続けたい	29	2	1	2	34
	現在の仕事とは別の仕事をしたい	1	2			3
	わからない	1				1
	無回答	1				1
計		32	4	1	2	39

仕事継続意思の状況　（精神障害）　（人）

		第３回				計
		現在の仕事を続けたい	現在の仕事とは別の仕事をしたい	わからない	無回答	
第２回	現在の仕事を続けたい	8	1	2		11
	現在の仕事とは別の仕事をしたい			1	1	2
	わからない	2				2
	無回答					
計		10	1	3	1	15

3　就業形態に変化のない人の障害別状況

（1）職業生活前期調査

3回とも正社員の人の性別

	男性	女性	計	割合
視覚障害	10	5	15	60.0%
聴覚障害	16	7	23	56.1%
肢体不自由	20	8	28	50.9%
内部障害	11	4	15	75.0%
知的障害	14	3	17	18.3%
精神障害	5	1	6	18.8%
計	76	28	104	39.1%
	73.1%	26.9%	100.0%	
回答者全体	175	91	266	
	65.8%	34.2%	100.0%	

3回ともパートアルバイトの人の性別

	男性	女性	計	割合
視覚障害	2	1	3	2.9%
聴覚障害	3	5	8	7.7%
肢体不自由	10	4	14	13.5%
内部障害	1	2	3	2.9%
知的障害	27	15	42	40.4%
精神障害	6	6	12	11.5%
計	49	33	82	78.8%
	59.8%	40.2%	100.0%	
回答者全体	175	91	266	
	65.8%	34.2%	100.0%	

3回とも正社員の人の年代

	20歳代	30歳代	40歳代	計
視覚障害	2	8	5	15
聴覚障害	5	11	7	23
肢体不自由	8	8	12	28
内部障害	1	8	6	15
知的障害	9	6	2	17
精神障害	0	4	2	6
計	25	45	34	104
	24.0%	43.3%	32.7%	100.0%
回答者全体	92	115	59	266
	34.6%	43.2%	22.2%	100.0%

3回ともパート・アルバイトの人の年代

	20歳代	30歳代	40歳代	計
視覚障害		2	1	3
聴覚障害	1	5	2	8
肢体不自由	6	4	4	14
内部障害		1	2	3
知的障害	28	13	1	42
精神障害	1	6	5	12
計	36	31	15	82
	43.9%	37.8%	18.3%	100.0%
回答者全体	92	115	59	266
	34.6%	43.2%	22.2%	100.0%

正社員継続者の第2回第3回のライフイベント累計

（人、%）

	結婚をした	離婚をした	子どもを生んだ/子どもが生まれた	引越をした	親元から離れて暮し始めた	自分が病気や事故で一カ月以上の入院をした	学校に通ったまたは卒業した	障害に関する年金を受給しはじめた	障害に関する年金の受給がなくなった	自分の親が離婚をした	自分の親が仕事を辞めた	家族が病気や事故で一カ月以上の入院をした	家族が亡くなった	該当する項目なし	無回答	対象者
視覚障害		2	1	5	1		1				2	1	1	13		30
聴覚障害	6		5	14	3	2		2	1		1	3	2	20		46
肢体不自由	2			4	1			3	2			3	1	32		56
内部障害	1			5		1					3	3	2	13		30
知的障害			1	1				1			2	4	3	21		34
精神障害			1	3	1			2			2	3		6		12
計	9	2	8	32	6	3	1	8	3		10	17	9	105		208
構成比	3.5%	0.8%	3.1%	12.6%	2.4%	1.2%	0.4%	3.1%	1.2%		3.9%	6.7%	3.5%	41.3%		100.0%

パート・アルバイト継続者のライフイベント累計

	結婚をした	離婚をした	子どもを生んだ/子どもが生まれた	引越をした	親元から離れて暮し始めた	自分が病気や事故で一カ月以上の入院をした	学校に通ったまたは卒業した	障害に関する年金を受給しはじめた	障害に関する年金の受給がなくなった	自分の親が離婚をした	自分の親が仕事を辞めた	家族が病気や事故で一カ月以上の入院をした	家族が亡くなった	該当する項目なし	無回答	対象者
視覚障害				3	1									3		6
聴覚障害	2		1	2	2	1	2	1						9		16
肢体不自由			1	4	1	4		1			1	2	3	12		28
内部障害											2			4		6
知的障害	1			4	1	1		8			2	4	2	64		84
精神障害				2							2	2	2	18		24
計	3		2	15	5	6	2	10			7	8	7	110		164
構成比	1.8%		1.2%	9.1%	3.0%	3.7%	1.2%	6.1%			4.3%	4.9%	4.3%	67.1%		100.0%

正社員継続者の仕事上の出来事累計

	配置転換があった	上司が異動した	援助してくれる人がいなくなった	昇進した	給料が上がった	給料が下がった	正社員になった	休職をした	転職をした	勤めていた会社が倒産した	該当する項目なし	無回答	対象者（注）
視覚障害	4	4	1	2	11	6					9		30
聴覚障害	10	8	1		22	2		3	2		9		46
肢体不自由	14	11	4	2	30	6		1			9		56
内部障害	13	6	2	3	11	3		5			4		30
知的障害	5	5	4	1	10	3					8		34
精神障害	4	2	1	2	5	2		1			1		12
計	50	36	13	10	89	22		10	2		40		208
構成比	24.0%	17.3%	6.3%	4.8%	42.8%	10.6%		4.8%	1.0%		19.2%		100.0%

パート・アルバイト継続者の仕事上の出来事累計

	配置転換があった	上司が異動した	援助してくれる人がいなくなった	昇進した	給料が上がった	給料が下がった	正社員になった	休職をした	転職をした	勤めていた会社が倒産した	該当する項目なし	無回答	対象者（注）
視覚障害	2	2		1		2					1		6
聴覚障害	4	3			8	1			1		3		16
肢体不自由	4	4	1		7	1		1			10		28
内部障害	1				1				1		3		6
知的障害	15	12	10		18	8		2	2		22		84
精神障害	11	4		1	12	0		1	2		6		24
計	26	25	11	2	46	12		4	6		45		164
構成比	15.9%	15.2%	6.7%	1.2%	28.0%	7.3%		2.4%	3.7%		27.4%		100.0%

正社員継続者の継続意思

	現在の仕事を続けたい	現在の仕事とは別の仕事をしたい	わからない	無回答	計
視覚障害	9	2	4		15
	60.0%	13.3%	26.7%		100.0%
聴覚障害	12	7	3	1	23
	52.2%	30.4%	13.0%	4.3%	100.0%
肢体不自由	17	4	6	1	28
	60.7%	14.3%	21.4%	3.6%	100.0%
内部障害	9	2	4		15
	60.0%	13.3%	26.7%		100.0%
知的障害	13	1	3		17
	76.5%	5.9%	17.6%		100.0%
精神障害	4		1	1	6
	66.7%		16.7%	16.7%	100.0%
計	64	16	21	3	104
	61.5%	15.4%	20.2%	2.9%	100.0%

パート・アルバイト継続者の継続意思

	現在の仕事を続けたい	現在の仕事とは別の仕事をしたい	わからない	無回答	計
視覚障害	2		1		3
	66.7%		33.3%		100.0%
聴覚障害	6	1	1		8
	75.0%	12.5%	12.5%		100.0%
肢体不自由	12	1	1		14
	85.7%	7.1%	7.1%		100.0%
内部障害	1	1	1		3
	33.3%	33.3%	33.3%		100.0%
知的障害	35	3	4		42
	83.3%	7.1%	9.5%		100.0%
精神障害	7	1	4		12
	58.3%	8.3%	33.3%		100.0%
計	63	7	12		82
	76.8%	8.5%	14.6%		100.0%

正社員継続者の仕事満足度

		満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満足	不満足	無回答	計	満足度	全体満足度
視覚障害	仕事の内容	4	5	5		1		15	60.0%	75.9%
	給料や待遇	3	4	4	4			15	46.7%	58.6%
	職場の人間関係	1	8	4	1	1		15	60.0%	65.5%
	職場の環境	3	9	2	1			15	80.0%	70.0%
聴覚障害	仕事の内容	5	8	6	2	1	1	23	56.5%	62.0%
	給料や待遇	4	6	7	5		1	23	43.5%	36.0%
	職場の人間関係	3	10	5	3	1	1	23	56.5%	50.0%
	職場の環境	3	7	9	2	1	1	23	43.5%	50.0%
肢体不自由	仕事の内容	10	12	5		1		28	78.6%	75.4%
	給料や待遇	6	6	7	8		1	28	42.9%	52.5%
	職場の人間関係	7	10	7	2	1	1	28	60.7%	60.7%
	職場の環境	12	10	2	3		1	28	78.6%	68.9%
内部障害	仕事の内容	4	5	3	1	1	1	15	60.0%	65.0%
	給料や待遇		8	2	3	1	1	15	53.3%	50.0%
	職場の人間関係	3	7	3	1		1	15	66.7%	60.0%
	職場の環境	4	5	2	2	1	1	15	60.0%	55.0%
知的障害	仕事の内容	7	7	2	1			17	82.4%	80.4%
	給料や待遇	6	5	3	3			17	64.7%	65.2%
	職場の人間関係	4	5	6	2			17	52.9%	73.9%
	職場の環境	7	5	4	1			17	70.6%	68.5%
精神障害	仕事の内容	1	3	2				6	66.7%	79.2%
	給料や待遇	1	2	2	1			6	50.0%	54.2%
	職場の人間関係	3	1		1	1		6	66.7%	66.7%
	職場の環境	2	2	1	1			6	66.7%	66.7%
計	仕事の内容	31	40	23	4	4	2	104	68.3%	73.8%
	給料や待遇	20	31	25	24	1	3	104	49.0%	56.4%
	職場の人間関係	21	41	25	10	4	3	104	59.6%	65.5%
	職場の環境	31	38	20	10	2	3	104	66.3%	64.0%

パート・アルバイト継続者の仕事満足度

		満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満足	不満足	無回答	計	満足度	全体満足度
視覚障害	仕事の内容	2	1					3	100.0%	75.9%
	給料や待遇	1	2					3	100.0%	58.6%
	職場の人間関係	1	1	1				3	66.7%	65.5%
	職場の環境	1	1	1				3	66.7%	70.0%
聴覚障害	仕事の内容	1	5	1	1			8	75.0%	62.0%
	給料や待遇	2	1	1	4			8	37.5%	36.0%
	職場の人間関係	2	1	4	1			8	37.5%	50.0%
	職場の環境	1	3	3	1			8	50.0%	50.0%
肢体不自由	仕事の内容	7	3		2	1	1	14	71.4%	75.4%
	給料や待遇	4	4	2		3	1	14	57.1%	52.5%
	職場の人間関係	5	5	1	1	1	1	14	71.4%	60.7%
	職場の環境	6	4	2		1	1	14	71.4%	68.9%
内部障害	仕事の内容	1	1	1				3	66.7%	65.0%
	給料や待遇	1		2				3	33.3%	50.0%
	職場の人間関係	1	1	1				3	66.7%	60.0%
	職場の環境	1	1	1				3	66.7%	55.0%
知的障害	仕事の内容	21	10	9	2			42	73.8%	80.4%
	給料や待遇	17	9	7	7	2		42	61.9%	65.2%
	職場の人間関係	21	13	5	1	2		42	81.0%	73.9%
	職場の環境	17	11	7	7			42	66.7%	68.5%
精神障害	仕事の内容	5	5	1	1			12	83.3%	79.2%
	給料や待遇	3	4	1	3	1		12	58.3%	54.2%
	職場の人間関係	2	8	1		1		12	83.3%	66.7%
	職場の環境	5	4	3				12	75.0%	66.7%
計	仕事の内容	37	25	12	6	1	1	82	75.6%	73.8%
	給料や待遇	28	20	13	14	6	1	82	58.5%	56.4%
	職場の人間関係	32	29	13	3	4	1	82	74.4%	65.5%
	職場の環境	31	24	17	8	1	1	82	67.1%	64.0%

（2）職業生活後期調査

3回とも正社員の人(性別)

（人）

	男性	女性	計	回答者割合
視覚障害	10	5	15	50.0%
聴覚障害	21	7	28	57.1%
肢体不自由	34	13	47	66.2%
内部障害	14	5	19	65.5%
知的障害	8	6	14	29.8%
精神障害	2	2	4	20.0%
計	89	38	127	51.6%
	70.1%	29.9%	100.0%	
回答者全体	169	77	246	
	68.7%	31.3%	100.0%	

3回ともパート・アルバイトの人(性別)

（人）

	男性	女性	計	回答者割合
視覚障害		3	3	10.0%
聴覚障害	4	7	11	22.4%
肢体不自由	6	2	8	11.3%
内部障害	3	1	4	13.8%
知的障害	12	5	17	36.2%
精神障害	6	4	10	50.0%
計	31	22	53	21.5%
	58.5%	41.5%	100.0%	
回答者全体	169	77	246	
	68.7%	31.3%	100.0%	

3回とも正社員の人の年代(第3回)

（人）

	40～44歳	44～49歳	50～54歳	55～59歳	60歳～	計
視覚障害	1	3	7	4		15
聴覚障害		13	9	6		28
肢体不自由		21	16	10		47
内部障害		4	5	10		19
知的障害		11	1	2		14
精神障害		4				4
計	1	56	38	32		127
	0.8%	44.1%	29.9%	25.2%		100.0%
全体割合	1	101	84	55	5	246
	0.4%	41.1%	34.1%	22.4%	2.0%	100.0%

3回ともパート・アルバイトの人の年代

（人）

	40～44歳	44～49歳	50～54歳	55～59歳	60歳～	計
視覚障害		1		2		3
聴覚障害		1	6	4		11
肢体不自由		1	3	1	3	8
内部障害				4		4
知的障害		11	5	1		17
精神障害		6	3	1		10
計		20	17	13	3	53
		37.7%	32.1%	24.5%	5.7%	100.0%
全体割合	1	101	84	55	5	246
	0.4%	41.1%	34.1%	22.4%	2.0%	100.0%

正社員継続者の第2回第3回のライフイベント累計

（人、%）

	結婚をした	離婚をした	子どもを生んだ／子どもが生まれた	引越をした	親元から離れて暮し始めた	自分が病気や事故で一カ月以上の入院をした	学校に通ったまたは卒業した	障害に関する年金を受給しはじめた	障害に関する年金の受給がなくなった	自分の親が離婚をした	自分の親が仕事を辞めた	家族が病気や事故で一カ月以上の入院をした	家族が亡くなった	該当する項目なし	無回答	対象者
視覚障害	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3	3	20		30
聴覚障害	1	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	3	7	36		56
肢体不自由	1	1	0	2	0	9	1	0	0	0	2	13	9	51		94
内部障害	0	0	2	1	0	2	0	2	2	0	1	4	8	15		38
知的障害	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	2	2	4	12		28
精神障害	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	1	3		8
計	3	2	2	9	0	12	1	2	3	0	5	27	32	137		254
構成比	1.2%	0.8%	0.8%	3.5%	0.0%	4.7%	0.4%	0.8%	1.2%	0.0%	2.0%	10.6%	12.6%	53.9%		100.0%

パート・アルバイト継続者の第2回第3回のライフイベント累計

	結婚をした	離婚をした	子どもを生んだ／子どもが生まれた	引越をした	親元から離れて暮し始めた	自分が病気や事故で一カ月以上の入院をした	学校に通ったまたは卒業した	障害に関する年金を受給しはじめた	障害に関する年金の受給がなくなった	自分の親が離婚をした	自分の親が仕事を辞めた	家族が病気や事故で一カ月以上の入院をした	家族が亡くなった	該当する項目なし	無回答	対象者
視覚障害	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	0	6
聴覚障害	2	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	2	11	0	22
肢体不自由	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	1	1	1	10	0	16
内部障害	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	6	0	8
知的障害	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	1	3	2	19	0	34
精神障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	16	0	20
計	5	0	0	7	1	0	0	1	1	0	2	5	10	65	0	106
構成比	4.7%	0.0%	0.0%	6.6%	0.9%	0.0%	0.0%	0.9%	0.9%	0.0%	1.9%	4.7%	9.4%	61.3%	0.0%	100.0%

正社員継続者の第２回第３回の仕事に関係した出来事累計（複数回答）

（人）

	配置転換があった	上司が異動した	まわりで直接仕事などを援助してくれる人がいなくなった	昇進した	給料が上がった	給料が下がった	正社員になった	休職をした	転職をした	勤めていた会社が倒産した	該当する項目なし	無回答	対象者（注）
視覚障害	6	4	2	1	6	9	1	1	2	1	3	0	30
聴覚障害	18	8	3	1	9	10	1	0	0	0	14	0	56
肢体不自由	25	12	4	13	31	18	1	4	0	0	10	0	94
内部障害	9	5	1	2	7	6	1	1	0	0	6	0	38
知的障害	4	5	0	1	10	0	0	0	0	0	2	0	28
精神障害	6	2	1	1	2	1	1	2	0	0	1	0	8
計	68	36	11	19	65	44	5	8	2	1	36	0	254
構成比	26.8%	14.2%	4.3%	7.5%	25.6%	17.3%	2.0%	3.1%	0.8%	0.4%	14.2%	0.0%	100.0%

パート・アルバイト継続者の第２回第３回の仕事に関係した出来事累計（複数回答）

（人）

	配置転換があった	上司が異動した	まわりで直接仕事などを援助してくれる人がいなくなった	昇進した	給料が上がった	給料が下がった	正社員になった	休職をした	転職をした	勤めていた会社が倒産した	該当する項目なし	無回答	対象者（注）
視覚障害	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	3	6
聴覚障害	2	2	0	0	4	0	0	1	1	0	9	5	22
肢体不自由	1	10	1	0	1	4	0	0	0	0	2	2	16
内部障害	1	2	2	0	4	3	0	0	1	0	1	0	8
知的障害	8	6	1	0	9	2	0	1	2	0	2	14	34
精神障害	2	13	1	0	5	1	0	1	2	0	5	1	20
計	14	34	5	0	24	10	0	3	7	0	20	25	106
構成比	13.2%	32.1%	4.7%	0.0%	22.6%	9.4%	0.0%	2.8%	6.6%	0.0%	18.9%	23.6%	100.0%

正社員継続者の継続意思

	現在の仕事を続けたい	現在の仕事とは別の仕事をしたい	わからない	無回答	計
視覚障害	10	1		4	15
	66.7%	6.7%			100.0%
聴覚障害	17	3	4	4	28
	60.7%	10.7%	14.3%	14.3%	100.0%
肢体不自由	26	5	9	7	47
	55.3%	10.6%	19.1%	14.9%	100.0%
内部障害	15	1	1	2	19
	78.9%	5.3%	5.3%	10.5%	100.0%
知的障害	14				14
	100.0%				100.0%
精神障害	1	1	1	1	4
	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	100.0%
計	83	11	15	18	127
	65.4%	8.7%	11.8%	14.2%	100.0%

パート・アルバイト継続者の継続意思

	現在の仕事を続けたい	現在の仕事とは別の仕事をしたい	わからない	無回答	計
視覚障害	2			1	3
	66.7%			33.3%	100.0%
聴覚障害	6	2	2	1	11
	54.5%	18.2%	18.2%	9.1%	100.0%
肢体不自由	6	1	1		8
	75.0%	12.5%	12.5%		100.0%
内部障害	2	1	1		4
	50.0%	25.0%	25.0%		100.0%
知的障害	13	3		1	17
	76.5%	17.6%		5.9%	100.0%
精神障害	8		2		10
	80.0%		20.0%		100.0%
計	37	7	6	3	53
	69.8%	13.2%	11.3%	5.7%	100.0%

正社員継続者の仕事満足度

		満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満足	不満足	無回答	計	満足度	全体満足度
視覚障害	仕事の内容	6	3	3	1		2	15	60.0%	64.3%
	給料や待遇	2	6	3	1		3	15	53.3%	53.6%
	職場の人間関係	6	5	1			3	15	73.3%	75.0%
	職場の環境	5	5	2			3	15	66.7%	71.4%
聴覚障害	仕事の内容	2	13	11	1		1	28	53.6%	58.1%
	給料や待遇	2	10	6	7	2	1	28	42.9%	39.5%
	職場の人間関係	1	7	14	2	3	1	28	28.6%	39.5%
	職場の環境	2	12	9	3	1	1	28	50.0%	53.5%
肢体不自由	仕事の内容	16	10	14	2	4	1	47	55.3%	57.9%
	給料や待遇	9	8	14	8	6	2	47	36.2%	40.4%
	職場の人間関係	10	12	12	7	4	2	47	46.8%	50.9%
	職場の環境	14	18	7	5	1	2	47	68.1%	68.4%
内部障害	仕事の内容	3	13	2	1			19	84.2%	85.2%
	給料や待遇	1	7	7	4			19	42.1%	40.7%
	職場の人間関係		11	6	2			19	57.9%	51.9%
	職場の環境	1	8	8	2			19	47.4%	55.6%
知的障害	仕事の内容	8	5	1				14	92.9%	91.9%
	給料や待遇	9	3	2				14	85.7%	73.0%
	職場の人間関係	8	3	2	1			14	78.6%	64.9%
	職場の環境	8	3	3				14	78.6%	70.3%
精神障害	仕事の内容		4					4	100.0%	73.3%
	給料や待遇	1	2	1				4	75.0%	53.3%
	職場の人間関係	1	1			2		4	50.0%	60.0%
	職場の環境	2	1	1				4	75.0%	60.0%
計	仕事の内容	35	48	31	5	4	4	127	65.4%	69.6%
	給料や待遇	24	36	33	20	8	6	127	47.2%	48.8%
	職場の人間関係	26	39	35	12	9	6	127	51.2%	55.1%
	職場の環境	32	47	30	10	2	6	127	62.2%	63.8%

パート・アルバイト継続者の仕事満足度

		満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満足	不満足	無回答	計	満足度	全体満足度
視覚障害	仕事の内容	1	2					3	100.0%	64.3%
	給料や待遇		3					3	100.0%	53.6%
	職場の人間関係	1	2					3	100.0%	75.0%
	職場の環境	2	1					3	100.0%	71.4%
聴覚障害	仕事の内容	2	5	3	1			11	63.6%	58.1%
	給料や待遇		5	2	4			11	45.5%	39.5%
	職場の人間関係	2	5	1	3			11	63.6%	39.5%
	職場の環境	1	6	2	2			11	63.6%	53.5%
肢体不自由	仕事の内容	1	4	2		1		8	62.5%	57.9%
	給料や待遇	1	3	2	1	1		8	50.0%	40.4%
	職場の人間関係	1	4		2	1		8	62.5%	50.9%
	職場の環境	1	5	1	1			8	75.0%	68.4%
内部障害	仕事の内容	1	3					4	100.0%	85.2%
	給料や待遇		1	2	1			4	25.0%	40.7%
	職場の人間関係		1	2	1			4	25.0%	51.9%
	職場の環境	1	2		1			4	75.0%	55.6%
知的障害	仕事の内容	9	6	1		1		17	88.2%	91.9%
	給料や待遇	3	8	3	1	1	1	17	64.7%	73.0%
	職場の人間関係	5	6	4	1		1	17	64.7%	64.9%
	職場の環境	6	5	3		1	2	17	64.7%	70.3%
精神障害	仕事の内容	1	5	2	2			10	60.0%	73.3%
	給料や待遇	1	3	2	2	2		10	40.0%	53.3%
	職場の人間関係	5	2	2		1		10	70.0%	60.0%
	職場の環境	4	1	3	2			10	50.0%	60.0%
計	仕事の内容	15	25	8	3	2	0	53	75.5%	69.6%
	給料や待遇	5	23	11	9	4	1	53	52.8%	48.8%
	職場の人間関係	14	20	9	7	2	1	53	64.2%	55.1%
	職場の環境	15	20	9	6	1	2	53	66.0%	63.8%

ID番号　＊＊＊＊＊

「障害のある労働者の職業サイクルに関する調査研究」アンケート調査票

第３回　職業生活前期調査

平成２４年７月　　（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構
障害者職業総合センター　研究部門

- この調査は、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構が、国の障害者雇用対策の基礎資料とするため、障害のある労働者の方の職業生活について調査するものです。
- 調査結果の公表に関しては、統計的に処理された集計結果のみを使用し、個人が特定されるような形式で公表されることはありません。
- 回答については、**７月１日現在**の状況についてご記入願います。
- 回答の終わった調査票は、**８月２０日**までに必着でご返送願います。
- なお、ご回答はご本人の記入が原則ですが、記入にあたって支援が必要な方は、ご家族等に手伝っていただいてさしつかえありません。

＜あなたの情報（前回の問１、問２、問３）＞

1.性　　別	3.障害の種類	４．手帳の種類	5.障害の程度	6.交付年月日
2.生年月日				

Ⅰ　あなた自身の基本的なことについてうかがいます

問３　最近２年間で障害の種類や程度などで変更がありましたか。変更があった場合だけ回答してください。

a.　新たに加わった障害の種類は何ですか、あてはまるものすべてに○をつけてください。

視覚障害	聴覚障害	肢体不自由	内部障害	知的障害	精神障害	その他
1	2	3	4	5	6	（　　）

b.　新たに取得した障害者手帳があれば、あてはまる番号に○をして、その障害の程度と交付年月を記入してください。また、手帳の障害種類は変わらないが、程度が変更になった場合は新たな障害の程度と更新年月を記入してください。

			障害の程度	交付（更新）年月
身体障害者手帳	1	→		年　月
療育手帳（愛の手帳など）	2	→		年　月
精神障害者保健福祉手帳	3	→		年　月
その他（名称：　　）	4	→		年　月

※級・度など

c. 前回持っていた障害者手帳を持たなくなった場合は「はい」に○をしてください　⟶　は　い

問４　あなたの家族構成についてうかがいます。次の中であなたのご家族として（同居している、していないにかかわらず）、あてはまるものすべてに○をつけてください。

１．　配偶者　　２．　子ども　　３．　あなたの父親　４．　あなたの母親
５．　配偶者の父親　　６．　配偶者の母親　　７．兄弟姉妹　　８．祖父
９．　祖母　　１０．　その他（　　）

問５　あなたのお住まいについて、うかがいます。

ａ．　あなたの現在のお住まいはどれですか。あてはまるもの１つに○をつけてください。

１．自分もしくは配偶者の、持ち家や賃貸住宅（一戸建て、マンション、アパートなど）
２．家族（両親、兄弟等）の、持ち家や賃貸住宅（一戸建て、マンション、アパートなど）
３．会社の社員寮や会社が従業員のために用意してくれるアパート・マンション
４．福祉施設や地域の団体等が運営する援護寮、福祉ホームやグループホーム等の施設
５．その他（　　）

１、２、３　のいずれかに回答された方にうかがいます。

ｂ．　あなたは現在一人暮らしですか。あてはまるもの１つに○をつけてください。

１．はい
２．いいえ

２．　いいえに回答された方にうかがいます。

ｃ．　あなたと同居している人は、どなたですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

１．配偶者　　２．子ども　　３．あなたの父親　　４．あなたの母親
５．配偶者の父親　　６．配偶者の母親　　７．兄弟姉妹　　８．祖父
９．祖母　　10．その他（　　）

問６　あなたが取得している資格や免許は前回の回答によると下記のとおりですが、変更や追加があれば、その内容を具体的に□の中に記入してください。

（原付免許、英検2級など具体的に記入してください）

問７　**現在**通っている学校はありますか。ある場合は、その学校の種別を、1～10 の中から選び、あてはまるものすべてに○をつけてください。　（通信制の学校やさまざまな施設等での就労に向けた訓練に通っている場合なども含みます）

１．中学校
２．高等学校
３．特別支援学校（盲・聾（ろう）・養護学校）中学部
４．特別支援学校（盲・聾（ろう）・養護学校）高等部
５．特別支援学校（盲・聾（ろう）・養護学校）専攻科
６．専修・各種学校　（具体的に　　）
7-1. 一般の職業能力開発校（職業訓練校）
7-2. 障害者職業能力開発校（職業訓練校）
８．大学・短期大学
９．大学院
１０．その他　（　　）

問８　　最近の２年間で、あなたやあなたの周囲で起きた出来事について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

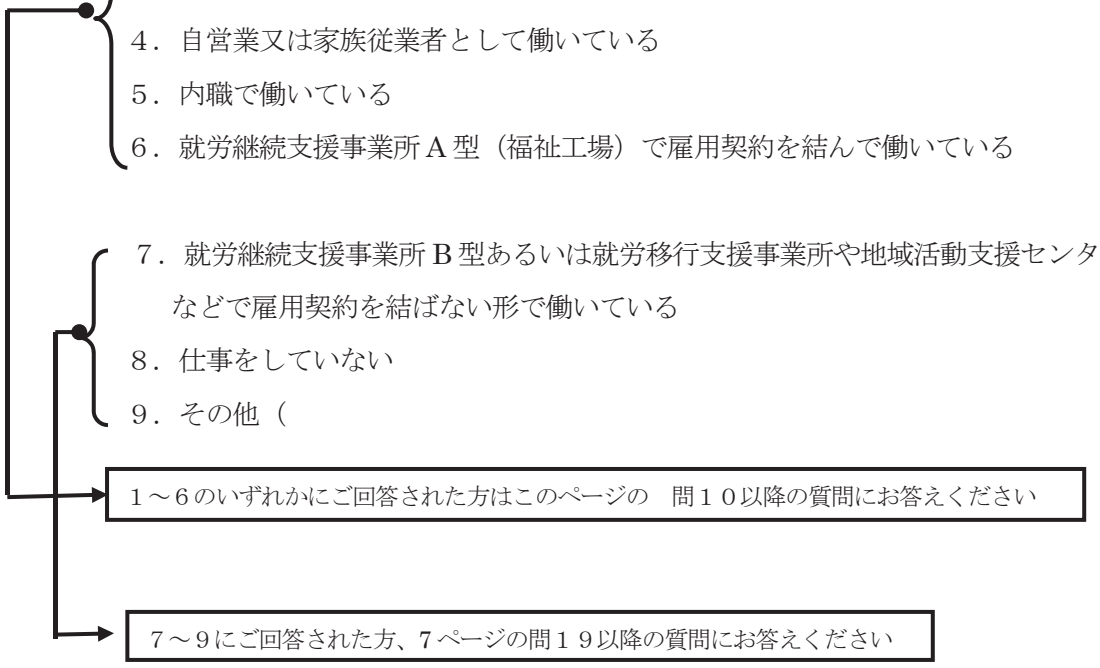
1. 自分が結婚をした
２．自分が離婚をした
３．自分が子どもを産んだ（子どもが産まれた）
４．自分が引越しをした
５．自分が親元から離れて暮らし始めた
６．自分が、病気や事故で1ヶ月以上の入院をした
７．自分が学校に通ったまたは卒業した（学校の種別をご記入ください→　　）
８．自分の障害に関する年金を受給しはじめた
９．自分の障害に関する年金の受給がなくなった
１０．自分の親が離婚をした
１１．自分の親が仕事を辞めた
１２．家族（父親、母親、配偶者、兄弟姉妹、子ども）が、病気や事故で1ヶ月以上の入院をした
１３．家族（父親、母親、配偶者、兄弟姉妹、子ども）が、亡くなった
１４．該当する項目なし

Ⅱ　あなたのお仕事についてうかがいます

問９　　現在、あなたは収入のある仕事についていますか。あてはまるもの１つに○をつけてください。（複数の仕事をされている場合（アルバイトを２つしているなど）、これ以降の設問は、主な仕事１つについて回答してください。）

１．会社やその他の機関で、正社員または正職員として働いている
２．会社やその他の機関で、パートやアルバイト、嘱託、契約社員、として働いている
３．会社やその他の機関で、派遣社員として働いている
４．自営業又は家族従業者として働いている
５．内職で働いている
６．就労継続支援事業所Ａ型（福祉工場）で雇用契約を結んで働いている

７．就労継続支援事業所Ｂ型あるいは就労移行支援事業所や地域活動支援センター（福祉作業所）などで雇用契約を結ばない形で働いている
８．仕事をしていない
９．その他（　　）



ⅡＡ　「仕事についている」人にうかがいます

問９で、１～６のいずれかに回答された方のみ回答をお願いします。

問１０　あなたが担当している仕事は、主にどんな内容ですか。あてはまるもの１つに○をつけてください。（複数の仕事をされている場合、主な仕事１つについて回答してください。）

１．ものを作る仕事
２．ものを売る仕事
３．事務の仕事
４．ものを教える仕事（教師、塾講師、スポーツクラブ指導員など）
５．医療や福祉に関わる仕事（あん摩・はり・きゅうの仕事を含む）
６．人を相手にするサービス業（「４．ものを教える仕事」、「５．医療や福祉に関わる仕事」を除きます）
７．清掃やクリーニングなどのサービス業
８．その他（　　）

問１１　あなたの労働状況について、うかがいます。（複数の仕事をされている場合、主な仕事１つについて回答してください。）

a　あなたが６月に働いた時間は１週間あたりにすると何時間ですか。あてはまるもの１つに○をつけてください。

１．　20時間未満　　２．　20時間以上30時間未満　　３．　30時間以上（フルタイム）

b　あなたの６月の休日は１週間あたりにすると何日ですか。あてはまるもの１つに○をつけてください。

１．　１日　　２．　２日　　３．　３日　　４．　４日以上
５．　不定期

c　あなたが６月に受け取った給与（手取り）は、いくらくらいですか。あてはまるもの１つに○をつけてください。（自営の場合には売り上げから経費などを引いた給与相当額として選んでください）

１．　7万円未満　　２．　7万円以上13万円未満　　３．　13万円以上25万円未満
４．　25万円以上40万円未満　５．　40万円以上

d　あなたが過去1年間でもらった賞与（ボーナス）はいくらくらいでしたか。あてはまるもの１つに○をつけてください。

１．なし
２．10万円未満　　３．　10万円以上30万円未満　　４．30万円以上50万円未満
５．50万円以上100万円未満　　６．　100万円以上

問１２　あなたの会社までの通勤についてうかがいます。（複数の仕事をされている場合、主な仕事１つについて回答してください。）

a．　通勤に利用する手段は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

１．徒歩
２．自転車
３．原付やオートバイ
４．自動車（自分で運転）
５．自動車（家族や会社の同僚など、自分以外の人が運転）
６．公共交通機関（電車やバスなど）を使っていく
７．その他（在宅勤務・電動車椅子・その他（　　））

b．　通勤にかかる合計時間（片道）は、どれくらいですか。あてはまるもの１つに○をつけてください。

１．３０分未満　　２．３０分以上　１時間未満 ３．１時間以上　１時間３０分未満
４．　１時間３０分以上　２時間未満　　５．　２時間以上

問１３　あなたの働いている会社（自営、内職を含む。）の従業員数（規模）は、何人くらいですか。あてはまるもの１つに○をつけてください。（複数の仕事をされている場合、主な仕事１つについて回答してください。）

１．　１～９人　　２．　１０人～４９人　　３．５０～２９９人
４．　３００人～９９９人　　５．　１０００人以上　　６．　わからない

問１４　あなたが現在の会社（自営を含む）で仕事をし始めたのは何歳のときですか。
□の中に数字を記入してください。

□ 歳のとき

問１５　あなたは、自分の障害の内容（症状、服薬、休憩等）について、会社や職場の人に説明していますか。次の中から、あてはまるもの１つに○をつけてください。

１．会社や職場の人ほとんどに説明している
２．会社や職場の人のごく一部の人だけに説明している
３．全く説明していない　（もし差し支えなければその理由を下にお書きください。）
（　　）
４．わからない

問１６あなたは、現在の仕事について、どの程度満足していますか。a～d の項目について、あてはまる番号１つに○をつけてください。（複数の仕事をされている場合、主な仕事１つについて回答してください。）

	満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満足	不満足
a. 仕事の内容	1	2	3	4	5
b. 給料や待遇（労働条件等）	1	2	3	4	5
c. 職場の人間関係	1	2	3	4	5
d. 職場の環境（施設整備等）	1	2	3	4	5

問１７　あなたの仕事に対する今後の考えについてうかがいます。

a　あなたは何歳まで仕事を続けたいと思いますか。□の中に数字を記入してください。（現在の仕事に限らず、働いていたいと思う年齢をご回答願います）

□ 歳まで働きたい

b　あなたは現在の仕事を今後も続けたいと思いますか。あてはまるもの１つに○をつけてください。

１．　現在の仕事を続けたい　　２．　現在の仕事とは別の仕事をしたい　　３．　わからない

問１８　最近の２年間で、あなたの仕事に関係して起きた出来事について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

１．配置転換（部署の異動）があった　　1-2. 上司が異動した
２．まわりで直接仕事などを援助してくれる人がいなくなった
３．昇進した　　４．給料が上がった　　５．給料が下がった
６．正社員になった　　７．休職をした　　８．転職をした
９．勤めていた会社が倒産した　　１０．該当する項目なし

８ページの問２１へ進んでください。

ⅡB　「仕事についていない」人にうかがいます

4ページの問９で、　７～９　に回答された方のみ回答してください。

問１９　過去２年間の仕事の経験について、うかがいます。

ａ．　過去２年間に仕事についたことがありますか。あてはまるもの１つに○をつけてください。

●１．ある
２．ない

「１．ある」に回答された方にうかがいます。

ｂ．　その仕事をお辞めになった理由は何ですか。あてはまるもの１つに○をつけてください。

１．事業主の都合　　２．契約期間満了　　３．休職期間満了　　４．定年退職
●５．自分の都合　　６．その他（　　）
７．わからない

「５．自分の都合」に回答された方にうかがいます。

c.　「自分の都合」の具体的な内容は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

１．仕事内容が合わなかった　　２．賃金、労働条件に不満があった
３．職場の雰囲気・人間関係　　４．体調不良
５．結婚　　６．出産
７．家庭等の事情（介護など）　　８．その他（　　）
９．わからない

問２０　あなたの就職活動についてうかがいます。

a.　あなたは仕事についてどのように考えていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

●１．すぐに仕事につきたい
●２．すぐというわけではないが、仕事につきたい
●３．時間をかけて自分に合った仕事を探したい
４．仕事にはつきたくない
５．その他（　　）

１、２、３　のいずれかに○をつけた方は、ｂ-1 とｂ-2 に回答してください。

b-1. これから就きたいと考えている仕事の働き方はどれですか。現在希望しているものを教えてください。複数ある場合にはあてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 会社やその他の機関で正社員または正職員として働きたい
2. 会社やその他の機関で、パートやアルバイト、嘱託、契約社員として働きたい
3. 会社やその他の機関で、派遣社員として働きたい
4. 自営業又は家族従業者として働きたい
5. 内職をしたい
6. 就労継続支援事業所A型（福祉工場）で雇用契約を結んで働きたい
7. 就労継続支援事業所Ｂ型あるいは就労移行支援事業所や地域活動支援センター（福祉作業所）などで雇用契約を結ばない形で働きたい
8. その他（　　）

b-2. 仕事を探すときに、相談する人や、利用したことがある機関はありますか。あてはまるものすべてに〇をつけてください。

1．配偶者　　2．子ども　　3．父親　　4．母親
5．兄弟姉妹　　6．会社の上司や同僚　　7．知り合い・友人
8．障害者相談員　　9．ハローワーク　　１０．障害者職業センター
１１．障害者就業・生活支援センター　　１２．相談支援事業者
１３．かかりつけの病院・診療所（主治医等）　　１４．保健所（福祉事務所）
１５．学校　　１６．その他（　　）　　１７．相談したり利用したことはない

ひきつづき問２１へ進んでください。

Ⅲ　あなたの仕事や生活の現状についてうかがいます

問２１　最近、仕事に関して何か困ったことが起きたときに、相談する人や、利用したことがある機関はありますか。あてはまるものすべてに〇をつけてください。

1．配偶者　　2．子ども　　3．父親　　4．母親
5．兄弟姉妹　　6．会社の上司や同僚　　7．知り合い・友人
8．障害者相談員　　9．ハローワーク　　１０．障害者職業センター
１１．障害者就業・生活支援センター　　１２．相談支援事業者
１３．かかりつけの病院・診療所（主治医等）　　１４．保健所（福祉事務所）
１５．学校　　１６．その他（　　）　　１７．相談したり利用したことはない

問２２　あなたは障害に関する年金を受給していますか。あてはまるもの１つに〇をつけてください。

1．受給している　　2．受給していない　　3．わからない

問２３　あなたは生活するための収入をどのように得ていますか。あてはまるもの１つに〇をつけてください。

1．「年金」だけで生活している
2．「家族などの支援」だけで生活している
3．「働いて得る収入」だけで生活している
4．「年金」と「家族などの支援」を合わせて生活している
5．「年金」と「働いて得る収入」を合わせて生活している
6．「家族などの支援」と「働いて得る収入」を合わせて生活している
7．「年金」と「働いて得る収入」と「家族などの支援」を合わせて生活している
8．その他（　　）
9．わからない

問２４　最近、経済的に困ったことが起きたとき、相談する人や、利用したことがある機関はありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

１．配偶者　　２．子ども　　３．父親　　４．母親
５．兄弟姉妹　　６．会社の上司や同僚　　７．知り合い・友人
８．障害者相談員　　９．ハローワーク　　１０．障害者職業センター
１１．障害者就業・生活支援センター　　１２．相談支援事業者
１３．かかりつけの病院・診療所（主治医等）　　１４．保健所（福祉事務所）
１５．学校　　１６．その他（　　）　　１７．相談したり利用したことはない

Ⅳ　あなたの仕事や生活に対する考えなどについてうかがいます

問２５　　あなたにとって次の項目は、仕事をするうえで、どのくらい重要だと思いますか。a～f の項目について、あてはまる番号１つに○をつけてください。

	重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	どちらかといえば重要でない	重要でない
a. 賃金や給料	1	2	3	4	5
b. 自分の能力・経験	1	2	3	4	5
c. 仕事の内容	1	2	3	4	5
d. 職場の環境整備	1	2	3	4	5
e. 勤務時間や休日	1	2	3	4	5
f. 仕事仲間との人間関係	1	2	3	4	5

問２６　あなたが働きつづけるために、会社や会社の人に配慮して欲しいことについて、うかがいます。

a.　あなたは、自分が仕事をする上でどんなことが必要と考えていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

１．作業手順をわかりやすくしたり、仕事をやりやすくすること
２．作業のスピードや仕事の量を障害にあわせること
３．作業を容易にする機器や設備を改善すること
４．通勤の便宜を図ること
５．まわりに仕事やコミュニケーションを援助してくれる人を配置すること
６．体力や体調に合わせて、勤務時間や休みを調整すること
７．安全や健康管理に特別の配慮をすること
８．その他（　　）

b. あなたが仕事をする上で、会社や会社の人に特にお願いしたいことはどんなことですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

１．障害や障害者のことを理解してほしい
２．職場に障害者の仲間を多くしてほしい
３．ずっと働き続けることができるようにしてほしい
４．給与面を改善してほしい
５．体力や障害に合わせた労働時間や休日の設定をしてほしい
６．能力に応じた評価や昇進・昇格をしてほしい
７．研修や教育訓練を充実してほしい
８．健康管理を充実してほしい
９．職場の中で困ったことの相談ができるようにしてほしい
１０．その他（　　）

問 27 あなたが普段の生活で、一番の楽しみにしていることは何ですか。□の中に自由に記入してください。

問 28 あなたが近い将来（５年くらい後まで）に実現したいことは何ですか。□の中に自由に記入してください。

問２９　あなたは、仕事以外の次にあげる生活のことについてどの程度満足していますか。a～d の項目について、あてはまる番号１つに○をつけてください。

	満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満足	不満足
a. 家族との人間関係について	1	2	3	4	5
b. 友人・知人との人間関係について	1	2	3	4	5
c. 自分の体力や健康について	1	2	3	4	5
d. 収入や経済生活について	1	2	3	4	5

問３０　この調査についてのご意見やご要望がありましたら、□の中に自由に記入してください。

問３１　平成２３年3月１１日の東日本大震災について伺います。あなたご自身の体験やご家族や仕事先で起きたこと、またそれらの体験の中で特に困っていることなどがありましたら、□の中に自由に記入して下さい。

問３２　回答を記入するにあたって他の人に手伝ってもらいましたか。あてはまるもの１つに○をつけてください。

１．自分で回答を記入した

２．他の人に手伝ってもらった（手伝われた方について、□の中にあなたとの関係を記入してください）

※父親、母親、友達、会社の上司等　具体的に記入してください

問３３　この調査票を記入したのはいつですか。□の中に日付を記入してください。

平成２４年　□月□日

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

ID 番号　＊＊＊＊＊

「障害のある労働者の職業サイクルに関する調査研究」アンケート調査票

第３回　職業生活後期調査

平成２５年７月　　**（独）高齢・障害・求職者雇用支援機構**
障害者職業総合センター　研究部門

- この調査は、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構が、国の障害者雇用対策の基礎資料とするため、障害のある労働者の方の職業生活について調査するものです。
- 調査結果の公表に関しては、統計的に処理された集計結果のみを使用し、個人が特定されるような形式で公表されることはありません。
- 回答については、**７月１日現在**の状況についてご記入願います。
- 回答の終わった調査票は、**８月２３日**までにご返送願います。
- なお、ご回答はご本人の記入が原則ですが、記入にあたって支援が必要な方は、ご家族等に手伝っていただいて結構です。

＜あなたの情報（前回の問１、問２、問３）＞

1.性　　別	3.障害の種類	４．手帳の種類	5.障害の程度	6.交付年月日
2.生年月日				

Ⅰ　あなた自身の基本的なことについてうかがいます

問３　最近２年間で障害の種類や程度などで変更がありましたか。変更があった場合だけ回答してください。

a.　**新たに加わった障害の種類は何ですか、あてはまるものすべてに○をつけてください。**

視覚障害	聴覚障害	肢体不自由	内部障害	知的障害	精神障害	その他
1	2	3	4	5	6	（　　）

b.　**新たに取得した障害者手帳があれば、あてはまる番号に○をして、その障害の程度と交付年月を記入してください。また、手帳の障害種類は変わらないが、程度が変更になった場合は新たな障害の程度と更新年月を記入してください。**

			障害の程度	交付（更新）年月
身体障害者手帳	1	→		年　月
療育手帳（愛の手帳など）	2	→		年　月
精神障害者保健福祉手帳	3	→		年　月
その他（名称：　　）	4	→		年　月

※級・度など

c. **前回持っていた障害者手帳を持たなくなった場合は「はい」に○をしてください　⟶　は い**

問４　あなたの家族構成についてうかがいます。次の中であなたのご家族として（同居している、していないにかかわらず)、あてはまる人すべてに○をつけてください。

１．　配偶者　　２．　子ども　　３．　あなたの父親　４．　あなたの母親
５．　配偶者の父親　　６．　配偶者の母親　　７．兄弟姉妹　　８．祖父
９．　祖母　　１０.子どもの配偶者　　１１.孫　　１２．その他（　　）

問５　あなたのお住まいについて、うかがいます。

ａ．　あなたの現在のお住まいはどれですか。あてはまるもの１つに○をつけてください。

１．自分もしくは配偶者の、持ち家や賃貸住宅（一戸建て、マンション、アパートなど）
２．家族（両親、兄弟、子ども、子どもの配偶者等）の、持ち家や賃貸住宅（一戸建て、マンション、アパートなど）
３．会社の社員寮や会社が従業員のために用意してくれるアパート・マンション
４．福祉施設や地域の団体等が運営する援護寮、福祉ホームやグループホーム等の施設
５．その他（　　）

１、２、３のいずれかに回答された方にうかがいます。

ｂ．　あなたは現在一人暮らしですか。あてはまるもの１つに○をつけてください。

１．はい
２．いいえ

２．　いいえに回答された方にうかがいます。

ｃ．　あなたと同居している人は、どなたですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

１．配偶者　　２．子ども　　３．あなたの父親　　４．あなたの母親
５．配偶者の父親　　６．配偶者の母親　　７．兄弟姉妹　　８．祖父
９．祖母　　10. 子どもの配偶者　　11.孫　　12. その他（　　）

問６　あなたが取得している資格や免許は前回の回答によると下記のとおりですが、変更や追加があれば、その内容を具体的に□の中に記入してください。

（原付免許、英検2級など具体的に記入してください）

問７　**現在**通っている学校はありますか。ある場合は、その学校の種別を、1～10 の中から選び、あてはまるものすべてに○をつけてください。　（通信制の学校やさまざまな施設等での就労に向けた訓練に通っている場合なども含みます）

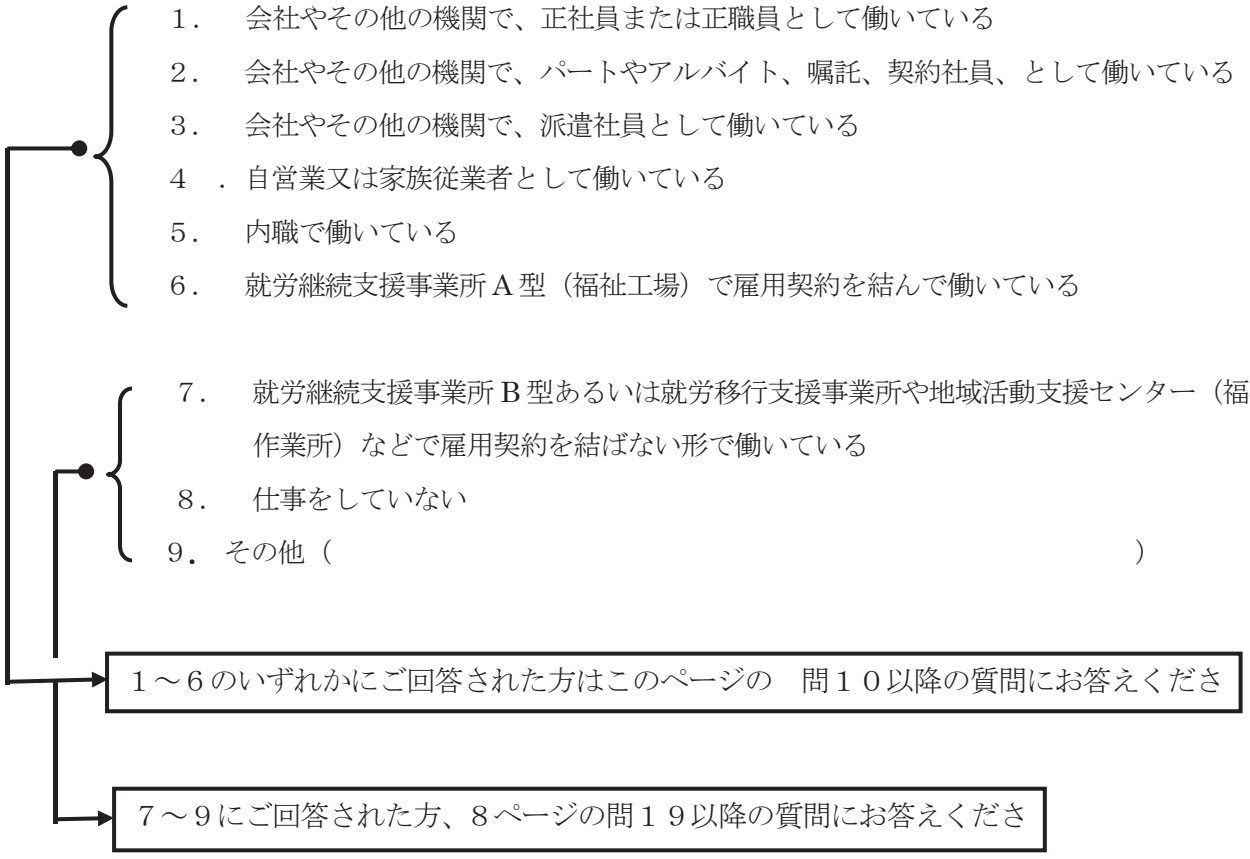
１．中学校
２．高等学校
３．特別支援学校（盲・聾（ろう）・養護学校）中学部
４．特別支援学校（盲・聾（ろう）・養護学校）高等部
５．特別支援学校（盲・聾（ろう）・養護学校）専攻科
６．専修・各種学校　（具体的に　　）
７-1．一般の職業能力開発校（職業訓練校）
７-2．障害者職業能力開発校（職業訓練校）
８．大学・短期大学
９．大学院
１０．その他　（　　）

問８　最近の２年間で、あなたやあなたの家族に起きた出来事について、あてはまるものすべての番号に○をつけてください。

1．自分が結婚をした
２．自分が離婚をした
３．自分が子どもを産んだ（子どもが産まれた）
４．自分が引越しをした
５．自分が親元から離れて暮らし始めた
６．自分が、病気や事故で1ヶ月以上の入院をした
７．自分が学校に通ったまたは卒業した（学校の種別をご記入ください→　　）
８．自分の障害に関する年金を受給しはじめた
９．自分の障害に関する年金の受給がなくなった
１０．自分の親が離婚をした
１１．自分の親が仕事を辞めた
１２．家族（父親、母親、配偶者、兄弟姉妹、子ども）が、病気や事故で1ヶ月以上の入院をした
１３．家族（父親、母親、配偶者、兄弟姉妹、子ども）が、亡くなった
１４．該当する項目なし

Ⅱ　あなたのお仕事についてうかがいます

問９　現在、あなたは収入のある仕事についていますか。あてはまるもの１つに○をつけてください。
※複数の仕事をされている場合（アルバイトを２つしているなど)、これ以降の設問は、主な仕事１つについてご回答ください。



ⅡＡ　「仕事についている」人にうかがいます

問９で、１～６のいずれかに回答された方のみ回答をお願いします。

問１０　あなたが担当している仕事は､主にどんな内容ですか｡あてはまるもの１つに○をつけてください。
（複数の仕事をされている場合、主な仕事１つについてご回答ください。）

１．ものを作る仕事
２．ものを売る仕事
３．事務の仕事
４．ものを教える仕事（教師、塾講師、スポーツクラブ指導員など）
５．医療や福祉に関わる仕事（あん摩・はり・きゅうの仕事を含む）
６．人を相手にするサービス業（「４．ものを教える仕事」、「５．医療や福祉に関わる仕事」を除きます）
７．清掃やクリーニングなどのサービス業
８．その他（　　）

問１１　あなたの労働状況について、うかがいます。

a　あなたが６月に働いた時間は１週間あたりにすると何時間ですか。あてはまるもの１つに○をつけてください。

１．　20時間未満　　２．　20時間以上30時間未満　　３．　30時間以上（フルタイム）

b　あなたの６月の休日は１週間あたりにすると何日ですか。あてはまるもの１つに○をつけてください。

１．　１日　　２．　２日　　３．　３日　　４．４日以上　　５．　不定期

c　あなたが６月に受け取った給与（手取り）は、いくらくらいですか。あてはまるもの１つに○をつけてください。（自営の場合には売り上げから経費などを引いた給与相当額として選んでください）

１．　7万円未満　　２．　7万円以上13万円未満　　３．　13万円以上25万円未満
４．　25万円以上40万円未満　　５．　40万円以上

d　あなたが過去1年間でもらった賞与（ボーナス）はいくらくらいでしたか。あてはまるもの１つに○をつけてください。

１．なし
２．10万円未満　　３．　10万円以上30万円未満　　４．30万円以上50万円未満
５．50万円以上100万円未満　　６．　100万円以上

問１２　あなたの会社までの通勤についてうかがいます。

a．　通勤に利用する手段は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

１．　徒歩
２．　自転車
３．　原付やオートバイ
４．　自動車（自分で運転）
５．　自動車（家族や会社の同僚など、自分以外の人が運転）
６．　公共交通機関（電車やバスなど）を使っていく
７．　その他　（在宅勤務・電動車椅子・その他（　　））

b．　通勤にかかる合計時間（片道）は、どれくらいですか。あてはまるもの１つに○をつけてください。

１．　３０分未満　　２．　３０分以上　１時間未満　　３．　１時間以上　１時間３０分未満
４．　１時間３０分以上　２時間未満　　５．　２時間以上

問１３　あなたの働いている会社（自営、内職を含む。）の従業員数（規模）は、何人くらいですか。あてはまるもの１つに○をつけてください。

１．　１人～９人　　２．　１０人～４９人　　３．５０人～２９９人
４．　３００人～９９９人　　５．　１０００人以上　　６．　わからない

問１４-1 あなたは2年前（平成23年7月）も現在と同じ会社（自営も含む）（派遣社員の人は、派遣元についてお答え下さい）に勤めていましたか。あてはまる番号に○をつけてください。

１． 同じ会社（自営を含む）

２． 同じ会社でない

「２．同じ会社でない」に回答された方にうかがいま

会社などを変わったのは次のどれに当たりますか。あてはまる番号に○をつけてください。

１． 転職

２． その他（出向、移籍など）

問１４-2 あなたが現在の会社（自営を含む）で仕事をし始めたのは何歳のときですか。

□の中に数字を記入してください。 □ 歳のとき

問１５ 今の職場の中であなたの障害の内容（症状、服薬、休憩等）について、どのような範囲の人に説明をしていますか次の中から、あてはまるもの１つに○をつけてください。

１． 会社や職場の人ほとんどに説明している
（入社時に説明しているためあらためて説明する必要がない場合も含みます。）

２． 会社や職場の人のごく一部の人だけに説明している

３． 全く説明していない （もし差し支えなければその理由を下にお書きください）
（ ）

４． わからない

問１６ あなたは、現在の仕事について、どの程度満足していますか。a～dの項目について、あてはまる番号１つに○をつけてください。

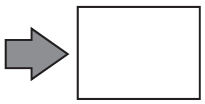
	満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満足	不満足
a. 仕事の内容	1	2	3	4	5
b. 給料や待遇（労働条件等）	1	2	3	4	5
c. 職場の人間関係	1	2	3	4	5
d. 職場の環境（施設整備等）	1	2	3	4	5

問１７　あなたの仕事に対する今後の考えについてうかがいます。ａからｅの質問にお答えください。

ａ　あなたの会社では何歳まで働けるか決まっていますか。あてはまるもの１つに○をつけてください。

１．決まっている
２．決まっていない（わからない、自営業であるなどの場合も含みます）

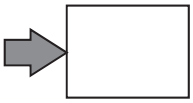
ｂ　「１．決まっている」と回答した方にうかがいます。あなたの会社で何歳まで働けるか、右の□の中に数字を記入してください（定年後の再雇用などで働ける場合は、働けるもっとも高い年齢を記入してください）。



ｃ　「１．決まっている」と回答した方にうかがいます。あなたはいつまで仕事を続けたいと思いますか。あてはまるもの１つに○をつけてください。

１．ｂで答えた年齢よりも前に仕事をやめたい　　２．ｂで答えた年齢まで働きたい
３．ｂで答えた年齢以降も働きたい　　４．その他（　　）

ｄ「2. 決まっていない」と回答した方にうかがいます。あなたは何歳まで仕事を続けたいと思いますか。右の□の中に数字を記入してください。



ｅ　あなたは現在の仕事を今後も続けたいと思いますか。あてはまるもの１つに○をつけてください。

１．　現在の仕事を続けたい　　２．　現在の仕事とは別の仕事をしたい　　３．　わからない

問１８　最近の２年間で、あなたの仕事に関係して起きた出来事について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

１．配置転換（部署の異動）があった　　１－２．上司が異動した
２．まわりで直接仕事などを援助してくれる人がいなくなった
３．昇進した　　４．給料が上がった
５．給料が下がった
６．正社員になった　　７．休職をした
８．勤めていた会社が倒産した　　９．該当なし

9ページの問２１へ進んでください。

ⅡB　「仕事についていない」人にうかがいます

4ページの問９で、　７～９　に回答された方のみ回答してください。

問１９　過去２年間の仕事の経験について、うかがいます。

ａ．　過去２年間に仕事についたことがありますか。あてはまるもの１つに○をつけてください。

１．ある
２．ない

「１．ある」に回答された方にうかがいます。

ｂ．　その仕事をお辞めになった理由は何ですか。あてはまるもの１つに○をつけてください。

１．事業主の都合　　２．定年退職（年齢　　歳）　　３．定年後の再雇用期間満了
４．契約期間満了　　５．休職期間満了
６．自分の都合　　７．その他（　　）　　８．わからない

「６．自分の都合」に回答された方にうかがいます。

c.　「自分の都合」の具体的な内容は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

１．仕事内容が合わなかった　　２．賃金、労働条件に不満があった
３．職場の雰囲気・人間関係　　４．体調不良
５．体力的にきつくなった　　６．結婚
７．出産　　８．家庭等の事情（介護など）
９．その他（　　）　　１０．わからない

問２０　あなたの就職活動についてうかがいます。

a.　あなたは仕事についてどのように考えていますか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

1. すぐに仕事につきたい
2. すぐというわけではないが、仕事につきたい
3. 時間をかけて自分に合った仕事を探したい
4. 社工場や作業所で働きたい
5. 仕事にはつきたくない
6. その他（　　）

1、2、3のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

b-1. これから就きたいと考えている仕事の働き方はどれですか。現在希望しているものを教えてください。複数ある場合にはあてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 会社やその他の機関で正社員または正職員として働きたい
2. 会社やその他の機関で、パートやアルバイト、嘱託、契約社員として働きたい
3. 会社やその他の機関で、派遣社員として働きたい
4. 自営業又は家族従業者として働きたい
5. 内職をしたい
6. 就労継続支援事業所A型（福祉工場）で雇用契約を結んで働きたい
7. 就労継続支援事業所Ｂ型あるいは就労移行支援事業所や地域活動支援センター（福祉作業所）などで雇用契約を結ばない形で働きたい
8. その他（　　）

b-2.　仕事を探すときに、相談する人や、利用したことがある機関はありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

１．配偶者　　２．子ども　　３．父親　　４．母親
５．兄弟姉妹　　６．会社の上司や同僚　　７．知り合い・友人
８．障害者相談員　　９．ハローワーク　　１０．障害者職業センター
１１．障害者就業・生活支援センター　　１２．相談支援事業者
１３．かかりつけの病院・診療所（主治医等）　　１４．保健所（福祉事務所）
１５．学校　　１６．その他（　　）　　１７．相談したり利用したことはない

ひきつづきこのページの問２１へ進んでください。

Ⅲ　あなたの仕事や生活の現状についてうかがいます

問21　最近、仕事に関して何か困ったことが起きたときに、相談する人や、利用したことがある機関はありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

１．配偶者　　２．子ども　　３．父親　　４．母親
５．兄弟姉妹　　６．会社の上司や同僚　　７．知り合い・友人
８．障害者相談員　　９．ハローワーク　　１０．障害者職業センター
１１．障害者就業・生活支援センター　　１２．相談支援事業者
１３．かかりつけの病院・診療所（主治医等）　　１４．保健所（福祉事務所）
１５．学校　　１６．その他（　　）　　１７．相談したり利用したことはない

問２２　あなたは障害に関する年金を受給していますか。あてはまるもの１つに○をつけてください。

１．受給している　　２．受給していない　　３．わからない

問２３　あなたは生活するための収入をどのように得ていますか。あてはまるもの１つに○をつけてください。

１．「年金」だけで生活している
２．「家族などの支援」だけで生活している
３．「働いて得る収入」だけで生活している
４．「年金」と「家族などの支援」を合わせて生活している
５．「年金」と「働いて得る収入」を合わせて生活している
６．「家族などの支援」と「働いて得る収入」を合わせて生活している
７．「年金」と「働いて得る収入」と「家族などの支援」を合わせて生活している
８．その他（　　）
９．わからない

問24　最近、経済的に困ったことが起きたとき、相談する人や、利用したことがある機関はありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1．配偶者　　2．子ども　　3．父親　　4．母親
5．兄弟姉妹　　6．会社の上司や同僚　　7．知り合い・友人
8．障害者相談員　　9．ハローワーク　　10．障害者職業センター
11．障害者就業・生活支援センター　　12．相談支援事業者
13．かかりつけの病院・診療所（主治医等）　　14．保健所（福祉事務所）
15．学校　　16．その他（　　）　　17．相談したり利用したことはない

Ⅳ　あなたの仕事や生活に対する考えなどについてうかがいます

問２５　あなたにとって次の項目は、仕事をするうえで、どのくらい重要だと思いますか。a～f の項目について、あてはまる番号１つに○をつけてください。

	重要	どちらかといえば重要	どちらともいえない	どちらかといえば重要でない	重要でない
a. 賃金や給料	1	2	3	4	5
b. 自分の能力・経験	1	2	3	4	5
c. 仕事の内容	1	2	3	4	5
d. 職場の環境整備	1	2	3	4	5
e. 勤務時間や休日	1	2	3	4	5
f. 仕事仲間との人間関係	1	2	3	4	5

問２６　あなたが働きつづけるために、会社や会社の人に配慮して欲しいことについて、うかがいます。

a.　あなたは、自分が仕事をする上でどんなことが必要と考えていますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1．作業手順をわかりやすくしたり、仕事をやりやすくすること
2．作業のスピードや仕事の量を障害にあわせること
3．作業を容易にする機器や設備を改善すること
4．通勤の便宜を図ること
5．まわりに仕事やコミュニケーションを援助してくれる人を配置すること
6．体力や体調に合わせて、勤務時間や休みを調整すること
7．安全や健康管理に特別の配慮をすること
8．その他（　　）

b.　あなたが仕事をする上で、会社や会社の人に特にお願いしたいことはどんなことですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

１．障害や障害者のことを理解してほしい
２．職場に障害者の仲間を多くしてほしい
３．ずっと働き続けることができるようにしてほしい
４．給与面を改善してほしい
５．体力や障害に合わせた労働時間や休日の設定をしてほしい
６．能力に応じた評価や昇進・昇格をしてほしい
７．研修や教育訓練を充実してほしい
８．健康管理を充実してほしい
９．職場の中で困ったことの相談ができるようにしてほしい
１０．その他（　　）

問 27　あなたが普段の生活で、一番の楽しみにしていることは何ですか。□の中に自由に記入してください。

問 28　あなたが近い将来（５年くらい後まで）に実現したいことは何ですか。□の中に自由に記入してください。

問２９　あなたは、仕事以外の次にあげる生活のことについてどの程度満足していますか。a～d の項目について、あてはまる番号１つに○をつけてください。

	満足	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満足	不満足
a. 家族との人間関係について	1	2	3	4	5
b. 友人・知人との人間関係について	1	2	3	4	5
c. 自分の体力や健康について	1	2	3	4	5
d. 収入や経済生活について	1	2	3	4	5

問３０　この調査についてのご意見やご要望がありましたら、□の中に自由に記入してください。

問３１　平成２３年3月１１日の東日本大震災について伺います。あなたご自身の体験やご家族や仕事先で起きたこと、またそれらの体験の中で特に困っていることなどがありましたら、□の中に自由に記入して下さい。

問３２　回答を記入するにあたって他の人に手伝ってもらいましたか。あてはまるもの１つに○をつけてください。

１．自分で回答を記入した

２．他の人に手伝ってもらった（手伝われた方について、□の中にあなたとの関係を記入してください）

※配偶者、子供、親、友達、会社の上司等　具体的に記入してください

問３３　この調査票を記入したのはいつですか。□の中に日付を記入してください。

平成２５年　□　月　□　日

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

ホームページについて

本冊子のほか、障害者職業総合センターの研究成果物については、一部を除いて、下記のホームページからPDFファイル等によりダウンロードできます。

【障害者職業総合センター研究部門ホームページ】

http://www.nivr.jeed.go.jp/research/research.html

著作権等について

視覚障害その他の理由で活字のままでこの本を利用できない方のために、営利を目的とする場合を除き、「録音図書」「点字図書」「拡大写本」等を作成することを認めます。その際は下記までご連絡下さい。

なお、視覚障害者の方等で本冊子のテキストファイル（文章のみ）を希望されるときも、ご連絡ください。

【連絡先】

障害者職業総合センター研究企画部企画調整室

電話　０４３－２９７－９０６７

FAX　０４３－２９７－９０５７

調査研究報告書　No.118

「障害のある労働者の職業サイクルに関する調査研究（第3期）」

編集・発行　独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構
障害者職業総合センター
〒261-0014
千葉市美浜区若葉3-1-3
電話 043-297-9067
FAX　043-297-9057

発　行　日　2014年5月

印刷・製本　情報印刷株式会社

©2014 障害者職業総合センター

NIVR

NATIONAL INSTITUTE OF VOCATIONAL REHABILITATION

ISSN 1340-5527

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。